トヨタ純正

トヨタ純正
SDナビゲーション
型番 NSZT-W61G

取扱書

車載機の操作

ナビゲーション

オーディオビジュアル

情報

周辺モニター

ETC

ハンズフリー

G-BOOK

ご参考に

お買い上げいただきありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、
記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。

トヨタ自動車株式会社

このたびはナビゲーションシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ナビゲーションシステムをお使いいただく前に、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書について

・本書は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱書とあわせてお読みください。

・お買い上げの販売店で取りつけられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては添付されている取扱書をご覧ください。

・お車をゆずられるときは次のオーナーのために本書をお車につけておいてください。
・ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
・本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期等によって異なることがあります。

CONTENTS

目次

詳細目次については、それぞれの章をご覧ください。

お使いになる前の注意事項 2
表示について 3

車載機の操作 5

GPSボイスナビゲーション 51

オーディオ＆ビジュアル 199

情報 323

周辺モニター 331

ETCシステム 399

ハンズフリー 405

G-BOOKオンラインサービス 447

ご参考に 543

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを SD メモリーカードに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、SD メモリーカードに保存されたデータ等が変化・消失する場合があります。
お客様が SD メモリーカードに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

GPSボイスナビゲーションについて

GPS ボイスナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」や「車両の故障や破損につながるおそれがあること」と、その回避方法を下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、必ず読んで遵守してください。

⚠ 警 告	記載事項を守らないと、重大な傷害や事故・車両火災におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあること。
⚠ 注 意	記載事項を守らないと、傷害、車両の故障や破損につながるおそれがあること。
🛇	してはならない行為を示すイラストには、マークが記載されています。

スイッチ表示

○○○	車載機本体（画面外）のスイッチ名称を表示しています。 （ 現在地 ・ AV など）
○○○	画面のスイッチ（タッチスイッチ）の名称を表示しています。 （ 広域 ・ 詳細 など）
○○○	画面のタブ（タッチスイッチ）の名称を表示しています。 （ ナビ ・ オーディオ など）

その他の表示

知 識	「知っておくと便利なこと」、「知っておいていただきたいこと」を記載しています。
→ 000	参照するページを表示しています。
★	オプションです。

本書では、操作を開始する画面を表示するまでのガイドとして、下記のように記載しています。操作開始画面の表示方法がわからないときにご利用ください。

設定 （画面外）→ **運転支援** → **安全・快適走行設定** → 安全・快適走行設定画面

この場合は、次の操作を意味しています。

1. 画面外の **設定** を押す。
2. 画面内の **運転支援** にタッチ。
3. 画面内の **安全・快適走行設定** にタッチ。
4. 安全・快適走行設定画面が表示される。
   この画面から、操作を開始する。

車載機の操作

車載機について 7

■ 車載機でできること 7
車載機でできること..... 7

■ 作動条件 8
作動条件..... 8

■ 各部の名称とおもな働き 9
車載機..... 9

■ ステアリングスイッチ 11
ステアリングスイッチ.....11

■ 電源を入れる・切る 15
電源を入れる・切る.....15

メディアについて 16

■ メディアについて 16
メディアの出し入れ.....16
使用できるメディアについて.....19
プレーヤーについて.....24
文字情報の表示について.....24

ヒント機能 25

■ ヒント機能を使う 25
ヒント機能の使い方.....25

ソフトウェアキーボード 26

■ ソフトウェアキーボードを使う 26
入力画面の各スイッチの使い方.....26

■ ソフトウェアキーボードの設定をする 32
ソフトウェアキーボードの設定.....32
単語の編集.....32
定型文の修正.....33
入力履歴の削除.....33
予測変換候補の表示設定.....34

リスト画面 35

■ リスト画面について 35
リスト画面の切り替え方.....35
文字の表示範囲の変更.....36

画面の調整・設定 37

■ 画面の調整・設定をする 37
ディスプレイの角度調整.....37
画質調整画面の表示.....37
画質の調整.....38
昼画表示・夜画表示について.....38
ライト点灯時の昼画表示.....39
画面を消す.....39
画面モードについて.....39

QUICK SETUP（初期設定サポート） 41

■ QUICK SETUP で設定する 41

QUICK SETUP の使い方 41

セキュリティ 43

■ セキュリティを設定する 43

セキュリティの設定..... 43

携帯マニュアル 45

■ 携帯電話で車載機の操作方法を見る 45

携帯電話で車載機の操作方法を見る. 45

車載機の設定 46

■ 車載機の設定をする 46

車載機の設定 46

BEEP 音通知の設定 46

操作画面継続表示の設定 46

アクセントカラーの変更 46

エアコン切替表示の設定 47

個人情報の初期化..... 47

オープニング画面の設定 48

カスタムへの画像の登録 49

車載機でできること

モード	主な機能	記載場所
共通	・ステアリングスイッチの操作 ・QUICK SETUP ・セキュリティ	7～49
GPS ボイスナビゲーション	・現在地の表示 ・目的地への案内 ・メモリ地点の登録 ・メンテナンス機能の設定 ・エコ機能 ・VICS・交通情報の地図への表示 ・携帯連携 ・地図更新	51～198
情報	・交通・ナビ関連情報の表示 ・FM 多重放送の受信 ・カレンダー機能	323～329
	・ハンズフリー	405～446
G-BOOK	・G-BOOK オンラインサービス	447～542
オーディオ＆ビジュアル	・AM・FM 放送の受信 ・DVD プレーヤーの操作 ・SD メモリーカードの操作 ・デジタルテレビ放送の受信 ・iPod ／ USB メモリの操作 ★ ・Bluetooth オーディオの操作 ・デジタルフォトフレームの操作 ・後席ディスプレイの操作 ★	199～322
周辺モニター	・バックガイドモニター ★ ・マルチビューバックガイドモニター ★ ・バックモニター ★ ・ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステム ★ ・マルチアングル全周囲モニター ★	331～397

★印はオプションです。

作動条件

車載機の各機能は、次の条件により操作できるときと、できないときがあります。
○：操作できます。
×：操作できません。

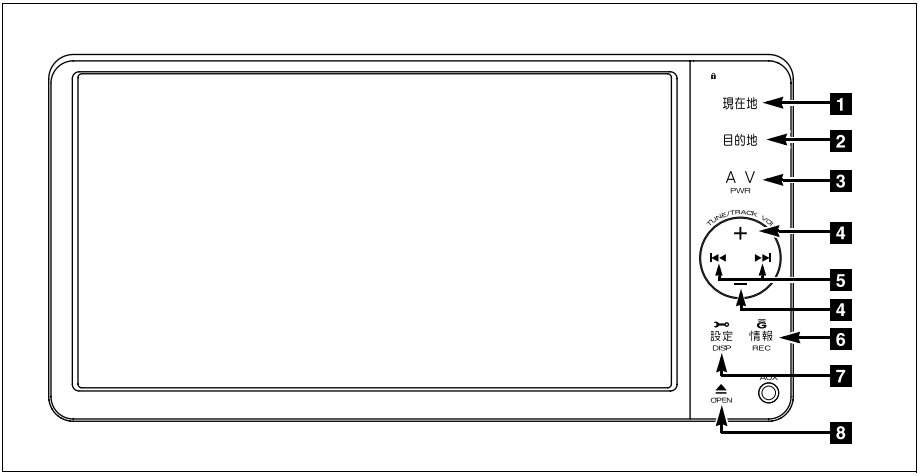
エンジンスイッチ／機能	OFF（LOCK）	ACC	ON 停車中	ON 走行中	ディスプレイがオープン状態
GPS ボイスナビゲーション／情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	×
デジタルテレビ DVD ビデオ DVD- VR	×	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	○ 映像はパーキングブレーキがかかっているときのみ。	走行中は安全上の配慮などから、音声だけになります。	×
FM 多重放送（FM 多重文字情報）	×	○	○	ご使用になれません。（一部の番組はご使用になれます）	×
ハンズフリー	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。	○
ディスクおよび SD　メモリーカードの出し入れ／ディスプレイの角度調整	ディスプレイ部を閉じることができます。	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません。

知 識

・－ 20 ℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、SD メモリーカードへの書き込みができなくなります。

各部の名称とおもな働き

車載機



スイッチ	機　能
1 現在地スイッチ	ナビゲーション画面で現在地を表示するなど。(→ 59)
2 目的地スイッチ	目的地を設定する。(→ 100)
3 オーディオ操作スイッチ	オーディオ操作画面を表示する。(→ 203) オーディオの電源を ON ／ OFF する。
4 音量調整スイッチ	音量を調整する。
5 ⏮ ⏭ スイッチ	選曲やラジオ・デジタルテレビの放送局をかえるなど。
6 G・情報スイッチ	情報画面を表示する。(→ 324) G-BOOK 画面を表示する。(→ 467) 音楽の録音開始や停止をする。
7 設定スイッチ	設定・編集画面を表示する。 画質の調整、画面を消すなど。(→ 38、39)
8 ⏏ スイッチ	ディスク・SD メモリーカードを出し入れする。(→ 16) ディスプレイの角度調整をする。(→ 37)

⚠ 注 意

・画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

知 識

・液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
・太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
・偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

車載機は、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接タッチして操作します。

- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。

1 つ前の画面に戻すときは、 ⮌戻る にタッチします。
タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

⚠ 警 告

・安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
・走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

⚠ 注 意

・表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。
・タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。
・バッテリー上がりを防ぐため、エンジン停止中に長時間使用しないでください。

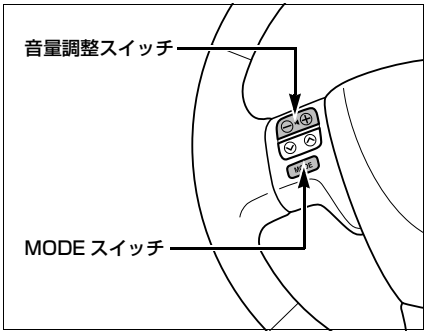
知 識

・液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

ステアリングスイッチ

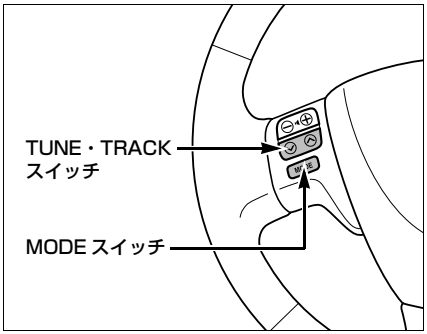
ステアリングスイッチ装着車は、手元にあるステアリングスイッチで各オーディオやハンズフリー、G-BOOK の主要操作をすることができます。

共通操作



スイッチ	機能
音量調整スイッチ	オーディオの音量、ハンズフリー音声の音量（受話音量・着信音量）、G-BOOK オンラインサービスの各種コンテンツの読み上げ音量を調整する。 ・ 大きくするとき ➡＋側を押す。 ・ 小さくするとき ➡－側を押す。 ・ 1 秒以上押し続けると、音量を連続して調整できます。（オーディオ音量のみ）
MODE スイッチ	電源が OFF のときに押すとオーディオの電源が ON になる。 ・ 電源が ON のときに“ピッ”と音がするまで押し続けると、電源が OFF になります。

オーディオの操作



■モードの切り替え操作

スイッチ	機能
MODE スイッチ	押すとオーディオのモードが切り替わる。 ・ 押すごとに、「FM→（DVD プレーヤー）→（SD メモリーカード）→デジタルテレビ→（Bluetooth オーディオ）→（AUX）→（iPod/USB）→（VTR）→ AM → FM」の順にモードが切り替わります。

知 識

・（　）内のモードは、次のようなときは選択できません。
  ・メディアが挿入されていないとき（DVDプレーヤーモード、SD メモリーカードモード）
  ・Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤーが登録されていないとき（Bluetooth オーディオモード）
  ・AUX端子に機器が接続されていないとき（AUX モード）
  ・iPod 対応 USB/VTR アダプターに機器が接続されていないとき（iPod/USB モード）
  ・iPod 対応USB/VTR アダプターやVTR アダプターに機器が接続されていないとき（VTR モード）

■ラジオ・デジタルテレビの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	放送局を切り替える。 ・高い（大きい）方へ選択するとき ➡∧側を押す。 ・低い（小さい）方へ選択するとき ➡∨側を押す。 放送局を自動で選択する。（ラジオのみ）（→ 207） ・高い（大きい）方へ選択するとき ➡“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 ・低い（小さい）方へ選択するとき ➡“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。

■音楽 CD・MP3/WMA ディスク・USB メモリの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	選曲する。 ・うしろにあるとき ➡∧側を押す。 ・前にあるとき ➡∨側を押す。 フォルダを選択する。（MP3/WMA　ディスク・USB メモリのみ） ・うしろにあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 ・前にあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。

■SD メモリーカード・Bluetooth オーディオの操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	選曲する。 ・うしろにあるとき ➡∧側を押す。 ・前にあるとき ➡∨側を押す。 アルバムを選択する。 ・うしろにあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 ・前にあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。

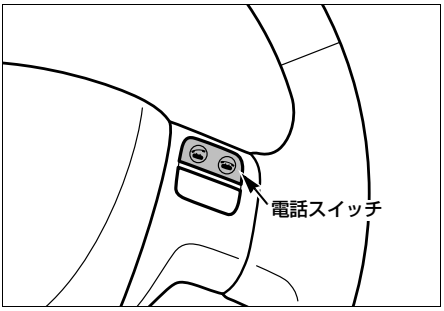
■iPod の操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	選曲する。 ・うしろにあるとき ➡∧側を押す。 ・前にあるとき ➡∨側を押す。 選択中のプレイモード内のリストを選択する。(→286) ・うしろにあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∧側を押し続ける。 ・前にあるとき ➡“ピッ”と音がするまで∨側を押し続ける。

■DVD の操作

スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	チャプターを選択する。 ・うしろにあるとき ➡∧側を押す。 ・前にあるとき ➡∨側を押す。

ハンズフリーの操作

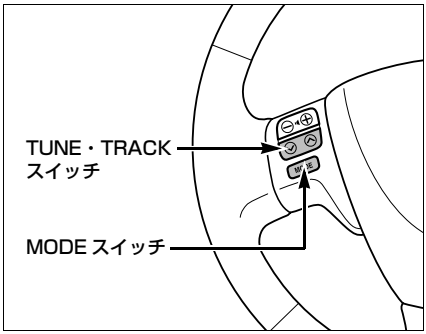


スイッチ	機能
電話スイッチ	ハンズフリー画面を表示する。 ・ スイッチを押す。 着信中に応答保留する。 ・ スイッチを押す。 着信中（応答保留中）に電話をとる・電話をかける ・ スイッチを押す。 着信中に着信拒否する ・ スイッチを２秒以上押し続ける。 ・応答保留画面で スイッチを押す。 電話を切る ・ スイッチを押す。

知 識

・ が表示される画面で、スイッチを押すと電話をかけることができます。

G-BOOK の操作



スイッチ	機能
TUNE・TRACK スイッチ	コンテンツの読み上げ開始位置を変更する。 ・ 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨側を押す。 ・ 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∧側を押す。 ・ 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ∨側を押してから約 1 秒以内に再度押す。
MODE スイッチ	押すとコンテンツの読み上げを解除する。

電源を入れる・切る

1 車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にする。

- オープニング画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはオーディオ画面に切り替わります。
- 車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、車載機の電源が切れます。

メディアについて

メディアの出し入れ

車載機では、CD、DVD および SD メモリーカードを使用します。

メディアの入れかた

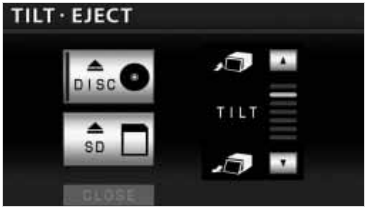
知 識

- 音楽用SD メモリーカードを再生するには、車載機で音楽を録音する必要があります。(→ 239)
- 音楽用 SD メモリーカードと地図 SD カードでは、挿入口が異なります。
- 地図 SD カードは、ロックせずに挿入してください。

1 ⏏(画面外）を押す。

2 挿入したいメディアを選択する。

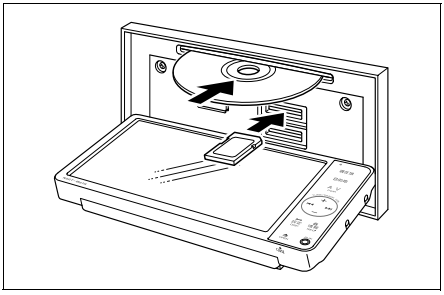
- ⏏DISC ……CD または DVD を挿入する
- ⏏SD ……SD メモリーカードを挿入する



- ディスプレイが開きます。

3 メディアを挿入口に差し込む。

- ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。
- ディスクを差し込んだ場合、自動的にディスプレイが閉じます。
- SD　メモリーカードは奥まで挿入したことを確認します。
- SD　　メモリーカードを挿入した場合、CLOSE にタッチすると、ディスプレイが閉じます。⏏（画面外）を押してもディスプレイは閉じます。

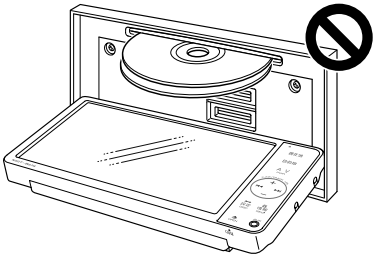


知 識

- ⏏（画面外）を押し続けると、“ピッ”と音がしてディスプレイを開くことができます。
  音楽 CD を SD メモリーカードに録音している場合、録音が停止します。

⚠ 注 意

- 8cm ディスクを使用するときは、アダプターを使用せずに、そのままディスクを挿入してください。アダプターを使用するとディスクを取り出せなくなるおそれがあります。
- CD または DVD を挿入するときは、2 枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



- 挿入口にディスク、または SD メモリーカード以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- SD　メモリーカードはマークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- miniSD　カード、microSD　カード、miniSDHC カード、microSDHC カードを差し込むときは、必ず、専用のアダプターを取り付けてから差し込んでください。（miniSD カード、micro SD カード、miniSDHC　カード、microSDHC カードのみを差し込むと取り出せないことがあります。）

⚠ 注 意

- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー（“P”位置）もしくはシフトレバー（1・3・5・Ⓡ 位置）やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを“N”または“ニュートラル”位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスクまたは SD メモリーカードの差し込み途中に 、CLOSE にタッチ、または ⏏ （画面外）を押さないでください。

■バッテリーとの接続が断たれたとき

地図 SD カードを取り出した状態で、エンジンスイッチを ACC、または ON にすると、「 ⏏ スイッチを「ピッ」と鳴るまで押してディスプレイを開き地図 SD カードを入れて下さい」のメッセージが表示されます。その場合、次の手順で地図SDカードを挿入します。

知 識

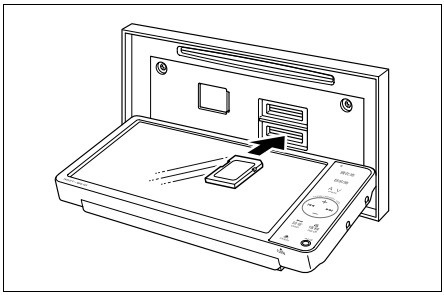
- 地図 SD カードは、ロックせずに挿入してください。

1 ⏏ （画面外）を“ピッ”と音がするまで押し続ける。

● ディスプレイが開きます。

2 地図 SD カードを挿入する。

- プログラムの読み込みを開始します。完了するとオープニング画面→ TILT EJECT 画面の順に表示されます。



3 CLOSE にタッチ。

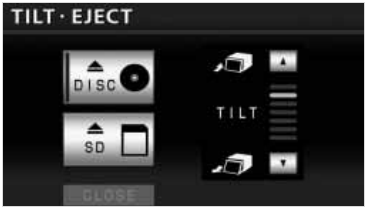
- ディスプレイが閉じます。
- ⏏（画面外）を押してもディスプレイは閉じます。

メディアの取り出しかた

1 ⏏（画面外）を押す。

2 取り出したいメディアを選択する。

- ⏏DISC …CD または DVD を取り出す
- ⏏SD ……SD メモリーカードを取り出す



- ⏏DISC にタッチした場合、ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- SD　メモリーカードはカードを軽く押して取り出します。

3 メディアを取り出したあと、⏏（画面外）を押す。

- ディスプレイが閉じます。
- CLOSE にタッチしてもディスプレイは閉じます。

⚠ 注 意

- ディスプレイ部の開閉時は、手などを挟まないよう注意してください。けがをしたり、ディスプレイの故障の原因となります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶など物を置くと、ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
  - A/T 車はディスクを取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。（コラム A/T の場合は P または N レンジで操作してください。）
  - M/T 車はディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡ ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 本機からディスクまたは SD　メモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびをしたり、SD メモリーカードを破損するおそれがあります。

⚠ 注 意

- ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- メディアが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つけるおそれがあります。
- 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。
- SD　メモリーカードの再生中や録音中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

■ディスプレイ開警告ブザー

ディスプレイ部を開いたままエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、“ピッピッピッピッピッ”というブザー音でお知らせします。

⏏（画面外）を押すと、ディスプレイを閉じることができます。

使用できるメディアについて

CD、DVD について

下のマークのついたディスクが使用できます。

■市販ディスク

音楽 CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT

DVD ビデオ

DVD VIDEO	DVD VIDEO

■記憶されたディスク

CD-R/RW

COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

DVD-R/RW/R DL

DVD R	DVD RW	DVD R DL

DVD+R/RW/R DL

RW DVD+R	RW DVD+ReWritable	RW DVD+R DL

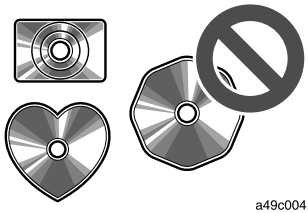
- "DVD Logo" is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.
- ビデオモード（ビデオフォーマット）および VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD ± R/RW/R DL の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW/R DL の再生にも対応しています。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。
- CD-R/RW、DVD ± R/RW/R DL は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。

⚠ 注 意

- ディスクには指紋、よごれ、キズ等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクのよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。手で強く押したり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスク取り出しスイッチにタッチして、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは直射日光を避けて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。

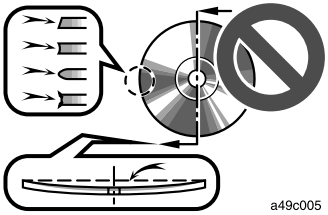
⚠ 注 意

- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- レンズクリーナーを使用すると、プレーヤーのピックアップ部の故障の原因となるおそれがありますので、使用しないでください。



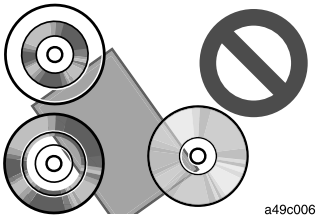
a49c004

- 直径 12cm または 8cm の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



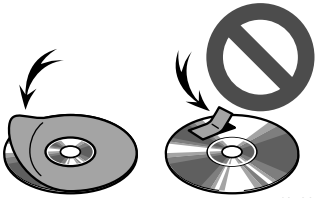
a49c005

- 低品質または変形したディスクは機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。



a49c006

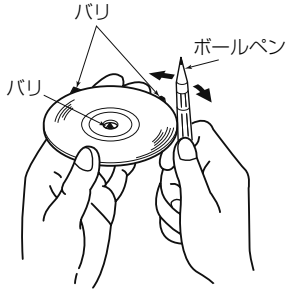
- 記録部分に透明または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。

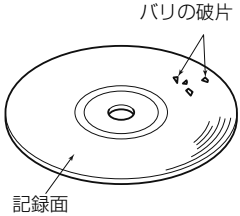


a49c007

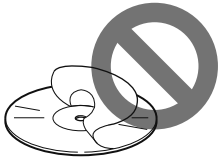
- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。

注 意





・新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しないことがあります。



・音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となることがあります。

・音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CD リング･プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となることがあります。

SD メモリーカードについて

次のSDメモリーカードが使用できます。

■音楽用 SD メモリーカード

マーク
容量
4GB ～ 32GB
SD スピードクラス
Class 4 以上を推奨

■デジタルフォトフレーム、メモリ地点の移行、オープニング画像の登録用SDメモリーカード

マーク
容量
8MB ～ 32GB
SD スピードクラス
デジタルフォトフレーム：全 Class 対応 メモリ地点の移行：Class 2 ～ 6 オープニング画像：Class 2 ～6

- SD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
  microSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- FAT ファイルシステムのみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- SD スピードクラスによっては、画像の表示時間が異なります。

⚠ 注 意

・定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。

・ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある SD メモリーカードは使用しないでください。

・直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードが使用できなくなることがあります。

・端子部には、手や金属が触れないようにしてください。

・持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

⚠ 注 意

- 静電気や電気的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- 音楽用 SD メモリーカードの再生中は、音楽用 SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

知 識

- SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードのフォーマット (初期化) は、次のソフトを使用しフォーマットします。次のソフトでフォーマットしていない SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードで、SD 規格に準拠していない場合、車載機で使用できないことがあります。
  - Panasonic SD-Jukebox V5 以降
  - Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0

プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

ヒント機能を使う

ヒント機能の使い方

? が表示されている場合、その画面に表示されているスイッチの機能がわからないときに、スイッチの説明を表示させることができます。

? が表示されている画面

1 ? にタッチ。

2 使い方を知りたいスイッチにタッチ。

3 使い方の確認後、ヒント画面を解除する。
画面にタッチ、または約 6 秒以上操作しない。

4 ヒントモードを解除する。
➡ ?戻る にタッチ。

知 識

・走行を開始すると、ヒントモードは解除されます。

ソフトウェアキーボードを使う

入力画面の各スイッチの使い方

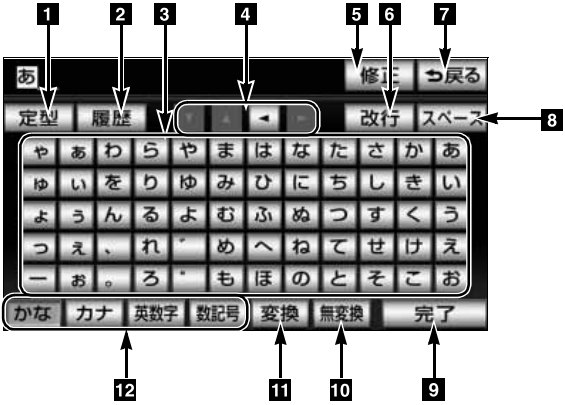
本システムでは、文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボードが表示されます。

・ ここでは G-BOOK オンラインサービスのソフトウェアキーボードで説明しています。ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

各スイッチの働きは、次のようになっています。

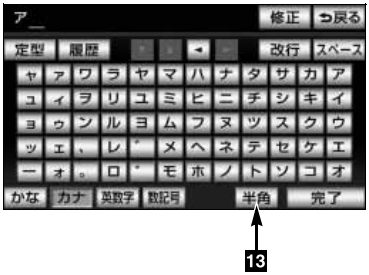
- 特に説明のないスイッチは、各入力時とも共通です。
- ナビで文字入力するときは、専用のソフトウェアキーボードを使用します。
  - ・「名称で地図を呼び出す」（→ 88）
  - ・「メモリ地点の名称入力」（→ 133）

■かな・漢字入力時

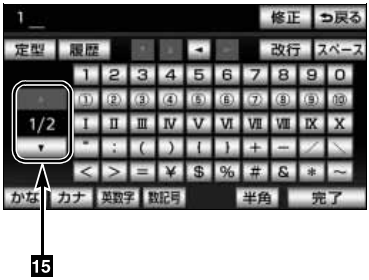


スイッチ	働　き
1 定型スイッチ	定型入力画面を表示し、定型文を入力する。
2 履歴スイッチ	入力履歴画面を表示し、前回までに入力した文字列の履歴から入力する。
3 文字入力スイッチ	各種文字を入力する。
4 カーソル移動スイッチ	カーソルを移動する。 ・ 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
5 修正スイッチ	文字を消去する。 ・ カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字を消去。 ・ カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字を消去。 タッチし続けると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去する。
6 改行スイッチ	改行する。
7 戻るスイッチ	ソフトウェアキーボードで入力した文字を入力しないで、キーボードを終了する。
8 スペーススイッチ	カーソル位置に空白を入力する。
9 完了スイッチ	ソフトウェアキーボードを終了する。 キーボードが表示される前の画面にもどり、文字が入力される。
10 無変換スイッチ	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
11 変換スイッチ	かな入力時、漢字などに変換する。
12 入力モード切り替えスイッチ	文字の入力モードを切り替える。 かな …… ひらがな、漢字を入力 カナ …… カタカナを入力 英数字 … アルファベット、数字を入力 数記号 … 数字、記号を入力

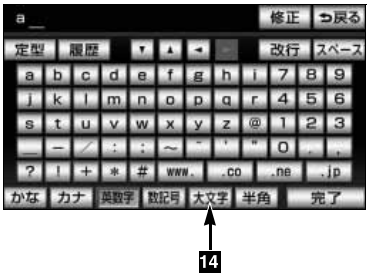
■カタカナ入力時



■数字・記号入力時



■英字・数字入力時



■定型文入力時／履歴入力時

■WEB 検索時

スイッチ	働　き
13 全角／半角スイッチ	半角入力と全角入力を切り替える。
14 大文字／小文字スイッチ	大文字入力と小文字入力を切り替える。
15 ページ切り替えスイッチ	ページを切り替える。
16 定型文入力スイッチ／履歴入力スイッチ	各文字列を入力する。
17 検索エンジンスイッチ	検索エンジンを選択する。
18 エリアスイッチ	検索エリアを指定する。 「Ⓐ」：現在地を指定 「●」：住所を指定 「G1 ～ G5」：目的地を指定 「なし」：エリア指定なし

漢字変換

1 かな入力状態で、文字を入力する。

2 変換 にタッチ。

3 文字を確定する。

- そのままの状態でよいとき
  ➡ 全確定 にタッチ。
- 変換範囲のみ変換するとき
  ➡希望の候補を選択しタッチ。
- 変換範囲（文節）が間違っているとき
  ➡ ◀ または ▶ にタッチして変換範囲を修正する。
- 漢字を 1 文字ずつ変換するとき
  ➡単漢字変換（→ 30）

4 変換範囲のみ変換する場合は、確定すると、次の変換範囲に移動する。すべての文字の変換が終わるまで、**3** の操作を繰り返す。

■入力したい漢字に変換されないとき

リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を 1 つずつ変換してください。

1 単漢字 にタッチ。

2 漢字を確定する。

- そのままの状態でよいとき
  ➡ 全確定 にタッチ。
- 入力したい文字でないとき
  ➡希望の候補を選択しタッチ。
- 候補が複数ページになるとき
  ➡ ▲ または ▼ にタッチ。
- 変換範囲が間違っているとき
  ➡ ◀ または ▶ にタッチして変換範囲を修正する。
- 候補には、音読み・訓読みに対応した単漢字を表示します。

予測変換候補の表示

G-BOOK 詳細設定の予測変換候補の表示で「する」を選択しているとき、予測変換をすることができます。文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を画面左下に表示します。

予測変換候補は最大 5 候補まで表示されます。

・ 予測変換候補の表示／非表示を切り替えるとき

➡「予測変換候補の表示設定」（→ 34）

1 かな入力状態で、文字を 1 文字以上入力する。

2 予測変換候補を選択する。

予測変換候補

- 表示された候補でよいとき
  ➡予測変換候補にタッチ。
- 希望の候補でないとき
  ➡ ▼ にタッチして希望の候補を表示させ、候補にタッチ。

ソフトウェアキーボードの設定をする

ソフトウェアキーボードの設定

設定・編集の G-BOOK 詳細設定画面から、次の設定をすることができます。

項　目	ページ
単語の編集	32
定型文の修正	33
入力履歴の削除	33
予測変換候補の表示設定	34

単語の編集

読みと単語を指定して、車載機の辞書に変換候補対象となる単語を追加することができます。また、追加した単語を修正・削除することができます。

単語の追加

1 設定（画面外）を押す。

2 G-BOOK にタッチ。

3 G-BOOK 詳細設定 にタッチ。

4 単語の編集の 追加 にタッチ。

5 読み および 単語 にタッチして、それぞれ入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

6 完了 にタッチ。

単語の修正

設定（画面外）→ G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 単語の編集の 修正 にタッチ。

2 修正したい単語にタッチ。

3 読み または 単語 にタッチして修正する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

4 完了 にタッチ。

- 単語の最大登録数を超えたときは、登録済みの不要な単語を削除してください。（→33）
  - ・引き続き単語の修正をするとき
    ➡**2** ～ **4** の操作を繰り返す。

単語の削除

設定（画面外）→ G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 単語の編集の 削除 にタッチ。

2 削除したい単語にタッチ。

・すべての単語を削除するとき
➡ 全選択 にタッチ。

3 削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

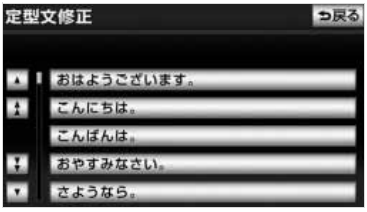
定型文の修正

定型文は、お好みにより内容を変更することができます。
ただし、新規に追加することはできません。

設定（画面外）→ G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 定型文の修正の 修正する にタッチ。

2 修正したい定型文にタッチ。



3 定型文を修正する。
● ソフトウェアキーボードで入力する。

入力履歴の削除

不要な入力履歴を削除することができます。

設定（画面外）→ G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 入力履歴の削除の 削除する にタッチ。

2 削除したい履歴にタッチ。

・すべての履歴を削除するとき
➡ 全削除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

予測変換候補の表示設定

ソフトウェアキーボードを使用するとき、予測変換候補の表示／非表示を選択できます。

設定（画面外）→ G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 予測変換候補の表示の する または しない にタッチし、完了 にタッチ。

リスト画面について

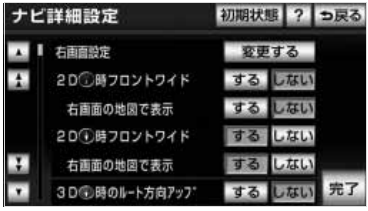
リスト画面の切り替え方

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補が表示されているリストにないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

▲・▼の切り替え表示

1 ▲ または ▼ にタッチ。

- 1 項目ずつリストが動きます。



行の切り替え表示

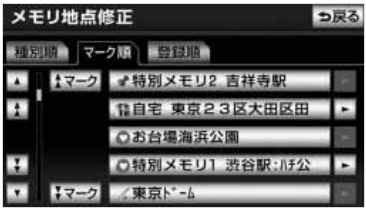
1 あ行 ・ か行 ・ さ行 ・ た行 ・ な行 ・ は行 ・ ま行 ・ や行 ・ ら行 ・ わ行 のいずれかにタッチ。

- 「あ行→か行」というようにリストが動きます。
- 「あ行」の場合、あ行 にタッチするごとに、「あ→い」というようにリストが動きます。

マークの切り替え表示

1 ▲マーク または ▼マーク にタッチ。

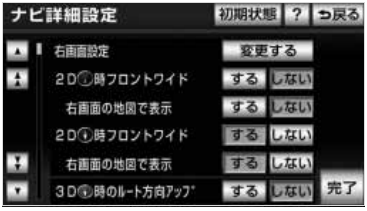
- 次のマークに飛ばして、リストが動きます。



ページの切り替え表示

1 ▲ または ▼ にタッチ。

- 1 ページずつリストが動きます。



種類の切り替え表示

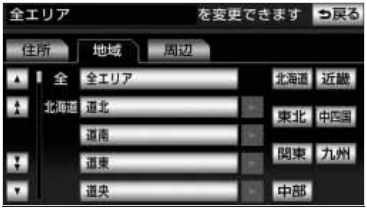
1 ▲種類 または ▼種類 にタッチ。

- 次の種類に飛ばして、リストが動きます。

地域の切り替え表示

1 北海道・東北・関東・中部・近畿・中四国・九州のいずれかにタッチ。

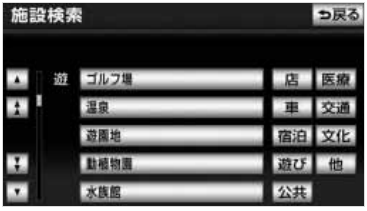
- 地域ごとにリストが動きます。



施設項目の切り替え表示

1 店・車・宿泊・遊び・公共・医療・交通・文化・他のいずれかにタッチ。

- 施設項目ごとにリストが動きます。



文字の表示範囲の変更

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。
次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

1 ▶ にタッチ。

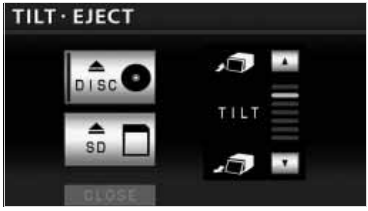
・ 先頭に戻すとき ➡ ◀ にタッチ。

画面の調整・設定をする

ディスプレイの角度調整

1 ▲（画面外）を押す。

2 TILT の ▼ または ▲ にタッチ。



- ▼ …斜め下方に傾ける
- ▲ …傾きを戻す
  - ・タッチするごとに 1 段階（5°）ずつ傾きます。最大 6 段階 30°まで傾けることができます。

3 ▲（画面外）を押す。

知 識

・ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを ACC、または ON にした場合、元の傾いた状態に戻ります。

画質調整画面の表示

1 設定（画面外）を押し続ける（約 1 秒間）。

■画質調整画面の表示例
（ライト点灯時の昼画表示）

ナビゲーション画面

ＤＶＤ画面

・画質調整画面を解除するとき
➡ 完了 にタッチ。

・約 20 秒以上操作しなかったときも解除されます。

画質の調整

設定（画面外）（1秒以上押す）→ 画質調整画面

■色合い※

緑 … 緑色を強くする
赤 … 赤色を強くする

■色の濃さ※

濃 … 色を濃くする
淡 … 色を淡くする

■コントラスト

強 … 強くする
弱 … 弱くする

■明るさ

明 … 明るくする
暗 … 暗くする

※色合い、色の濃さは、DVD などの映像を表示しているときに調整できます。
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

知 識

・昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

昼画表示・夜画表示について

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、画面を見やすくするために、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。
・ライト消灯時…〈昼画表示〉
・ライト点灯時…〈夜画表示〉

■昼画表示と夜画表示の画面例

昼画表示〈ライト消灯時〉

夜画表示〈ライト点灯時〉

ライト点灯時の昼画表示

ライト点灯時に、昼画表示にすることができます。

設定（画面外）（1秒以上押す）→ 画質調整画面

1 夜画表示のとき、 昼画面 にタッチ。

- タッチするごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。
- 昼画表示のときは、タッチスイッチの作動表示灯が点灯します。

知 識

・ライト消灯時の画質調整画面には「昼画面」は表示されません。

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

設定（画面外）（1秒以上押す）→ 画質調整画面

1 画面消 にタッチ。

・画面を表示させるとき
➡各モードのスイッチを押す。

知 識

・画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

■標準画モード（Normal）

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。

■ワイド 1 画モード（Wide 1）

たて 3：よこ 4 の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。

■ワイド２画モード（Wide 2）

たて３：よこ４の割合の画面（普通のテレビ画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

＊お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

画面モードの切り替え

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

映　像	ページ
DVD	224
VTR	282

QUICK SETUP で設定する

QUICK SETUP の使い方

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP 画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

知 識

・ QUICK SETUP を使用するためには、地図 SD カードを差し込む必要があります。（→ 16）

1 QUICK SETUP を開始する にタッチ。

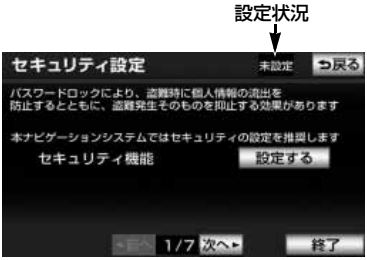
・ QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示するとき
➡ 次回起動時に設定する にタッチ。

・ QUICK SETUP を終了し、次回起動時に QUICK SETUP 画面を再度表示しないとき
➡ 設定しない にタッチ。

知 識

・ セキュリティを設定しないと、 設定しない を操作できません。

2 セキュリティを設定する。



● 設定する にタッチすると、パスワードのヒント設定画面が表示されます。（→ 43）
● 項目により、設定状況が表示されます。

3 次へ▶ にタッチ。

4 自宅を登録する。

● 現在地周辺から登録 …現在地周辺の地図を表示する
● 住所から登録 …住所から登録する（→ 91）

5 セット にタッチ。

6 次へ▶ にタッチ。

7 案内音量を設定する。（→ 85）

8 次へ▶ にタッチ。

9 車両情報を設定する。（→ 115）

10 次へ▶ にタッチ。

11 エコ機能の燃費を設定する。（→ 159）

12 次へ▶ にタッチ。

13 Bluetooth 電話を設定する。
（→ 414）

- G-BOOK 通信設定は、G-BOOK mX モデルのみ設定が必要です。

14 次へ▶ にタッチ。

15 Bluetooth　オーディオを設定する。（→ 302）

16 完了 にタッチ。

17 はい にタッチ。

知 識

- ◀前へ にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- 設定の途中で画面外のスイッチを押して他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時に、QUICK SETUP 画面が再度表示されます。
- 設定の途中で 終了 → はい の順にタッチした場合、そこまでの設定が反映されます。次回起動時には、QUICK SETUP 画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から操作してください。（→ 146）
- QUICK SETUP は、ナビ詳細設定からも操作することができます。（→ 150）

セキュリティを設定する

セキュリティの設定

セキュリティ機能を作動させると、車両のバッテリーターミナルをはずした場合、車載機を操作することができません。セキュリティの作動中は、作動インジケータを点灯させて、盗難を抑止することができます。
また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあった場合、車載機と所有者を確認することができます。

セキュリティを作動させる

パスワードのヒントとパスワードを登録すると、セキュリティを作動させることができます。

知 識

- パスワードのヒントとパスワードは、全角と半角、大文字と小文字を区別します。
- 登録したパスワードは忘れないよう控えておいてください。ロックを解除するときに必要です。

1 設定（画面外）を押す。

2 共通設定 にタッチ。

3 セキュリティの 設定する にタッチ。

4 セキュリティ機能の 設定 にタッチ。

- パスワードを登録している場合、設定 → はい の順にタッチするとパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると、新しいパスワードを登録することができます。

知 識

- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、車載機と所有者を確認することができます。

5 マルチワードで設定 または 固定文より設定 にタッチ。

- マルチワードで設定 …パスワードのヒントを任意に入力する
- 固定文より設定 …パスワードのヒントを5つの中から選ぶ

6 パスワードのヒントを登録する。

- 手順 **5** で マルチワードで設定 にタッチした場合
  ➡ヒントを入力する。（→ 26）
- 手順 **5** で 固定文より設定 にタッチした場合
  ➡ヒントにタッチする。

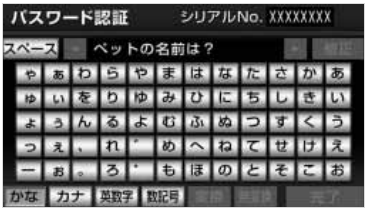
7 パスワードを入力する。（→ 26）

8 完了 にタッチ。

セキュリティのロックを解除する

車両のバッテリーターミナルをはずして車載機が操作できなくなった場合、登録したパスワードを入力すると、操作できるようになります。

1 パスワードを入力する。（→ 26）



知 識

・シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、車載機と所有者を確認することができます。

2 OK にタッチ。

知 識

・パスワードを忘れた場合、販売店にご相談ください。

作動インジケータを点滅させる

エンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合、作動インジケータを点滅させることができます。

知 識

・作動インジケータを点滅させる前に、セキュリティを作動します。（→ 43）

設定（画面外）→ 共通設定 →セキュリティの 設定する →セキュリティ画面

1 インジケータの On にタッチ。

・Off にタッチすると、作動インジケータは点滅しません。

セキュリティを停止する

設定（画面外）→ 共通設定 →セキュリティの 設定する →セキュリティ画面

1 セキュリティ機能の 解除 にタッチ。

2 はい にタッチ。

3 パスワードを入力する。（→ 26）

携帯電話で車載機の操作方法を見る

携帯電話で車載機の操作方法を見る

携帯電話からモバイルサイトにアクセスして車載機の操作説明を見ることができます。

⚠ 警 告

・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知 識

・ 次の携帯電話を使用することができます。ただし、機種やお客様の設定によって、ご利用いただけない場合があります。ご了承ください。
  ・ NTT docomo
  ・ au
  ・ SoftBank

1 情報（画面外）を押す。

● G-BOOK 画面や BT ナビ画面が表示されたとき
  ➡ 情報 にタッチ。

2 携帯マニュアル にタッチ。

3 携帯電話で 2 次元バーコードを読み取る、または URL を入力する。

● サイズ変更 にタッチすると、2 次元バーコードが拡大されます。

知 識

・ 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
・ 2 次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
・ 2 次元バーコードが読み取れないときは、2 次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
・ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

車載機の設定をする

車載機の設定

1 設定（画面外）を押す。

2 共通設定 にタッチ。

3 各項目の設定をし、 完了 にタッチ。

- 共通設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
BEEP 音通知の設定	46
操作画面継続表示の設定	46
アクセントカラーの変更	46
セキュリティの設定	43
個人情報の初期化	47
エアコン切替表示の設定	47

BEEP 音通知の設定

タッチスイッチにタッチしたときの応答音を設定できます。

設定（画面外）→ 共通設定 →共通設定画面

1 BEEP 音通知の 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ OFF のいずれかにタッチ。

操作画面継続表示の設定

オーディオ操作画面の継続表示のする／しないを設定することができます。

設定（画面外）→ 共通設定 →共通設定画面

1 操作画面継続表示の する または しない にタッチ。

- 「しない」に設定すると、約 20 秒以上操作しなかった場合、もとの画面にもどります。

知 識

・バックガイドモニターなどの割り込み画面が表示されたときは、継続表示されないことがあります。

アクセントカラーの変更

アクセントカラーを変更することができます。

アクセントカラー

設定（画面外）→ 共通設定 →共通設定画面

1 希望の色にタッチ。

知 識

・アクセントカラーを変更すると、タッチスイッチを選択しているときの色も同時に変更されます。

エアコン切替表示の設定

車両のエアコン機能を操作したときのオンスクリーン画面の表示する／しないを設定することができます。

設定（画面外）→ **共通設定** →共通設定画面

1 **する** または **しない** にタッチ。

知 識

・ 対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

個人情報の初期化

車載機の設定や保存されている情報を初期化することができます。
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。

次の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項　目	情　報
ソフトウェアキーボード	入力履歴
	追加した単語
	編集した定型文
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目
GPS ボイスナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	ユーザーカスタマイズ
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	エコ機能の設定および履歴
オーディオ＆ビジュアル	ラジオ、デジタルテレビでプリセットスイッチに記憶した周波数およびチャンネル情報
	デジタルテレビの地域の設定
ハンズフリー	電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ロック No. の設定
	ハンズフリー関連の設定・編集項目
Bluetooth オーディオ	Bluetooth オーディオの登録情報
Yahoo! JAPAN と連携機能	携帯電話から送信したドライブプラン情報
	携帯電話から送信した地点情報
	保存した走行軌跡の履歴
	ロック No. の設定
オープニング画面	オープニング画面の設定

項　目	情　報
G-BOOK オンライン サービス	G-BOOK 画面の オペレーター、情報確認
	G メモリ地点
	G-BOOK.com コンテンツで取得した G 情報マーク
	メインメニューに G-BOOK センターが 追加したスイッチ
	ブックマーク
	閲覧履歴
	My リクエストのメニュー
	G-BOOK 関連の 設定・編集項目

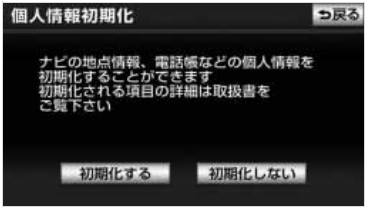
知 識

・一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。

設定（画面外）→ 共通設定 →共通設定画面

1 個人情報初期化の 初期化する にタッチ。

2 初期化する にタッチ。



3 はい にタッチ。

知 識

・セキュリティを設定している場合は、個人情報が初期化できません。事前にセキュリティを解除してください。（→ 44）

オープニング画面の設定

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

1 設定（画面外）を押す。

2 画像設定 にタッチ。

3 オープニング画像変更 にタッチ。

4 1 ・ 2 ・ 3 ・ カスタム のいずれかにタッチ。

● カスタム は画像が登録してあるときのみタッチできます。

5 完了 にタッチ。

カスタムへの画像の登録

SD メモリーカードに記録されている画像データを取り込み、カスタムに登録することができます。

設定（画面外）→ 画像設定 → オープニング画像変更 → オープニング画像変更画面

1 カスタムの変更 にタッチ。

2 SDメモリーカードを地図SDカード挿入口に挿入する。（→ 16）

3 設定したい画像を選択し、決定 にタッチ。

・選択した画像のプレビュー画面を見たいとき
➡ プレビュー にタッチ。

・次の画像を見たいとき
➡ ← にタッチ
・前の画像を見たいとき
➡ → にタッチ

4 決定 にタッチ。

使用できる画像データについて

使用できる画像データは下記のとおりです。

項　目	対応内容
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は対応していません）
画像容量	4MB 以下
画素数	最大 1000 万画素
画像サイズ	6656 × 3328dot 以下
フォルダ名／ファイル名文字数	最大半角 28 文字
表示ファイル数	最大 100
取り込み対象となる画像データ	ルートディレクトリ（最上位階層）のみ

知 識

・使用できる SD メモリーカードについては、「SD メモリーカードについて」（→ 23）をご覧ください。

MEMO

GPS ボイスナビゲーション

お使いになる前に 55

■ GPS ボイスナビゲーションとは？ 56
GPS ボイスナビゲーションとは.....56
ナビゲーション画面の見方.....56
音声案内について.....58

地図の操作 59

■ 地図の表示 59
現在地の表示.....59
スイッチの表示.....60
地図の移動（ワンタッチスクロール）.....61
地図縮尺の切り替え.....62
地図向きの切り替え.....63
フロントワイド表示.....63
2 画面表示（地図）.....63
２画面表示（地図 / エコ情報）.....65
3D 表示.....66
地図の表示色の切り替え.....68
自車マークの切り替え.....68
地図の名称（文字）サイズの切り替え.....68
時計表示の切り替え.....68
市街図表示.....69

■ 地図表示画面の設定 70
施設の表示.....70
近くの施設の検索.....71
周辺施設走行中呼出ジャンルの変更.....72
ビジュアルシティマップ表示.....73
立体ランドマークの表示.....73
一時停止案内.....73
道路形状案内.....74
事故多発地点案内.....76
学校存在案内.....76
季節規制区間の表示.....77
走行軌跡の表示.....77
シーズンレジャーランドマークの表示.....78
県境案内.....79

■ 高速道路・都市高速道路表示 80
ハイウェイモード.....80
高速路線マップ.....81
高速分岐案内.....83
都市高速マップ表示.....83

■ 音声の設定 85
音量設定.....85
操作説明音声.....85
ハートフル音声.....85

■ 地図の呼び出し方法 86
地図の呼び出し方法.....86
名称で地図を呼び出す.....88
住所で地図を呼び出す.....91
施設で地図を呼び出す.....91
電話番号で地図を呼び出す.....91
Yahoo! JAPAN で登録した地点の地図を呼び出す.....92
ジャンルで地図を呼び出す.....94
郵便番号で地図を呼び出す.....94
マップコードで地図を呼び出す.....95
携帯電話で地図を呼び出す.....95
履歴で地図を呼び出す.....96

■ 呼び出した地図の操作 97
ピンポイント検索 97
位置の変更 97
施設の内容の表示 97
提携駐車場の検索 98
住所の検索 98

目的地案内 99

■ 目的地案内について 99
目的地案内について 99

■ 目的地の設定・ルート探索 100
目的地の設定 100
自宅を目的地に設定 102
ルート探索 102
全ルート図表示 103

■ 目的地案内の開始 107
目的地案内の開始 107
目的地案内の中止 107

■ 目的地への案内 108
音声案内 108
交差点案内 110
到着予想時刻の表示 113
料金案内 114
フェリー航路の案内 116

■ 案内中の操作 117
オンルートスクロール 117
オンルートスクロールの設定 117
全ルート図を表示するには 119
到着予想時刻・残距離表示を
切り替えるには 119

■ ルートの再探索 120
自動再探索 120
ルートの再探索 120

■ ルート変更 122
ルート変更画面の表示 122
探索条件の変更 122
目的地の追加 123
目的地の並び替え 123
目的地の消去 124
出入口 IC（インターチェンジ）
の指定 125
通過道路の指定 126
通過道路の修正 126
通過道路指定の解除 127
季節規制区間の迂回ルートの探索 127

■ 目的地履歴の消去 128
目的地履歴の消去 128

■ 目的地画面の設定 129
目的地画面のスイッチ設定
（目的地メニューカスタマイズ） 129

地点の登録 130

■ メモリ地点の登録 130
メモリ地点について 130
メモリ地点の登録 130
メモリ地点の修正・入力 131
メモリ地点の消去 136

■ 迂回メモリ地点の登録 137
迂回メモリ地点について 137
迂回メモリ地点の登録 137
迂回メモリ地点の修正・入力 138
迂回メモリ地点の消去 138

■ メモリ地点の移行 139
メモリ地点の移行とは.....139
登録した場所のデータを
SD メモリーカードに移す.....139
パスワードの設定 140
登録した場所のデータを
車載機に移す 141

ナビを使いこなすために 142

■ 補正が必要なとき 142
補正について 142
現在地の修正 142
距離の補正 143

■ ナビの設定を記憶したいとき 144
各種ナビ設定の記憶.....144
記憶の呼び出し 144
名称の変更 145
各種ナビ設定の記憶の消去 145

■ ナビ詳細設定一覧 146
ナビ詳細設定一覧 146
地図表示設定 146
自動表示切替設定 148
案内表示設定 148
音声設定.....149
ルート系設定 149
その他.....150

■ 安全・快適走行設定一覧 151
安全・快適走行設定一覧.....151

■ メンテナンス機能 152
メンテナンス機能について 152
メンテナンスの項目設定.....152
メンテナンスの詳細設定.....154
販売店の設定 155

■ エコ機能 157
エコ機能について 157
燃費の計算 157
ルート案内時の燃費設定.....159
エコ情報の表示 160
エコドライブインフォメーション
の設定 161
エネルギーモニターの表示.....161

■ GPS について 162
GPS について 162
GPS 情報を利用できないとき 162
システムの特性上、
避けられないズレ 162

■ 知っておいて
いただきたいこと 163
こんなメッセージが
表示されたときは 163
故障とお考えになる前に.....166
精度について 167

地図について 169

■ 地図について 169
地図データについて 169
地図データの情報を見るには.....169
地図データベースについて.....170
地図のスケール表示について.....171
地図記号・表示について.....171

VICS・交通情報 173

■ VICS・交通情報の表示 173
VICS・交通情報の表示 173
VICS・交通情報の表示設定.....175

■ VICS・交通情報の活用 176
渋滞・規制音声案内.....176
VICS 図形情報・文字情報の表示...177
割込情報（ビーコン即時案内）
の表示.....177
割込情報の表示設定.....178
渋滞考慮探索.....179

■ VICS 放送局の選択 181
放送局の選択.....181

■ VICS の概要 182
VICS について.....182
VICS 記号・表示について.....184

携帯連携 185

■ 携帯連携について 185
携帯連携とは.....185
情報を携帯電話へ送信する.....185
情報を車載機へ送信する.....186
Yahoo! JAPAN と連携した
機能を使用する.....187

地図更新について 195

■ 地図を更新する 195
差分更新（マップオンデマンド）
と全更新について.....195
専用のアプリケーション
ソフトについて.....196

■走行するときは、実際の交通規制に必ず従ってください。

■安全のため、走行状態になると操作できなくなる機能があります。

■目的地案内で表示されるルートは、あくまでも目的地周辺までの参考ルートです。

必ずしも最短ルート、渋滞していないルート、早く行けるルートなどではありません。

■道路・地名・施設情報・料金のデータは、最新状態ではないことや不備な点があることがあります。

■タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→ 143）

このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。

■自車マーク は、必ずしも正しい位置を表示するとは限りません。

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

■実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている（自車マーク がずれている）ことがあります。

人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マーク がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク がずれることがあります。

ただし、地図の自車マーク がずれても、しばらく走行すると、マップマッチング※や GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

・「精度について」もあわせてご覧ください。（→ 167）

※マップマッチングとは、GPS 情報などを利用して得られた現在地の情報と、今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に自車マーク を表示させるシステムです。

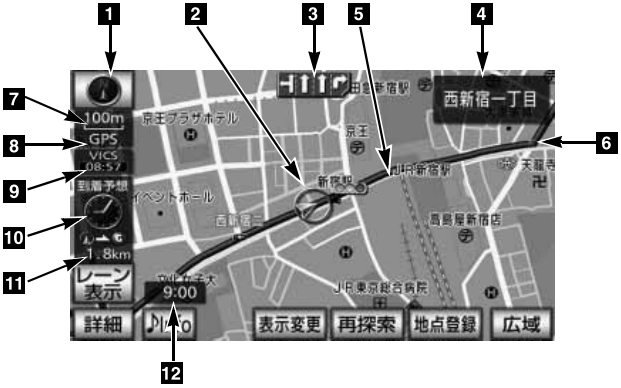
GPS ボイスナビゲーションとは？

GPS ボイスナビゲーションとは

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

ナビゲーション画面の見方

目的地案内中の現在地画面



表示	機能
1 方位マーク（ヘディングアップ時は ）	地図の方角を表示する。 ・ 地図向きの切り替えについて ➡「地図向きの切り替え」（→ 63）
2 自車マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。
3 レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） ・ 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示。
4 名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） ・ 通過・分岐する交差点の名称 ・ 走行している道路の名称 ・ 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているときのみ） ・ 分岐する IC・JCT の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

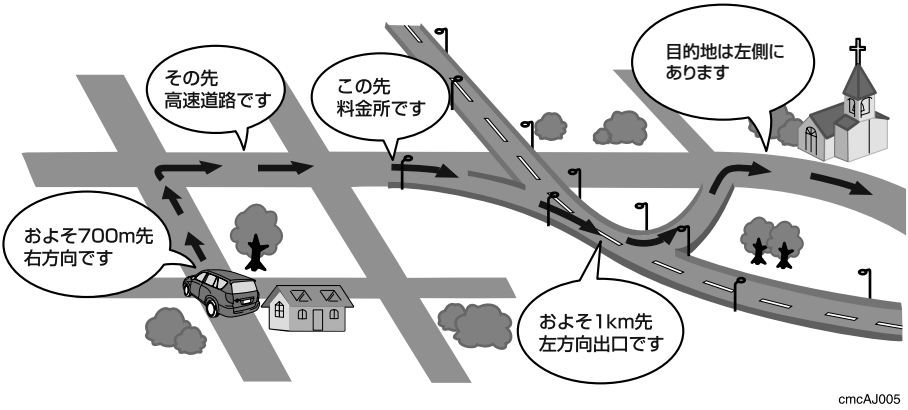
表示	機能
5 ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 （→ 105）
6 案内ポイント	目的地案内中、通過・分岐する交差点に表示する。（→ 110）
7 スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 ・ 詳しくは、「地図縮尺の切り替え」（→ 62）・「地図のスケール表示について」（→ 171）をご覧ください。
8 GPS マーク	人工衛星からの絶対位置情報が利用されているときに表示する。 ・ GPS マークが表示されているときでも、人工衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。（→ 162）
9 VICS タイムスタンプ	VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。 ・ ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色がかわります。（→ 174）
10 到着予想時刻表示／目的地方向マーク	状況により次のマークを表示する。 ■ 到着予想時刻表示 目的地への到着予想時刻を表示する。（→ 113） ・ 到着予想時刻表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには」（→ 119） ■ 目的地方向マーク ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。
11 残距離表示	現在地から目的地までの距離を表示する。 ・ 表示されているルートを通っての距離を表示する。 （ルートからはずれたときは、直線距離を表示する。） ・ 残距離表示の切り替えについて ➡「到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには」（→ 119）
12 時計表示	現在の時刻を表示する。（→ 68）

知 識

・ 本書で使用している地図画面は、一部の説明を除き、ノースアップ・1 画面・2D 表示のフロントワイド表示を「しない」に設定している画面です。
また、GPS マーク・VICS タイムスタンプが表示されていない地図画面を使用しています。

音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。（→ 108）



地図の表示

現在地の表示

地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。

現在地以外の地図、または地図以外を表示中

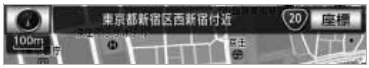
1 現在地（画面外）を押す。

- 走行中は表示される道路が制限されます。（幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。）ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。（→ 105）

知 識

・初めて車載機を起動したときやバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている（自車マーク がずれている）ことがあります。
ただし、地図の自車マーク がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ 142）

- 現在地画面で、現在地（画面外）を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



知 識

・以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  ・地図データに情報のないとき
  ・200m 図より広域な地図を表示しているとき
・また、高速路線マップ（→ 81）を表示しているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。

現在地の地図表示中

1 現在地（画面外）を押す。

2 座標 にタッチ。

- 現在地の住所と緯度経度の座標が表示されます。

知 識

・緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

スイッチの表示

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。

地図表示中

1 ♪ Info にタッチ。

2 ◀◀ Off にタッチ。

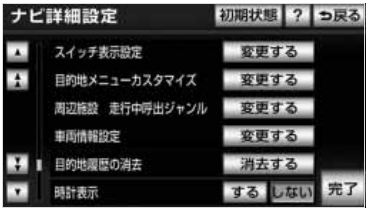
・ ◀◀ Off のときに表示するスイッチ類を設定するとき
➡「スイッチ表示設定」（→ 60）
・ スイッチ類を表示するとき
➡ ▶▶On にタッチ。

スイッチ表示設定

◀◀ Off にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定をすることができます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 スイッチ表示設定の 変更する にタッチ。



2 表示設定を変更したいスイッチにタッチし、完了 にタッチ。

● 文字または記号が灰色になっているスイッチは ◀◀ Off にタッチしたとき表示されません。
・ 初期設定の状態にもどすとき
➡ 初期状態 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（**1** の画面）

地図の移動（ワンタッチスクロール）

タッチした地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。

地図表示中

1 地図上にタッチ。

- タッチし続けると、地図が動く速度が速くなります。（このとき、⊕が黄色になります。）
- 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。

知 識

・走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図（→ 69）を表示しているときは、地図を移動することはできません。
・ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、**現在地**（画面外）を押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
・地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→ 63）ができないことがあります。

地図スクロール時の地名表示

地図を移動しているとき、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。

・地図の移動をやめると、約 6 秒後自動的に消去されます。

地図スクロール時に地名の表示／非表示を設定できます。（→ 147）

知 識

・以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  ・地図データに情報のないとき
  ・200m 図より広域な地図を表示しているとき
・また、高速路線マップ（→ 81）を表示しているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048 万図～ 1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

地図表示中

広域 …… 地図の範囲を広くする
詳細 …… 地図の範囲を狭くする

スケールバー

- 13 段階に切り替えることができます。（→ 171）
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- 広域 または 詳細 にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。
- 広域 または 詳細 に約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

知 識

・ 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。

縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。

縮尺切り替えメッセージの表示／非表示を設定できます。（→ 148）

知 識

・ 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
  ・『都市高マップは 200m 図より詳細な地図では表示できません』
  ・『都市高マップは 1.6km 図より広域な地図では表示できません』
  ・『施設情報 VICS・交通情報は 広域の地図には表示されません』
  ・『施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません』
  ・『VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません』
  ・『市街図を表示します』
  ・『リアル市街図を表示します』

地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

または にタッチ。

・ タッチするごとに、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図を表示する。

ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図を表示する。

知 識

・ ヘディングアップ表示のとき、現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）にするとノースアップ表示になりますが、現在地画面にするとヘディングアップ表示に復帰します。

・ 3D 表示（→ 66）にさせているときは、常にヘディングアップ表示されるため地図向きを切り替えることはできません。

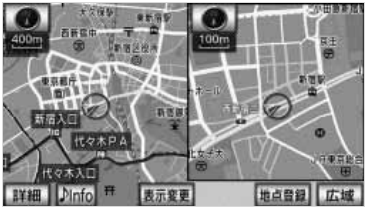
フロントワイド表示

通常は自車マークが画面の中心に表示されますが、フロントワイド表示にすると、進行方向の地図を広く表示させることができます。

フロントワイド表示のする／しないを設定できます。（→ 146）

2 画面表示（地図）

画面を左右に 2 分割して表示させることができます。



・ 左画面の操作は、1 画面表示のときと同じです。

知 識

・ 2 画面表示にさせているときは、左画面のみワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。

・ 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、2 画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2 画面表示に復帰します。

・ 一度 2 画面表示を解除し、再度 2 画面表示にしたときは、前回 2 画面表示していたときの縮尺で表示されます。

次の表示をさせることができます。

〔例〕
- 左右異なる縮尺で表示
- ヘディングアップ表示とノースアップ表示
- 施設表示の ON と OFF
- 3D 表示の ON と OFF

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。

2 地図表示 にタッチ。

3 2D ツイン（通常の 2 画面表示）または 3D ツイン（2 画面 3D 表示）にタッチ。
- 解除するとき
  ➡ 2D（通常の表示）または 3D（通常の 3D 表示）にタッチ。

右画面の設定

次の 2 通りの方法で、右画面の設定をすることができます。

設定方法	ページ
地図画面から設定する	64
設定・編集画面から設定する	64

■地図画面からの設定方法

2 画面表示中（→ 63）

1 右画面の地図上にタッチ。

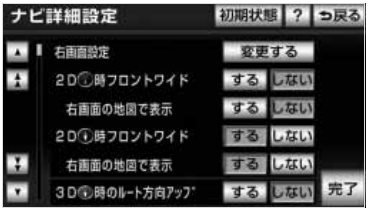
2 右画面の設定をする。

作動表示灯

■設定・編集画面からの設定方法

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 右画面設定の 変更する にタッチ。



2 右画面の設定をし、完了 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（1 の画面）
- 右画面設定画面から、次の設定を変更することができます。

＜地図縮尺の切り替え＞（→ 62）

1 詳細 または 広域 にタッチ。

＜地図向きの切り替え＞（→ 63）

1 または にタッチ。

- 2 画面表示画面でも、切り替えることができます。

＜ 3D 表示＞（→ 66）

1 3D 表示 にタッチ。

- 3D 表示のときは、作動表示灯が点灯します。

＜施設の表示＞（→ 70）

左画面に施設の記号を表示させているとき、右画面でも施設の記号を表示させることができます。

1 周辺施設表示 にタッチ。

- 施設が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

＜ VICS・交通情報の表示＞（→ 175）

左画面に VICS・交通情報を表示させているとき、右画面でも VICS・交通情報を表示させることができます。

1 VICS 表示 にタッチ。

- VICS・交通情報が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

知 識

・施設の表示、VICS・交通情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

２画面表示（地図 / エコ情報）

地図画面の右側にエコ情報画面を表示させることができます。

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。

2 地図表示 にタッチ。

3 地図＆エコ情報 にタッチ。

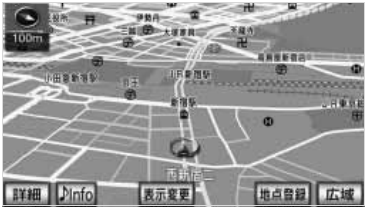
- 解除するとき
  ➡ 2D または 3D にタッチ。
- 右画面の ▶ または ◀ にタッチすると、エコ運転評価・燃費情報に表示切替することができます。

知 識

・燃費情報表示の対象車種以外では、▶ や ◀ は表示されません。対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。



知 識

- 3D 表示は、フロントワイド･ヘディングアップ表示で表示されます。
- 現在地画面以外の地図（目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面など）は、3D 表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D 表示に復帰します。

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 3D（通常の 3D 表示）または 3D ツイン（2 画面 3D 表示）にタッチ。

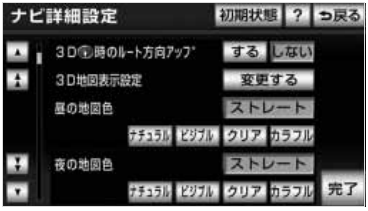
- 解除するとき
  ➡ 2D（通常の表示）または 2D ツイン（通常の 2 画面表示）にタッチ。

3D 表示の角度調整

3D 表示の角度を設定することができます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 3D 地図表示設定の 変更する にタッチ。



2 角度を調整し、セット にタッチ。

- ……角度を上げる
- ……角度を下げる
  - 初期設定の状態にもどすとき
    ➡ 初期状態 にタッチ。

リアル市街図表示

3D 表示中、1/2500 市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示になります。

- 通常の市街図（→ 69）は、表示されません。

知 識

- 市街図表示からリアル市街図表示にすると、（一方通行）の表示が（進入禁止）の表示にかわります。

■視点の調整

リアル市街図の表示視点を切り替えることができます。

広域 ……視点を上げる

詳細 ……視点を下げる

スケールバー

- すぐに手を離したときは 3 段階、そのままタッチし続けたときは 9 段階に切り替えることができます。
- 広域 または 詳細 にタッチしたあと、スケールバーにタッチしても視点を切り替えることができます。

知 識

・ 最高角度の地図にさせているとき、 広域 にタッチすると、リアル市街図表示は解除されます。

地図の回転

3D 表示中（→ 66）

1 地図上にタッチ。

2 地図を回転する。

- ……時計まわり
- ……反時計まわり

知 識

・ 現在地画面にすると、もとの表示状態（回転前の状態）に復帰します。

3D 時ルート方向アップ表示

目的地案内中は、ルートを表示している方向の地図を広く表示することができます。

3D 時ルート方向アップ表示のする／しないを設定できます。(→ 147)

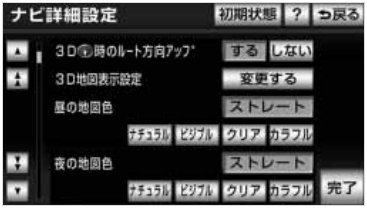
・ 3D 時ルート方向アップ表示を「する」に設定したとき、（方位マーク）が青色になります。

地図の表示色の切り替え

昼画・夜画それぞれの地図色を切り替える（5 種類）ことができます。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **地図表示設定** → ナビ詳細設定画面

1 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、希望の地図色にタッチし、**完了** にタッチ。

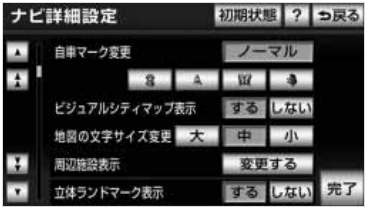


自車マークの切り替え

地図上に表示される自車マークを切り替える（5 種類）ことができます。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **地図表示設定** → ナビ詳細設定画面

1 表示するマークを選択し、**完了** にタッチ。

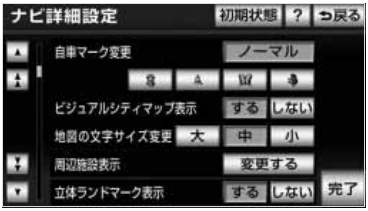


地図の名称（文字）サイズの切り替え

地図上に表示される名称（文字）の大きさを切り替える（3 種類）ことができます。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **地図表示設定** → ナビ詳細設定画面

1 文字サイズを選択し、**完了** にタッチ。



時計表示の切り替え

地図上に現在時刻を表示させることができます。

時計表示のする／しないを設定できます。（→ 150）

知 識

・時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（操作することはできません。）

市街図表示

地図データに市街図の情報がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

1 1/5　千図を表示させているときに、市街図 にタッチ。

- 市街図表示には 1/5 千市街図と 1/2500 市街図があります。
  広域 または 詳細 にタッチして切り替えます。

知 識

・市街図のデータがある地域のみ、1/5 千図を表示すると、「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。（市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。）

・1/2500 市街図にすると ➡ （一方通行）を表示します。

・3D 表示中、1/2500 市街図表示に切り替えると、自動的にリアル市街図表示（→ 66）になります。（通常の市街図は、表示されません。）

■市街図表示の解除

1 1/5　千市街図表示中、 広域 にタッチ。

施設の内容の表示

市街図表示中

1 施設 にタッチ。

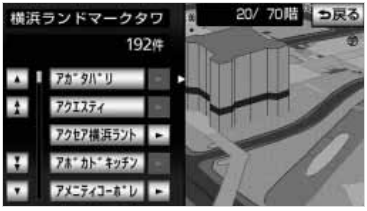
2 ⌂ にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、施設情報 にタッチ。

- 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
- 選んだ建物に１つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

知 識

・地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

3 施設名称にタッチ。



地図表示画面の設定

施設の表示

地図上に施設の記号を表示させることができます。

知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）
- 表示することができる施設は、Ⓐまたは⊕から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）
- 高速路線マップ（→ 81）を表示しているときは、施設情報を表示することはできません。
- 通常の地図画面での施設表示と、オンルートスクロールでの施設の選択（→ 118）は別の設定のため、通常の地図画面で施設を変更しても、オンルートスクロールの施設は変更されません。

次の 2 通りの方法で、施設の記号を表示することができます。

表示方法	ページ
地図画面から表示する	70
設定・編集画面から表示する	71

地図画面からの表示方法

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。

2 周辺施設 にタッチ。

3 施設のジャンルにタッチ。

● 5つまで選択することができます。

- 表示されている以外のジャンルを選択するとき
  ➡ 全ジャンル にタッチ。

知 識

- G 情報マーク表示 は、G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。（→ 488）

- 全ジャンル にタッチしたとき
  ➡施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
- 表示を解除するとき
  ➡ 表示解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

設定・編集画面からの表示方法

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → 地図表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 周辺施設表示の 変更する にタッチ。

2 施設のジャンルを選択し、 完了 にタッチ。

- 施設のジャンルの選択方法は、「地図画面からの表示方法」（→ 70）の手順 **3** と同様です。

3 完了 にタッチ。（**1** の画面）

施設表示の消去

周辺施設画面（→ 70）または
周辺施設表示設定画面（→ 71）

■個別に消去

1 選択済みの施設のジャンルにタッチ。

■すべて消去

1 表示解除 にタッチ。

近くの施設の検索

地図上に施設の記号を表示させているときに、◎または✥の位置の近くにある施設の名称と◎または✥からの直線距離・方向を表示させることができます。

知 識

・ 検索することができる施設は、◎または✥から半径約 10km 以内にある施設のみです。（最大 200 件まで）

地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 周辺施設検索画面

1 施設検索 にタッチ。

2 施設名称にタッチ。

- 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

知 識

・ 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。
・ 施設のリストは、以下の 2 種類の表示方法があります。

距離順 … ◎または✥から近い施設の順
種類順 … 施設の記号の種類順

3 情報 にタッチ。

- 施設の内容が表示されます。（→ 97）

ルートを考慮したリストの表示

目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにすることができます。

地図表示中 → 表示変更 → 周辺施設 → 施設検索 → 周辺施設検索画面

1 ルート沿い考慮 にタッチ。

- 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。
- ルートを考慮したリストを表示しているときは、作動表示灯が点灯します。

知識

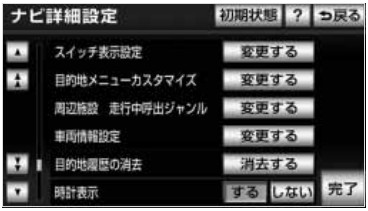
・表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
・表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

周辺施設走行中呼出ジャンルの変更

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 周辺施設走行中呼出ジャンルの 変更する にタッチ。



2 変更したい施設のジャンルにタッチ。

・初期設定の状態にもどすとき
➡ 初期状態 にタッチ。

3 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

4 完了 にタッチ。

5 完了 にタッチ。（**1** の画面）

ビジュアルシティマップ表示

道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。

ビジュアルシティマップ表示のする／しないを設定できます。（→ 147）

立体ランドマークの表示

地図上に立体的な施設マーク（立体ランドマーク）を表示させることができます。

立体ランドマーク表示

立体ランドマークの表示／非表示を設定できます。（→ 147）

知 識

- 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）

立体ランドマークの内容の表示

地図表示中

1 立体ランドマークにタッチ。

- 名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 情報 にタッチ。

- 施設の内容が表示されます。（→ 97）

一時停止案内

一時停止交差点に近づくと、地図右上に が表示され、音声案内されます。

一時停止案内のする／しないを設定できます。（→ 151）

⚠ 警 告

- 一時停止案内はあくまでも補助機能です。
  案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

- 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 自車位置が正確に特定できないとき
  - 2010 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市・熊本市・鹿児島市など）における片側 2 車線以上の道路に進入する道路以外※

    ※2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。
  - 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 一時停止交差点が連続するとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき

道路形状案内

踏切・合流道路・急カーブ・レーン数減少※の道路形状案内地点に近づくと、地図右上に案内マークが表示され、音声案内されます。踏切案内マークは地図上にも表示されます。

※都市高速道路走行中のみ案内されます。

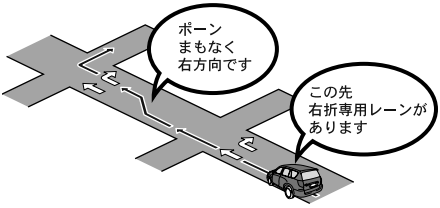
道路形状案内のする／しないを設定できます。（→ 151）

■道路形状案内マーク

形　状		案内マーク
踏切		
合流道路		
急カーブ		
レーン	レーン数減少	
	右折・左折専用	なし

■右折・左折専用レーン案内の例

直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。
目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。
（この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。）



cmcAJ006

警 告

・ 道路形状案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

・ 地図データに情報のない地点では、道路形状案内は行われません。
・ 以下のようなときは、道路形状案内が行われない場合があります。
  ・ 目的地案内開始直後
  ・ 再探索直後
  ・ 目的地周辺
・ 現在地から道路形状案内地点までの距離が短い、道路形状案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
・ 道路形状案内は、遅れたり早くなることがあります。
・ 次の道路形状案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて道路形状案内が行われます。

事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

事故多発地点案内のする／しないを設定できます。（→ 151）

■事故多発地点案内マーク

- 一般道路上では交通事故が多発している地点に、が表示されます。

知 識

・1/5 千図～ 1/8 万図の地図で表示することができます。（全ルート図表示画面を除く）

- 高速道路上では交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上にが表示され、音声案内されます。

警 告

・事故多発地点案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

学校存在案内

学校に近づくと、地図右上にが表示され、音声案内されます。

学校存在案内のする／しないを設定できます。（→ 151）

■案内できる学校について

全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校※の小学校・中学校。

※専有校舎物件のみ。

警 告

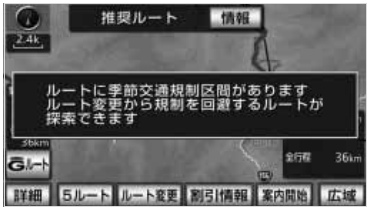
・学校存在案内はあくまでも補助機能です。
案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

知 識

・以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
  - 地図データに情報のない地点
  - 土曜日、日曜日
  - 午後 7 時～午前 7 時
  - 自宅登録時の自宅周辺
  - 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
・以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - 案内表示中に別の学校に近づいたとき
  - 他のナビ音声案内などと重なるとき

季節規制区間の表示

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが ▬▬ （橙色）で表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



季節規制メッセージの表示／非表示を設定できます。（→ 149）

・ 季節規制区間を迂回するルートを探索したいとき
　➡「季節規制区間の迂回ルートの探索」（→ 127）

知 識

・ 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

走行軌跡の表示

走行した道路を約1000km分保存し、軌跡を表示することができます。

・ 保存できる距離を越えて走行したとき
　➡古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存します。

知 識

・ 1/2500 図 ～ 1/512 万図で表示することができます。
・ リアル市街図（→ 66）または高速路線マップ（→ 81）を表示しているときは、走行軌跡を表示することはできません。

地図表示中 → 表示変更 → 表示変更画面

1 走行軌跡表示 にタッチ。

走行軌跡の消去

地図表示中 → 表示変更 → 表示変更画面

1 走行軌跡解除 にタッチ。

2 はい にタッチ。

知 識

・ 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

シーズンレジャーランドマークの表示

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。

内　容	マーク
桜の名所	
紅葉の名所	

シーズンレジャーランドマークの表示／非表示を設定できます。（→ 147）

知 識

・ 地図データに情報のない名所は、表示されません。
・ 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。（全ルート図表示画面、リアル市街図を除く）
・ マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

県境案内

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークが表示され、音声案内されます。

県境案内のする／しないを設定できます。（→ 148）

知 識

・ 県境案内は、遅れたり早くなることがあります。

高速道路・都市高速道路表示

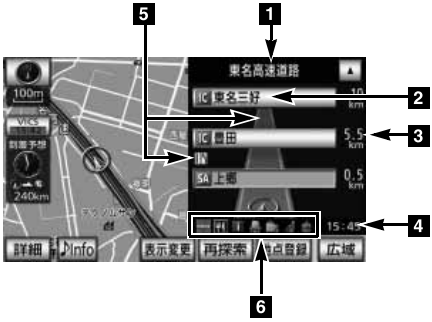
ハイウェイモード

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

知 識

- 目的地案内中は、都市高速や有料道路にはいっても、自動的にハイウェイモード表示に切り替わります。

1 ▲ ・ ▼ または施設名称（IC・SA・PA）にタッチ。



- 選ばれる施設が切り替わります。
- 施設を選んだとき、現区間 にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。

1 道路名称表示
最寄りまたは選んだ施設の道路の名称を表示。
2 施設名称表示
施設の名称を表示。 （目的地案内をさせていないときは、最大 10 カ所まで）
3 距離表示
現在地からの距離を表示。
4 通過予想時刻表示
選んだ施設への通過予想時刻を表示。

5 VICS 記号・表示（→ 184）
VICS・交通情報を受信したとき表示。
6 設備マーク表示
選んだ施設（SA・PA のみ）にある設備が、ガソリンスタンドを除き最大 6 つまで表示。 ・ ガソリンスタンドは先頭に表示されます。 ・ 6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

記号	内容
―※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
IC	スマート IC （ETC 専用インターチェンジ）

※固有のロゴマークが表示されます。

知 識

- 反対車線の情報は表示されません。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（→ 113）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、ハイウェイモード表示が解除されることがあります。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面（→ 83）が自動的に表示され、ハイウェイモードが解除されます。（高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にハイウェイモードに復帰します。
- 「VICS・交通情報の表示設定」（→ 175）で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

ハイウェイモードの解除

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 高速略図解除 にタッチ。

- ハイウェイモードにもどすとき
  ➡ 高速略図表示 にタッチ。

高速路線マップ

高速道路にはいると、自動で高速路線マップを表示させることができます。一般道路を走行中でも表示させることができます。

高速道路走行中

一般道路走行中

高速路線マップの自動表示のする／しないを設定できます。（→ 148）

知 識

- 高速路線マップを表示しているときは、常にノースアップ表示されるため、3D 表示（→ 66）に切り替えることはできません。
- 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、地図の右側に高速分岐案内画面（→ 83）が表示されます。（高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは表示されません。）JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にもとの画面に復帰します。
- 高速路線マップ自動表示を「しない」に設定していても、表示変更 から高速路線マップを表示することができます。

・高速路線マップでは、画面に表示されている道路のみのルートが表示されます。
（一度高速道路から出て再度、高速道路にはいるルートが探索された場合は、ルートが途切れて表示されます。）

高速路線マップの表示・解除

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

走行している道路の種類により、次のいずれかの操作をする。

■高速道路走行中のとき

1 高速路線マップ表示 にタッチ。

・高速路線マップを 1 画面で表示したいとき
➡ 表示変更 → 地図表示 → 高速略図解除 の順にタッチ。
・解除するとき
➡ 高速路線マップ解除 にタッチ。

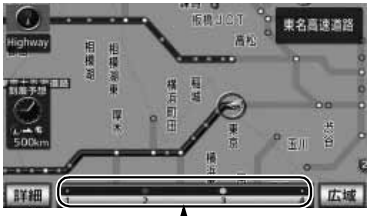
■一般道路走行中のとき

1 高速路線マップ にタッチ。

・解除するとき
➡ 現在地（画面外）を押す。

高速路線マップの縮尺の切り替え

広域……表示範囲を広くする
詳細……表示範囲を狭くする



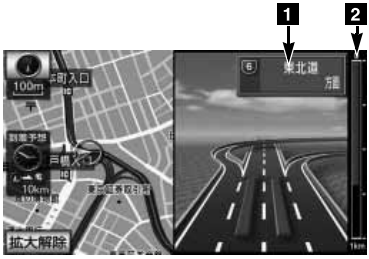
スケールバー

- 4 段階に切り替えることができます。
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- 広域 または 詳細 にタッチしたあとは、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。

高速分岐案内

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点（出口 IC・SA・PA・JCT）が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。

高速分岐案内の自動表示のする／しないを設定できます。（→ 148）



1 分岐点名称表示
IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。
2 残距離表示
分岐点までの距離を表示。 （分岐点に近づくとともに ▬ が短くなります。）

知 識

- 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- 以下のようなときは、高速分岐案内が行われない場合があります。
  - 目的地案内開始直後
  - 目的地周辺
- 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐点が近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。
- 高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定していても、**現在地**（画面外）を押すと高速分岐案内画面を表示することができます。

高速分岐案内画面の解除

1 拡大解除 にタッチ。

- 高速分岐案内画面にもどすとき
  ➡ **現在地**（画面外）を押す。

都市高速マップ表示

目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、都市高速にはいると、都市高速マップを表示させることができます。

都市高マップの自動表示のする／しないを設定できます。（→ 148）

知 識

- 1/2 万図 ～ 1/16 万図の地図で表示することができます。
- PA にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。
- 2 画面表示（→ 63）しているときは、左画面に表示されます。
- 都市高マップ自動表示を「しない」に設定していても、表示変更 から都市高速マップを表示することができます。

・ 高速路線マップ（→ 81）と都市高マップの自動表示を「する」に設定しているときは、高速路線マップを優先して表示します。

都市高速マップ表示の解除

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 都市高マップ解除 にタッチ。

・ 都市高速マップにもどすとき
➡ 都市高マップ表示 にタッチ。

音声の設定

音量設定

1 設定（画面外）を押す。

2 音量設定 にタッチ。

3 設定したい音量にタッチし、 完了 にタッチ。

- 音声を OFF にするとき
  ➡ 消音 にタッチ。

高速時の自動音量切替

車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）

設定（画面外）→ 音量設定 →音量設定画面

1 高速時の自動音量切替 にタッチし、完了 にタッチ。

- 自動で 1 段階上がる設定にしているときは、作動表示灯が点灯します。

操作説明音声

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

操作説明音声の発声する／しないを設定できます。（→ 149）

ハートフル音声

通常の目的地案内中の音声案内・操作説明音声とは、異なった音声を出力させることができます。

〔ハートフル音声の例〕

■自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき
「お疲れさまでした」

■ナビゲーション画面が表示されるとき
「今日は○月○日○曜日です」

ハートフル音声の発声する／しないを設定できます。（→ 149）

知 識

・状況などにより異なった音声が出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。

地図の呼び出し方法

地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。

・ 呼び出し方法の特徴については、表（→ 87）をご覧ください。

● 目的地の設定のとき

目的地（画面外）→ 目的地画面（→ 100）

その他の方法

戻る

● 目的地の追加のとき

ルート変更画面（→ 122）→ 目的地・通過目的地の **追加** → 目的地追加画面（→ 123）

その他の方法

戻る

● 目的地の設定・追加以外のとき※

設定（画面外）→ **メモリ地点登録編集** → メモリ地点の **登録** →
メモリ地点登録画面（→ 130）
設定（画面外）→ **メモリ地点登録編集** → 迂回メモリの **登録** →
迂回メモリ登録画面（→ 137）
設定（画面外）→ **メンテナンス** → **販売店設定** → 販売店設定画面（→ 155）

※画面はメモリ地点の登録時のものです。
迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときも表示される項目は同じです。

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	88
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	91
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	91
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	91
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 ・ メモリ地点を登録しているときのみ。（→ 130）	―
Yahoo! JAPANと連携	Yahoo! JAPANのサービスで登録した施設や場所の地図を表示する。	92
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	94
G で設定	G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。（→ 478）	―
WEB	G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。（→ 481）	―
郵便番号	入力した郵便番号が使用されている地域の地図を表示する。	94
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	―
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	95
地点を受信	Bluetooth 携帯電話で検索した施設や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の地図を表示する。	95
履歴／目的地履歴	目的地履歴（過去に設定した目的地）の地点の地図を表示する。 ・ 目的地履歴が登録されているときのみ。（→ 128） 前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 ・ 一度目的地案内を行ったときのみ。	96
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	―
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 ・ 自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。（→ 102）	―
特別メモリに行く 1／2／3／4／5	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 ・ 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ 130）	―
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 ・ 自宅を登録しているときのみ。（→ 130）	―
特別メモリ周辺 1／2／3／4／5	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 ・ 特別メモリ地点を登録しているときのみ。（→ 130）	―
特別メモリ周辺		―

名称で地図を呼び出す

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。
また全国リスト画面（→ 88）に表示された件数が多い場合は、エリア（→ 89）・ジャンル（→ 90）を指定することにより件数を絞り込むことができます。

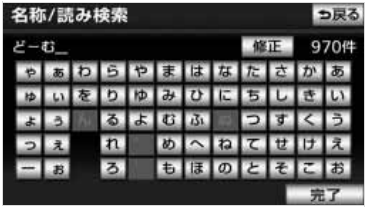
知 識

・ 入力中に検索先の候補が５件以下になり、約 10 秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

名称読み入力

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 名称 → 名称／読み検索画面

1 名称を入力し、完了 にタッチ。



- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
  - ・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面（→ 88）が表示されます。

全国リスト画面

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 名称 → （名称入力） → 完了 → 全国リスト画面

1 表示させる施設名称または地名にタッチ。

- 選択した施設の地図が表示されます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- エリア（→ 89）またはジャンル（→ 90）を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- まとめて表示されたリストにタッチしたとき
  ➡施設名称にタッチ。

知 識

・ 施設名称のリストは、以下の 2 種類の表示方法があります。

距離順 ※ … ◎から近い施設または地名の順

名称順 …… 50 音順

※検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に表示できない場合があります。

■エリア別検索

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

全国リスト画面（→ 88）

1 エリアで絞る にタッチ。

2 エリアの指定方法を選択する。

● 次の 3 通りの方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項　目	ページ
住所	住所で絞り込む	89
地域	地域で絞り込む	89
周辺	周辺で絞り込む	90

＜住所選択時＞

全国リスト画面（→ 88）→ エリアで絞る → 住所 → 住所リスト画面

1 都道府県名にタッチ。

・ リスト画面にもどすとき
➡ 全エリア にタッチ。

2 市区町村名にタッチ。

・ 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき
➡ ○○全域 にタッチ。

＜地域選択時＞

全国リスト画面（→ 88）→ エリアで絞る → 地域 → 地域リスト画面

1 地域名にタッチ。

・ リスト画面にもどすとき
➡ 全エリア にタッチ。

＜周辺選択時＞

全国リスト画面（→ 88）→ エリアで絞る → 周辺 → 周辺リスト画面

1 現在地周辺 ・ 先程の地図 ・ 目的地周辺 のいずれかにタッチ。

・ リスト画面にもどすとき
➡ 全エリア にタッチ。

● 目的地を複数設定してある場合、目的地周辺 にタッチしたとき
➡ 目的地にタッチ。

2 セット にタッチ。

■施設のジャンル別検索

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

全国リスト画面（→ 88）

1 ジャンルで絞る にタッチ。

2 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

・ リスト画面にもどすとき
➡ 全ジャンル にタッチ。

・ 地名を入力したときは、その他 → 住所 の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。

知 識

・ 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

住所で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 住所 → 住所検索画面

1 都道府県名→市区町村名→町名→丁目（字）の順にタッチ。

- ○○主要部 にタッチすると、広域図が表示されます。

2 番地指定 にタッチ。

3 番地を入力し、完了 にタッチ。

- 入力した番地に、
  - ・該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
  - ・該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。
  - ・間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

施設で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 施設 → 施設検索画面

1 施設のジャンルにタッチ。

- 表示されている以外のジャンルを表示するとき
  ➡ その他 にタッチ。
- その他 にタッチしたとき
  ➡ 施設のジャンルにタッチ。

2 都道府県名（路線名）にタッチ。

- さらに市区町村名（または路線名・販売会社名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（または路線名・販売会社名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が 50 音順に表示されます。

3 施設名称にタッチ。

電話番号で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 電話番号 → 電話番号検索画面

1 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

- 市外局番から入力します。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 入力した番号が以下のとき、市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  - ・該当する施設がないとき
  - ・個人住宅などのとき
  - ・間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

● 同じ電話番号で複数の地点があるとき
➡施設名称にタッチ。

知 識

・同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
・施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
　・デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
　・一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
・施設の電話番号や所在地、名前などは 1 年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
・地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。
・収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
　記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

Yahoo! JAPAN で登録した地点の地図を呼び出す

Yahoo! JAPAN のサービスで登録した施設や場所の位置情報を携帯電話から車載機へ送信して地図を呼び出すことができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。詳細は次のホームページを参照してください。
路線・地図アプリ紹介ページ
・http://transit.map.yahoo.co.jp/mobile/app/info.html（パソコン）
・http://map.mobile.yahoo.co.jp/dl（モバイル）
※Yahoo！JAPAN のサービスや専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

なお、2012 年 12 月 20 日で「ドライブルート（ドライブルートの情報を車載機へ送信する）」、「走行軌跡（車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話に送信し、Yahoo！ JAPAN のサービスでの活用）」のサービスは終了しました。

⚠ 警 告

・運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知 識

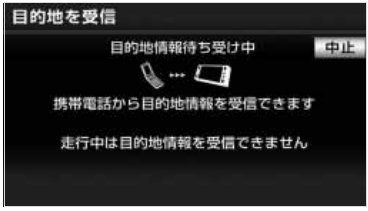
- 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 414）
- 送信中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、携帯電話の操作が完了している場合、送信が完了してから前の画面に戻ります。
- 送信中にエンジンスイッチを OFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- 送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ（→ 295）やハンズフリー（→ 407）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続できないことがあります。）
- 路線・地図アプリ紹介ページの情報料、アプリケーション使用料は無料です。

目的地情報で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ 86）→
Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 目的地受信 にタッチ。

2 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき
  ➡ 中止 にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

地点情報で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ 86）→
Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 地点情報 にタッチ。

2 新規受信 にタッチ。

3 携帯電話から位置情報を送信する。

- 通信を中止したいとき
  ➡ 中止 にタッチ。
  - 位置情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。

4 希望の地点情報を選択。

知 識

・ 車載機に保存されている情報は、携帯電話から車載機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

ジャンルで地図を呼び出す

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

地図の呼び出し画面（→ 86）→ ジャンル → ジャンル検索画面

1 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチし、完了 にタッチ。

● 5 つまで選択することができます。
・ 間違えたとき
➡ 選択解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

2 施設名称にタッチ。

知 識

・ 施設のリストは、以下の 2 種類の表示方法があります。

距離順 … ⓐまたは✥から近い施設の順
種類順 施設の記号の種類順

・ ルート沿い考慮 にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。（→ 72）

■エリア別検索

施設を検索するエリアを変更することができます。

地図の呼び出し画面（→ 86）→ ジャンル → ジャンル検索画面

1 エリア にタッチ。

2 施設を検索したい地域にタッチ。

・ 住所指定 にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
・ 選択方法について
➡「住所で地図を呼び出す」（→ 91）
手順 **1** へ。

3 セット にタッチ。

郵便番号で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 郵便番号 → 郵便番号検索画面

1 郵便番号を入力し、完了 にタッチ。

● 7 桁郵便番号を入力します。
・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

マップコードで地図を呼び出す

マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1 ～ 13 桁の番号でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。

※「マップコード」は、株式会社　デンソーの登録商標です。

地図の呼び出し画面（→ 86）→ マップコード → マップコード検索画面

1 マップコードを入力し、 完了 にタッチ。

・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

知 識

・ マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
http://www.e-mapcode.com

・ マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、位置の名称の下に表示されます。
　・ メモリ地点…… → 130
　・ 迂回メモリ地点…… → 137

携帯電話で地図を呼び出す

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を車載機へ送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

⚠ 警 告

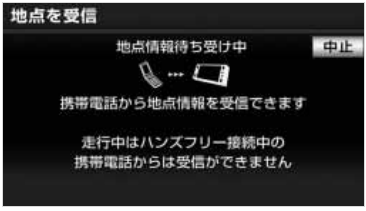
・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知 識

・ 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 414）

地図の呼び出し画面（→ 86）→ 地点を受信 → 地点を受信画面

1 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき
  ➡ 中止 にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

知 識

- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（→415）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 送信中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- 送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ（→295）やハンズフリー（→ 407）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。(機種により、再接続できないことがあります。)
- 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

履歴で地図を呼び出す

地図の呼び出し画面(→86)→ 履歴 または 目的地履歴 → 履歴検索画面

1 希望の目的地履歴にタッチ。

- 前回出発地 にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

知 識

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 携帯電話で呼び出した地図は、目的地履歴に記憶されないことがあります。

呼び出した地図の操作

ピンポイント検索

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

ピンポイント検索されたとき

ピンポイント検索されなかったとき

知 識

- 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に が表示されます。
- 携帯電話で地図を呼び出した場合、戻る が表示されません。

位置の変更

1 にタッチして、地図を動かす。

施設の内容の表示

1 情報 にタッチ。

知 識

- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。

■携帯電話から受信した情報の施設表示

- 詳細な情報が表示したいとき
  ➡ 詳細情報 にタッチ。

知 識

- 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。

提携駐車場の検索

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

知 識

- 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- 検索される駐車場は、設定した車両情報（→115）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

1 提携 P にタッチ。

知 識

- 提携 P にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

2 駐車場名称にタッチ。

- 選択した駐車場の内容が表示されます。
  - 表示された画面の操作について
    ➡「施設の内容の表示」（→ 97）
  - それぞれの地点の地図を表示するとき
    ➡ 地図 にタッチ。
- 専用駐車場は P（青色）、提携駐車場は P（緑色）で表示されます。

住所の検索

■住所一覧検索

次のときに、検索することができます。

- 「名称で地図を呼び出す」のリスト画面で、地名にタッチしたとき
- 「郵便番号で地図を呼び出す」とき
- 「電話番号で地図を呼び出す」で、該当する施設がなかったとき

1 住所一覧 にタッチ。

2 地名にタッチ。

- 選択した地名の地図が表示されます。
  - 詳細がわからないとき
    ➡ ○○主要部 にタッチし、広域図を表示。

■周辺住所検索

次のときに、検索することができます。

- 「住所一覧検索」（→ 98）で、該当する住所がなかったとき
- 「住所で地図を呼び出す」で、該当する住所がなかったとき

1 周辺住所 にタッチ。

2 番地にタッチ。

目的地案内について

目的地案内について

目的地案内では、目的地の設定のしかた、目的地への案内のしかた、ルートの変更のしかたについて説明しています。

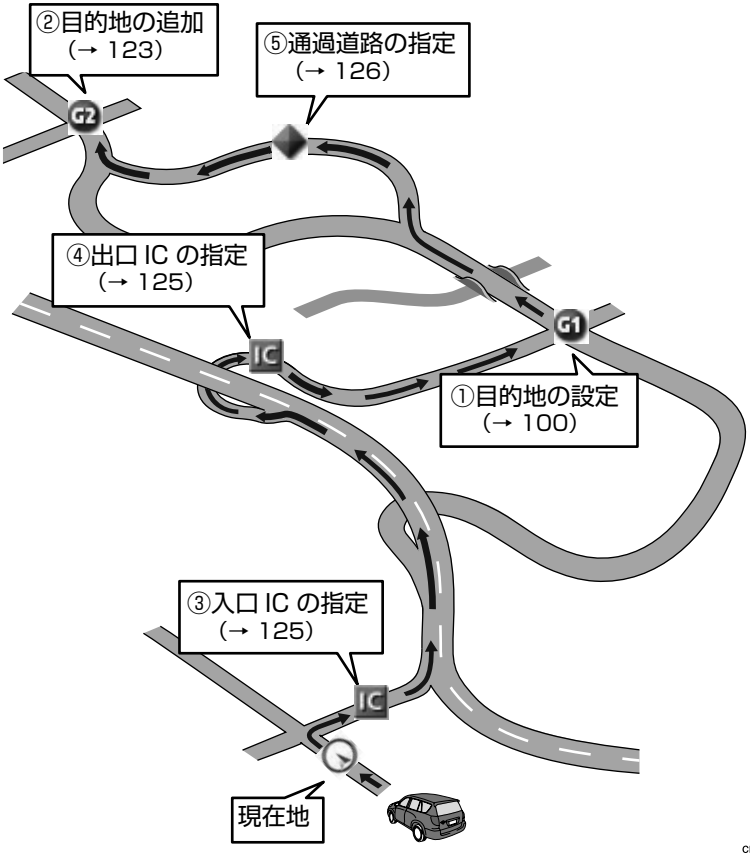
まずはじめに、

①**目的地を設定**します。

目的地をもう 1 カ所追加したいときは、
②**目的地の追加**をご覧ください。

希望のルートでなかったときは、
③**入口 IC の指定**・④**出口 IC の指定**・⑤**通過道路の指定**をご覧ください。

ルート変更は、他にも方法があります。（→ 122 ～ 127）



cmcAJ007

目的地の設定・ルート探索

目的地の設定

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。（→ 128）

次の 3 通りの方法で、目的地の設定をすることができます。

設定方法	ページ
目的地画面から設定する	100
地図画面から設定する	100
携帯電話から設定する	101

目的地画面からの設定方法

1 目的地（画面外）を押す。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。（→ 86、→ 97）

3 目的地セット にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ 102）
  - 設定した目的地を消去するとき
    ➡「目的地の消去」（→ 124）

- すでに目的地が設定されているとき
  ➡ 次のいずれかにタッチ。

新規目的地 …… 新しく目的地を設定する

追加目的地 …… 目的地を追加する※

※以降の設定方法について

➡「目的地の追加」（→ 123）手順 **4** へ。

- 「地図画面からの設定方法」（→ 100）で目的地を設定した場合は、一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

地図画面からの設定方法

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

1 地図上にタッチし、目的地セット にタッチ。

2 にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、目的地セット にタッチ。

- ⊕の位置に目的地が記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ 102）

携帯電話からの設定方法

Bluetooth携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を車載機へ送信して、目的地を設定することができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。
・各携帯電話会社へのお問い合わせ
・携帯電話のパンフレット
・専用カタログ
・トヨタのホームページ

警 告

・運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知 識

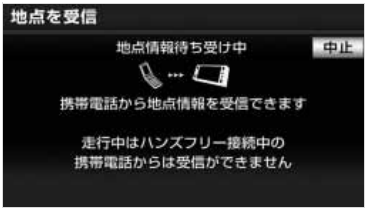
・車載機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます。（→414）

1 情報（画面外）を押す。

● 情報画面やG-BOOK画面が表示されたとき
➡ BTナビ にタッチ。

2 地点を受信 にタッチ。

3 携帯電話から位置情報を送信する。



● 通信を中止したいとき
➡ 中止 にタッチ。
● 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

4 目的地セット にタッチ。

・ の位置に目的地が G 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→102）

自宅を目的地に設定

目的地（画面外）→ 目的地画面

1 自宅に帰る にタッチ。

■自宅が登録されていないとき

1 はい にタッチ。

2 自宅の登録方法を選択する。

- 次の 3 通りの方法で、地図を呼び出すことができます。

機　能	ページ
現在地周辺	―
目的地履歴	96
住所指定	91

3 セット にタッチ。

4 自宅に帰る にタッチ。（目的地画面）

ルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。

知 識

・ 高速道路や有料道路の IC・SA・PA 内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（→ 120）を行ってください。

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

・ 全ルート図が表示されたあと、現在地（画面外）を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。（→ 107）

■表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。

表　示	機　能
1 IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称が下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称が上に表示される。
2 有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。
3 料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 （有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。） ・ 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したとき ➡現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示する。
4 距離表示	目的地までの距離を表示する。
5 IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
6 到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。（→ 113） ・ ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。
7 残距離表示	表示されているルートの自車位置から目的地までの距離を表示する。 ・ ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、次のことができます。

スイッチ	機　能
1 5 ルート（→ 106）	別のルートを表示して選択する。 ・ 目的地案内開始後は表示されません。
2 ルート変更（→ 122）	ルート変更画面を表示する。
3 割引情報	割引情報を表示する。 ・ G-BOOK を利用しているときに使用することができます。
4 案内開始【目的地案内中は、案内に戻る】（→ 107）	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面にもどる。
5 情報（→ 105）	案内道路情報を表示する。
6 IC 名称（→ 125）	出入口 IC を指定する。
7 到着予想時刻・残距離表示（→ 119）	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。 （目的地を複数設定しているとき）
8 G ルート／元ルート（→ 522）	G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。

知 識

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定した車両情報（→ 115）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ 113）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に✕が表示されることがあります。
- 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図表示画面を表示することができます。（→ 119）

■ルート表示について

ルートの表示色は、次の 4 種類あります。

- 青色（▬▬）
  目的地を 1 カ所、または複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）の表示
- 白色（▬▬）
  目的地を複数設定しているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
- 水色（▬▬）
  幅 5.5m 未満の道路表示（→ 105）
- 橙色（▬▬）
  季節規制区間表示（→ 77）

＜幅 5.5m 未満の道路表示＞

現在地または目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路を通るルートも探索します。

知 識

・交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。

ルート情報（案内道路情報）

ルート探索終了後、ルート情報（道路名称・距離・料金・通過予想時刻）を表示させることができます。

全ルート図表示画面（→ 103）

1 情報 にタッチ。

2 ルート情報画面が表示される。

- 入口 IC・出口 IC・JCT・目的地・道路の種別の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
  ・それぞれの地点の地図を表示するとき
  ➡ 地図 にタッチ。

知 識

・現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に◎が表示されます。
・現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
・料金は設定した車両情報（→ 115）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
・通過予想時刻は設定した平均車速（→ 113）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
・携帯電話で目的地を設定した場合、検索した施設名称と表示する目的地名称が異なることがあります。

5 ルート表示

5つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

知 識

・以下のときは、5 ルートを表示できません。
  ・目的地を複数設定しているとき
  ・通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
  ・目的地案内開始後

全ルート図表示画面（→ 103）

1 5ルート にタッチ。

● 5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。
● 燃費を設定している場合、最もエコなルートにアイコンが表示されます。（→ 159）

2 表示したいルート名称にタッチ。

● 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

タッチスイッチ	内　容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の４つのルートとは別のルートで案内できます。

■5 ルートの詳細情報

5 つのルートの目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

全ルート図表示画面 (→ 103) → 5ルート → 5 ルート表示画面

1 全行程一覧 にタッチ。

2 全行程一覧表画面が表示される。

・ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。

知 識

・料金は設定した車両情報（→ 115）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
・所要時間は設定した平均車速（→ 113）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

目的地案内の開始

目的地案内の開始

全ルート図表示画面（→ 103）

1 案内開始 にタッチ。

- 全ルート図が表示されたあと、現在地（画面外）を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。

全ルート図表示画面（→ 103）

1 案内開始 に約 3 秒以上タッチ。

- デモを終了するとき
  ➡本体スイッチの 現在地（画面外）（または 設定 （画面外）・ 目的地 （画面外）など）を押す。
- デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

知 識

- ルート探索終了後、目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。
- オンルートスクロールを使っても、探索されたルートを確認することができます。（→ 117）

目的地案内の中止

1 設定（画面外）を押す。

2 案内中止 にタッチ。

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
  - 目的地を消去するとき
    ➡「目的地の消去」（→ 124）
  - 中止した目的地案内を再開するとき
    ➡ 設定（画面外）→ 案内再開 の順にタッチ。

目的地への案内

音声案内

次のようなときに、音声案内が出力されます。

■目的地案内中の音声案内の例

＜分岐交差点手前＞

700m 手前
「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」
300m 手前
「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」
100m 手前
「ポーン まもなく右方向です」
交差点直前
「右方向です」

ポーン まもなく右方向です

＊○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

● 信号機案内の例

2010 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市、大阪市、名古屋市など）・中核市（宇都宮市、熊本市、鹿児島市など）における片側 3 車線以上の道路を走行中に音声案内されます。※

※2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を右方向です」
「ポーン 次の信号を右方向です」

＜有料道路への進入時＞

「ポーン まもなく右方向です
その先 高速道路です」
「ポーン この先 料金所です」

＜連続車線変更案内時＞

連続車線変更案内（→ 111）を表示したときに音声案内されます。
「ポーン この先すぐに 左レーンに移動が必要です」

＜幅 5.5m 未満の道路への進入時＞

「実際の交通規制や道幅に注意して走行してください」

■目的地周辺に到着したときの音声案内の例

＜目的地の手前＞

「ポーン まもなく目的地です」

＜目的地の直前＞

「ポーン 目的地は右（左）側にあります」
音声案内はあくまでも参考としてください。

現在地（画面外）を押すと、分岐交差点までの距離に応じた音声案内が出力されます。

・自動音声案内を「しない」に設定していても出力されます。

自動音声案内のする／しないを設定できます。（→ 149）

知 識

- 音声案内の例は一般的なものであり、道路の接続状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。
- 地図データに情報のある地点で案内されます。
- 音声案内の音量は調節することができます。（→ 85）
- 信号機案内は、以下のようなとき出力されない場合があります。
  - 信号機のある交差点を走行しているとき
  - 分岐する交差点までの距離が短いとき
  - 分岐する交差点までの間に別の信号機があるとき
  - 2010 年 10 月時点の東京 23 区・政令指定都市（横浜市・大阪市・名古屋市など）・中核市（宇都宮市・熊本市・鹿児島市など）以外※

    ※2011 年 5 月時点のものであり、変更される場合があります。

道幅 5.5m 未満の道路での案内

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

細街路での音声案内をする／しないを設定できます。（→ 149）

知 識

- 目的地が幅5.5m未満の道路にある場合、実際の入口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- 出発時点が幅5.5m未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

他モードでの案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→ 149）

知 識

- 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

交差点案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→ 110）または交差点拡大図（→ 110）に切り替わります。また、ターンリスト図（→ 112）を表示させることもできます。

レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前(約 700m 以内)では、レーンリスト図（走行する交差点の名称とレーン表示）を最大 4 つまで表示させることができます。

レーンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。（→ 148）

知 識

- レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ 110）が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）
- レーンリスト自動表示を「しない」に設定していても、レーン表示 にタッチすると、レーンリスト図を表示することができます。

■レーンリスト図表示の解除

1 レーン解除 にタッチ。

- レーンリスト図にもどすとき
  ➡ レーン表示 にタッチ。

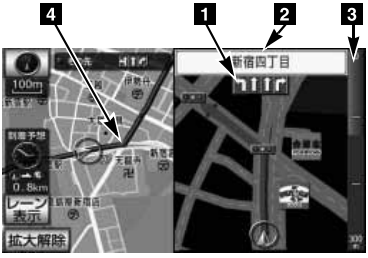
交差点拡大図表示

交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近づく（約 300m 以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。

交差点拡大図の自動表示のする／しないを設定できます。（→ 148）

分岐しない交差点

分岐する交差点（交差点拡大図）



1 レーン（車線）表示
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。 ・ 走行を推奨する車線が青色で表示されます。
2 交差点名称表示
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
3 残距離表示
交差点までの距離が表示されます。 ・ 交差点に近づくとともに ■ が短くなります。
4 案内ポイント
通過・分岐する交差点に表示されます。

知 識

- 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- 目的地案内開始直後は、交差点案内が行われない場合があります。
- 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなることがあります。
- 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- 交差点拡大図自動表示を「しない」に設定していても、**現在地**（画面外）を押すと交差点拡大図を表示することができます。

3D 交差点拡大図表示

交差点拡大図を立体的（3D）に表示させることができます。

交差点拡大図の 3D 表示する／しないを設定できます。（→ 148）

連続車線変更案内

分岐する交差点までの距離が短く、複数車線変更が必要な場合に表示されます。

知 識

- 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図表示

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

都市高速 IC 入口

立体交差点

側道案内

知 識

・ 地図データに情報のある地点（都市高速 IC 入口、立体交差点、側道案内）で表示します。

拡大図表示の解除

1 拡大解除 にタッチ。

・ 拡大図にもどすとき

➡ 現在地（画面外）を押す。

ターンリスト図表示

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

ターンリスト図の自動表示のする／しないを設定できます。（→ 148）

1 案内ポイント
分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。 現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。
2 距離表示
案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。
3 案内方向
案内ポイントでの案内する方向が表示されます。

知 識

- 一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約700m手前では、レーンリスト図（→ 110）・交差点の約 300m手前では、交差点拡大図（→ 110）が自動的に表示されます。（レーンリスト自動表示・交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。
- 地図データに情報のない交差点・IC・JCT名称、路線名、路線番号は表示されません。
- ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、表示変更 からターンリスト図を表示することができます。

■ターンリスト図表示の解除

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 ターンリスト解除 にタッチ。

- ターンリスト図にもどすとき
  ➡ ターンリスト表示 にタッチ。

到着予想時刻の表示

全ルート図表示画面（→ 103）と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。

到着予想時刻表示

知 識

- 到着予想時刻は設定した平均車速（→ 113）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ルートからはずれたときは、目的地方向マーク（◐）になります。

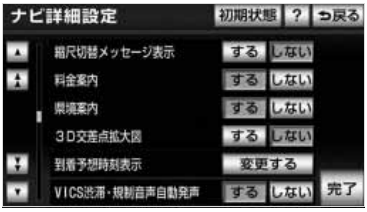
平均車速の設定

次の画面を表示したときの、時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

表　示	ページ
現在地画面の到着予想時刻	–
全ルート図表示画面の到着予想時刻	103
ハイウェイモードの通過予想時刻	80
ルート情報の通過予想時刻	105
全行程一覧表の所要時間	106

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → 案内表示設定 → ナビ詳細設定画面

1 到着予想時刻表示の 変更する にタッチ。



2 それぞれの道路の速度を設定し、完了 にタッチ。

- 速度を上げるときは ▶ 、下げるときは ◀ にタッチ。

3 完了 にタッチ。（**1** の画面）

知 識

- 初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（高速道路 80km/h・有料道路 60km/h・一般道路 30km/h）にもどります。
- VICS 情報考慮 にタッチし作動表示灯が点灯すると、VICS・交通情報を考慮した到着予想時刻を表示させることができます。
  また、G ルート探索（→ 520）により、広域の渋滞予測情報をG-BOOKセンターから取得した場合も到着予想時刻に反映されます。

料金案内

料金案内は、料金所手前または ETC ゲート通過時のどちらかで実施されます。

- 販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続していないとき
  ➡ 料金所手前で支払予定料金の案内をします。
- 販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続しているとき
  ➡ ETC ゲート通過時に支払った料金の案内をします。

料金案内

■料金所手前での料金案内

目的地案内中の現在地画面で料金所に近づくと、地図データ情報を利用して、支払予定料金の表示と音声案内をします。
この地図データ情報を利用した料金案内は、次の場合に実施されます。

- ETC 車載器を接続していないとき
- ナビゲーション非対応ETC車載器を接続しているとき
- 販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続していても、ETC カードを挿入していないとき

料金案内のする／しないを設定できます。（→ 148）

知 識

- 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- 料金は設定した車両情報（→ 115）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行なわれると、実際と異なる料金が案内されることがあります。
- 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索をしたときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、「料金不明」と表示されます。

■ETC ゲート通過時の料金案内

販売店装着オプションのナビゲーション対応 ETC 車載器を接続し、有効期限内のETC カードを挿入している場合は、ETC情報を利用した ETC 割込表示により、支払った料金がETCゲート通過時に案内されます。（→ 401）

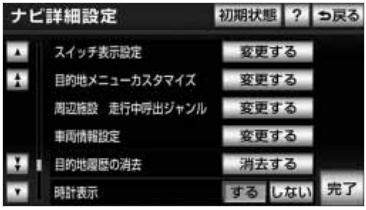
車両情報の設定

次の画面を表示したときの、料金の計算、および提携駐車場（→ 98）を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

表　示	ページ
現在地画面の料金案内	114
全ルート図表示画面の料金案内	103
ルート情報の料金案内	105
全行程一覧表の料金案内	106

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 車両情報設定の **変更する** にタッチ。



2 次の項目を設定し、 **完了** にタッチ。

■ナンバープレートの分類番号

1 **1** ・ **3** ・ **5･7** ・ **軽** のいずれかにタッチ。

■車両寸法

1 長さ・幅・高さを設定する。

- **▶** …… 寸法を大きくする
- **◀** …… 寸法を小さくする

■ラジオアンテナの設定

1 モーターアンテナ車 にタッチ。

● モーターアンテナ車に設定されているときは、作動表示灯が点灯します。

⚠ 注 意

- お車のラジオアンテナがモーターアンテナの場合、アンテナを折らないように注意してください。
- 車載機では FM 多重放送の VICS 情報を常時受信するためにオーディオの電源を OFF にしてもアンテナは下がりません。駐車場など天井の低い場所に入る前は、ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定し、必ずアンテナが収納されていることを確認してください。
- アンテナを収納しないで天井の低い場所に入ると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

知 識

- 目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。
- 車両寸法については、車検証をご覧ください。
- ラジオアンテナの設定をモーターアンテナ車に設定した場合、オーディオの電源を OFF にするとアンテナが下がるため FM 多重放送の VICS 情報が受信できません。この場合、モーターアンテナ車の設定を解除します。
- 初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（寸法が設定されていない状態）にもどります。

2 OK にタッチ。

3 完了 にタッチ。（**1** の画面）

フェリー航路の案内

フェリーの航路は ------（破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

案内中の操作

オンルートスクロール

出発した地点または目的地まで、ルートに沿って地図を自動で移動させることができます。

・ ルート沿いの施設や VICS・交通情報を確認することができます。

知 識

・ 以下のときは、オンルートスクロールをさせることはできません。
  ・ 表示していた地図にルートが表示されていないとき
  ・ 高速路線マップ（→ 81）を表示しているとき

地図表示中 → 表示変更 → 表示変更画面

1 オンルートスクロール にタッチ。

2 スクロールの項目（ ▶G ・ S◀ ・ ▶|G ・ S|◀ ）にタッチ。

● 設定したスクロールの条件により、スクロールのしかたが異なります。（→ 117）
  ・ スクロールの条件または施設を変更するとき
    ➡ 設定 にタッチ。

■スクロール画面

オンルートスクロール中に、次の操作をすることができます。

II …… 一時停止

▶▶G または S◀◀ …… 早送り

オンルートスクロールの設定

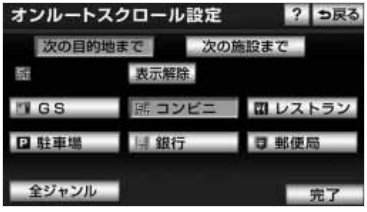
条件の選択

地図表示中 → 表示変更 → オンルートスクロール → オンルートスクロール画面

1 設定 にタッチ。

2 次の目的地まで または 次の施設まで にタッチし、完了 にタッチ。

オンルートスクロール設定画面



■次の目的地まで

▶G … 次の目的地まで地図を移動

S◀ … 出発した地点または前の目的地まで地図を移動

▶|G … 次の目的地の地図を表示

S|◀ … 出発した地点または前の目的地の地図を表示

■次の施設まで

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

▶G … 目的地方向で、最寄りの施設まで地図を移動

S◀ … 出発した地点の方向で、最寄りの施設まで地図を移動

▶|G … 目的地方向で、最寄りの施設の地図を表示

S|◀ … 出発した地点の方向で、最寄りの施設の地図を表示

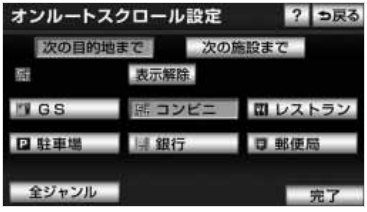
知 識

・1/8 万図より広域の地図を表示していたときは、「次の施設まで」のスクロールをさせることはできません。

施設の選択

地図表示中 → 表示変更 → オンルートスクロール → 設定 → オンルートスクロール設定画面

1 施設のジャンルにタッチし、完了にタッチ。



● 5 つまで選択することができます。

・間違えたとき

➡ 表示解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

・表示されている以外のジャンルを選択するとき

➡ 全ジャンル にタッチ。

・全ジャンル にタッチしたとき

➡施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

・間違えたとき

➡ 表示解除 または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

知 識

・オンルートスクロールでの施設の選択と、通常の地図画面での施設表示（→ 70）は別の設定のため、オンルートスクロールで施設を変更しても、通常の地図画面の施設は変更されません。

全ルート図を表示するには

地図表示中 → 表示変更 → 表示変更画面

1 全ルート にタッチ。

● 全ルート図表示画面について
➡「全ルート図表示」（→ 103）

全ルート図表示縮尺切り替え

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

地図表示中

1 広域 または 詳細 にタッチ。

2 にタッチ。

知 識

・ 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには

目的地を複数設定しているとき、切り替えることができます。

地図表示中

1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

到着予想時刻・残距離表示

● 目的地が 2 カ所のときは、タッチするごとに各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

知 識

・ 状況により目的地までの表示が異なります。
  ・ 現在地がルート上にあるとき
    ➡到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
  ・ ルートからはずれたとき
    ➡目的地の方向と直線距離

ルートの再探索

自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索※させることができます。
再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

※現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索のする／しないを設定できます。（→ 149）

知 識

・自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

ルートの再探索

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。
再探索されるルートは、8 つの項目（探索条件）を選ぶことにより異なります。

現在地（画面外）→ 現在地画面

1 再探索 にタッチ。

2 再探索する項目にタッチ。

知 識

・次の消去 にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をすることができます。
・次の解除 にタッチすると現在地の次の通過道路、IC 指定解除 にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をすることができます。
・G ルート探索 ・取得中止 は、G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。詳しくは、「再探索で G ルート探索する」（→ 522）をご覧ください。

項目（タッチスイッチ）	機　能
推奨	現在地から次の目的地※3の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地※3の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地※3の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地※3の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート	現在地から次の目的地※3の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回※1	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。（探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。） ・目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／ 一般道から探索※2	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 ・目的地案内開始前にはできません。
G ルート探索／ 取得中止	G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに使用することができます。（→ 522）

※1 ルートからはずれたときは表示されません。
※2 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。
※3 現在地と次の目的地の間に IC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートを探索します。

知 識

・「○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、有料優先 にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、一般優先 にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
・道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
・ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。

ルート変更

ルート変更画面の表示

設定（画面外）→ 設定・編集画面または全ルート図表示画面（→ 103）

1 ルート変更 にタッチ。

2 ルート変更画面が表示される。

● ルート変更画面では、次のことができます。

機　能	ページ
探索条件の変更	122
目的地の追加	123
目的地の並び替え	123
目的地の消去	124
出入口 IC の指定・解除	125
通過道路の指定	126
通過道路の修正	126
通過道路指定の解除	127
季節規制区間の迂回ルート探索	127

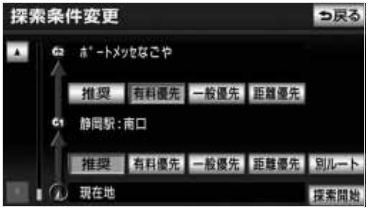
探索条件の変更

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

ルート変更画面（→ 122）

1 探索条件変更 にタッチ。

2 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチし、探索開始 にタッチ。



知 識

・ 探索条件の特徴について
➡「ルートの再探索」（→ 120）

・ 最初の目的地までの区間のみ、別ルート が表示されます。

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

● 5カ所まで設定することができます。

知 識

・ 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
・ 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。（→ 128）
・ IC・通過道路（→ 125、126）を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面（→ 122）

1 目的地・通過目的地の 追加 にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。
（→ 86 、97）

3 目的地セット にタッチ。

● ⊕の位置に目的地がG記号で表示されます。
・ ここまで（**1** ～ **3**）の操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。（→ 100）

4 目的地を設定する区間の 設定 にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡ 探索開始 にタッチ。
・ さらに追加して目的地を設定するとき
➡ 追加 にタッチ。（**2** の画面へ）

目的地の並び替え

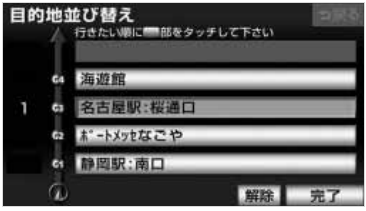
ルート変更画面（→ 122）

1 目的地・通過目的地の 並び替え にタッチ。

知 識

・ IC・通過道路（→ 125、126）を指定しているときは、メッセージが表示されます。
はい にタッチすると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

2 現在地の次に行く目的地から順に目的地にタッチし、完了 にタッチ。



- タッチした目的地の左側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたとき ➡ 解除 にタッチ。
- 選択済みの目的地にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。
- 最終目的地の 1 つ手前の目的地を選択すると、完了 にタッチしなくても、約 3 秒後、自動的に最終目的地が決定され、**3** の画面が表示されます。
- すべての目的地にタッチしないで、完了 にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

3 探索開始 にタッチ。

目的地の消去

知 識

- すべての目的地を消去すると、目的地案内を再開させることはできません。目的地案内を行わせるには再度、目的地を設定してください。
- 複数目的地を設定し、IC･通過道路（→ 125、126）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によって IC･通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

次の 3 通りの方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	124
目的地画面から消去する	124
地図画面から消去する	125

ルート変更画面からの消去方法

ルート変更画面（→ 122）

1 目的地･通過目的地の 消去 にタッチ。

- 1 カ所のみ設定されていたとき
  ➡ 手順 **3** へ

2 消去したい目的地にタッチ。

- すべての目的地を消去するとき
  ➡ 全消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

4 ルート変更画面にもどったとき
➡ 探索開始 にタッチ。

目的地画面からの消去方法

目的地（画面外）→ 目的地画面

1 目的地消去 にタッチ。

- 「ルート変更画面からの消去方法」（→ 124）手順 **2** へ。
- 1 カ所のみ設定されていたとき
  ➡「ルート変更画面からの消去方法」（→ 124）手順 **3** へ。

地図画面からの消去方法

1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 消去 にタッチ。

・「ルート変更画面からの消去方法」（→ 124）手順 **3** へ。

出入口 IC（インターチェンジ）の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 ICを1 カ所ずつ指定することができます。

全ルート図表示画面 (→ 103) または
ルート変更画面 (→ 122)

1 変更する IC 名称表示にタッチ。

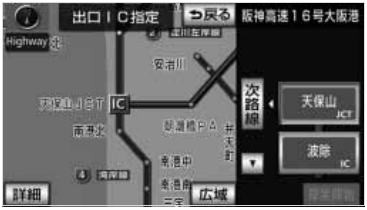
2 次のいずれかの操作をする。

■左画面での操作

1 指定したい IC　付近に地図を動かし、探索開始 にタッチ。

■右画面での操作

1 ▲・▼ または 次路線 にタッチして IC を切り替え、指定したい IC 名称 →探索開始 の順にタッチ。



- 次路線 はJCT があり分岐するときのみ表示されます。
- スマートIC(ETC専用インターチェンジ)を選択することもできます。
  このとき、ETC 車載機の有無、規則情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

2 ルート変更画面にもどったとき
➡ 探索開始 にタッチ。

IC 指定の解除

全ルート図表示画面 (→ 103) または
ルート変更画面 (→ 122) → IC 名称表示
→ 出口（入口）IC 指定画面

1 出口解除 または 入口解除 にタッチ。

通過道路の指定

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

・ 2 カ所まで指定することができます。

知 識

・ IC を指定しているとき（→ 125）、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面 (→ 122)

1 通過点（通過道路指定）の 指定 にタッチ。

2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、 通過道路セット にタッチ。

3 セット にタッチ。

● 通過道路が◆記号で指定されます。
・ 希望の通過道路でないとき
➡ 次候補 にタッチ。

知 識

・ 表示されている地図に道路情報が少ないときは、 次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

4 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているとき
➡ 通過道路を指定する区間の 設定 にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき
➡ 探索開始 にタッチ。

通過道路の修正

ルート変更画面 (→ 122)

1 通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチ。

● 1 カ所のみ指定されていたとき
➡手順 **3** へ

2 道路または地名にタッチ。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かし、 通過道路セット にタッチ。

4 セット にタッチ。

● 通過道路が◆記号で指定されます。
・ 希望の通過道路でないとき
➡ 次候補 にタッチ。

知 識

・ 表示されている地図に道路情報が少ないときは、 次候補 にタッチしても、道路が選べないことがあります。

5 探索開始 にタッチ。

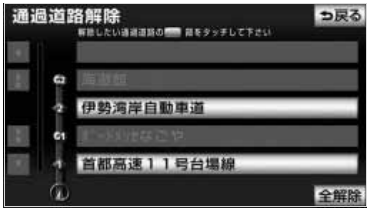
通過道路指定の解除

ルート変更画面 (→ 122)

1 通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチ。

・1 カ所のみ指定されていたとき
➡手順 **3** へ

2 道路または地名にタッチ。



・すべての通過道路指定を解除するとき
➡ 全解除 にタッチ。

3 はい にタッチ。

4 探索開始 にタッチ。

季節規制区間の迂回ルートの探索

ルート変更画面（→ 122）

季節規制区間の迂回ルート探索を開始するとき

1 季節規制回避 にタッチ。

・季節規制区間を通るルートを探索させるとき
➡ 季節規制通過 にタッチ。

知 識

・季節規制回避 または 季節規制通過 は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
・規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、季節規制回避 にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

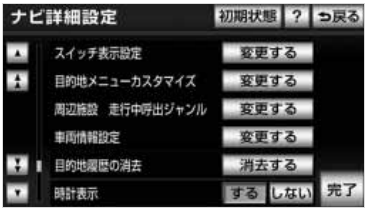
目的地履歴の消去

目的地履歴の消去

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 カ所まで）100 カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 目的地履歴の消去の 消去する にタッチ。



2 地点名称にタッチ。

・すべての目的地履歴を消去するとき
➡ 全消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

知 識

・携帯電話から呼び出す（→ 95）で設定した目的地は履歴に異なる名称で登録されていることがあります。

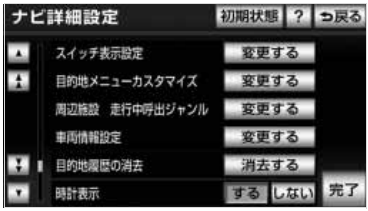
目的地画面の設定

目的地画面のスイッチ設定（目的地メニューカスタマイズ）

目的地画面（→ 86）の 1 ページ目に表示させるスイッチを設定することができます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

1 目的地メニューカスタマイズの 変更する にタッチ。



2 設定を変更するスイッチを選択する。

- 点灯しているスイッチが、現在 1 ページ目に表示されているスイッチです。
- 1 ページ目に表示できるタッチスイッチは 6 つです。入れ替えたいスイッチの数だけタッチします。

3 1 ページ目に表示したいスイッチを選択し、完了 にタッチ。

4 完了 にタッチ。（**1** の画面）

メモリ地点の登録

メモリ地点について

メモリ地点を登録しておくと、
- 地図にマークで表示されます。
- 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
- 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。（→ 86）

さらに、自宅または特別メモリ地点に登録しておけば、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。（→ 86）

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。（現在地画面（地図画面）から登録するときを除く）
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

メモリ地点の登録

次の 2 通りの方法で、メモリ地点の登録をすることができます。

登録方法	ページ
設定・編集画面から登録する	130
地図画面から登録する	130

設定・編集画面からの登録方法

1 設定（画面外）を押す。

2 メモリ地点登録編集 にタッチ。

3 メモリ地点の 登録 にタッチ。

4 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ 86 、→ 97）

5 セット にタッチ。

6 完了 にタッチ。

・自宅・特別メモリ地点に登録したいとき
➡ 自宅･特別メモリに種別変更 にタッチ。（ → 131）

地図画面からの登録方法

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 登録したい位置に地図を動かし、地点登録 にタッチ。

・ ⓘまたは✥の位置にメモリ地点が🚩で表示されます。

知 識

- 高速道路走行中、現在地に登録したときは、（方向付きメモリ）で表示されます。
- 携帯電話から受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。
- WEB 検索（→ 481）で登録した地点は、車載機から移動することができません。（メモリ地点の送信や移行など）

メモリ地点の修正・入力

次の 2 通りの方法で、メモリ地点の修正をすることができます。

修正方法	ページ
設定・編集画面から修正する	131
地図画面から修正する	131

■設定・編集画面からの修正方法

設定（画面外）→ **メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

1 メモリ地点の **修正** にタッチ。

2 メモリ地点にタッチ。

知 識

・ メモリ地点のリストは、以下の 3 種類の表示方法があります。

種別順 ……自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、G メモリ地点の順

マーク順 …マークの種類別

登録順 ……メモリ地点の登録順

3 修正・入力をする。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項　目	ページ
自宅・特別メモリに種別変更	131
自宅・特別メモリの種別解除	132
マーク	132
名称	133
地図への名称表示	134
名称読み	135
位置	135
電話番号	135

4 **完了** にタッチ。（**3** の画面）

■地図画面からの修正方法

1 地図上の修正したいメモリ地点にタッチし、**情報** にタッチ。

2 **修正** にタッチ。

・ 以降の操作方法について
➡「設定・編集画面からの修正方法」（→ 131）手順 **3** へ。

自宅・特別メモリ地点に登録

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

設定（画面外）→ **メモリ地点登録編集** → メモリ地点の **修正** → **（メモリ地点）** → メモリ地点修正画面

1 **自宅･特別メモリに種別変更** にタッチ。

2 自宅または特別メモリ 1 ～ 5 のいずれかにタッチ。

- すでに自宅または特別メモリ地点が登録されているとき
  ➡変更してよければ、はい にタッチ。
- 登録されていた地点は、メモリ地点になります。

■自宅・特別メモリ地点の解除

自宅または特別メモリ地点に登録されている地点を、メモリ地点に変更することができます。

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → （メモリ地点） → メモリ地点修正画面

1 自宅･特別メモリの種別解除 にタッチ。

2 はい にタッチ。

メモリ地点のマーク変更

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → （メモリ地点） → メモリ地点修正画面

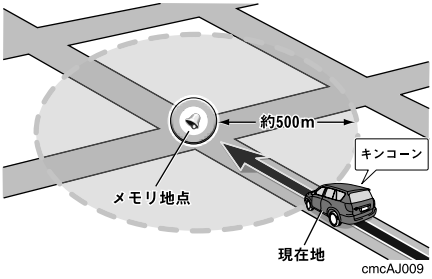
1 マーク にタッチ。

2 マーク１ ・ マーク２ ・ マーク３ ・ 音声付き にタッチし、希望のマークを選ぶ。

■音声付き

メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

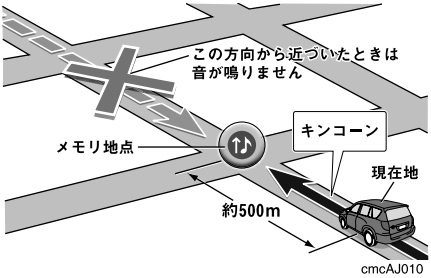
音声付き



- メモリ地点に近づいたときに鳴る音を確認するとき
  ➡ 音確認 にタッチ。

■方向付きメモリ（音声付き）

設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。



- 方向付きメモリ にタッチしたとき
  ➡ 方向を設定し、セット にタッチ。
- ↓……　反時計まわり
- ↓……　時計まわり

■地図に表示しないときは

1 マーク３ の マーク無し にタッチ。

マーク３

メモリ地点の名称入力

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → （メモリ地点） → メモリ地点修正画面

1 名称 にタッチ。

■ひらがな・漢字入力

1 かな にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、変換 にタッチ。

・入力したままの状態で確定するとき
  ➡ 無変換 にタッチ。
・すでに名称が表示されているときや間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

3 入力したい熟語にタッチ。

・変換範囲を修正するとき
  ➡ ◀ ・▶ にタッチ。
・そのままの状態でよいとき
  ➡ 全確定 にタッチ。

4 完了 にタッチ。（**2** の画面）

■カタカナ・英数字・数記号入力

1 カナ ・ 英数字 ・ 数記号 のいずれかにタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、完了 にタッチ。

カタカナ入力時

英数字入力時

数記号入力時

- 入力する文字の大きさを切り替えるとき
  ➡ 半角 または 全角 にタッチ。
- 英数字入力時、文字の書体を切り替えるとき
  ➡ 大文字 または 小文字 にタッチ。

メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。

名称表示

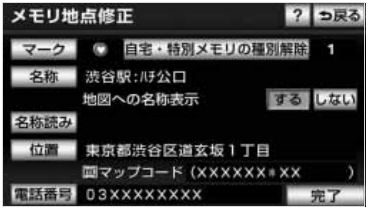
知 識

・ 1/8 万図より詳細な地図で表示することができます。

メモリ地点名称の表示／非表示を選ぶことができます。

設定 (画面外)→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → (メモリ地点) → メモリ地点修正画面

1 地図への名称表示の する にタッチ。



・ 解除するとき ➡ しない にタッチ。

メモリ地点の名称読み入力

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → （メモリ地点） → メモリ地点修正画面

1 名称読み にタッチ。

2 名称を入力し、完了 にタッチ。

・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

メモリ地点の位置修正

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → （メモリ地点） → メモリ地点修正画面

1 位置 にタッチ。

2 にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かし、セット にタッチ。

● 表示されている位置の住所とマップコードも修正されます。

メモリ地点の電話番号入力

メモリ地点に電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。（→ 91）

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点の 修正 → （メモリ地点） → メモリ地点修正画面

1 電話番号 にタッチ。

2 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

● 市外局番から入力します。

・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

メモリ地点の消去

次の 2 通りの方法で、メモリ地点の消去をすることができます。

消去方法	ページ
設定・編集画面から消去する	136
地図画面から消去する	136

設定・編集画面からの消去方法

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点画面

1 メモリ地点の 消去 にタッチ。

2 メモリ地点にタッチ。

・すべてのメモリ地点（自宅、特別メモリ地点、G メモリ地点を含む）を消去するとき
➡ 全消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

地図画面からの消去方法

1 地図上の消去したいメモリ地点にタッチし、情報 にタッチ。

2 消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

迂回メモリ地点の登録

迂回メモリ地点について

迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録した地点（エリア）を迂回するルートを探索させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

知 識

- 1/8 万図より詳細な地図で登録することができます。
- 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。

迂回メモリ地点の登録

設定（画面外）→ **メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

1 迂回メモリの **登録** にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。（→ 86 、→ 97）

3 **セット** にタッチ。

4 迂回範囲を設定し、**セット** にタッチ。

- ▲ …… 迂回範囲を広くする
- ▼ …… 迂回範囲を狭くする
- ▲ ・▼ の間にある数値は迂回させる範囲の一辺の距離になります。

知 識

- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回したいときは、（迂回メモリ地点）を道路上に設定してください。

5 **完了** にタッチ。

迂回メモリ地点の修正・入力

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点画面

1 迂回メモリの 修正 にタッチ。

2 迂回メモリ地点にタッチ。

3 修正・入力をする。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項　目	ページ
名称	133
地図への名称表示	134
位置	135
迂回エリア変更	137

4 完了 にタッチ。（**3** の画面）

知 識

・迂回メモリ地点は専用のマークで表示され、マークを変更することはできません。

迂回メモリ地点の設定

登録した地点を迂回するルートの探索する／しないを設定できます。

有効 … 迂回するルートを探索する

無効 … 迂回するルートを探しない

迂回メモリ地点の消去

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点画面

1 迂回メモリの 消去 にタッチ。

2 迂回メモリ地点にタッチ。

・すべての迂回メモリ地点を消去するとき
➡ 全消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

メモリ地点の移行

メモリ地点の移行とは

メモリ地点データ移行機能を使うと、メモリ地点のデータを他のトヨタ純正ナビゲーションシステム（2006 年以降発売のモデル）に移し替えることができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

知 識

- WEB 検索（→ 481）で登録したメモリ地点は、移し替えることができません。
- メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。

登録した場所のデータを SD メモリーカードに移す

車載機に登録されているメモリ地点、迂回メモリ地点のデータを SD メモリーカードに保存することができます。

知 識

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。（→ 140）
- メモリ地点を SD メモリーカードに保存すると、車載機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存している SD メモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SD メモリーカードにデータを保存中はエンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。データが破損する恐れがあります。

1 設定（画面外）を押す。

2 メモリ地点登録編集 にタッチ。

3 メモリ地点移行 にタッチ。

4 保存の SD にタッチ。

- ディスプレイが開きます。

5 地図 SD カードを取り出し、SD メモリーカードを挿入する。

6 OK にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。

7 パスワードを入力し、 完了 にタッチ。

- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

8 はい にタッチ。

9 OK にタッチ。

- 登録している全てのメモリ地点が保存されます。
- ディスプレイが開きます。

10 SD メモリーカードを取り出し、地図 SD カードを挿入する。

11 OK にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。

知 識

- 車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- メモリ地点移行画面（**4** の画面）で画面外のスイッチを押しても、操作することができません。 戻る にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

パスワードの設定

パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

知 識

- 設定したパスワードは、SD メモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点移行 → メモリ地点移行画面

1 パスワードの 設定 にタッチ。

2 数字 4 桁のパスワードを入力し、完了 にタッチ。

- すでにパスワードが設定されているとき
  ➡ 既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
- 間違えたとき
  ➡ 修正 にタッチ。

3 もう一度パスワードを入力し、完了 にタッチ。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、車載機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

設定（画面外）→ メモリ地点登録編集 → メモリ地点移行 → メモリ地点移行画面

1 パスワードの 初期化 にタッチ。

2 はい にタッチ。

3 はい にタッチ。

登録した場所のデータを車載機に移す

SD メモリーカードに保存したメモリ地点や迂回メモリ地点のデータを車載機に移すことができます。

知 識

- メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。
- メモリ地点を移すと、車載機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SD メモリーカードに保存したメモリ地点、迂回メモリ地点のデータに置き替えられます。
- メモリ地点を移すと、SD メモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- SD メモリーカードの誤消去防止スイッチが LOCK の状態になっている場合、誤消去防止スイッチの LOCK を解除してから操作します。

設定（画面外）→ **メモリ地点登録編集** → **メモリ地点移行** → メモリ地点移行画面

1 読み込みの **SD** にタッチ。

● ディスプレイが開きます。

2 地図 SD カードを取り出し、SD メモリーカードを挿入する。

3 **OK** にタッチ。

● ディスプレイが閉じます。

4 保存したときに使用したパスワードを入力し、**完了** にタッチ。

5 **はい** にタッチ。

6 **OK** にタッチ。

● ディスプレイが開きます。

7 SD メモリーカードを取り出し、地図 SD カードを挿入する。

8 **OK** にタッチ。

● ディスプレイが閉じます。

知 識

- データを移す機器により、保存できるメモリ地点の件数は異なります。詳しくは、データを移す機器の取扱説明書を参照してください。

補正が必要なとき

補正について

地図上の自車マーク◎がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)
GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

知 識

・ 1/8 万図より詳細な地図で補正することができます。

現在地の修正

実際の現在地と異なる場所に自車マーク◎が表示されている（自車マーク◎がずれている）とき、自車マーク◎の位置と向いている方向を修正することができます。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 ナビ補正の **補正する** にタッチ。

2 **現在地修正** にタッチ。

3 ⌂にタッチして現在地を修正し、**セット** にタッチ。

4 方向を修正し、**セット** にタッチ。

- ↓ … 反時計まわり
- ↓ … 時計まわり

距離の補正

走行中、地図上の自車マーク◎の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自車マーク◎の進み方を修正することができます。

知 識

- 自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自車マーク◎の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 自動補正モード中は、操作することはできません。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ補正の **補正する** → ナビ補正画面

1 **距離補正** にタッチ。

2 補正をし、**完了** にタッチ。

- 実際より遅く進むとき
  ➡ ▶（進める）にタッチ。
- 実際より早く進むとき
  ➡ ◀（遅らせる）にタッチ。

初期状態の位置

知 識

- **初期状態** にタッチすると、自車マーク◎を適切な位置に表示できるように自動で補正します。（●（黄色）の位置が初期状態（0 の位置）にもどります。）

自動補正

タイヤを交換したり、車載機を別のお車に取り付けたときは自動補正を行ってください。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ補正の **補正する** → **距離補正** → 距離補正画面

1 **自動補正** にタッチ。

- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了します。

ナビの設定を記憶したいとき

各種ナビ設定の記憶

各種ナビ設定の設定状態を３パターンまで記憶させておくことができます。

次の設定項目を記憶することができます。

項　目	ページ
地図向きの設定	63
地図表示モードの設定	63 ～ 69
地図表示縮尺の設定	62
周辺施設 走行中呼出ジャンルの設定	72
２画面時の右画面の設定	64
音量設定	85
メンテナンス自動通知の設定	154
ナビ詳細設定一覧の設定※1	146
安全・快適走行設定一覧の設定	151
VICS・交通情報の表示設定	175
VICS 割込情報の表示設定※2	178
ETC の通知設定※3	403
渋滞増減予測の表示設定※4	525

※1 車両情報設定は記憶することができません。
※2 ビーコンユニットを装着したときのみ。
※3 ナビゲーション対応ETC車載器を接続しているときのみ。
※4 G-BOOKオンラインサービスを利用されているときのみ。

知 識

・バッテリーの交換や地図データの更新などをするとナビゲーションの各種設定で変更した内容が初期状態に戻りますので、設定内容を記憶することをおすすめします。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチ。

2 **記憶** にタッチ。

3 **はい** にタッチ。

● 手順 **2** ですでに記憶されている設定を選んだときは、**はい** にタッチすると上書きされます。
・新規で記憶するとき
➡名称を入力する。（→ 133）

記憶の呼び出し

ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **その他** → ユーザカスタマイズの **設定する** → ユーザーカスタマイズ画面

1 設定１～３のいずれかにタッチ。

名称の変更

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 →
その他 → ユーザカスタマイズの
設定する → ユーザーカスタマイズ画面

1 名称変更 にタッチ。

2 修正・入力をする。（→ 133）

各種ナビ設定の記憶の消去

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 →
その他 → ユーザカスタマイズの
設定する → ユーザーカスタマイズ画面

1 消去 にタッチ。

2 はい にタッチ。

ナビ詳細設定一覧

ナビ詳細設定一覧

1 設定（画面外）を押す。

2 ナビ詳細設定 にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

4 各項目を設定する。

- 詳しくは、次の表をご覧ください。
  - ・初期設定の状態にもどすとき
    ➡ 初期状態 にタッチ。

5 完了 にタッチ。

設定値の**太字**は、初期状態で選択されている設定です。

地図表示設定

項目名	設定値	ページ
右画面設定	「変更する」: 右画面の地図表示設定を変更する。	64
フロントワイド表示 （ノースアップ時）	「する」　：進行方向の地図を広く表示する。 **「しない」**：地図の中心に自車マークを表示する。	63
右画面の地図で表示 （ノースアップ時）	「する」　：進行方向の地図を広く表示する。 **「しない」**：地図の中心に自車マークを表示する。	63
フロントワイド表示 （ヘディングアップ時）	**「する」**　：進行方向の地図を広く表示する。 「しない」：地図の中心に自車マークを表示する。	63
右画面の地図で表示 （ヘディングアップ時）	**「する」**　：進行方向の地図を広く表示する。 「しない」：地図の中心に自車マークを表示する。	63

項目名	設定値	ページ
3D 時のルート方向アップ	「する」　：ルートが表示されている方向の地図を表示する。 **「しない」**：自車マーク◎の向きが画面上向きになるように表示する。	67
3D 地図表示設定	「変更する」: 3D 表示にしたときの視点を変更する。	66
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更する。 **「ストレート」**「ナチュラル」「ビジブル」「クリア」「カラフル」	68
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更する。 **「ストレート」**「ナチュラル」「ビジブル」「クリア」「カラフル」	68
自車マーク変更	地図に表示される自車マークを変更する。 **「ノーマル」**「 」「 」「 」「 」	68
ビジュアルシティマップ表示	**「する」**　：ビジュアルシティマップ表示する。 「しない」：ビジュアルシティマップ表示しない。	73
地図の文字サイズ変更	地図に表示される名称（文字）の大きさを変更する。 「大」**「中」**「小」	68
周辺施設表示	「変更する」: 地図上に表示する施設の記号を変更する。	71
立体ランドマーク表示	**「する」**　：立体ランドマークを表示する。 「しない」：立体ランドマークを表示しない。	73
シーズンレジャーランドマーク表示	**「する」**　：シーズンレジャーランドマークを表示する。 「しない」：シーズンレジャーランドマークを表示しない。	78
地図スクロール時の地名表示	**「する」**　：地名などを表示する。 「しない」：地名などを表示しない。	61

自動表示切替設定

項目名	設定値	ページ
交差点拡大図自動表示	**「する」**　：交差点拡大図を自動的に表示する。 「しない」：交差点拡大図を自動的に表示しない。	110
高速分岐模式図自動表示	**「する」**　：高速分岐案内を自動的に表示する。 「しない」：高速分岐案内を自動的に表示しない。	83
レーンリスト自動表示	**「する」**　：レーンリスト図を自動的に表示する。 「しない」：レーンリスト図を自動的に表示しない。	110
ターンリスト自動表示	「する」　：ターンリスト図を自動的に表示する。 **「しない」**：ターンリスト図を自動的に表示しない。	112
都市高マップ自動表示	「する」　：都市高速マップを自動的に表示する。 **「しない」**：都市高速マップを自動的に表示しない。	83
高速路線マップ自動表示	「する」　：高速路線マップを自動的に表示する。 **「しない」**：高速路線マップを自動的に表示しない。	81

案内表示設定

項目名	設定値	ページ
縮尺切替メッセージ表示	「する」　：縮尺切替メッセージを表示する。 **「しない」**：縮尺切替メッセージを表示しない。	62
料金案内	**「する」**　：料金案内をする。 「しない」：料金案内をしない。	114
県境案内	**「する」**　：県境案内をする。 「しない」：県境案内をしない。	79
3D 交差点拡大図	「する」　：交差点拡大図を立体的（3D）に表示する。 **「しない」**：交差点拡大図を立体的（3D）に表示しない。	111
到着予想時刻表示	「変更する」: 所要時間を計算する基準である平均車速を変更する。	113
G 情報マーク 連動サービス※	**「する」**　：サービスを利用する。 「しない」：サービスを利用しない。	530

※G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

音声設定

項目名	設定値	ページ
VICS 渋滞・規制音声自動発声	「する」：VICS・交通情報を音声案内する。 「しない」：VICS・交通情報を音声案内しない。	176
自動音声案内	「する」：音声案内する。 「しない」：音声案内しない。	108
細街路での音声案内※	「する」：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をする。 「しない」：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をしない。	109
他モード時の案内	「する」：ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をする。 「しない」：他モードに切り替えたとき、音声案内しない。	109
操作説明音声	「する」：操作説明音声を出力する。 「しない」：操作説明音声を出力しない。	85
ハートフル音声	「する」：ハートフル音声を出力する。 「しない」：ハートフル音声を出力しない。	85
エコドライブインフォメーション	「する」：エコドライブのアドバイスを音声案内する。 「しない」：エコドライブのアドバイスを音声案内しない。	161

※ルート案内中に設定を変更するとルートの再探索が行われます。

ルート系設定

項目名	設定値	ページ
自動再探索	「する」：自動的に再探索する。 「しない」：自動的に再探索しない。	120
季節規制メッセージ表示	「する」：季節規制メッセージを表示する。 「しない」：季節規制メッセージを表示しない。	77
渋滞考慮探索設定※	「変更する」：渋滞考慮探索、新旧ルート比較表示、プローブ交通情報自動取得の設定を変更する。	179、180、521

※販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したとき、または G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

その他

項目名	設定値	ページ
スイッチ表示設定	「変更する」: ◀◀ Off にタッチしたときに表示させたいスイッチ類を変更する。	60
目的地メニューカスタマイズ	「変更する」: 目的地設定画面、目的地追加画面に表示するスイッチ設定を変更する。	129
周辺施設　走行中呼出ジャンル	「変更する」: 走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更する。	72
車両情報設定※1	「変更する」: 料金の計算、および提携駐車場を検索させるときの基準である車両情報を変更する。	115
目的地履歴の消去	「消去する」: 目的地履歴を消去する。	128
時計表示	「する」　: 地図画面に時計を表示する。 「しない」　: 地図画面に時計を表示しない。	68
ナビ補正	「補正する」: 現在地の修正、距離の補正をする。	142、143
VICS 割込設定※2	「変更する」: VICS 自動割込情報表示の設定、自動割込表示時間を変更する。	178
ユーザカスタマイズ	「設定する」: 各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去をする。	144
QUICK SETUP	「設定する」: QUICK SETUP の設定、修正をする。	41

※1 目的地が設定されているときは操作することができません。
※2 販売店装着オプションのビーコンユニットを装着したときのみ操作することができます。

安全・快適走行設定一覧

安全・快適走行設定一覧

1 設定（画面外）を押す。

2 運転支援 にタッチ。

3 安全・快適走行設定 にタッチ。

4 各項目を設定する。

● 詳しくは、次の表をご覧ください。

5 完了 にタッチ。

項目名	設定値	ページ
一時停止案内	「する」　：一時停止案内をする。 「しない」：一時停止案内をしない。	73
踏切案内	「する」　：踏切案内をする。 「しない」：踏切案内をしない。	74
合流案内	「する」　：合流案内をする。 「しない」：合流案内をしない。	74
カーブ案内	「する」　：カーブ案内をする。 「しない」：カーブ案内をしない。	74
レーン警告	「する」　：レーン警告をする。 「しない」：レーン警告をしない。	74
事故多発地点案内	「する」　：事故多発地点案内をする。 「しない」：事故多発地点案内をしない。	76
学校存在案内	「する」　：学校存在案内をする。 「しない」：学校存在案内をしない。	76

メンテナンス機能

メンテナンス機能について

メンテナンス機能とは、GPS（→ 162）のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期などのイベント時期の案内を行う機能です。

- メンテナンス機能の内容・時期の設定については、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

知 識

・車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

メンテナンスの項目設定

メンテナンス時期の設定

知 識

・メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス詳細設定の自動通知を「する」に設定しないと、メンテナンス案内は行われません。（→ 153）

1 設定（画面外）を押す。

2 メンテナンス にタッチ。

3 項目設定 にタッチ。

4 設定する項目にタッチ。

- 任意入力 にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→ 153）
- すでに設定されている項目にタッチしたときは、**5** の画面が表示されます。

知 識

・未設定の項目は（黒色）、すでに設定されている項目は（緑色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は（橙色）で表示されます。

5 お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチ。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

6 日付・距離を入力し、完了 にタッチ。

・間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

- 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、年 ・ 月 ・ 日 にタッチして入力することができます。
- 2 ～ 9 月と 4 ～ 9 日は 月 ・ 日 にタッチして入力する必要はありません。
〔例〕2007 年 3 月 25 日と入力するとき 7 ・ 年 ・ 0 ・ 3 ・ 2 ・ 5 または 0 ・ 7 ・ 3 ・ 2 ・ 5 の順にタッチします。

7 設定完了 にタッチ。

■任意入力項目の設定のしかた

設定（画面外）→ メンテナンス →
項目設定 → メンテナンス画面

1 任意入力 にタッチ。

2 設定するマークにタッチ。

3 名称を入力 (→ 133) し、完了 にタッチ。

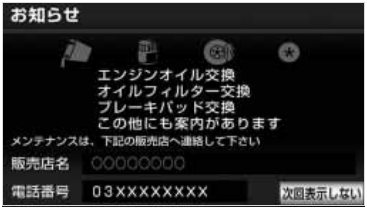
・間違えたとき
➡ 修正 にタッチ。

4 お知らせ日、またはお知らせ距離を設定する。(→ 152)

5 設定完了 にタッチ。

メンテナンスの案内

設定をした日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に 4 つまで案内されます。



メンテナンスの案内のする／しないを設定できます。（→ 154）

- 5 つ以上の項目があるときは、✱ が表示されます。
  - ・任意入力項目のときは、入力した名称を表示します。
- 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

メンテナンス設定を個別に消去

・すべて消去するとき
➡「メンテナンス設定をすべて消去」（→ 155）

設定（画面外）→ メンテナンス →
項目設定 → メンテナンス画面

1 設定を消去する項目にタッチ。

2 設定消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

メンテナンス設定を個別に更新

・すべて更新するとき
➡「メンテナンス設定をすべて更新」（→ 155）

設定（画面外）→ メンテナンス → 項目設定 → メンテナンス画面

1 設定を更新する項目にタッチ。

2 自動更新 にタッチ。

3 はい にタッチ。

● 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

知 識

・新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

4 設定完了 にタッチ。（**2** の画面）

メンテナンスの詳細設定

設定（画面外）→ メンテナンス → 設定・編集画面

1 メンテナンス詳細設定 にタッチ。

2 各項目を設定し、完了 にタッチ。

● メンテナンス詳細設定画面から、次の項目を設定できます。

項　目	ページ
自動通知（メンテナンス案内）の設定	154
メンテナンス設定をすべて消去	155
メンテナンス設定をすべて更新	155

自動通知（メンテナンス案内）の設定

自動通知のする／しないを設定できます。
「する」に設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

設定（画面外）→ メンテナンス → メンテナンス詳細設定 → メンテナンス詳細設定画面

1 自動通知の する または しない にタッチ。

メンテナンス設定をすべて消去

・ 個別に消去するとき
➡「メンテナンス設定を個別に消去」（→ 153）

設定（画面外）→ メンテナンス → メンテナンス詳細設定 → メンテナンス詳細設定画面

1 設定全消去の 消去する にタッチ。

2 はい にタッチ。

メンテナンス設定をすべて更新

・ 個別に更新するとき
➡「メンテナンス設定を個別に更新」（→ 154）

設定（画面外）→ メンテナンス → メンテナンス詳細設定 → メンテナンス詳細設定画面

1 自動全更新の 全更新する にタッチ。

2 はい にタッチ。

販売店の設定

販売店の設定

設定（画面外）→ メンテナンス → 設定・編集画面

1 販売店設定 にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。
（→ 86 、→ 97）

3 セット にタッチ。
● ⊕の位置に販売店が設定されます。

知 識

・「施設で地図を呼び出す」（→ 91）でトヨタ・ダイハツ販売店を呼び出し、地図が表示されたら、このまま地図を動かさずに セット にタッチすると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

4 完了 にタッチ。

販売店の修正・入力

設定（画面外）→ メンテナンス →
販売店設定 → 販売店設定画面

1 修正・入力をする。

・ 販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。

● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項　目	ページ
販売店名	133
位置	135
電話番号	135

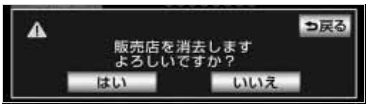
2 完了 にタッチ。（**1** の画面）

販売店の消去

設定（画面外）→ メンテナンス →
販売店設定 → 販売店設定画面

1 販売店の消去 にタッチ。

2 はい にタッチ。



エコ機能

エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

燃費の計算

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。
また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集することができます。

知 識

・ 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

給油量の入力

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット（0km）されます。

1 G・情報（画面外）を押す。

・ G-BOOK 画面や BT ナビ画面が表示されたとき
➡ 情報 にタッチ。

2 エコナビ情報 にタッチ。

3 燃費履歴 にタッチ。

4 データ入力 にタッチ。

5 給油量入力 にタッチ。

● 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、走行距離リセット → はい の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

知 識

・ 走行距離の表示は、0.0km から 999.9km になります。

6 給油量を入力し、完了 にタッチ。

・ 間違えたとき
➡ 修正 にタッチ。

知 識

・ 入力できる給油量は、最大　99.9L、最小 0.1L です。
・ 小数点と小数点以下の数値を入力しないで 完了 にタッチしたときは、小数点以下の数値は 0 になります。

履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。

G・情報（画面外）→ （情報）→ エコナビ情報 → 燃費履歴 → 燃費履歴画面

1 履歴・グラフ にタッチ。

- 前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示されます。
- 過去５回分の燃費がグラフで表示されます。

知 識

・ グラフの表示は、最大40km/L になります。
・ 数値の表示は、最大　99.9km/L、最小 0.1km/L になります。

履歴の編集

計算された燃費は、履歴に最大 100 件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

G・情報（画面外）→ （情報）→ エコナビ情報 → 燃費履歴 → 燃費履歴画面

1 履歴一覧 にタッチ。

2 編集したい履歴（期間）を選択する。

3 修正・入力をする。

・ 前の履歴（期間）を表示したいとき
➡ 前へ にタッチ。
・ 次の履歴（期間）を表示したいとき
➡ 次へ にタッチ。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項　目	ページ
開始日の編集	152
終了日の編集	152
走行距離の編集	152
給油量の編集	157

履歴の削除

履歴が 100 件をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な履歴を選択して消去することもできます。

G・情報（画面外）→ （情報）→ エコナビ情報 → 燃費履歴 → 燃費履歴画面

1 履歴一覧 にタッチ。

2 削除したい履歴（期間）を選択する。

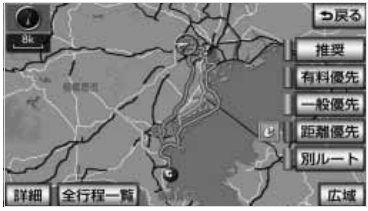
・全ての履歴を消去したいとき
➡ 全消去 にタッチ。

3 本履歴を削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

ルート案内時の燃費設定

燃費を設定すると、目的地を設定したときの5ルート同時表示のルートごとに燃料消費量を推定し、最もエコなルートにアイコンを表示することができます。



知 識

・フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。

1 G・情報（画面外）を押す。

・G-BOOK 画面や BT ナビ画面が表示されたとき
➡ 情報 にタッチ。

2 エコナビ情報 にタッチ。

3 燃費設定 にタッチ。

4 燃費を設定し、完了 にタッチ。

・燃費を上げたいとき
➡ ▶ にタッチ。
・燃費を下げたいとき
➡ ◀ にタッチ。

知 識

・入力できる燃費設定は、0.1km/L ～ 99.9km/L の範囲です。

エコ情報の表示

運転内容をエコの観点で評価した結果やアドバイスを表示することができます。

エコ運転評価の表示

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示します。

■最新評価の表示

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図表示画面

1 地図＆エコ情報 にタッチ。

- エコ運転評価は５段階で表示されます。
- 評価に合わせて、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。

知 識

・評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、「判定中」というメッセージが表示されます。

■評価履歴の表示

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ エコナビ情報 → エコナビ情報画面

1 エコ運転評価履歴 にタッチ。

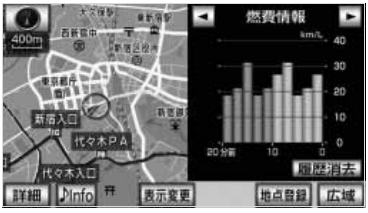
・評価履歴を消去したいとき
➡ 履歴消去 にタッチ。

燃費情報の表示

地図表示中 → 表示変更 → 地図表示 → 地図＆エコ情報 → エコ運転評価画面

1 ▶ または ◀ にタッチ。

- 過去20分間の2分ごとの燃費がグラフで表示されます。



・履歴グラフを消去したいとき
➡ 履歴消去 にタッチ。
・エコ運転評価画面に戻すとき
➡ ▶ または ◀ にタッチ。

知 識

・燃費情報表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

エコドライブインフォメーションの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させることができます。

＜エコドライブインフォメーション音声の例＞

- 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
- エアコンの設定温度を控えめにすることで燃費がよくなります。
- 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

エコドライブインフォメーションをする／しないを設定できます。（→ 149）

知 識

・エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
・ハートフル音声（→ 85）とエコドライブインフォメーションの音声が重複した場合、ハートフル音声が優先されます。その場合、エコドライブインフォメーションは、次回エンジンスイッチを ACC、または ON にしたときに発話されます。

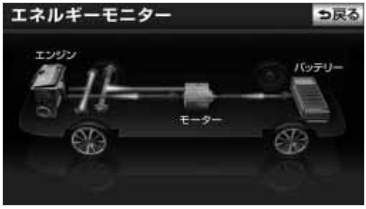
エネルギーモニターの表示

ハイブリッドシステムの状態を、画面に表示することができます。

G･情報（画面外）→ （情報）→ エコナビ情報 → エコナビ情報画面

1 エネルギーモニター にタッチ。

- エネルギーモニター画面が表示されます。



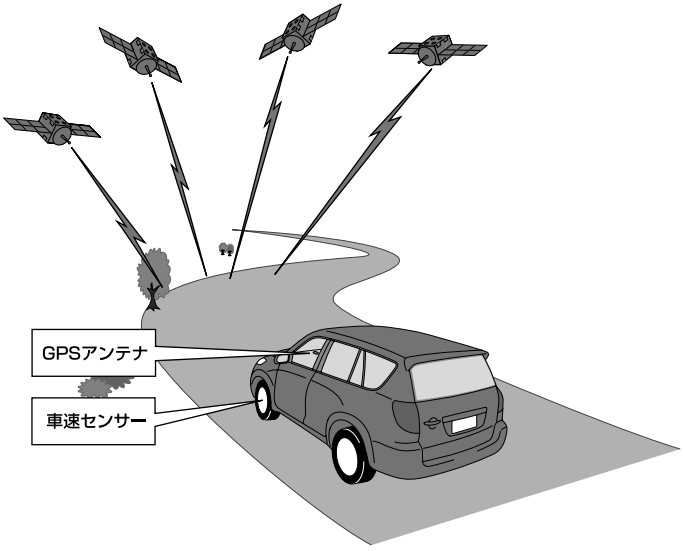
知 識

・エネルギーモニター表示の対象車種については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

GPS について

GPS について

GPS（Global Positioning System：汎地球測位システム）は、米国が開発・運用しているシステムで、通常 4 個以上、場合により 3 個の人工衛星を利用して、利用者の現在位置（緯度・経度など）を知ることができるものです。
このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して、ナビゲーションを行っています。



cmcAJ011

GPS 情報を利用できないとき

以下のようなときは、GPS 情報を利用できないことがあります。

- ビル・トラック・トンネルなどで人工衛星の電波が遮断されるとき
- GPS アンテナの上に物を置くなどして電波が遮断されるとき
- 人工衛星が電波を出していないとき（米国の追跡管制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

システムの特性上、避けられないズレ

このシステムは、GPS 情報と各種センサー、道路地図データなどを利用して現在位置表示を行っていますが、人工衛星からの電波の精度状態が良くないときや、2 個以下の人工衛星からの電波しか捕捉できないときなどには誤差が生じることがあります。
この誤差は、補正などによってなくすことはできません。

こんなメッセージが表示されたときは

メッセージ	原　因	処　置
自宅が登録されていません 設定･編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、自宅周辺 にタッチしたため。	自宅を登録してからお使いください。（→ 130）
自宅が登録されていません 自宅の登録を行いますか？	自宅が登録されていないときに、自宅に帰る にタッチしたため。	自宅の登録をするときは、はい にタッチしてください。（→ 102） 自宅の登録をしないときは、いいえ にタッチしてください。
特別メモリ地点が登録されていません 設定･編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 1 ～ 5 または特別メモリに行く 1 ～ 5 にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（→ 130）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する施設の地点が特定できません 周辺の地図を表示します	検索された施設の正確な所在地が特定できず、所在地の住所を代表する地点を表示したため。	実際の施設の所在地をご確認ください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	1/8 万図より広域の地図で、目的地・メモリ地点などを設定･登録しようとしたため。（現在地画面（地図画面）から地点登録するときを除く）	目的地・メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（1/8 万図以下）で行ってください。

メッセージ	原　因	処　置
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、河川などが近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を道路付近に移動して、セット にタッチし、目的地を設定してください。 表示されている位置に目的地を設定するときは、いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（→ 130）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点（自宅・特別メモリ地点含む）400 カ所・G メモリ地点 100 カ所登録しているときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（→ 136）
セットで◆を乗降ICに設定します 次候補で別の出入口を探します	指定した IC に出口（入口）が複数あるため。	希望の出口（入口）のときは、セット にタッチしてください。 希望の出口（入口）でないときは、次候補 にタッチしてください。
指定したICは時間規制によりご利用できない場合があります IC指定を続けますか？	指定した IC に時間規制があるため。	指定を続けるとき、はい にタッチしてください。 指定をやめるとき、いいえ にタッチしてください。
指定された出入口 ICは規制があります ご注意下さい	時間規制のある IC を利用時間内に通過できないおそれがあるため。	指定している前後のICから乗降してください。
○○○○上に目的地を設定しますか？ [高速道路、有料道路など]	高速道路、有料道路上などで目的地を設定しようとしたため。	そのまま設定するときは、設定する にタッチしてください。 別の道路に設定するときは、他の道路 にタッチしてください。

メッセージ	原　因	処　置
指定された区間の前後に乗降 IC または通過道路が決定済みです 指定を解除しますか？	乗降 IC または通過道路を指定してある前後に目的地を追加しようとしたため。	乗降ICまたは通過道路の指定を解除して目的地の追加を続けるときは、はい にタッチしてください。 乗降ICまたは通過道路の指定を解除せず目的地の追加を続けるときは、いいえ にタッチしてください。
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。
該当する施設がありません	施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	条件を変更して、再度検索してください。
地点情報の受信に失敗しました	地点情報を受信（送信）するときに、地点を受信（送信）画面を表示させて操作していないため。	地点を受信（送信）画面を表示させて操作してください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていないため。	携帯電話をBluetooth接続してください。（→ 415）
	Bluetooth 通信の電波状態が不安定のため。	電波状態がよくなったことを確認して、再度送信してください。
送信された情報は利用できません	携帯電話から送信したデータと、Yahoo! JAPAN と連携画面で選択した項目が違うため。	送信するデータと Yahoo! JAPAN と連携画面で選択する項目を同じにしてください。
目的地情報（ドライブルート / 地点情報）の受信に失敗しました	携帯電話が Bluetooth 接続されていないため。	携帯電話をBluetooth接続してください。（→ 415）
	Bluetooth 通信の電波状態が不安定のため。	電波状態がよくなったことを確認して、再度送信をしてください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
地図が表示されない。	地図SDカードが差し込まれていない。	地図 SD カードを差し込んでください。（→ 16）
	地図SDカードがロックされている。	地図 SD カードのロックを解除してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか。	現在地画面を表示させてください。（→ 59）
自車マーク が表示されない。		
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか。	周囲に障害物がない所へ移動するか、GPS アンテナのまわりに物が置いてあるときは、移動させてください。
音声案内が出力されない。	案内中止になっていませんか。	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（→ 107）
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか。	音量を大きくしてください。（→85）
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか。	コントラスト、明るさを調整してください。（→ 37）

症　状	考えられること	処　置
実際の現在地と異なる場所に自車マーク◎が表示されている。 （自車マーク◎がずれている。）	人工衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マーク◎がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク◎がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。） GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（→ 142）

精度について

次のようなときは、故障ではありません。

知 識

・このシステムは、タイヤの回転などをもとにして作動していますので、タイヤを交換すると精度が悪くなることがあります。
タイヤを交換したときは、自動補正を行ってください。（→ 143）

■以下のような車両の状態（走行場所や運転条件）のときは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク◎が表示されている（自車マーク◎がずれている）ことがあります。

- 角度の小さな Y 字路を走行しているとき、他方の道に自車マーク◎が表示されることがあります。
- 隣の道路に自車マーク◎が表示されることがあります。
- 市街図を表示させているとき、自車マーク◎やルート表示が反対車線や道路以外の場所に表示されることがあります。
- 市街図から市街図以外の縮尺の地図に切り替えたとき、ほかの道路に自車マーク◎が表示されることがあります。
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと、自車マーク◎が移動前の位置になっていることがあります。
- 自車マーク◎を手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行したとき
- バッテリーターミナルを脱着したあと
- らせん状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳等を走行しているときや急カーブを走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場などでの切り返しや、ターンテーブルで回転をしたあと、一般道路に出たとき
- 渋滞・交差点の手前などで、発進・停止を繰り返したときや徐行運転時
- 砂、砂利、雪道などのすべりやすい道路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- タイヤを交換したとき（とくに応急用タイヤ、スタッドレスタイヤ使用時）
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したとき
- タイヤの空気圧が 4 輪とも指定の空気圧でないとき
- 摩耗したタイヤに交換したとき（2 シーズン目以降のスタッドレスタイヤなど）
- ビルの近くを走行したとき

- ルーフキャリヤを取りつけたとき
- 高速走行中、長距離のルート探索を行ったとき

以上のようなときでも、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

■探索条件や走行場所により、以下のように適切な目的地案内が行われないことがあります。

- 直線道路走行中に、直進の案内が行われることがあります。
- 交差点で曲がるのに、案内が行われないことがあります。
- 案内が行われない交差点があります。
- U ターン禁止の場所で、U ターンするルートの案内が行われることがあります。
- 実際には通行できない道（進入禁止の道路、工事中の道路、道幅が狭い道路など）の案内が行われることがあります。
- 目的地までの道路がなかったり、細い道路しかないときは、目的地から離れた所までしか目的地案内が行われないことがあります。
- ルートからはずれたとき（手前の交差点などで曲がったときなど）、音声案内が誤って出力されることがあります。
- 実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている場合、誤った案内をすることがあります。

■ルート再探索時、以下のようなことがあります。

- 再探索時のルートの表示が、次の右左折までに間に合わないことがあります。
- 高速走行時の再探索時間が長いことがあります。
- 再探索時に、ルートが遠まわり（大まわり）になることがあります。
- 通過するはずの目的地を通らずに最終の目的地に向かうとき、再探索すると、通過するはずの目的地へもどるルートが表示されることがあります。
- 再探索しても、ルートがかわらないことがあります。
- ルートが探索されないことがあります。

地図について

地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。※
なお、この GPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、財団法人 日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、アイシン・エィ・ダブリュ 株式会社と株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。
※最新の地図データに更新されるかたは、「地図更新について」（→ 195）をご覧ください。

知 識

- 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- 幅が 3m 未満の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が 3m 未満の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

地図データの情報を見るには

地図 SD カードに収録されているデータベースなどの情報は、使用データ画面で確認できます。

設定（画面外）→ **地図更新** → 地図更新画面

1 **使用データ** にタッチ。

地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図、5 万分の 1 地形図、2 万 5 千分の 1 地形図、1 万分の 1 地形図及び数値地図 50m メッシュ（標高）を使用しました。（測量法 第 30 条に基づく成果使用承認 平 22 業使第 427-001 号）

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法 第 44 条に基づく成果使用承認 06-052T）

© 2007 財団法人 日本デジタル地図協会
© アイシン・エィ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD. & （株）トヨタマップマスター &（株）昭文社

交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

交通事故多発地点について
地図データに収録されている事故多発地点データは、警察庁及び国土交通省のデータを基に作成してあります。

渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について
株式会社 昭文社提供データ、並びに JARTIC/VICS の情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が作成したデータを使用しています。

地図のスケール表示について

地図左上に表示される 100m の ____ の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。

・ 地図の縮尺の切り替えについて
➡「地図縮尺の切り替え」（→ 62）

スケール表示	縮 尺
25m	1/2500
50m	1/5 千
100m	1/1 万
200m	1/2 万
400m	1/4 万
800m	1/8 万
1.6k	1/16 万
3k	1/32 万
7k	1/64 万
13k	1/128 万
26k	1/256 万
50k	1/512 万
100k	1/1024 万
200k	1/2048 万

知 識

・ 1/2500 図は市街図表示（→ 69）に切り替えたとき、表示することができます。

地図記号・表示について

表 示	内 容
	高速道路 （都市高速道路・有料道路を含む）
	国道、主要道、都道府県道、 その他の道路
	トンネルまたは整備計画区間 （各道路で表示色は異なります。）
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地

・ ビジュアルシティマップ表示（→ 73）にすると、道路の幅を実際の道路幅の比率と同じように表示させることができます。
・ 道路の表示色は地図の表示色（→ 68）の設定によって異なります。

記 号	内 容
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京 23 区役所
	町村役場・東京以外の区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
IC	IC（インターチェンジ）
SA	SA（サービスエリア）
PA	PA（パーキングエリア）

記 号	内 容
	スマート IC （ETC 専用インターチェンジ）
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場

記 号	内 容
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設
	通常の踏み切り
	ボトルネック踏み切り※
	トヨタ販売店・トヨタ共販店
	ダイハツ販売会社
	ネッツ店
	トヨタ L ＆ F

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏切。

・ 地図データに収録されているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成してあります。

・ 表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設が代表して 1 つのマークで表示されることがあります。

VICS・交通情報の表示

VICS・交通情報の表示

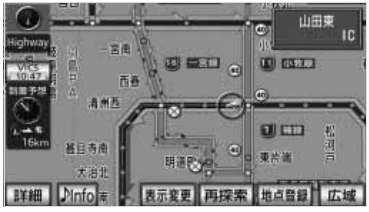
地図上に VICS・交通情報（VICS 記号・表示）を表示することができます。（→ 184）

■VICS・交通情報の表示例

通常の地図

ハイウェイモード

高速路線マップ



	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	（赤色）	（橙色）	（水色）

VICS・交通情報には、現況 VICS 情報と現況交通情報があります。

■現況情報

現況情報は次の情報です。

＜現況 VICS 情報＞

VICS センターから提供される現況の情報

＜現況交通情報＞

G-BOOK オンラインサービス利用時

G-BOOK センターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報（→ 520）

知 識

- 現況情報は、1/16 万図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1/16 万図では表示できない記号もあります。
- 現況交通情報は、G ルート探索（→ 520）すると取得することができます。
- 現況交通情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新（→ 195）などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- 提供される現況交通情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- 車両情報の設定で、モーターアンテナ車の設定を ON に設定している場合、オーディオが OFF のときは VICS 情報を受信することができません。（→ 115）

タイムスタンプについて

タイムスタンプ

タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→ 176)

■時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約30 分後に自動的に消去され、[--:--]の表示になります。
  現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が[--:--]になります。
- エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、情報が受信されるまでは、[--:--]の表示になります。

■色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上(約 10km 以内)に現況情報があると色がかわります。

- 赤色([8:00])…… 渋滞情報
- 橙色([8:00])…… 混雑情報
- 黄色([8:00])…… 交通規制情報

■文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

- 現況 VICS 情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 1/32 万図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。

知 識

・ 現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

VICS 記号の内容の表示

1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。

知 識

・ VICS 記号によっては、内容が表示されないVICS 記号もあります。

VICS・交通情報の表示設定

VICS・交通情報の表示

地図表示中 → 表示変更 → 表示変更画面

1 VICS・交通情報 にタッチ。

2 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

- 全て …… 高速道路・一般道路に表示
- 高速道のみ …… 高速道路のみに表示
- 一般道のみ ※ …… 一般道路のみに表示

※ハイウェイモード（→ 80）では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。

- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

VICS・交通情報表示の消去

地図表示中 → 表示変更 → VICS・交通情報 → VICS・交通情報画面

1 非表示 にタッチ。

- タイムスタンプも表示されなくなります。

表示するVICS・交通情報の選択

地図表示中 → 表示変更 → VICS・交通情報 → VICS・交通情報画面

1 表示設定 にタッチ。

2 表示する VICS・交通情報を選択し、完了 にタッチ。

- 渋滞・混雑 …… 渋滞・混雑している道路の表示
- 空き道 …… 空いている道路の表示
- 規制情報 …… 事象・規制がある道路の表示
- 駐車場 …… 駐車場情報の表示
- 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。

VICS・交通情報の活用

渋滞・規制音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約 10km 以内）の現況情報を音声案内させることができます。

次のようなときに、音声案内が出力されます。

■音声案内の例

＜ VICS 表示がある地点＞

「およそ 1km 先 渋滞があります」

＜ VICS 記号のある地点＞

「およそ 5km 先 電気工事のため 車線規制中です」

音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。(→ 149)

知 識

- 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

渋滞・規制音声案内の再出力

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

地図表示中

1 タイムスタンプにタッチ。

タイムスタンプ

- 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプがタッチスイッチになり操作することができます。

知 識

- VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプがタッチスイッチになっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。

VICS 図形情報・文字情報の表示

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 情報画面

1 VICS にタッチ。

※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

2 FM 図形 または FM 文字 にタッチ。

3 情報の番号（ 1 ・ 2 ・ 3 … ）にタッチ。

・文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。

4 ▲ または ▼ または 自動送り にタッチ。

● 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
● 情報のページを送るとき
➡ ▲ または ▼ にタッチ。
● 自動送り にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
走行中は自動送りできません。
・情報の自動送りを中止するとき
➡ 停止 にタッチ。
・自動送り中に ▲ または ▼ にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
・文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。
・ 目次 にタッチすると、**3** の画面が表示されます。

割込情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンユニットを装着したとき

ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、VICS 文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

■割込情報の表示例

■割込情報を切り替えるとき

1 ▲ または ▼ にタッチ。

・文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。
・ 表示消 にタッチする、または約 15 秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。
表示時間は調整することができます。
(→ 179)

知 識

・表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

割込情報の呼び出し

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。
また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ VICS →
VICS 画面

1 割込情報 にタッチ。

知 識

・提供時刻より約 30 分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

2 ▲ ・▼ にタッチして、割込情報を切り替える。

※画面は、図形情報を使用しています。文字情報を表示したときも操作方法は同じです。

・文字情報または図形情報に切り替えるとき
➡ 文字 または 図形 にタッチ。

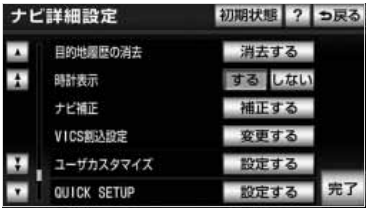
割込情報の表示設定

ビーコンユニットを装着したとき

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 →
その他 → ナビ詳細設定画面

1 VICS 割込設定の 変更する にタッチ。



2 割込設定をし、完了 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（**1** の画面）

自動割込の設定

自動割込のする／しないを設定できます。

1 各項目の する または しない にタッチ。

■注意警戒情報　自動割込

注意警戒情報の表示

■ビーコン文字情報　自動割込

文字情報の表示

■ビーコン図形情報　自動割込

図形情報の表示

知 識

・自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。

自動割込表示時間の調整

割込情報の表示時間を調整できます。

- 長くするとき ➡ ▶ にタッチ。
- 短くするとき ➡ ◀ にタッチ。

渋滞考慮探索

ビーコンユニットを装着したとき

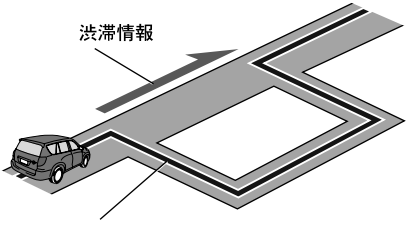
ビーコンからの現況 VICS 情報が受信されたとき、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。

知 識

・現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。

G-BOOK オンラインサービス利用時

渋滞予測情報が取得されたときは、取得された渋滞・規制情報が考慮されたルート探索ができます。(→ 520)



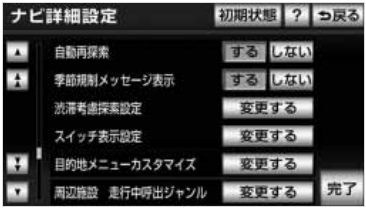
cmcAJ012

■渋滞考慮探索の設定

渋滞考慮探索のする／しないを設定できます。

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **ルート系設定** → ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチ。

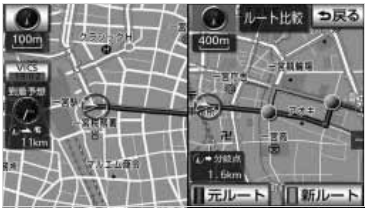


2 渋滞考慮探索の **する** または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。

3 **完了** にタッチ。（**1** の画面）

新旧ルート比較表示

ビーコンまたは G-BOOK センターから提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。



渋滞考慮探索（→ 179）・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。

＜新ルートで案内するとき＞

1 新ルート にタッチ。

- 約 10 秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

＜元ルートで案内するとき＞

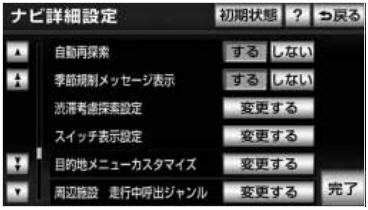
1 元ルート または 戻る にタッチ。

■新旧ルート比較表示の設定

新旧ルート比較表示のする／しないを設定できます。

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → ルート系設定 → ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の 変更する にタッチ。



2 新旧ルート比較表示の する または しない にタッチし、完了 にタッチ。

3 完了 にタッチ。（**1** の画面）

知 識

- 新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索（→ 179）を「する」に設定していて、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。
- 新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定（→ 175）に関わらず渋滞情報が表示されます。
  ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。（→ 173）

VICS 放送局の選択

放送局の選択

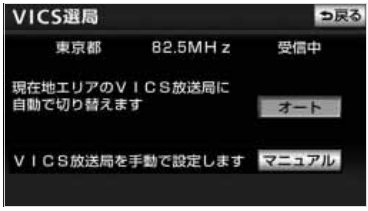
現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ VICS → VICS 画面

1 VICS 選局 にタッチ。

- 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

自動選択時



手動選択時

エリア選択　　周波数選択

- 通常は、「オート」（自動選択）にしておいてください。「オート」で受信されないときのみ、「マニュアル」（手動選択）で放送局または放送エリアを選択してください。

知 識

・新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

自動選択

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ VICS → VICS 選局 → VICS 選局画面

1 オート にタッチ。

手動選択

■エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

■周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ VICS → VICS 選局 → VICS 選局画面

1 マニュアル にタッチ。

2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。
周波数選択時は、TUNE ▲ ・TUNE ▼ にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。

- 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。

3 完了 にタッチ。

VICS の概要

VICS について

VICS（Vehicle Information and Communication System：道路交通情報通信システム）は、渋滞や事故・工事・所要時間・駐車場混雑状況などの道路交通情報をリアルタイムに送信し、ナビゲーションなどの車載のモニターに表示するシステムです。また、道路交通情報の提供を通して、安全性の向上・交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。

VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人日本デジタル道路地図協会・財団法人日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

VICS、およびこの機器に付与された VICS のロゴマークは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICS の用語

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

■緊急情報

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

■交通情報関連の用語

（1）渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
（2）混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

■駐車場・SA・PA 関連の用語

（1）空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
（2）混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
（3）満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
（4）不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
（5）閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

VICS の問い合わせ先

■以下の内容は、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

- VICS 車載機の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- その他上記に類するもの

■以下の内容は、サービス・サポート・センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

サービス・サポート・センター

・電話番号（受け付け時間…9：30 ～ 17：45、土曜・日曜・祝日を除く）
　0570ー 00ー 8831（全国共通）※
　※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
　※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
・FAX 番号（受け付け時間…24 時間）
　03ー 3562ー 1719

知 識

・VICS については、以下のホームページでもご覧いただけます。
　URL: http://www.vics.or.jp/

VICS 記号・表示について

表　示	道路の種類
（黒色）※	通行止めの区間
（赤色）	渋滞している道路
（橙色）	混雑している道路
（水色）	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記　号	駐車場・SA・PA 情報
（青色）	駐車場（空車）
（橙色）	駐車場（混雑）
（赤色）	駐車場（満車）
（黒色）	駐車場（不明）
	駐車場（閉鎖）
（青色）	SA・PA（空車）
（橙色）	SA・PA（混雑）
（赤色）	SA・PA（満車）
（黒色）	SA・PA（不明）
	SA・PA（閉鎖）

記　号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
（青色）	注意
（黒色）	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪

記　号	規制情報
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

・表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数の VICS・交通情報が代表して 1 つの記号で表示されることがあります。

携帯連携について

携帯連携とは

携帯電話で表示している地点情報を車載機へ送信したり、車載機で設定されている現在地や目的地の地点情報を携帯電話へ送信することができる機能です。また、Yahoo! JAPAN のサービスと連携した機能を使うために、車載機と携帯電話との間で情報を通信することもできます。

⚠ 警 告

- 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

知 識

- 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。
- データの送信中にエンジンスイッチをOFF(LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- データの送信中に車載機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- データ送信中は、Bluetooth オーディオ（→ 295）やハンズフリー（→ 407）の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります。）

情報を携帯電話へ送信する

現在地の地点情報を車載機から携帯電話へ送信することができます。目的地が設定されている場合は、目的地までのすべての地点情報を転送することができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。

- 各携帯電話会社へのお問い合わせ
- 携帯電話のパンフレット
- 専用カタログ
- トヨタのホームページ

知 識

- ハンズフリー（→ 407）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- WEB 検索（→ 481）で登録した地点情報は、送信することができません。

1 G・情報（画面外）を押す。

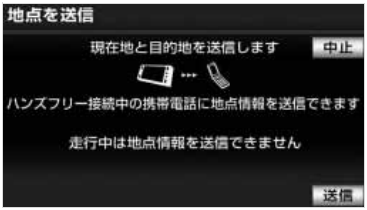
- 情報画面やG-BOOK画面が表示されたとき
  ➡ BT ナビ にタッチ。

2 地点を送信 にタッチ。

3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- 携帯電話の操作は、地点を送信画面が表示されているときに行います。

4 送信 にタッチ。



・ 通信を中止したいとき
➡ 中止 にタッチ。
・ 位置情報を送信するとメッセージが表示され、現在地画面が表示されます。

情報を車載機へ送信する

車載機に登録されている携帯電話で表示している地点情報を、携帯電話から本機へ送信することができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。車載機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、次の方法でご確認ください。
・ 各携帯電話会社へのお問い合わせ
・ 携帯電話のパンフレット
・ 専用カタログ
・ トヨタのホームページ

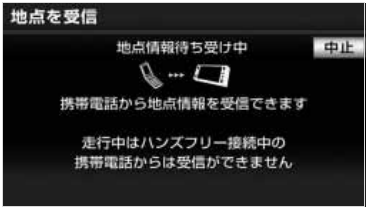
知 識

・ 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 414）

G・情報（画面外）→ （BT ナビ）→ BT ナビ画面

1 地点を受信 にタッチ。

2 携帯電話から位置情報を送信する。



・ 通信を中止したいとき
➡ 中止 にタッチ。
・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（→ 97）

知 識

・ 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（→ 415）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。

Yahoo! JAPAN と連携した機能を使用する

Yahoo! JAPAN のサービスで作成したドライブルートや地点の情報を車載機へ送信して、目的地の設定や地点情報の保存をしたり、車載機に保存されている情報を携帯電話へ送信して、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。詳細は次のホームページを参照してください。
路線・地図アプリ紹介ページ
- http://transit.map.yahoo.co.jp/mobile/app/info.html（パソコン）
- http://map.mobile.yahoo.co.jp/dl（モバイル）

※Yahoo！JAPAN のサービスや専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

なお、2012 年 12 月 20 日で「ドライブルート（ドライブルートの情報を車載機へ送信する）」、「走行軌跡（車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話に送信し、Yahoo！ JAPAN のサービスでの活用）」のサービスは終了しました。

知 識

- 路線・地図アプリ紹介ページの情報料、アプリケーション使用料は無料です。

G・情報（画面外）→（**BT ナビ**）→ BT ナビ画面

1 **Yahoo! JAPAN と連携** にタッチ。

2 使用したい項目を選択する。

- 各項目については、次のページをご覧ください。

項目	ページ
アプリケーションのダウンロード	188
セキュリティの設定	188
目的地情報の受信	190
ドライブルート情報の受信	190
地点情報の受信	191
走行軌跡情報の送信	192
メモリ地点情報の送信	193
目的地履歴情報の送信	194

アプリケーションをダウンロードする

Yahoo! JAPAN のモバイルサイトにアクセスして、専用のアプリケーションをダウンロードすることができます。

G・情報（画面外）→（BT ナビ）→
Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 アプリダウンロード にタッチ。

2 携帯電話に 2 次元バーコードを読み込む、または URL を入力して Yahoo!JAPAN のモバイルサイトにアクセスする。

・2 次元バーコードを拡大したいとき
➡サイズ変更 にタッチ。

知 識

・2 次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
・2 次元バーコードが読み取れないときは、2 次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および車載機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
・QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

車載機から携帯電話へ送信時のセキュリティを設定する

車載機から携帯電話へのデータ送信を制限したり、設定変更時のロック No. を変更することができます。

知 識

・メモリ地点や目的地履歴などの情報は、個人情報に関わる内容であるため、第 3 者が情報を勝手に外部へ持ち出せないようにセキュリティを設定することができます。
・初期状態のロック No. は、「0000」に設定されています。

■携帯電話へのデータ送信を制限する

G・情報（画面外）→（BT ナビ）→
Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 送信セキュリティ設定 にタッチ。

2 する または しない を選択し、完了 にタッチ。

3 ロック No. を入力し、完了 にタッチ。

・ 間違えたとき
➡修正 にタッチ。
・ メッセージが表示され、設定が変更されます。

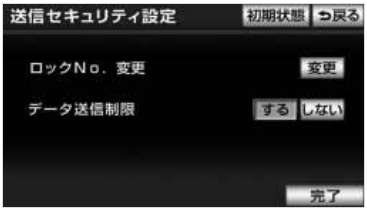
■セキュリティ設定変更時のロック No. を変更する

知 識

・ データ送信制限を する に設定している場合、ロック No. を変更することはできません。

G・情報（画面外）→（BT ナビ）→
Yahoo! JAPAN と連携 →
送信セキュリティ設定 →
送信セキュリティ設定画面

1 ロック No. 変更の 変更 にタッチ。



・ ロック No. を初期状態に戻したいとき
➡初期状態 → はい の順にタッチ。

2 現在のロック No. を入力し、完了 にタッチ。

・ 間違えたとき
➡修正 にタッチ。

3 新しいロック No. を入力し、完了 にタッチ。
・ 間違えたとき
➡修正 にタッチ。

4 はい にタッチ。
・ メッセージが表示され、設定が変更されます。

5 完了 にタッチ。（**1** の画面）

目的地情報を車載機へ送信する

目的地情報を車載機へ送信し、検索された地図を表示することができます。

知 識

・ 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 414）

G・情報（画面外）→ （BT ナビ）→ Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 目的地受信 にタッチ。

2 携帯電話から位置情報を送信する。

・ 通信を中止したいとき
➡ 中止 にタッチ。
・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（→ 97）

知 識

・ 受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。

ドライブルートの情報を車載機へ送信する

作成したドライブルートの情報を車載機へ送信することができます。

知 識

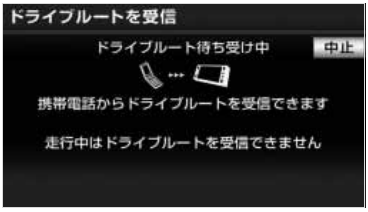
・ 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 414）

G・情報（画面外）→ （BT ナビ）→ Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 ドライブルート にタッチ。

2 新規受信 にタッチ。

3 携帯電話から情報を送信する。



・ 通信を中止したいとき
➡ 中止 にタッチ。
・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。

4 希望のドライブルートを選択する。

・ ルート探索を開始したいとき
➡ 探索開始 にタッチ。
・ 選択したドライブルートを削除したいとき
➡ 消去 → はい の順にタッチ。
・ すべてのドライブルートを削除したいとき
➡ 全消去 → はい の順にタッチ。

知 識

・ 車載機に保存されている情報は、携帯電話から車載機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

地点情報を車載機へ送信する

最大１００件まで地点情報を車載機へ送信することができます。

知 識

・ 車載機に登録された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 414）

G・情報（画面外）→ （ BT ナビ ）→ Yahoo! JAPAN と連携 →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 地点情報 にタッチ。

2 新規受信 にタッチ。

3 携帯電話から情報を送信する。

・ 通信を中止したいとき
➡ 中止 にタッチ。
・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。

4 希望の地点情報を選択。

・ 選択した地点の地図が表示されます。（→ 97）
・ すべての地点情報を削除したいとき
➡ 全消去 → はい の順にタッチ。

知 識

・ 車載機に保存されている情報は、携帯電話から車載機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。

走行軌跡情報を携帯電話へ送信する

車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。

- 走行軌跡とは、目的地を設定して走行したルートが保存されたものです。最大 5 件、合計 1000km までの軌跡が保存されます。
- 携帯電話へ送信することができる走行軌跡は、地図画面に表示される走行した道路の軌跡（→ 77）とは異なります。

知 識

- ハンズフリー（→ 407）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- 送信セキュリティ設定のデータ送信制限が「する」に設定されている場合、情報を送信することができません。

G・情報（画面外）→（**BT ナビ**）→ **Yahoo! JAPAN と連携** → Yahoo! JAPAN と連携画面

1 **走行軌跡を送信** にタッチ。

2 希望の走行軌跡を選択する。

- すべての走行軌跡を削除したいとき
  ➡ **全消去** → **はい** の順にタッチ。

知 識

- リストに表示される走行軌跡の名称は、設定した目的地の名称です。

3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- 携帯電話の操作は、走行軌跡を送信画面が表示されているときに行います。

4 **送信** にタッチ。

- 通信を中止したいとき
  ➡ **中止** にタッチ。
  - 送信が完了するとメッセージが表示されます。

メモリ地点を携帯電話へ送信する

車載機に保存されているメモリ地点の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。

知 識

- ハンズフリー（→ 407）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- 送信セキュリティ設定のデータ送信制限が「する」に設定されている場合、情報を送信することができません。
- WEB 検索（→ 481）で登録したメモリ地点は、送信することができません。

G・情報（画面外）→（BT ナビ）→ Yahoo! JAPAN と連携 → Yahoo! JAPAN と連携画面

1 メモリ地点を送信 にタッチ。

2 希望のメモリ地点を選択し、決定 にタッチ。

- 複数のメモリ地点を同時に送信したいとき
  ➡送信するメモリ地点全てにタッチ。
- 選択を解除したいとき
  ➡選択済みのメモリ地点にタッチ。

知 識

- メモリ地点のリストは並べ替えることができます。（→ 131）

3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- 携帯電話の操作は、メモリ地点を送信画面が表示されているときに行います。

4 送信 にタッチ。

- 通信を中止したいとき
  ➡中止 にタッチ。
- 送信が完了するとメッセージが表示されます。

目的地履歴を携帯電話へ送信する

車載機に保存されている目的地履歴の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。

知 識

- ハンズフリー（→ 407）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- 送信セキュリティ設定のデータ送信制限が「する」に設定されている場合、情報を送信することができません。
- WEB 検索（→ 481）で登録した目的地履歴は、送信することができません。

G・情報（画面外）→ （**BT ナビ**）→ **Yahoo! JAPAN と連携** →
Yahoo! JAPAN と連携画面

1 **目的地履歴を送信** にタッチ。

2 希望の目的地履歴を選択し、**決定** にタッチ。

- 複数の目的地履歴を同時に送信したいとき
  ➡送信する目的地履歴全てにタッチ。
- 選択を解除したいとき
  ➡選択済みの目的地履歴にタッチ。

3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- 携帯電話の操作は、目的地履歴を送信画面が表示されているときに行います。

4 **送信** にタッチ。

- 通信を中止したいとき
  ➡**中止** にタッチ。
- 送信が完了するとメッセージが表示されます。

地図を更新する

差分更新（マップオンデマンド）と全更新について

地図データの更新には、「差分更新（マップオンデマンド）」と「全更新」があります。

＜差分更新（マップオンデマンド）について＞

差分更新はインターネットと地図 SD カードを使用して、部分的に地図データを更新する方法です。

＜全更新について＞

全更新は、最新版地図ソフトを使用して、全国の地図データを更新する方法です。最新版地図ソフトの購入は、トヨタ販売店にご相談ください。

※最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

差分更新の対象について

差分更新（マップオンデマンド）では、全都道府県の差分地図データを更新します。（全国の高速道路、有料道路施設、著名な施設（3D ランドマーク相当）も同時に更新されます。）

※市街図、音声案内データについては、更新対象外です。

更新方法と費用について

■更新方法について

マップオンデマンドダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）より、地図データをダウンロードし、地図 SD カードに書き込みます。

1 回の更新で、全都道府県の地図データを更新することができます。

※差分更新をするには、専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする必要があります。（→ 196）

■費用とサービス期間について

車載機を購入後 3 年間は、インターネットにかかる実費を除いて更新にかかる費用は無料です。4 年目以降は、最新版地図ソフトを購入して全更新をすることで、購入日から 2 年間サービスを利用することができます。

■差分更新の手順について

地図データの差分更新は、以下の手順で行ってください。

1. 地図 SD カードを車載機から取り出す。（→ 18）
2. パソコンに専用アプリケーションソフトをインストールする。（→ 196）
3. マップオンデマンドダウンロードサイト（http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx）から地図データをパソコンにダウンロードする。
4. インストールした専用アプリケーションソフトを使って、地図データを地図 SD カードに書き込む。

5 地図 SD カードを車載機へ挿入する。（→ 16）

専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールすることで、地図データの差分更新のほかに、地図リカバリー（出荷状態に戻すこと）や、車載機のプログラムおよび使用中の専用アプリケーションソフトのバージョンアップ※などができます。

※サーバーからダウンロードします。

専用のアプリケーションソフトの動作環境

＜動作環境＞

- OS・・・Microsoft WindowsXP(Home/Professional) ／ Microsoft Windows Vista(32bit/64bit) ／ Microsoft Windows 7(32bit/64bit)
- メモリ・・・256MB 以上（OS が規定している容量以上）
- HDD・・・1ユーザーあたり約18GB以上の空き容量（最大 10 ユーザーまで登録可能）

＜必要なもの＞

- SDHCメモリーカードリーダー／ライター
- 地図 SD カード（製品同梱）
- DVD-ROM ドライブ
- インターネット接続可能な環境
- G-BOOK IDまたはGAZOOのIDとパスワード※

※GAZOO ホームページから取得してください。（無料）

専用のアプリケーションソフトをインストールする

知 識

- インストールを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。
- インストールを実行する前に、すべてのWindows プログラムを終了してください。
- 掲載している Windows の画面は、Windows XP の画面を使用しています。操作説明に使用している画面は実際の画面と異なることがあります。また、お客様が使用されている OS やアプリケーションソフトのバージョンによっても画面が異なることがあります。

  ※Microsoft、Windows、Windows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。
- ご利用には GAZOO の ID とパスワードが必要です。

1 専用のアプリケーションソフトのディスクを挿入する。

- インストールが開始されない場合は、専用のアプリケーションソフトのディスクが挿入されている DVD ドライブを選択し、「setup.exe」を実行します。
- 既に最新バージョンの専用のアプリケーションソフトがインストールされているときは、「最新のバージョンです」と表示されます。

2 次へ をクリック。

3 利用規約の内容を確認したあと、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックし、次へ をクリック。

4 インストール先を選択し、次へ をクリック。

5 ショートカット作成場所をチェックして、次へ をクリック。

6 完了 をクリック。

7 OK をクリック。

8 OK をクリック。

知識

・最新版地図ソフトをご購入されたお客様は、同梱の専用のアプリケーションソフトのディスクを使って再度インストールを行ってください。

専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトの使い方については、画面のヘルプを参照してください。

知 識

- Windows Vista をご使用のお客様は、管理者権限を持つユーザーとしてログオンし、専用のアプリケーションソフトを使用してください。

オーディオ & ビジュアル

はじめに 203

■ 基本操作 203
電源の ON・OFF.....203
音量を調整する.....203
操作画面を表示する.....203
モードの切り替え.....204
オーディオの情報を見る.....204
音の設定をする.....205

ラジオ 206

■ ラジオの操作 206
ラジオを聞く.....206
放送局を選ぶ.....206
放送局を記憶する.....207
自動で放送局を記憶する.....207
エリアスイッチについて.....208
交通情報放送を受信する.....208

DVD プレーヤー 209

■ 音楽 CD の操作 209
CD を聞く.....209
聞きたい曲を選ぶ.....210
早送り、早戻しする.....210
同じ曲を繰り返し聞く.....210
曲の順番をランダムに聞く.....210
曲を探す.....210

■ MP3/WMA ディスクの操作 211
MP3/WMA ディスクを聞く.....211
聞きたいフォルダを選ぶ.....211
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ.....212
早送り、早戻しする.....212
同じ曲 (ファイル) を
繰り返し聞く.....212
同じフォルダを繰り返し聞く.....212
フォルダの中からランダムに
聞く.....213
全フォルダの中から
ランダムに聞く.....213
フォルダの中から
曲（ファイル）を探す.....213
フォルダを探す.....213
MP3/WMA について.....214

■ DVD（DVD-Video、DVD-VR）の操作 218
DVD を再生する.....219
映像を一時停止する.....220
映像を止める.....220
早送り、早戻しする.....220
スロー再生する.....221
静止画を切り替える.....221
見たい場所を選ぶ.....221
メニュー画面を操作する.....222
音声を切り替える.....222
字幕を切り替える.....223
アングルを切り替える.....223
音声モードを切り替える.....224
再生モードを切り替える.....224
ディスクで指定された位置まで
戻って見る.....224
画面モードを切り替える.....224
プレーヤーの設定をする.....225

■ 知っておいて
いただきたいこと 231
DVD ビデオ再生中の
操作について 231
DVD ビデオについて 231

SD メモリーカード 235

■ お使いになる前に 235
SD メモリーカードの概要.....235
データベースについて.....236

■ SD メモリーカードに
録音する 239
録音について 239
録音する 240
録音を中止する 241
録音設定.....241
録音したデータ容量を確認する 242
タイトルデータベースを更新する ...242

■ SD メモリーカードに
録音した音楽を聞く 244
SD メモリーカードに録音した
音楽を聞く 244
聞きたいアルバムを選ぶ.....244
聞きたい曲（トラック）を選ぶ 246
早送り、早戻しする.....246
同じ曲（トラック）を
繰り返し聞く 246
同じアルバムを繰り返し聞く 247
アルバムの中からランダムに聞く ...247
全アルバムの中から
ランダムに聞く 247
アルバムの中から
曲（トラック）を探す.....247
アルバムを探す 247

■ SD メモリーカードの編集 248
サウンドライブラリ編集メニュー
画面について 248
お気に入りの楽曲集
（マイベスト）を作成する.....249
マイベストを編集する.....249
アルバム情報を編集する.....251
アルバムを削除する 254
曲（トラック）を削除する.....255

デジタルテレビ 256

■ 地上デジタルテレビの操作 256
miniB-CAS カードについて 257
miniB-CAS カードの出し入れ 258
地上デジタルテレビを見る.....261
チャンネルを選ぶ 262
番組を選ぶ.....263
プリセットモードを切り替える 263
テレビ放送の受信方法を設定する ...264
放送局（系列局／中継局）サーチ
を設定する.....265
EPG(電子番組表) を見る.....266
データ放送を見る 267
データ放送を操作する.....267
画面表示・音声を切り替える 269
緊急警報放送（EWS) について 272
初期設定をする 272

■ 知っておいて
いただきたいこと 277
こんなメッセージが
表示されたとき 277
故障とお考えになる前に.....278

AUX 279

■ AUX の操作 279
再生する.....280

VTR 281

■ VTR の操作 281
VTR を再生する.....281
VTR モードを切り替える.....282
画面モードを切り替える.....282

USB 283

■ はじめに 283

■ iPod の操作 285
再生する.....285
プレイモードを選ぶ.....285
聞きたい曲（トラック）を選ぶ.....286
一時停止をする.....286
早送り、早戻しする.....287
同じ曲（トラック）を
繰り返し聞く.....287
アルバムの中からランダムに聞く...287
全アルバムの中から
ランダムに聞く.....288
iPod について.....288

■ USB メモリの操作 290
再生する.....290
聞きたいフォルダを選ぶ.....290
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ.....290
早送り、早戻しする.....291
同じ曲（ファイル）を
繰り返し聞く.....291
同じフォルダを繰り返し聞く.....291
フォルダの中からランダムに聞く...291
全フォルダの中から
ランダムに聞く.....291
フォルダの中から
曲（ファイル）を探す.....292
フォルダを探す.....292
USB メモリについて.....292
MP3/WMA について.....292

Bluetooth オーディオ 295

■ はじめに 295
Bluetooth オーディオとは.....295
各種表示について.....296
Bluetooth 機器使用上の
注意事項.....297

■ Bluetooth オーディオの操作 298
Bluetooth オーディオを聞く.....298
一時停止する.....299
聞きたいアルバムを選ぶ.....299
聞きたい曲を選ぶ.....299
早送り、早戻しする.....299
同じ曲を繰り返し聞く.....300
曲の順番をランダムに聞く.....300
ライブラリから曲を選ぶ.....300
再生リストから曲を選ぶ.....301

■ Bluetooth オーディオの設定 302
ポータブル機を登録する.....302
ポータブル機を接続する.....303
使用するポータブル機を選択する...306
ポータブル機の詳細情報を
表示する.....307
車載機の Bluetooth 設定を
変更する.....309
ポータブル機の登録を削除する.....310

デジタルフォトフレーム 311

■ デジタルフォトフレームの操作 311

デジタルフォトフレームについて ...311
写真を見る 312
写真を選ぶ 313
デジタルフォトフレームの設定 313

後席ディスプレイ 316

■ リモコンでの操作 316

後席ディスプレイについて 316
オーディオ共通の操作をする 317
再生中の曲を操作する.....319
ラジオ・デジタルテレビを操作する.....320
DVD プレーヤーを操作する.....321

基本操作

エンジンスイッチが ACC または ON のとき使用できます。

電源の ON・OFF

1 AV（画面外）を 1 秒以上押し続ける。

- スイッチを押すごとに、電源がONとOFFに切り替わります。

知 識

・オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

音量を調整する

1 ＋（画面外）または －（画面外）を押す。

- 大きくするとき ➡ ＋（画面外）を押す。
- 小さくするとき ➡ －（画面外）を押す。

⚠ 注 意

・安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

操作画面を表示する

オーディオやテレビの操作は、おもに操作画面を表示させて行います。

1 AV（画面外）を押す。

- 選択されているモードの操作画面が表示されます。

知 識

・操作画面を表示したとき、約 20 秒以上操作しないと自動的に操作画面を表示する前の画面に戻りますが、自動的に画面が切り替わらないように設定することもできます。（→ 46）

モードの切り替え

1 AV（画面外）を押す。

2 希望のモードを選択する。

- AM ……AM ラジオを受信する
- FM ……FM ラジオを受信する
- CD/DVD ……CD または DVD を再生する
- SD ……SD メモリーカードを再生する
- TV ……デジタルテレビを受信する
- BT ……Bluetooth　ポータブルオーディオプレーヤーを再生する
- AUX ……ポータブルオーディオプレーヤーを再生する
- USB ……USB メモリを再生する
- iPod ……iPod を再生する
- VTR ……VTR 機器の映像を見る

知 識

- 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
  - メディアが挿入されていないとき（DVD プレーヤーモード、SD メモリーカードモード）
  - Bluetooth　ポータブルオーディオプレーヤーが登録されていないとき（Bluetooth オーディオモード）
  - ポータブルオーディオプレーヤーが接続されていないとき（AUX モード）
  - USB　メモリが販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターに接続されていないとき（USB モード）
- USB / iPod は販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプターが接続されていないと表示されません。
- VTR は販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターやVTRアダプターが接続されていないと表示されません。

オーディオの情報を見る

ナビゲーション画面を表示したまま、聞いている曲名やアーティスト名、受信している放送局名などの情報を表示することができます。

地図表示中

1 ♪ Info にタッチ。

音の設定をする

1 AV（画面外）を押す。

2 音設定 にタッチ。

3 各項目を設定する。

- 各項目については次のページをご覧ください。

項目	ページ
音質の調整	205
音量バランスの調整	205
LOUDNESS の設定	205

音質の調整

TREB（高音）、BASS（低音）の調整をすることができます。

各オーディオ操作画面 (→ 203) → 音設定 → 音設定画面

＋ …… 強調する
－ …… 弱める

音量バランスの調整

前後左右の音量バランスの調整をすることができます。

各オーディオ操作画面 (→ 203) → 音設定 → 音設定画面

■ポイントの設定

1 希望のポイントにタッチ。

■前後音量バランスの微調整

▲ … 前側音量を強調する
▼ … うしろ側音量を強調する

■左右音量バランスの微調整

▶ … 右側音量を強調する
◀ … 左側音量を強調する

LOUDNESS の設定

オーディオを小音量で聞いているときなど、低音・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

各オーディオ操作画面 (→ 203) → 音設定 →音設定画面

ON …… 補正する
OFF …… 補正しない

知 識

・AM　ラジオおよび交通情報を聞いているときは、LOUDNESS を ON にしても音の変化はありません。

ラジオの操作

ラジオを聞いているときに、AV（画面外）を押すと、ラジオ操作画面が表示されます。
・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

ラジオを聞く

1 AV （画面外）を押す。

2 AM または FM にタッチ。

知 識

・ ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
・ 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

放送局を選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

ラジオ操作画面表示中（→ 206）

1 希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

・ プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいとき
➡「放送局を記憶する」（→ 207）

手動で選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押す。

● 周波数を高い方へ選択するとき
➡ ▶▶|（画面外）を押す。
● 周波数を低い方へ選択するとき
➡ |◀◀（画面外）を押す。

自動で選ぶ

受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

1 ▶▶| または |◀◀(画面外)を“ピッ”と音がするまで押し続ける。

- 周波数を高い方へ選択するとき
  ➡ ▶▶|(画面外）を押し続ける。
- 周波数を低い方へ選択するとき
  ➡ |◀◀(画面外）を押し続ける。
  - 途中で止めるとき ➡ 再度スイッチを押す。

知 識

- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選局することができます。
- 自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局を記憶させておくと便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ 206）

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ 206)

2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。
- 旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中（→ 206）

1 AUTO.P に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
- 周波数の記憶操作が終了すると、“ピッピッ”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。
- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。
  - 解除するとき ➡ 再度 AUTO.P にタッチ。

■AUTO.Pスイッチで記憶させた周波数を変更するには

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ 206)

2 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

知 識

- 自動で周波数を記憶させても、AUTO.P にタッチする前（「AUTO.P」の表示が出ていないとき）に記憶させた周波数は消去されません。
- 受信感度の良い周波数を低い順に 6 局まで自動的に記憶します。受信周波数が 6 局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
・同じ放送局からの受信でも、 ▶▶| (画面外) または |◀◀ (画面外) スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
・AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

エリアスイッチについて

あらかじめナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示させることができます。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)

ラジオ操作画面表示中（→ 206）

1 エリア にタッチ。

● 画面に「エリア .P」の表示が出ます。
・解除するとき ➡ 再度 エリア にタッチ。

知 識

・プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
・AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

交通情報放送を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

1 ··))) にタッチ。

・解除するとき ➡ ⮌戻る にタッチ。

■記憶されている周波数を変更するには

1 AM 放送を選択する。(→ 206)

2 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ 206)

3 ··))) に “ピッ” と音がするまでタッチし続ける。

知 識

・ご購入時には 1620kHz にセットしてあります。

音楽 CD の操作

CD を聞いているときに、AV（画面外）を押すと、CD 操作画面が表示されます。

・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

CD を聞く

■CD が挿入されていないとき

1 CD を挿入する。（→ 16）

■CD が挿入されているとき

1 AV （画面外）を押す。

2 CD/DVD にタッチ。

知 識

・ 再生している CD にアーティスト名などの情報が収録されていなくても、地図 SD カードに該当する情報がある場合は表示されます。

・ ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

・ 録音開始 にタッチすると、現在再生中のCD を SD メモリーカードに録音します。（→ 240）

・ CD を再生したとき、自動的に録音を開始するように設定することもできます。（→ 241）

・ SD メモリーカードへの録音中は、地図 SD カードのデータベースに収録されている情報のみ表示されます。CD-TEXT は表示されません。

聞きたい曲を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀ (画面外) を押す。

- うしろにあるとき ➡ ▶▶| (画面外) を押す。
- 前にあるとき ➡ |◀◀ (画面外) を押す。

リスト画面で選ぶ

CD 操作画面表示中（→ 209）

1 LIST にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

録音済みアイコン

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

早送り、早戻しする

1 ▶▶| または |◀◀ (画面外) を押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶| (画面外）を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ |◀◀ (画面外）を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ 209）

1 RPT にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RPT にタッチ。

曲の順番をランダムに聞く

ランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ 209）

1 RAND にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RAND にタッチ。

曲を探す

全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

CD 操作画面表示中（→ 209）

1 SCAN にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・希望の曲になったら、再度 SCAN にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

MP3/WMA ディスクの操作

MP3/WMA ディスクを聞いているときに、AV（画面外）を押すと、MP3/WMA 操作画面が表示されます。

・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

MP3/WMA ディスクを聞く

■ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。（→ 16）

■ディスクが挿入されているとき

1 AV （画面外）を押す。

2 CD/DVD にタッチ。

知 識

・ ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

● うしろにあるとき

➡ FOLDER の ▲ にタッチ。

● 前にあるとき

➡ FOLDER の ▼ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 FOLDER の LIST にタッチ。

2 聞きたいフォルダにタッチ。

● 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀ (画面外) を押す。

- うしろにあるとき ➡ ▶▶| (画面外) を押す。
- 前にあるとき ➡ |◀◀ (画面外) を押す。

リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 FILE の LIST にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

早送り、早戻しする

1 ▶▶| または |◀◀ (画面外) を押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶| (画面外) を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ |◀◀ (画面外) を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲 (ファイル) を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 RPT にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  ・ 解除するとき ➡ 再度 RPT にタッチ。

同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  ・ 解除するとき ➡ 再度 RPT にタッチ。

フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 RAND にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RAND にタッチ。

全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RAND にタッチ。

フォルダの中から曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 SCAN にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・希望の曲になったら、再度 SCAN にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中（→ 211）

1 SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・希望のフォルダになったら、再度 SCAN にタッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
- 全フォルダの先頭の曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

MP3/WMA について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media™ Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能な MP3 ファイルの規格について

■対応規格

MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）

■対応サンプリング周波数

8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48（kHz）

■対応ビットレート

8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320（kbps）

※VBR に対応しています。

■対応チャンネルモード

ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

再生可能な WMA ファイルの規格について

■対応規格

WMA Ver.9 Standard Decoder Class 3 に準拠

■対応サンプリング周波数

22.05、32、44.1、48（kHz）

■対応ビットレート

22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）

※VBR に対応しています。

※2ch 再生のみ対応しています。

ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
ID3 Ver.1.0、1.1 の ID3 タグに対応しています。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

使用できるメディアについて

MP3/WMA の再生に使用できるメディアは CD-R および CD-RW です。
なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。
なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。

■書き込み方法

ディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス

■ディスクフォーマット

CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2（Form1）

■ファイルフォーマット

ISO9660:　LEVEL1、LEVEL2
拡張フォーマット：ROMEO 形式、JOLIET 形式

■最大フォルダ名（最大文字数）

ISO9660　LEVEL1: 半角 8 文字
ISO9660　LEVEL2: 半角 31 文字
拡張フォーマット　ROMEO 形式 : 半角 64 文字
拡張フォーマット　JOLIET 形式 : 半角 128 文字（“.”と拡張子を含む）

■ファイル名（最大文字数）

ISO9660　LEVEL1: 8.3 形式
ISO9660　LEVEL2: 半角 31 文字
拡張フォーマット　ROMEO 形式 : 半角 64 文字（“.”を含む）
拡張フォーマット　JOLIET 形式 : 半角 128 文字

■文字コード

ISO9660　LEVEL1: 英数字（ASCII コード）
ISO9660　LEVEL2: 英数字（ASCII コード）
拡張フォーマット　ROMEO 形式 : 英数字（ASCII コード）日本語（S-JIS コード）
拡張フォーマット　JOLIET 形式 : 英数字（ASCII コード）日本語（unicode）

■最大ディレクトリ階層

8 階層

■1 枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数

256（ルート含む）

■1 枚のディスクに書き込み可能なファイル数

512

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子 ".mp3"/".wma" がついたものだけです。
MP3/WMA ファイルには、".mp3"/".wma" の拡張子をつけて保存してください。

マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。
ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データと MP3 または WMA 形式のデータが混在しているディスクは、音楽データのみを再生します。

⚠ 注 意

- MP3/WMA 以外のファイルに ".mp3"/".wma" の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに ".mp3"/".wma" の拡張子をつけないでください。

知 識

- CD-RW を消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。（消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。）
- パケットライト記録ディスクには対応していません。（例えば、DirectCD などで作成したディスクには対応していません。）
- MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

DVD（DVD-Video、DVD-VR）の操作

エンジンスイッチが ACC または ON のときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみディスクの映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

この項目では、DVD ビデオ（ビデオ方式で記録した DVD ± R/RW/R DL 含む）・DVD-VR（VR 方式で記録した CPRM 対応 DVD ± R/RW/R DL）の操作方法を説明しています。

DVD を操作する画面には、操作画面と各種切替画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や各種切替画面が表示されていないときでも操作することができます。
- 画面のタッチスイッチにタッチしたとき、画面に ⊘ が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

⚠ 注 意

- 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

ディスクを再生しているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、AV （画面外）を押す、またはディスクの映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

映像 または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

トップメニュー ・ メニュー ・ 選択 は、DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

■各種切替画面

操作画面で、各種切替 にタッチすると表示されます。

映像 または映像にタッチすると映像を全画面で表示します。

DVD ビデオ再生時

DVD-VR 再生時

DVD を再生する

■ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。（→ 16）

■ディスクが挿入されているとき

1 AV（画面外）を押す。

2 CD/DVD にタッチ。

ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときに DVD モードにすると、次のように表示されます。

- ディスク読込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

知 識

・販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中でも後席で DVD をご覧になることができます。

メニュー画面が表示されたとき

DVDビデオ

1 ⬇ ・ ⬆ ・ ⬅ ・ ➡ にタッチして、メニュー項目を選択し、決定 にタッチ。

- ディスクによっては、メニュー項目に直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

メニュー表示の画面例

- オートスタートの設定（→ 227）がされているときは、走行を開始すると自動的に再生されます。
- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（上の画面は一例です。）

暗証番号入力画面が表示されたとき

DVDビデオ

1 暗証番号を入力する。

- 暗証番号については「視聴制限レベルを設定する」（→ 227）をご覧ください。

・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

2 完了 にタッチ。

⚠ 警 告

・ DVD ビデオでは、迫力のある効果音を得るために、通常の会話シーンの音量を小さくして録音されているものがあります。このようなディスクで、会話シーンのときに音量調整を行うと、効果音のシーンになったとき、音量が大きすぎることがありますので、注意してください。音量が大きすぎると運転の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

知 識

・ ディスクに傷がついていたり、内部が結露しているときは、画面の一部が表示されなくなることがあります。
・ ディスクによっては読込み中の画面の表示時間が長い場合があります。
・ メニュー項目の画面など音声が収録されていない場面があります。そのような場面では、音声が出力されない状態が継続されますので、一度、映像を確認して、再生などの操作を行ってください。

映像を一時停止する

DVD 操作画面表示中（→ 218）

1 ❚❚ にタッチ。

・ 通常再生するとき ➡ ▶ にタッチ。

映像を止める

DVD 操作画面表示中（→ 218）

1 ■ にタッチ。

・ 通常再生するとき ➡ ▶ にタッチ。

早送り、早戻しする

操作画面で操作する

DVD 操作画面表示中（→ 218）

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶ にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ◀◀ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

画面外のスイッチで操作する

DVDビデオ

1 ▶▶❙ または ❙◀◀ （画面外）を押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶❙（画面外）を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ ❙◀◀（画面外）を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

スロー再生する

DVD 操作画面表示中（→ 218）

1 [II] にタッチ。

2 [▶▶] にタッチ。

- スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

静止画を切り替える

DVD-VR

DVD 操作画面（→ 218）→ [各種切替] → 各種切替画面

1 [ページ送り] にタッチ。

- タッチするごとに静止画が切り替わります。

見たい場所を選ぶ

タイトルを選ぶ

DVD 操作画面（→ 218）→ [各種切替] → 各種切替画面

1 [サーチ] にタッチ。

2 タイトル番号を入力する。

・ 間違えたとき ➡ [修正] にタッチ。

3 [完了] にタッチ。

チャプターを選ぶ

1 [▶▶|] または [|◀◀]（画面外）を押す。

- うしろにあるとき ➡ [▶▶|]（画面外）を押す。
- 前にあるとき ➡ [|◀◀]（画面外）を押す。

知 識

・ ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

プログラム（プレイリスト）を選ぶ

DVD-VR

1 [▶▶|] または [|◀◀]（画面外）を押し続ける。

- うしろにあるとき
  ➡ [▶▶|]（画面外）を押し続ける。
- 前にあるとき
  ➡ [|◀◀]（画面外）を押し続ける。

知 識

・ ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

メニュー画面を操作する

DVDビデオ

ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

DVD 操作画面表示中（→ 218）

1 メニュー または トップメニュー にタッチ。

- メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
  ➡ 選択 にタッチ。

2 ⬇ ・ ⬆ ・ ⬅ ・ ➡ にタッチして、メニュー項目を選択し、決定 にタッチ。

- ディスクによっては、メニュー項目に直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

メニュー表示の画面例

- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。（上の画面は一例です。）

音声を切り替える

音声が複数収録されているディスクの場合、音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 音声 にタッチ。

2 音声切替 にタッチ。

- タッチするごとに、音声言語が切り替わります。

知 識

・ 現在選択中の音声はDVDビデオ再生時のみ表示されます。

字幕を切り替える

字幕が複数収録されているディスクの場合、字幕を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 字幕 にタッチ。

2 字幕切替 にタッチ。

- タッチするごとに、字幕言語が切り替わります。
  - 字幕消し にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。
    再び表示するとき
    ➡再度 字幕消し にタッチ。

知 識

- 字幕消し および現在選択中の音声は DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

アングルを切り替える

DVDビデオ

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、カメラアングルを切り替えることができます。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク（→ 226）が表示されます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 アングル にタッチ。

2 アングル切替 にタッチ。

- タッチするごとに、アングルが切り替わります。

音声モードを切り替える

DVD-VR

音声多重で収録されているディスクの場合、主音声 / 副音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 MAIN/SUB にタッチ。

- タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

主音声	副音声	主・副音声
MAIN →	SUB →	MAIN/SUB

再生モードを切り替える

DVD-VR

ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生することができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 再生モード にタッチ。

2 プレイリスト にタッチ。

・プログラムを再生するとき
➡ プログラム にタッチ。

知 識

・ディスク内にプレイリストがないときは 再生モード は表示されません。

ディスクで指定された位置まで戻って見る

DVDビデオ

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 リターン にタッチ。

知 識

・ディスクにより、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

画面モードを切り替える

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 Wide にタッチ。

2 Normal ・ Wide 1 ・ Wide 2 のいずれかにタッチ。

3 完了 にタッチ。

知 識

・画面の表示については「画面モードについて」（→ 39）をご覧ください。

プレーヤーの設定をする

あらかじめお好みの設定にしておけば、ディスクを再生するたびに設定する必要がありません。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → 各種切替画面

1 DVD 初期設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

初期設定画面

- 各項目については次のページをご覧ください。

項目	ページ
音声言語の設定※	225
字幕言語の設定※	225
ソフトメニュー言語の設定※	226
マルチアングルマーク表示の設定※	226
視聴制限レベルの設定※	227
オートスタートの設定※	227
映像出力切替	228

※DVD ビデオのみ

3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

知 識

・ 初期状態 にタッチすると、視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。（ → 230）

音声言語を設定する

DVDビデオ

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 音声 にタッチ。

2 出力させる音声言語にタッチ。

- その他 にタッチしたとき
  ➡「言語コードの入力」（ → 229）

3 完了 にタッチ。

字幕言語を設定する

DVDビデオ

優先して表示したい字幕の言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 字幕 にタッチ。

2 表示させる字幕言語にタッチ。

- その他 にタッチしたとき
  ➡「言語コードの入力」（→ 229）

3 完了 にタッチ。

ソフトメニュー言語を設定する

DVD ビデオ

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 ソフトメニュー にタッチ。

2 表示させるソフトメニュー言語にタッチ。

- その他 にタッチしたとき
  ➡「言語コードの入力」（→ 229）

3 完了 にタッチ。

マルチアングルマーク表示の設定をする

DVD ビデオ

マルチアングル（→ 233）で記憶されているディスクを再生させているときに表示されるマルチアングルマークを「表示」または「非表示」に切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 マルチアングル にタッチ。

- タッチするたびに**表示** ⇄ **非表示**と切り替わります。

視聴制限レベルを設定する

DVDビデオ

視聴制限レベル（→ 233）の設定をすることができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 視聴制限 にタッチ。

2 暗証番号を入力する。

- 暗証番号が未設定のとき（「ーーーー」が表示されているとき）は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
  - 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

3 完了 にタッチ。

4 設定したい視聴制限レベルにタッチ。

5 完了 にタッチ。

知 識

- 暗証番号入力時、修正 に連続して 10 回タッチすると、暗証番号を初期化（未設定の状態に）することができます。

オートスタートの設定をする

DVD ビデオ

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生するように設定することができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 オートスタート にタッチ。

- タッチするたびに ON ⇄ OFF と切り替わります。

知 識

- ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続した場合、走行中にメニューをリモコンで操作するときは、オートスタートを「OFF」に設定します。

画面サイズを設定する

DVD の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 →初期設定画面

1 映像出力切替 にタッチ。

- タッチするたびに **4：3（レターボックス）→ 4：3（パンスキャン）→ 16：9（ワイド）**と切り替わります。

4：3（レターボックス）
上下両端が黒く表示された映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。
4：3（パンスキャン）
左右両端がカットされた映像です。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。
16：9（ワイド）
通常のワイドサイズで表示されます。4：3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、左右両端が黒表示、または左右に伸びて表示されます。

知 識

・後席ディスプレイなどの別のディスプレイを接続した場合、本機で設定した画面サイズにより、後席ディスプレイで表示されるサイズは異なります。

言語コードの入力

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、その他 にタッチしたときは、言語コードを入力することにより、言語を選択することができます。

DVD 操作画面 (→ 218) → 各種切替 → DVD 初期設定 → 音声 (字幕 、ソフトメニュー) → その他 → 言語コード入力画面

「字幕言語」のコード入力画面

1 言語コードを入力する。

・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

2 完了 にタッチ。

■言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アファル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブバジア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカーンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ノルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツワナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタール語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カンナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラピュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サンド語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボアクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスペラント語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語

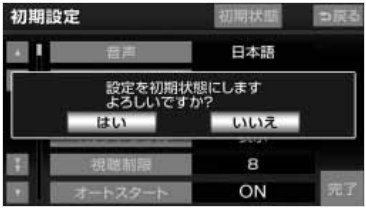
プレーヤーの設定を初期化する

各項目の設定を初期設定の状態にもどすことができます。

DVD 操作画面（→ 218）→ 各種切替 → DVD 初期設定 → 初期設定画面

1 初期状態 にタッチ。

2 はい にタッチ。



・ 視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。

知っておいていただきたいこと

Dolby Digital に対応しており、上のマークのついたディスクが使用できます。
Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

DVD ビデオ再生中の操作について

DVD ビデオはディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

DVD ビデオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。
  NTSC 方式以外のカラーテレビ方式（PAL・SECAM）対応のディスクは再生させることができません。
- ドルビーは 2ch 対応です。

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号（次ページ）が表示されているものがあります。
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、このDVD プレーヤーで再生させることができません。
このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。
また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意味
NTSC		カラーテレビの方式。
2		音声のトラック数。 ・ 数字が収録されている音声数。
2		字幕の言語数。 ・ 数字が収録されている言語数。
3		アングルの数。 ・ 数字が収録されているアングル数。
16:9 LB	4:3	選択することができる画面モード。 ・「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面。
ALL	2	再生可能な地域番号。 ・ ALL は全世界向け、数字は地域番号。（「2」は日本を示します。）

ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

【例】

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1

■タイトル
ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

■チャプター
ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数のチャプターで構成され、それぞれのチャプターに順につけられた番号をいいます。

知 識

・ ディスクによっては、再生中にタイトル番号、チャプター番号、再生時間が表示されないものもあります。

DVD ビデオの用語

より正しく有効に DVD ビデオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

■DVD ビデオ
動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」（エムペグ 2）が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

■視聴制限
「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- レベル 1…子ども向けのディスクのみを再生させることができます。
（一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル2～7…子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。（成人向けのディスクを再生させることはできません。）
- レベル 8…すべてのディスクを再生させることができます。

■マルチアングル
DVD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル（カメラの位置）で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

■マルチランゲージ（多言語）

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

■地域番号（リージョンコード）

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンコード）が設けられています。
再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について」をご覧ください。（→ 232）

音声について

この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・パックド PCM・ドルビーデジタル・MPEG オーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する（ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch）完全ディスクリート（分割）方式です。

■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。
1 秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。
これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

■リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。
音楽 CD では 44.1kHz ／ 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは 48kHz ／ 16bit ～ 96kHz ／ 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。

お使いになる前に

SD メモリーカードの概要

音楽 CD を SD メモリーカードに録音することができます。また、録音したアルバムにアルバム名やアーティスト名などの情報を自動で付けるので、聞きたいアルバムをアルバム名やアーティスト名などから簡単に探し出し再生することができます。

知 識

- SD メモリーカードに録音することができるデータは、CD（アルバム / シングルディスク）の音楽データのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しているため、次の CD からは録音できません。
  - オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW（パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - 録音が禁止されている音楽 CD
- MP3・WMA を記録した CD-R や CD-RW からは録音できません。
- DTS-CD からは録音できません。
- 最大 3000 個のアルバムを作成することができ、1 つのアルバムに最大 99 曲まで録音することができます。録音可能な曲の総数は、最大 10000 曲です。ただし、録音する SD メモリーカードの容量によっては、最大 10000 曲まで録音することができません。

データベースについて

CD アルバムを再生または録音した場合、地図 SD カードに収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。地図 SD カードに収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースのデータベース情報を使用しています。

Gracenote® メディアデータベースについて

地図 SD カードに収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。
音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧下さい。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

知 識

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

Gracenote®メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

SD メモリーカードに録音する

録音について

録音方法について

- 車載機は、音楽 CD を AAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮して、SD メモリーカードに録音することができます。
- 録音された音楽は暗号化されて SD メモリーカードに記録されるため、パソコンや他の機器では再生できません。
- 録音したデータは、パソコンに保存することができます。保存したデータは、録音時に使用した SD メモリーカードであれば、同じフォルダ構成で再度データを保存することができます。
- 録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。
- 録音中に他のオーディオモードに切り替えることができます。オーディオモードを切り替えても録音は継続されます。
- 録音が完了した後、車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に が表示されます。
- 録音の開始時や終了時は、約 5 秒間音楽が停止します。
- SD メモリーカードの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。

録音についての注意

- 車載機の故障や誤作動、または不具合により録音できなかった録音内容および消失した音楽データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。
  したがって、車載機で録音した SD メモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）等権利者に直接お尋ねください。
- 車両のエンジンスイッチを ACC にして録音する場合、エンジンスイッチを ON にすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップ CD（曲と曲の間の無音部分が無い CD）を録音する場合、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。
- 一度車両のバッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約 2 分間は録音ができません。

録音する

⚠ 注 意

・録音中に車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。SD メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。録音中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にする場合は、録音を停止してください。

手動で録音する

1 録音設定の自動録音および選んで録音を「しない」に設定する。（→ 241）

2 SD　メモリーカードを挿入する。（→ 16）

3 録音したい CD を挿入する。（→ 16）

4 AV（画面外）を押す。

5 録音開始 にタッチ。

● 再生している CD の録音を開始します。

知 識

・CD　の再生中に操作画面を表示していなくても G･情報（画面外）を“ピッ”と音がするまで押し続けると録音を開始することができます。
・ディスプレイが開いているときは、録音を開始することができません。

自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。（→ 241）

2 SD　メモリーカードを挿入する。（→ 16）

3 録音したい CD を挿入する。（→ 16）

● 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。（→ 241）

2 SD　メモリーカードを挿入する。（→ 16）

3 録音したい CD を挿入する。（→ 16）

4 AV（画面外）を押す。

5 録音開始 にタッチ。

6 録音したい曲にタッチ。

● 走行中は曲を選択することはできません。
- リストにあるすべての曲を録音するとき
  ➡ 全選択 にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ 全解除 にタッチ。

7 完了 にタッチ。

● CD の再生および CD の録音を開始します。

知 識

- CD の再生中に操作画面を表示していなくても G・情報（画面外）を“ピッ”と音がするまで押し続けると曲を選択し、録音を開始することができます。
- ディスプレイが開いているときは、録音を開始することができません。

録音を中止する

1 AV（画面外）を押す。

2 録音停止 にタッチ。

知 識

- CD 操作画面を表示していない状態で G・情報（画面外）を“ピピッ”と音がするまで押し続けても録音を中止することができます。
- 通常の速さで再生しながら、最大 4 倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- 録音中は、操作画面に「♪ AAC」と表示されます。
- 録音中は、RPT ・RAND ・SCAN ・LIST の各スイッチは操作できません。また、選曲、早送り・早戻しもできません。
- 選曲は、録音済みの曲に対して操作できます。

録音設定

CDの再生と同時に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」を切り替えることができます。

1 設定（画面外）を押す。

2 オーディオ にタッチ。

3 CD ⇒ SD 録音設定 にタッチ。

4 録音方法を選択します。

5 完了 にタッチ。

■自動で録音する

1 自動録音の する にタッチ。

■曲を選んで録音する

1 自動録音の しない にタッチ。

2 選んで録音の する にタッチ。

知 識

・走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

録音したデータ容量を確認する

今までに SD メモリーカード内に録音した曲数や、アルバム数を表示することができます。

G・情報（画面外） → （情報） → データ管理 → データ管理画面

1 SD メモリーカードを挿入する。（→ 16）

2 SD の容量の 確認 にタッチ。

● SD メモリーカードの容量が表示されます。

知 識

・データ管理画面の円グラフで表示される空き領域は、音楽用 SD メモリーカードの空き容量と異なることがあります。そのため、画面で空き領域が表示されていても録音できない場合や、空き領域の表示がなくても録音できる場合があります。

タイトルデータベースを更新する

地図 SD カードに収録されている Gracenote メディアデータベースは、更新することができます。データベースの更新は、同梱のマップオンデマンド専用のアプリケーションソフトが必要になります。（→ 196）

タイトルデータベースの更新

1 地図 SD カードを車載機から取り出す。（→ 18）

2 パソコンに専用アプリケーションソフトをインストールする。（→ 196）

3 専用ダウンロードサイトから Gracenote メディアデータベースの更新用データをダウンロードする。

4 インストールした専用アプリケーションソフトを使って、ダウンロードした Gracenote メディアデータベースの更新用データを地図 SD カードに書き込む。

5 地図 SD カードを車載機へ挿入する。（→ 16）

バージョンを確認する

地図 SD カードに収録されている Gracenote メディアデータベースのバージョン情報を見ることができます。

G・情報（画面外） → （情報） → データ管理 → データ管理画面

1 バージョン情報 にタッチ。

- データベースのバージョン情報が表示されます。

SD メモリーカードに録音した音楽を聞く

SD メモリーカードに録音した音楽を聞いているときに、AV（画面外）を押すと、SD 操作画面が表示されます。

・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

SD メモリーカードに録音した音楽を聞く

1 SD　メモリーカードを挿入する。（→ 16）

2 AV（画面外）を押す。

3 SD にタッチ。

知 識

・ 録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK1、TRACK2…と表示されます。

・ タイトル入力 は、マイベスト（オリジナルで作成した楽曲集）を再生しているときは表示されません。また、走行中および録音中は操作できません。

聞きたいアルバムを選ぶ

操作画面で選ぶ

SD 操作画面表示中
（→ 244）

● うしろにあるとき
➡ ALBUM の ▼ にタッチ。

● 前にあるとき
➡ ALBUM の ▲ にタッチ。

リスト画面で選ぶ

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 ALBUM の 選択 にタッチ。

2 アルバムリスト画面で、聞きたいアルバムを選択する。

録音日順のリスト画面

● 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

■アルバムリスト画面について

アルバムリストはアーティストでグループ分けして表示したり、録音日順に表示することができます。また、お気に入りの楽曲集を作成しているときはマイベストから表示、選択します。

	アルバムリスト画面
アーティスト	アーティスト選択
録音日順	
マイベスト	

知 識

- アーティストから検索するとき、アーティスト読みが同じで違うアーティスト名が複数存在している場合、最後に録音した曲のアーティスト名が表示されます。
- マイベスト は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。(→ 249)
- アルバムはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（アーティスト 、録音日順 ）を変更すると再生順が変わります。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押す。

- うしろにあるとき ➡ ▶▶|（画面外）を押す。
- 前にあるとき ➡ |◀◀（画面外）を押す。

リスト画面で選ぶ

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 TRACK の 選択 にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

知 識

- 録音中に音飛びが発生したときはそのトラックの録音をやり直しますが、再び音飛びが発生したときはそのままの状態で録音されます。音飛び状態のまま録音されたトラックには、音飛び録音アイコンが表示されます。

早送り、早戻しする

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶|（画面外）を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ |◀◀（画面外）を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 RPT にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - 解除するとき ➡ 再度 RPT にタッチ。

同じアルバムを繰り返し聞く

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RPT にタッチ。

アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 RAND にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RAND にタッチ。

全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RAND にタッチ。

アルバムの中から曲（トラック）を探す

選択しているアルバムの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 SCAN にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・希望の曲になったら、再度 SCAN にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

アルバムを探す

全アルバムの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

SD 操作画面表示中（→ 244）

1 SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・希望のアルバムになったら、再度 SCAN にタッチすると、そのアルバムの再生を続けます。
- 全アルバムの先頭の曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

SD メモリーカードの編集

SD メモリーカードに録音すると、アーティスト名の情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などをすることができます。

サウンドライブラリ編集メニュー画面について

SD メモリーカードの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

1 設定（画面外）を押す。

2 オーディオ にタッチ。

3 サウンドライブラリ編集 にタッチ。

サウンドライブラリ編集メニュー画面

サウンドライブラリ編集メニュー画面から以下のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	249
マイベストの編集	
・マイベストの名称修正	
・トラックの追加	250
・トラックの並び替え	
・トラックの削除	251
・マイベストの削除	
アルバム情報の編集	
・アルバムタイトル、アルバム読み修正	252
・トラックタイトル、トラック読み修正	
・アーティスト名、アーティスト読み修正	
・タイトル情報の再取得	253
・アルバムの削除	254
・トラックの削除	255

知 識

・走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集をすることができません。

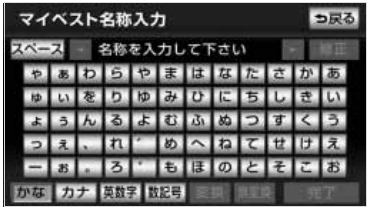
お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成する

お気に入りの曲を集めた楽曲集（マイベスト）を作成することができます。作成した楽曲集は、アルバムリスト画面のマイベストから簡単に呼び出すことができます。

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 新規作成 にタッチ。

2 マイベストの名称を入力する。



● ソフトウェアキーボードで入力する。

3 登録したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

● アルバムはアーティストで絞り込む他に、録音日順のリストから選択することができます。
➡ 録音日順 にタッチ。

4 登録したい曲の含まれているアルバムを選択する。

5 登録したい曲にタッチ。

・ リストにあるすべての曲を登録するとき
➡ 全選択 にタッチ。
・ 選択を解除するとき
➡選択されている曲にタッチ。
・ すべての選択を解除するとき
➡ 全解除 にタッチ。

6 登録 にタッチ。

7 完了 にタッチ。

・ 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 にタッチ。（手順 **3** へ）
・ 同様の手順で追加できます。

知 識

・ 同じ名称は重複して登録できません。
・ マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

マイベストを編集する

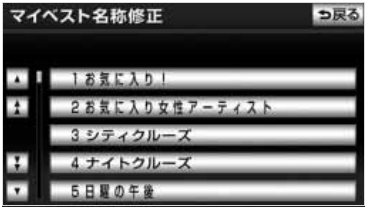
マイベストの名称を修正したり、曲の追加や順番の並べ替え、削除をすることができます。また、マイベスト自体を削除することができます。

マイベストの名称を修正する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 名称修正 にタッチ。

2 修正したいマイベストにタッチ。



3 名称を入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力する。

知 識

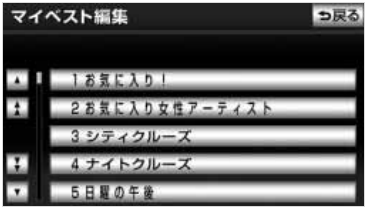
・ 同じ名称は重複して登録できません。

曲を追加する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 曲を追加したいマイベストにタッチ。



3 トラックを追加 にタッチ。

4 追加したい曲が含まれているアルバムのアーティストを選択する。

● アルバムはアーティストで絞り込む他に、録音日順のリストから選択することができます。
➡ 録音日順 にタッチ。

5 追加したい曲が含まれているアルバムを選択する。

6 追加したい曲にタッチ。

・ すべての曲を追加するとき
➡ 全選択 にタッチ。
・ 選択を解除するとき
➡選択されている曲にタッチ。
・ すべての選択を解除するとき
➡ 全解除 にタッチ。

7 登録 にタッチ。

8 完了 にタッチ。

・ 続けて曲を追加するとき
➡ 追加 にタッチ。（手順 **4** へ）
・ 同様の手順で追加できます。

知 識

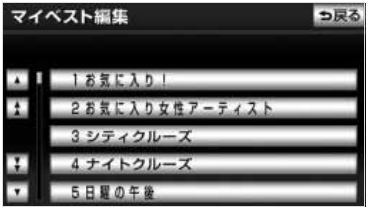
・ 1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

曲を並べ替える

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 並べ替えをしたいマイベストにタッチ。



3 トラックを並替 にタッチ。

4 移動したい曲にタッチ。

5 移動したい場所の 並替 にタッチ。

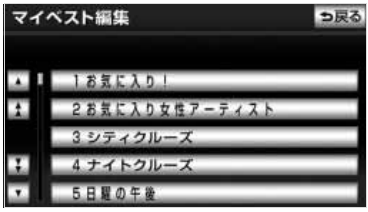
6 完了 にタッチ。

曲を削除する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 消去したい曲の含まれているマイベストにタッチ。



3 トラックを削除 にタッチ。

4 削除したい曲にタッチ。

- すべての曲を削除するとき
  ➡ 全選択 にタッチ。
- 選択を解除するとき
  ➡選択されている曲にタッチ。
- すべての選択を解除するとき
  ➡ 全解除 にタッチ。

5 削除 にタッチ。

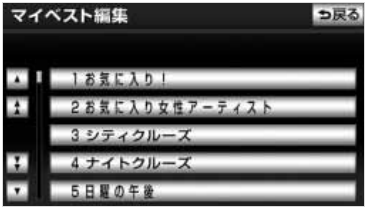
6 はい にタッチ。

マイベストを削除する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 マイベストの 編集 にタッチ。

2 消去したいマイベストにタッチ。



3 このマイベストを削除 にタッチ。

4 はい にタッチ。

アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、トラック名などを変更することができます。

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの 修正 にタッチ。

2 編集したいアルバムのアーティストを選択する。

● 録音日順のリストから選択するとき
➡ 録音日順 にタッチ。

3 編集したいアルバムを選択する。

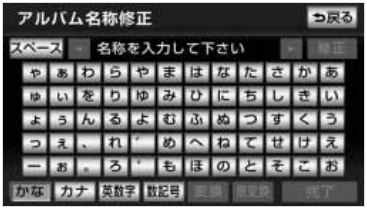
- 再生中のアルバムの情報を編集したいときは、SD　　操作画面（→　　244）で、タイトル入力 にタッチするとアルバム修正画面を表示することができます。
（ タイトル入力 は、マイベストを再生しているときは表示されません。）

アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択 →
アルバム修正画面

1 アルバム または アルバム読み にタッチ。

2 アルバムまたはアルバム読みを入力する。



- ソフトウェアキーボードで入力する。

知 識

・ 読みは半角カタカナのみ入力できます。

トラックタイトル、トラック読みを変更する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択 →
アルバム修正画面

1 トラック名を修正 にタッチ。

2 修正したいトラックにタッチ。

3 トラック または トラック読み にタッチ。

4 トラックまたはトラック読みを入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力する。

知 識

・ 読みは半角カタカナのみ入力できます。

アーティスト名、アーティスト読みを変更する

■アーティスト名を変更する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択 →
アルバム修正画面

1 トラック名を修正 にタッチ。

2 修正したいトラックにタッチ。

3 トラックアーティスト にタッチ。

4 編集方法を選択する。

<マニュアル入力するときは>

1 マニュアル入力する にタッチ。

2 アーティスト名を入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力する。

<リストから選ぶときは>

1 リストから選択する にタッチ。

2 アーティスト名にタッチ。

● リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

■アーティスト読みを変更する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択 →
アルバム修正画面

1 トラック名を修正 にタッチ。

2 修正したいトラックにタッチ。

3 トラックアーティスト読み にタッチ。

4 アーティスト読みを入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力する。

知 識

・ 読みは半角カタカナのみ入力できます。

タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用した CD のタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
アルバムの 修正 → アルバムを選択 →
アルバム修正画面

1 SD で検索 にタッチ。

● CD タイトル検索画面が表示されます。

知 識

・ G で検索 は、G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに使用することができます。G-BOOK オンラインサービスを利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。(→ 531)

2 複数候補があるときは、タイトルにタッチ。

3 登録 にタッチ。

知 識

・ 再生している曲の録音に使用した CD のタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

■CD タイトル検索画面

CD タイトルを検索しているときに表示されます。

● 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
・ 中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

アルバムを削除する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの 削除 にタッチ。

2 削除したいアルバムのアーティストを選択する。

● 録音日順のリストから選択するとき
➡ 録音日順 にタッチ。

3 削除したいアルバムを選択する。

4 このアルバムを削除 にタッチ。

5 はい にタッチ。

知 識

・ 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

曲（トラック）を削除する

設定（画面外）→ オーディオ →
サウンドライブラリ編集 →
サウンドライブラリ編集メニュー画面

1 アルバムの 削除 にタッチ。

2 削除したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。

● 録音日順のリストから選択するとき
➡ 録音日順 にタッチ。

3 削除したい曲の含まれているアルバムを選択する。

4 トラックを削除 にタッチ。

5 削除したい曲にタッチ。
・すべての曲を削除するとき
➡ 全選択 にタッチ。
・選択を解除するとき
➡選択されている曲にタッチ。
・すべての選択を解除するとき
➡ 全解除 にタッチ。

6 削除 にタッチ。

7 はい にタッチ。

知 識

・削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。

地上デジタルテレビの操作

車両のエンジンスイッチが ACC、または ON のときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

● 地上デジタルテレビ放送が表示されないとき ➡ AV(画面外) を押す。（→ 261）

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と放送局リスト画面から行います。
目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面や放送局リスト画面が表示されていないときでも操作することができます。

⚠ 注 意

・ 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

■操作画面

地上デジタルテレビをご覧になっているとき（音声のみを聞いているときを含む）に、AV（画面外）を押す、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

全画面 または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

アンテナインジケータについて

電波の受信状態を表示します。

表示	
レベル	受信不可　受信状態が悪い ←→ 受信状態が良い

■放送局リスト画面

操作画面で、放送局リスト にタッチすると表示されます。

プリセットスイッチ

知 識

・ 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
・ 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ず miniB-CAS カードを車載機に挿入してください。（→ 259）

- miniB-CAS カードの動作確認について
  ➡「miniB-CAS カードの動作確認をする」（→ 275）

取り扱いについての注意

より詳しい情報は、B-CAS 社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを車載機に正しく挿入してください。
- miniB-CAS カードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。（ワンセグ放送は視聴することができます。）

- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC（集積回路）部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、miniB-CAS カードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

miniB-CAS カードの破棄について

miniB-CAS カードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。
車載機を破棄するなど、miniB-CAS カードが必要なくなったときは株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して返却手続きをしてください。
電話番号　0570-000-250
受付時間　AM10:00 ～ PM8:00
（年中無休）

miniB-CAS カードの出し入れ

⚠ 警 告

- miniB-CAS カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

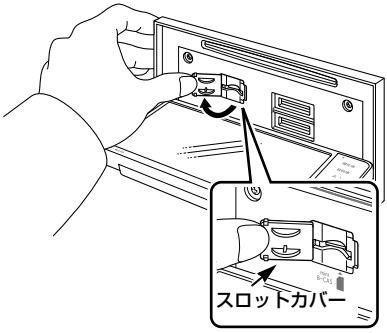
⚠ 注 意

- miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や損傷の原因となります。
- miniB-CAS カードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- miniB-CAS カードを抜き差しするときなどに、落として紛失しないように注意してください。
- miniB-CAS カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからminiB-CASカードの動作確認を行ってください。
- ご使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

miniB-CAS カードの入れかた

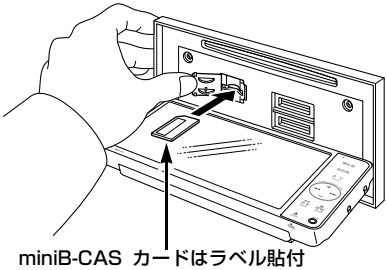
1 ディスプレイを開ける。（→ 16）

2 カードスロットカバーを開ける。



3 miniB-CAS　カードスロットに miniB-CAS カードを挿入する。

- miniB-CAS カードを差し込むときは、指などがディスプレイに触れないように注意してください。CLOSE にタッチすると、ディスプレイが閉じます。
- miniB-CAS カードは“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



4 カードスロットカバーとディスプレイを閉じる。（→ 16）

- カードスロットカバーを確実に閉じた後でディスプレイを閉じてください。
- miniB-CAS カードを挿入した後、正常に動作しているか必ず確認してください。（→ 275）

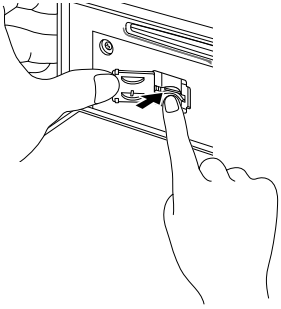
miniB-CAS カードの取り出しかた

1 ディスプレイを開ける。（→ 16）

2 カードスロットカバーを開ける。

3 miniB-CAS カードを押し、ゆっくりと miniB-CAS カードを引き出す。

- miniB-CAS カードを取り出すときは、指などがディスプレイに触れないように注意してください。CLOSE にタッチすると、ディスプレイが閉じます。
- miniB-CAS　カードは水平方向に引き出します。



4 カードスロットカバーとディスプレイを閉じる。（→ 16）

- カードスロットカバーを確実に閉じた後でディスプレイを閉じてください。

初回起動時の設定

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

1 AV（画面外）を押す。

2 TV にタッチ。

3 開始 にタッチ。

4 郵便番号を入力し、 次へ にタッチ。

・間違えたとき
➡ 修正 にタッチ。

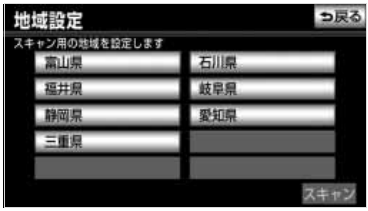
5 地域を選択する。

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
➡ 沖縄地方・その他 にタッチ。

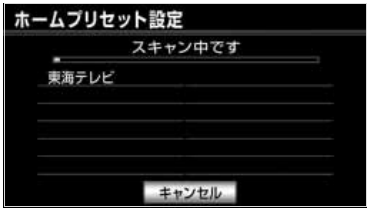
6 都道府県を選択し、 次へ にタッチ。

7 地域を選択する。

8 都道府県を選択し、 スキャン にタッチ。



● ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



・受信を中止したいとき
➡ キャンセル にタッチ。

9 OK にタッチ。

● 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち 12 局がプリセットスイッチに表示されます。

10 完了 にタッチ。

知 識

・プリセットスイッチに表示されなかった放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。(→ 274)
・受信する地域により、放送局を表示するまで約 5 分程度かかる場合があります。
・引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。(→ 274)

地上デジタルテレビを見る

1 AV（画面外）を押す。

2 TV にタッチ。

知 識

- 車載機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
  この関係の主な例を次に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
  - トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像です。
- 地上デジタルテレビ放送では、5.1ch を AAC 方式で圧縮した番組（AAC5.1ch 放送）を放送していることがあります。車載機は AAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch 放送を受信した場合、2ch 再生となります。
- 双方向通信に対応していません。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中でも後席で地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。

チャンネルを選ぶ

プリセットスイッチから選ぶ

デジタルテレビ操作画面または放送局リスト画面表示中 (→ 256、257)

1 希望のチャンネルが記憶されているプリセットスイッチにタッチ。

- プリセットスイッチにチャンネルを記憶させたいときや、記憶されているチャンネルを変更したいとき
  ➡「プリセットスイッチの内容を変更する」(→ 274)

手動で選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押す。

- チャンネルを大きい方へ選択するとき
  ➡ ▶▶|（画面外）を押す。
- チャンネルを小さい方へ選択するとき
  ➡ |◀◀（画面外）を押す。

放送局リストから選ぶ

放送局リスト画面表示中（→ 257）

1 見たい放送局名を選択し、全画面 にタッチ。

番組を選ぶ

デジタルテレビ操作画面から選ぶ

受信しているチャンネル内で番組を切り替えます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 サービス切替 にタッチ。

● タッチするごとに番組が切り替わります。

知 識

・ 番組の切り替えが可能な場合、デジタルテレビ操作画面に、サービス数および視聴中のサービス番号が表示されます。

サービスリスト画面から選ぶ

放送局リスト画面表示中 (→ 257)

1 見たい放送局を選択し、サービスリスト にタッチ。

2 見たい番組を選択する。

知 識

・ 受信モードが自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。（→ 264）

・ 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。
違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。

・ 1 つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。

プリセットモードを切り替える

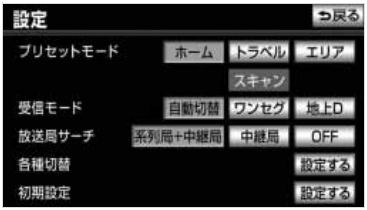
プリセットモードには、ホーム、トラベル、エリアの３種類があり、それぞれのプリセットモードごとにチャンネルを記憶／表示することができます。

・ デジタルテレビ操作画面に選択したプリセットモード名が表示されます。

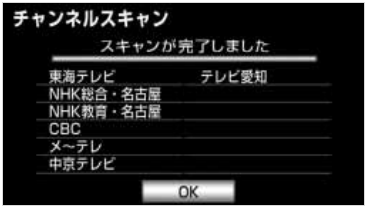
デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 設定 にタッチ。

2 プリセットモードを選択する。



- トラベル 選択後に選局を始めたいとき
  ➡"ピッ"と音がするまで スキャン にタッチし続ける。



- 選局完了後、 OK にタッチすると、プリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。

ホーム
ホームプリセットで記憶したチャンネル（→260、272）が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。
トラベル
旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。
エリア
自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

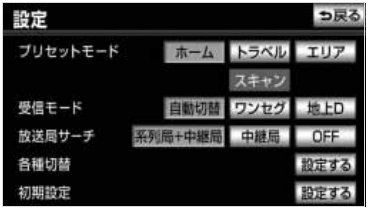
テレビ放送の受信方法を設定する

地上デジタルテレビ放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→256）

1 設定 にタッチ。

2 希望の受信方法を選択する。



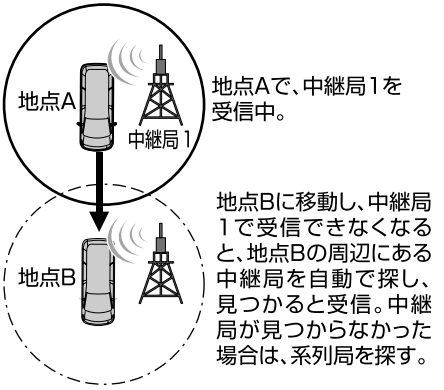
自動切替
通常の地上デジタルテレビ放送（12 セグ）が周囲の環境により受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わります。通常の地上デジタルテレビ放送（12 セグ）が受信可能になると、自動でもとに戻ります。
ワンセグ
周囲の環境に関係なく、常にワンセグ放送のみ受信します。
地上 D
周囲の環境に関係なく、常に通常の地上デジタルテレビ放送（12 セグ）のみ受信します。

知 識

- ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信方法を自動切替にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

放送局（系列局／中継局）サーチを設定する

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。



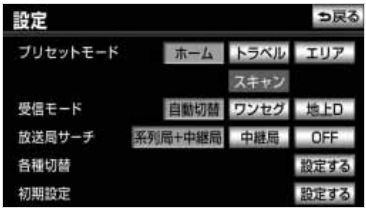
知 識

- 放送局のサーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 設定 にタッチ。

2 設定方法を選択する。



系列局＋中継局
受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
中継局
受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。
OFF
放送局のサーチを行いません。

知 識

- 放送局のサーチ中、後席ディスプレイに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- プリセットモードで「エリア」を選択（→ 263）しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。
- 系列局を受信した場合、切り替わった番組がご覧になっていた番組と異なることがあります。

EPG(電子番組表) を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

放送局リスト画面表示中（→ 257）

1 番組表 にタッチ。

- 番組表画面が表示されます。

知 識

・番組表画面からお好みの地上デジタルテレビ映像（番組）に切り替えることはできません。

見たい番組を探す（別の番組表に切り替える）

表示している番組表を別の番組表に切り替えることができます。

■日付を切り替える

放送局リスト画面表示中（→ 257）→ 番組表 → 番組表画面

1 日付切り替えスイッチの ▶ または ◀ にタッチ。

- 翌日の番組表を表示するとき
  ➡ ▶ にタッチ。
- 前日の番組表を表示するとき
  ➡ ◀ にタッチ。

■チャンネルを切り替える

放送局リスト画面表示中（→ 257）→ 番組表 → 番組表画面

1 チャンネル切り替えスイッチの ▶ または ◀ にタッチ。

- プリセットスイッチの番号が大きい方へ切り替えるとき
  ➡ ▶ にタッチ。
- プリセットスイッチの番号が小さい方へ切り替えるとき
  ➡ ◀ にタッチ。

■サービスを切り替える

＜選択しているチャンネルで複数の番組が放送されている場合＞

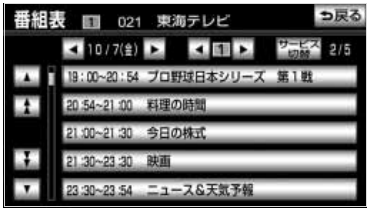
放送局リスト画面表示中（→ 257）→ 番組表 → 番組表画面

1 サービス切替 にタッチ。

番組の情報を見る

放送局リスト画面表示中（→ 257）→ 番組表 → 番組表画面

1 情報が見たい番組を選択する。



・ 番組の情報が表示されます。

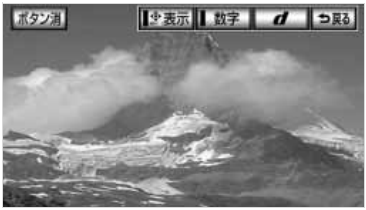
データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 d操作 にタッチ。

2 d にタッチ。



● データ放送画面が表示されます。

知識

・ ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
・ データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に「d」が表示されます。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。
操作方法は受信したデータ放送により異なります。

知識

・ データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
・ データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングなどに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組がありますが、車載機は対応していません。

データ放送操作画面を表示する

データ放送を操作するときは、データ放送操作画面を表示して行います。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 d 操作 にタッチ。

- データ放送操作画面が表示されます。
  - ・スイッチを消すとき
    - ➡ ボタン消 にタッチ。
  - ・データ放送画面を解除するとき
    - ➡ d にタッチ。

色ボタン、カーソルで操作する

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ d 操作 → d → データ放送画面

1 表示 にタッチ。

2 色ボタンまたはカーソルにタッチ。

- カーソルを操作して選択するとき
  - ➡ 決定 にタッチ。
  - ・色ボタン・カーソルの表示位置を左に移動したいとき
    - ➡ ≫移動 にタッチ。
  - ・色ボタン・カーソルの表示位置を右に移動したいとき
    - ➡ ≫移動 にタッチ。

10 キー（テンキー）で操作する

数字を入力するときに使用します。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ d 操作 → d → データ放送画面

1 数字 にタッチ。

2 数字を入力し、決定 にタッチ。

- 10 キーの表示位置を左に移動したいとき
  ➡ ≫移動 にタッチ。
- 10 キーの表示位置を右に移動したいとき
  ➡ ≫移動 にタッチ。

前の画面に戻る

データ放送画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻したいときに使用します。

データ放送操作画面表示中（→ 268）

1 戻る にタッチ。

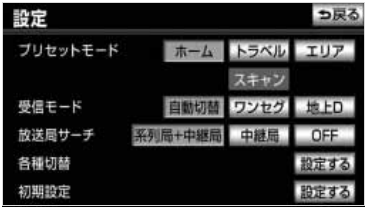
画面表示・音声を切り替える

ご覧になっている番組が提供している映像や音声などをお好みに合わせて切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 設定 にタッチ。

2 各種切替の 設定する にタッチ。



映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供するマルチビュー放送をおこなっている場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 各種切替の 設定する → 各種切替画面

1 映像 にタッチ。

● タッチするごとに、映像が切り替わります。

知 識

・映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 各種切替の 設定する → 各種切替画面

1 音声 にタッチ。

● タッチするごとに、音声が切り替わります。

音声多重放送の音声モードを切り替える

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 設定 にタッチ。

2 各種切替の 設定する にタッチ。

3 二重音声 にタッチ。

● タッチするごとに、以下の順に切り替わります。

主音声　副音声　主・副音声

MAIN → SUB → MAIN/SUB

4 完了 にタッチ。

知 識

・副音声または主・副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声がひんぱんに切り替わることがあります。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 各種切替の 設定する → 各種切替画面

1 字幕 にタッチ。

- タッチするごとに、字幕が以下の順に切り替わります。

字幕 OFF → 第 1 言語 → 第 2 言語

文字スーパーを切り替える

ご覧になっている番組が文字スーパーを提供している場合、お好みに合わせて表示言語を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 各種切替の 設定する → 各種切替画面

1 文字スーパー にタッチ。

- タッチするごとに、文字スーパーが以下の順に切り替わります。

字幕 OFF → 第 1 言語 → 第 2 言語

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送　(EWS:Emergency Warning System) は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組にもどります。

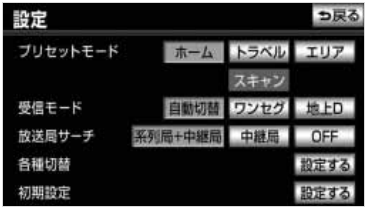
初期設定をする

各種機能設定やメールの閲覧などを行うことができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）

1 設定 にタッチ。

2 初期設定の 設定する にタッチ。



● 初期設定画面が表示されます。

初期設定画面から以下の項目を設定することができます。

項目	ページ
ホームプリセットの設定	272
居住地域の登録	274
メールの閲覧	275
miniB-CAS カードの情報の閲覧	275
miniB-CAS カードの動作テスト	275

ホームプリセットの設定

ご使用になる地域で受信できる放送局（チャンネル）を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局（チャンネル）を追加させる追加スキャンの 2 種類があります。

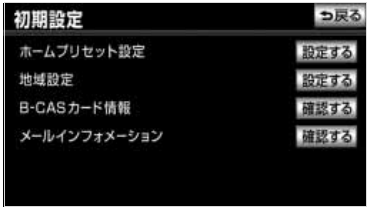
知 識

・最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち 12 局がプリセットスイッチに表示されます。

■初期スキャンをする

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する →
初期設定画面

1 ホームプリセット設定の 設定する にタッチ。

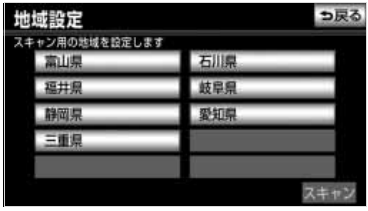


2 初期スキャン にタッチ。

3 地域を選択する。

4 都道府県を選択し、 スキャン にタッチ。

- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



・受信を中止したいとき
➡ キャンセル にタッチ。

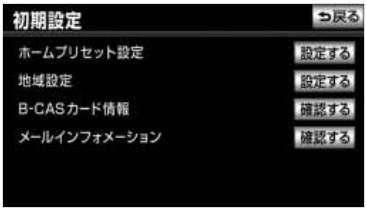
5 OK にタッチ。

6 完了 にタッチ。（**2** の画面）

■追加スキャンをする

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する →
初期設定画面

1 ホームプリセット設定の 設定する にタッチ。



2 追加スキャン に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。

・受信を中止したいとき
➡ キャンセル にタッチ。

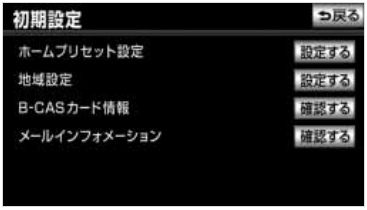
3 OK にタッチ。

4 完了 にタッチ。

■プリセットスイッチの内容を変更する

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する → 初期設定画面

1 ホームプリセット設定の 設定する にタッチ。



2 変更したいプリセットスイッチを選択する。

3 記憶したい放送局を選択し、 完了 にタッチ。

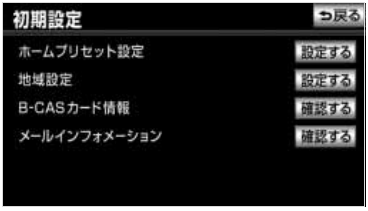
- 後ろの放送局を選択するとき
  ➡ ▶ にタッチ。
- 前の放送局を選択するとき
  ➡ ◀ にタッチ。

居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越したときは必ず設定してください。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する → 初期設定画面

1 地域設定の 設定する にタッチ。



2 郵便番号を入力し、 次へ にタッチ。

・間違えたとき
➡ 修正 にタッチ。

3 地域を選択する。

- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方
  ➡ 沖縄地方･その他 にタッチ。

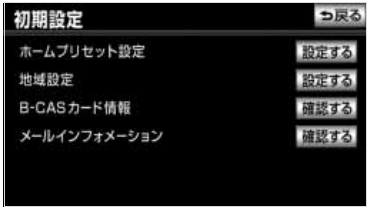
4 都道府県を選択し、 完了 にタッチ。

受信したメールを見る

放送局から受信したメールを見ることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する →
初期設定画面

1 メールインフォメーションの 確認する にタッチ。



2 見たいメールを選択する。

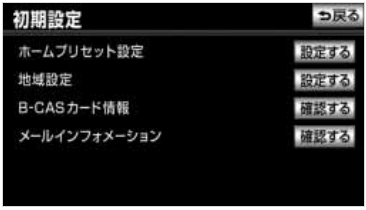
● メール詳細画面が表示されます。

miniB-CAS カードの情報を見る

車載機に挿入されている miniB-CAS カードの情報を確認します。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する →
初期設定画面

1 B-CAS カード情報の 確認する にタッチ。



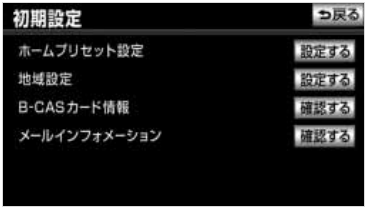
● B-CAS カード情報画面が表示されます。

miniB-CAS カードの動作確認をする

車載機に挿入されている miniB-CAS カードの動作確認をします。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 256）→ 設定 → 初期設定の 設定する →
初期設定画面

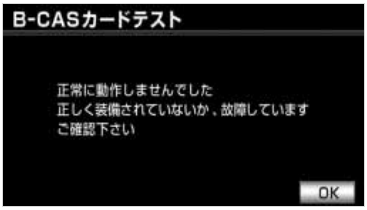
1 B-CAS カード情報の 確認する にタッチ。



2 B-CAS カードテスト にタッチ。

3 OK にタッチ。

＜異常時の画面＞



知 識

・異常を検出したときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原　因	処　置
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障しています ご確認ください	miniB-CAS カードの動作確認（→ 275）で、異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	お買い上げの販売店で点検を受けてください。
ICカードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。受信機の故障が考えられます。	お買い上げの販売店で点検を受けてください。
	miniB-CAS カードを挿入していないため。（エラーコード：A1FF）	miniB-CAS カードを挿入してください。
	使用できない　miniB-CAS カードが挿入されているため。（エラーコード：A1FF、A102）	
	miniB-CAS カードを交換する必要があるため。（エラーコード:6400）	miniB-CAS カードを交換してください。
	miniB-CAS　カード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。（エラーコード:A104）	
	有効な条件を満たしていないminiB-CAS カードが挿入されているため。（エラーコード：EC01、EC02）	
放送を受信できません	デジタルテレビの受信エリア外にいるため。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動してください。
	チャンネルを記憶した地域と異なる場所にいるため	初期スキャン（→ 273）、またはプリセットモードの切り替え（→ 263）をしてください。
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。
処置をしても直らないときは、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

症　状	考えられること	処　置
デジタルテレビが受信できない	デジタルテレビの受信エリア外で使用していませんか。	デジタルテレビを受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが音が出ない	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。
映像が止まって、音が出ない	デジタルテレビの受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。（→ 262） 受信できる場所に移動してください。

AUX の操作

市販のポータブルオーディオプレーヤーを接続すると、ポータブルオーディオプレーヤーに収録された音楽を車載機で再生することができます。ポータブルオーディオプレーヤーを接続する場合、「ミニプラグコード」をお買い求めください。
車載機でポータブルオーディオプレーヤーをご使用になる場合、そのポータブルオーディオプレーヤーの取扱説明書をよくお読みになり、車載機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。
エンジンスイッチが ACC または ON のときに聴くことができます。

ポータブルオーディオプレーヤーを再生しているときに、AV（画面外）を押すと AUX 操作画面が表示されます。

⚠ 警 告

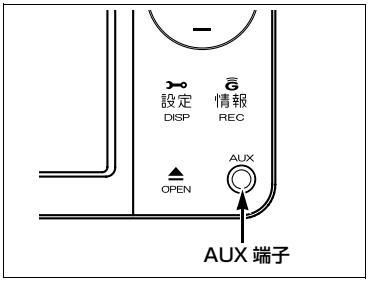
・接続したポータブルオーディオプレーヤーやミニプラグコードを、SRS エアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグが展開したときにポータブルオーディオプレーヤーが飛ばされるなどにより、死亡･重傷に至ることがあります。

※SRS エアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。

・ポータブルオーディオプレーヤーやミニプラグコードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

再生する

1 市販のミニプラグコードを使用して接続する。



2 接続した機器の電源をいれる。

3 AV（画面外）を押す。

4 AUX にタッチ。

知 識

・ AUX モード中に AUX 端子側のミニプラグを抜いたり、接続する機器側のミニプラグを抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

VTR の操作

販売店装着オプションのiPod 対応USB/VTR アダプターやVTRアダプターで市販のVTR 機器を接続すると、VTR の映像をご覧になれます。
接続・取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプター、または VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。
エンジンスイッチが ACC、または ON で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ VTR の映像をご覧になることができます。（走行中は音声のみ聞くことができます。）

VTR 機器を再生しているときに、AV（画面外）を押す、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると、VTR 操作画面が表示されます。
映像 または映像にタッチすると操作画面が解除されます。

VTR を再生する

1 ビデオ端子に市販の機器の出力ケーブルを接続する。

- VTR 機器の接続･取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプターまたは VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 接続した機器の電源を入れる。

3 AV（画面外）を押す。

4 VTR にタッチ。

知 識

- 接続する VTR 機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。
- 販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。

★印はオプションです。

VTR モードを切り替える

2 つの VTR 機器を同時に接続しているときに映像を切り替えることができます。

VTR 操作画面表示中（→ 281）

1 VTR1 または VTR2 にタッチ。

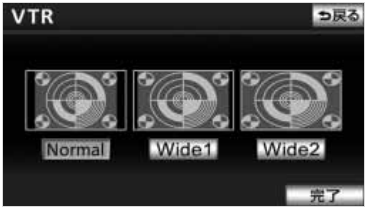
- iPod対応USB/VTRアダプターに接続したVTR 機器の映像を見るとき
  ➡ VTR1 にタッチ。
- VTRアダプターに接続したVTR機器の映像を見るとき
  ➡ VTR2 にタッチ。

画面モードを切り替える

VTR 操作画面表示中（→ 281）

1 Wide にタッチ。

2 Normal ・Wide 1 ・Wide 2 のいずれかにタッチ。



3 完了 にタッチ。

知 識

・画面の表示については「画面モードについて」（→ 39）をご覧ください。

はじめに

販売店装着オプションのiPod対応USB/VTRアダプターに接続したiPodやUSBメモリを再生することができます。
エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。
iPod や USB メモリを再生しているときに、AV（画面外）を押すと、iPod ／ USB 操作画面が表示されます。

・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

■iPod 操作画面

※操作画面は、装備の有無などにより、実際の画面と異なることがあります。

■USB 操作画面

※操作画面は、装備の有無などにより、実際の画面と異なることがあります。

★印はオプションです。

⚠ 警 告

・安全のため、運転者は運転中に iPod を操作しないでください。

⚠ 注 意

・車載機で USB メモリまたは iPod を使用しているときに USB メモリまたは iPod のデータが消失しても、消失したデータについては補償できません。
・USB メモリまたはiPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
・USB メモリまたはiPod が接続されているときに、USB メモリまたは iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。
・USB メモリまたは iPod 端末の差込口に USB メモリまたはiPod 端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
・USB モード中は、USB メモリを取りはずさないでください。USB メモリ内のデータが破損するおそれがあります。
・グローブボックス内などで USB メモリを直接接続した場合、USB メモリ本体と車内部分が干渉し、USB メモリが破損するおそれがあります。その場合は、同梱の USB メモリ接続用ケーブルを使用してください。

知 識

・iPod や USB を車載機に接続するときは、販売店装着オプションの iPod 対応 USB/VTR アダプター以外は使用しないでください。正しく動作しない場合があります。
・本機は市販の USB ハブやマルチカードリーダ、外付けのハードディスク、USB 端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
・USB メモリ以外（USB 扇風機や USB クリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
・USB メモリまたは iPod を接続しているときに車載機が過電流を検知すると、「USB 機器が規定電流を超えたため電源を停止しました」のメッセージが表示され、オーディオの電源が OFF になります。再度 USB メモリまたは iPod を再生するときは、一度エンジンスイッチを OFF（LOCK）にし、再度エンジンスイッチをACCまたはON にしてください。

iPod の操作

再生する

1 iPod を接続する。

- iPod の接続・取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。
- iPod の電源が入らない場合は、電源を入れます。

2 AV（画面外）を押す。

3 iPod にタッチ。

知 識

- 車載機と iPod を接続しても、自動で iPod モードに切り替わりません。
- iPod を車載機に接続すると、iPod にお車のメーカー名（TOYOTA）が表示されることがあります。また、メーカー名（TOYOTA）が表示されている間は iPod による操作をすることができません。
- iPod の電源をOFF にしたまま接続すると、メーカー名（TOYOTA）が表示されず、充電済マークが表示されることがあります。この場合、iPod のいずれかのボタンを押すと、メーカー名（TOYOTA）が表示されます。
- 再生中の曲にジャケット写真データが収録されている場合、ジャケット写真を表示します。複数のジャケット写真データが収録されている場合は、先頭に収録されている画像のみ表示します。
- ジャケット写真データによっては、表示されない場合があります。
- エンジンスイッチがACCまたはONになっている場合、接続した iPod のバッテリが充電されます。ただし、電池残量により iPod が起動するまでに時間がかかる場合があります。
- iPod が操作不能になった場合、iPod の接続をはずし、iPod をリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod の取扱説明書を参照してください。

知 識

- iPod と iPod 対応 USB/VTR アダプターが正しく接続されていないと、iPod の電源が ON にならない場合や本機に認識されない場合があります。この場合は、一度 iPod を取りはずし、再度接続してください。
- iPod が接続されている状態で、他モードより iPod モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod 保護のため、iPod を取りはずさないでください。

プレイモードを選ぶ

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 MUSIC MENU にタッチ。

2 リスト画面でプレイモードを選択する。

プレイモードスイッチを並び替える

MUSIC MENU 画面に表示されるプレイモードスイッチを並び替えることができます。よく使用するプレイモードを 1 ページ目に並び替えると便利です。

iPod操作画面(→283)→ MUSIC MENU

1 タブ設定 にタッチ。

2 1 ページ目に表示したいモード 4 つを選択し、完了 にタッチ。

聞きたい曲（トラック）を選ぶ

操作画面で選ぶ

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 ▶▶| または |◀◀ にタッチ。

- うしろにあるとき
  ➡ ▶▶| にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ |◀◀ にタッチ。

画面外のスイッチで選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押す。

- うしろにあるとき
  ➡ ▶▶|（画面外）を押す。
- 前にあるとき
  ➡ |◀◀（画面外）を押す。

リスト画面で選ぶ

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 TRACK LIST にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

・ 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

プレイモード内のリストで選ぶ

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 リスト切り替えスイッチの ▼ または ▲ にタッチ。

知 識

・ プレイモードで SONGS が選択されている場合は、操作することができません。

一時停止をする

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 ❚❚ にタッチ。

・ 通常再生するとき
  ➡ ▶ にタッチ。

早送り、早戻しする

操作画面で操作する

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 ▶▶| または |◀◀ にタッチし続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶| にタッチし続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ |◀◀ にタッチし続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

画面外のスイッチで操作する

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ ▶▶|（画面外）を押し続ける
- 早戻しするとき
  ➡ |◀◀（画面外）を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（トラック）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 RPT にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  ・ 解除するとき
  ➡再度 RPT にタッチ。

アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 SHUFFLE にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  ・ 解除するとき
  ➡再度 SHUFFLE にタッチ。

全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）にアルバムを選択し再生することができます。

iPod 操作画面表示中（→ 283）

1 SHUFFLE に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
・ 解除するとき
➡再度 SHUFFLE にタッチ。

知 識

・ 接続した iPod の状態によっては、異なる動作をすることがあります。

iPod について

本機で使用できる互換性確認済みの iPod のモデル、世代、およびその世代の中でのソフトウェアバージョンについては、お買い上げの販売店または http://toyota.jp/ でご確認ください。
使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

知 識

- iPod および iTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod のソフトウェアは、アップル社の Web サイトからバージョンアップすることができます。
- iPod の写真表示・オーディオブック機能には対応していません。
- iPod の機種およびソフトウェアバージョンにより正しく動作しなかったり、反応しない場合があります。
- ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone 本体と異なる動作になる場合があります。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Made for iPod iPhone

- "Made for iPod," and "Made for iPhone," mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

USB メモリの操作

再生する

1 USB メモリを接続する。

・USB メモリの接続・取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 AV（画面外）を押す。

3 USB にタッチ。

知 識

・車載機と USB メモリを接続しても、自動で USB モードに切り替わりません。
・車載機に USB メモリを接続すると、車載機で表示されるリストの順番が USB メモリと異なることがあります。
・USB モード中に USB 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
・USB　メモリが接続されている状態で、他モードより USB メモリモードに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

聞きたいフォルダを選ぶ

操作画面で選ぶ

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 FOLDER の ▼ または ▲ にタッチ。

● うしろにあるとき
➡ ▼ にタッチ。
● 前にあるとき
➡ ▲ にタッチ。

リストから選ぶ

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 FOLDER の LIST にタッチ。

2 聞きたいフォルダにタッチ。

・走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

画面外のスイッチで選ぶ

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押す。

● うしろにあるとき
➡ ▶▶|（画面外）を押す。
● 前にあるとき
➡ |◀◀（画面外）を押す。

リストから選ぶ

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 FILE の LIST にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。

・ 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

早送り、早戻しする

1 ▶▶| または |◀◀（画面外）を押し続ける。

● 早送りするとき
➡ ▶▶|（画面外）を押し続ける。

● 早戻しするとき
➡ |◀◀（画面外）を押し続ける。

● 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じ曲（ファイル）を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 RPT にタッチ。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
・ 解除するとき
➡再度 RPT にタッチ。

同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 RPT に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
・ 解除するとき
➡再度 RPT にタッチ。

フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 RAND にタッチ。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
・ 解除するとき
➡再度 RAND にタッチ。

全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 RAND に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

● スイッチの作動表示灯が点灯します。
・ 解除するとき
➡再度 RAND にタッチ。

フォルダの中から曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 SCAN にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度 SCAN にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 283）

1 SCAN に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
- 希望の曲になったら、再度 SCAN にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

USB メモリについて

使用できる USB メモリのフォーマットは下記のとおりです。

・ファイルフォーマット： FAT 16/32(Windows®)
・通信クラス：Mass storage class

上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
規格ならびに制限事項は次のとおりです。

・最大フォルダ数：999（ルート含む）
・最大ファイル数：3000

MP3/WMA について

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。
WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。
使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには次のことに注意してください。

再生可能な MP3 ファイルの規格について

■対応規格

MP3（MPEG1 AUDIO LAYER 1、MPEG1 AUDIO LAYER 2、MPEG1 AUDIO LAYER 3、MPEG2 AUDIO LAYER 1、MPEG2 AUDIO LAYER 2、MPEG2 AUDIO LAYER3、MPEG2.5）

■対応サンプリング周波数

8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1（kHz）

■対応ビットレート

8、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320（kbps）

※VBR に対応しています。

WMA ファイルの規格について

■対応規格

WMA Ver. 7、8、9、9.1、9.2、10Pro

■対応サンプリング周波数

8、11.025、12、22.05、32、44.1（kHz）

■対応ビットレート

8、10、12、16、20、22、32、40、48、63、64、80、95、96、127、128、160、191、192（kbps）

※VBR に対応しています。（40 ～ 95kbps）

ID3 タグ /WMA タグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3、2.4 の ID3 タグに対応しています。
WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルは MP3/WMA の拡張子“.mp3”/“.wma”がついたものだけです。
MP3/WMA ファイル名は、“.mp3”/“.wma”の拡張子を含めて 128byte 以下および S-JIS で保存してください。

MP3/WMA の再生について

USBメモリにMP3/WMA以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA ファイルを表示できないことがあります。

⚠ 注 意

・MP3/WMA 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに“.mp3”/“.wma”の拡張子をつけないでください。

知 識

- MP3/WMA　ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。（VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。）
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

はじめに

Bluetooth オーディオとは

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー※（以下「ポータブル機」）を車載機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

※携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの機種については、お買い上げの販売店または http://toyota.jp / でご確認ください。

本システムに接続するポータブル機は、次の仕様に対応している必要があります。ただし、**ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

■対応 Bluetooth 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.0+EDR 以上を推奨）

■対応 Profile

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
  Ver.1.0
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）
  Ver.1.0 以上（Ver.1.4 を推奨）

Bluetooth は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。
Bluetooth　ワードマークとロゴは Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

警 告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注 意

- ポータブル機は車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- 車載機で Bluetooth オーディオを使用しているときにポータブル機のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

知 識

- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機の電池が早く消耗します。

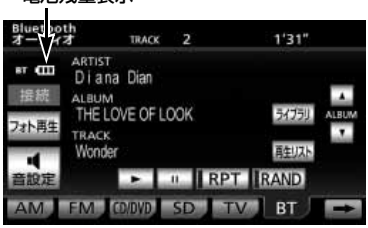
各種表示について

電池残量表示

ポータブル機の電池残量の目安を表示します。

・ 接続した機器によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
・ 電池残量表示はポータブル機の表示と一致しないことがあります。

電池残量表示



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

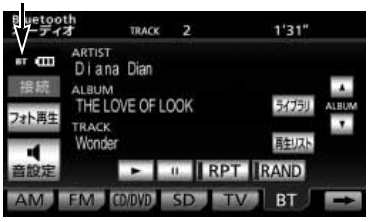
表示				
残量	無	少	←→	多

・ 外部電源が接続されているときは残量表示は [▮▮▮] で表示されます。

Bluetooth 接続状態表示

ポータブル機のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

表示	接続状態
BT（青色）	Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
BT（黄色）	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、ポータブル機を移動してご使用ください。
BT	Bluetooth接続されていない状態を示しています。 この状態では使用できませんので、再度、ポータブル機の選択をご確認ください。（→ 306） ポータブル機の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→ 302）

知 識

・ Bluetooth 通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
次のような場所や状態でポータブル機を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  ・ ディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  ・ 金属製のものに接したり、覆われているとき
・ ポータブル機を使用するときは、青色の表示が出るように、ポータブル機の場所を移動させてください。
・ ポータブル機を接続しても充電されません。

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。
  シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

ハンズフリーと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を使用するときは、次のようになります。
  - ポータブル機の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ポータブル機の再生音声にノイズが発生することがあります。
  - ポータブル機の動作が遅くなることがあります。
- 再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

Bluetooth オーディオの操作

ポータブル機を接続したときに、接続した機器を再生することができます。
Bluetooth オーディオを使用するためには、まず車載機にポータブル機を登録することが必要です。(→ 302)

Bluetooth オーディオモードを選択しているときに、AV（画面外）を押すと、Bluetooth オーディオ操作画面が表示されます。

・ 本体（画面外）のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

※操作画面は、装備の有無などにより、実際の画面と異なることがあります。

■操作画面について

接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示や ALBUM の ▲ ・ ▼ などのスイッチが表示されない画面が表示されることがあります。

※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

Bluetooth オーディオを聞く

1 車載機にポータブル機を登録する。(→ 302)

2 車載機とポータブル機を接続する。(→ 303)

3 AV（画面外）を押す。

4 BT にタッチ。

知 識

・接続した機器によっては、次のような場合があります。
  ・車載機で操作できない。
  ・動作や音量が異なる。
  ・車載機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  ・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。（→ 304）

また、車載機との接続状態によっては、車載機で操作できない場合があります。そのときは、接続状態表示が良好であることを確認してから再度操作してください。（→ 296）

一時停止する

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

1 [II] にタッチ。

・通常再生するとき ➡ [▶] にタッチ。

知 識

・接続した機器によっては、一時停止時に [II] にタッチすることで、再生する場合があります。また、再生中に [▶] にタッチすることで、一時停止する場合があります。

聞きたいアルバムを選ぶ

対応ポータブル機接続時

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

- うしろにあるとき
  ➡ ALBUM の [▲] にタッチ。
- 前にあるとき
  ➡ ALBUM の [▼] にタッチ。

知 識

・接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

聞きたい曲を選ぶ

対応ポータブル機接続時

1 [⏭] または [⏮]（画面外）を押す。

- うしろにあるとき ➡ [⏭]（画面外）を押す。
- 前にあるとき ➡ [⏮]（画面外）を押す。

早送り、早戻しする

対応ポータブル機接続時

1 [⏭] または [⏮]（画面外）を押し続ける。

- 早送りするとき
  ➡ [⏭]（画面外）を押し続ける。
- 早戻しするとき
  ➡ [⏮]（画面外）を押し続ける。
- 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

知 識

・接続した機器によっては、手を離したあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。
この場合、再度 [⏭] または [⏮]（画面外）を押すことで、再生が再開されます。

同じ曲を繰り返し聞く

対応ポータブル機接続時

選択している曲を繰り返し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

1 RPT にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RPT にタッチ。

曲の順番をランダムに聞く

対応ポータブル機接続時

ランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

1 RAND にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・解除するとき ➡ 再度 RAND にタッチ。

ライブラリから曲を選ぶ

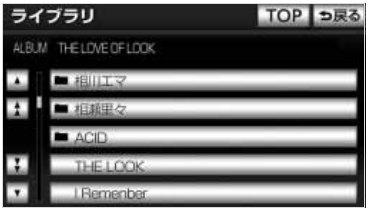
対応ポータブル機接続時

ポータブル機に収録されているフォルダや曲の一覧を表示して、聞きたい曲を選ぶことができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

1 ライブラリ にタッチ。

2 曲一覧が表示されるまでフォルダ、または曲にタッチ。



- フォルダのリストには、■ マークが表示されます。
- フォルダにタッチすると、1 階層下のフォルダ、または曲の一覧を表示することができます。
  - ・1 階層上のフォルダに戻るとき ➡ 戻る にタッチ。
  - ・操作画面に戻るとき ➡ TOP にタッチ。

3 聞きたい曲にタッチ。

再生リストから曲を選ぶ

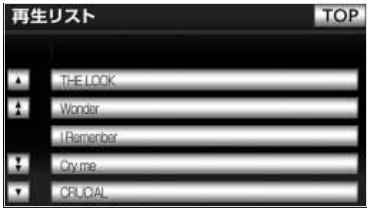
対応ポータブル機接続時

再生中のフォルダ内の曲を一覧から選ぶことができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

1 再生リスト にタッチ。

2 聞きたい曲にタッチ。



・ 操作画面に戻るとき ➡ TOP にタッチ。

Bluetooth オーディオの設定

ポータブル機を登録する

Bluetoothオーディオを使用するためには、まず次の手順で車載機にポータブル機を登録することが必要です。

・ ポータブル機は、車載機に最大 4 台まで登録することができます。
・ ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

1 設定（画面外）を押す。

2 オーディオ にタッチ。

3 Bluetooth オーディオ設定 にタッチ。

4 Bluetooth オーディオ設定の 登録 にタッチ。

● 他のポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい にタッチします。
● すでに4台登録されているときは、いずれかの登録を削除してから登録してください。

5 Bluetooth オーディオ接続中画面に表示される案内にしたがって、ポータブル機を操作。

● ポータブル機側の登録操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
・ 中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

■ポータブル機でパスキー入力できないとき

操作スイッチがないなど、パスキーを入力することのできないポータブル機の場合は、あらかじめ車載機のパスキーをポータブル機のパスキーに変更し **1** ～ **4** の操作を行ってください。

・ パスキーの変更について
➡「車載機の Bluetooth 設定を変更する」（→ 309）
・ ポータブル機のパスキーについては、ポータブル機に添付の取扱説明書をご確認ください。

6 登録が完了したとき
➡ メッセージが表示され、ポータブル機の登録が完了する。

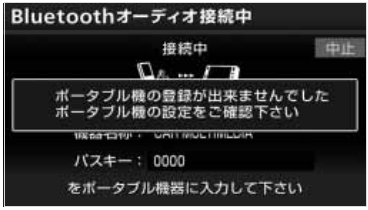
● 使用するポータブル機を追加する場合は、同様に登録します。

知 識

- ポータブル機によっては、パスキーの入力が必要になります。
- 一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用するポータブル機として選択されます。
- パスキーとは、ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ 309）
- 登録操作と接続操作が分かれているポータブル機の場合、パスキー入力後にポータブル機からの接続操作が必要になる場合があります。

■登録失敗画面が表示されたとき

「登録が出来ませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



ポータブル機を接続する

ポータブル機の車載機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

- ポータブル機側の操作については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

自動で接続する

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC、または ON にするたびに、車載機は登録（選択）したポータブル機と自動的に Bluetooth 接続します。

設定（画面外）→ **オーディオ** → **Bluetooth オーディオ設定** → Bluetooth オーディオ設定画面

1 自動 Bluetooth 接続の **する** にタッチ。

- 解除するとき ➡ **しない** にタッチ。

2 **完了** にタッチ。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。
- ポータブル機は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

■Bluetooth 接続確認表示

Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。
使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示

・ Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（→ 296）

知 識

・「接続方法を変更する」（→ 308）で「ポータブル機から接続」に設定している場合は、自動 Bluetooth 接続の設定はできません。
・ 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC、または ON にした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
・ ポータブル機の機種によっては、次のような場合があります。
  ・ 自動接続しない。
    この場合、手動で接続してください。
    （→ 304）
  ・ エンジンスイッチが ACC、または ON のときに表示部の照明がついたままになる。
    この場合、ポータブル機本体で照明を OFF に設定してください。
    （設定については、ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。）
  ・「外部からの接続」、「ポータブル機からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。ポータブル機の設定をご確認ください。

■自動接続できなかった場合

自動接続動作は約 60 秒行います。
その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ 304）

手動で接続する

自動接続が失敗したときや自動接続OFF状態にしているときにBluetooth接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中
（→ 298）

1 ポータブル機を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 接続 にタッチ。

※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

● Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

知 識

・ ポータブル機の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

■ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側からBluetooth接続をするように設定しているとき (→ 308) は、ポータブル機を操作して接続します。

・ポータブル機側の接続操作は、必ずこのBluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
・中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC、または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

知 識

・再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ 304）ポータブル機の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

■Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

ポータブル機側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	304
改めてポータブル機を選択する	306

使用するポータブル機を選択する

一番新しく登録したポータブル機が車載機で使用する機器として選択されます。
複数のポータブル機を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

- ポータブル機の登録について
  ➡「ポータブル機を登録する」（→ 302）
- ポータブル機は車載機に最大 4 台まで登録することができますが、本機で使用できるのはオーディオプレイヤー切替で選択された機器のみです。

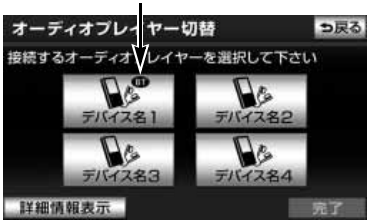
設定（画面外）→ **オーディオ** →
設定・編集画面

1 オーディオプレイヤー切替 にタッチ。

2 ポータブル機を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用するポータブル機を選択しタッチ。

Bluetooth マーク



知 識

- Bluetooth 接続中のポータブル機には、Bluetooth マークが表示されます。

4 完了 にタッチ。

- Bluetooth 接続中のポータブル機がある場合は、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい にタッチします。

■ポータブル機から接続するとき

ポータブル機側からBluetooth接続をするように設定しているとき（→ 308）は、ポータブル機を操作して接続します。

- ポータブル機側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
  - 中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

ポータブル機の詳細情報を表示する

車載機に登録されているポータブル機に関する情報の表示と機器名称や、車載機との接続方法を変更することができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称
車載機に表示されるポータブル機の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス
機器固有のアドレスで、変更することはできません。
接続方法
ポータブル機と車載機との接続方法で、「車載機から接続」と「ポータブル機から接続」を切り替えることができます。

設定（画面外）→ **オーディオ** → **オーディオプレイヤー切替** → オーディオプレイヤー切替画面

1 詳細情報を表示したいポータブル機を選択し、**詳細情報表示** にタッチ。

2 各項目を確認する。

- この画面で、次の変更を行うことができます。

項目	ページ
機器名称の変更	308
接続方法の変更	308

3 確認および変更が終わったら、**完了** にタッチ。

ポータブル機の名称を変更する

車載機に表示されるポータブル機の名称を、任意の名称に変更することができます。

・車載機で機器名称を変更しても、ポータブル機に登録されている機器名称は変更されません。

設定（画面外）→ オーディオ →
オーディオプレイヤー切替 →
名称を変更したいポータブル機器名称 →
詳細情報表示 → Bluetooth オーディオ詳細情報画面

1 変更 にタッチ。

2 名称を入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力する。

接続方法を変更する

車載機にポータブル機を接続するときの方法を選択することができます。

設定（画面外）→ オーディオ →
オーディオプレイヤー切替 →
接続方法を変更したいポータブル機器名称
→ 詳細情報表示 → Bluetooth オーディオ詳細情報画面

1 車載機から接続 または
ポータブル機から接続 にタッチ。

2 完了 にタッチ。

知 識

・「車載機から接続」か「ポータブル機から接続」のどちらで接続すればいいかは、接続するポータブル機により異なります。
接続方向についてはポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

・接続方法を「ポータブル機から接続」に設定した場合、「自動で接続する」（→ 303）で「する」にしていても自動接続は行いません。

車載機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、車載機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称
Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。
パスキー
ポータブル機を車載機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス
車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。 機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

機器名称またはパスキーを変更したいときは、次の手順で行ってください。

設定（画面外）→ オーディオ → Bluetooth オーディオ設定 → Bluetooth オーディオ設定画面

1 機器名称またはパスキーの 変更 にタッチ。

- この画面で Bluetooth 設定情報が確認できます。

2 各項目を変更する。

■機器名称

1 ソフトウェアキーボードで入力する。

■パスキー

1 4 ～ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、完了 にタッチ。

・修正するとき ➡ 修正 にタッチ。

2 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

知 識

・機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。
パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

Bluetooth 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

設定（画面外）→ オーディオ → Bluetooth オーディオ設定 → Bluetooth オーディオ設定画面

1 初期状態 にタッチ。

2 はい にタッチ。

ポータブル機の登録を削除する

設定（画面外）→ オーディオ → Bluetooth オーディオ設定 → Bluetooth オーディオ設定画面

1 Bluetooth オーディオ設定の 削除 にタッチ。

2 削除するポータブル機を選択し、完了 にタッチ。

3 はい にタッチ。

- 削除するポータブル機が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい にタッチします。

デジタルフォトフレームの操作

デジタルフォトフレームについて

デジタルフォトフレームとは、USB メモリまたは SD メモリーカードに記録されている写真を車載機で表示する機能です。

知 識

・ 使用できる USB メモリや SD メモリーカードについては、「USB メモリについて」(→ 292)、「SD メモリーカードについて」（→ 23）をご覧ください。

表示できる画像データについて

表示できる画像データのフォーマットは下記のとおりです。

■ファイルやフォルダの形式について

項目		対応内容
ファイル拡張子		.jpg（JPEG2000 は対応していません）
最大画像サイズ		横 5120 ×縦 3840dot
最大ディレクトリ階層		8 階層
最大読み込みフォルダ数	全体	1000
	1 フォルダあたり	512
最大読み込みファイル数	全体	3000
	1 フォルダあたり	1024

■デコード可能な画像データについて

符号化処理方式	画素サンプリング	デコード可能条件
Baseline DCT	4：4：4	32 × 32 ～ 4096 × 4096
	4：2：2	32 × 32 ～ 8192 × 8192
	回転 4：2：2	非対応
	4：2：0	32 × 32 ～ 8192 × 8192
	4：1：0	非対応
Progressive	全て	非対応

知 識

・ 最大読み込み数を超えた分のフォルダやファイルは再生されません。また、一覧（→ 314）にも表示されません。

写真を見る

知 識

- 以下のときは、写真の表示を終了します。
  - オーディオモードをデジタルテレビ、DVD、または VTR に切り替えたとき
  - 録音を開始したとき
  - 後席ディスプレイ接続（→ 315）を「なし」に設定し、走行中に画面を操作したとき
  - 後席ディスプレイ接続（→ 315）を「あり」に設定し、メディアの参照フォルダを変更したとき
- 作動表示灯が表示されている場合、フォト再生 にタッチすると写真の表示が終了できます。作動表示灯は、後席ディスプレイ接続（→ 315）を「あり」に設定しているときに表示されます。
- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると写真の表示は終了しますが、写真が記録されたメディアの状態が同じ場合、再度エンジンスイッチを ACC または ON にすると、自動で写真の表示を再開します。
- 車載機で写真を表示する場合、実際のサイズと異なって表示されることがあります。

USB メモリに記録した写真を見る

1 USB メモリを接続する。
- USB メモリの接続・取りはずし方法の詳細は、iPod 対応 USB/VTR アダプターに同梱の取扱書を参照してください。

2 読み込みメディアを「USB」に設定する。（→ 313）

3 AV（画面外）を押す。

4 フォト再生 にタッチ。

- 写真が表示されます。

知 識

- USB メモリに収録されている曲（ファイル）を再生している場合は、表示できません。

SD メモリーカードに記録した写真を見る

1 SD メモリーカードを、音楽用 SD メモリーカード挿入口に挿入する。（→ 16）

2 読み込みメディアを「SD」に設定する。（→ 313）

3 AV（画面外）を押す。

4 フォト再生 にタッチ。

- 写真が表示されます。

知 識

- SD　メモリーカードに録音されている曲（ファイル）を再生している場合は、表示できません。
- 後席ディスプレイ接続（→ 315）を「あり」に設定し、サウンドライブラリ編集メニュー画面（→ 248）を表示させると写真の表示を終了します。

写真を選ぶ

写真表示中（→ 312）

1 写真の左半分、または右半分のエリアにタッチ。

- 前の写真に切り替えるとき
  ➡ 左半分のエリアにタッチ。
- 後の写真に切り替えるとき
  ➡ 右半分のエリアにタッチ。

知 識

・写真は、スライドショー再生中（→ 313）にも切り替えることができます。

デジタルフォトフレームの設定

画像データの読み込み方法やスライドショーの表示方法を設定することができます。

1 設定（画面外）を押す。

2 画像設定 にタッチ。

3 デジタルフォトフレーム にタッチ。

4 各項目を設定する。

- 次の項目を設定することができます。

項目	ページ
読み込みメディアの設定	313
参照フォルダの指定	314
スライドショーの設定	314
再生順序の設定	314
写真切替の設定	314
後席ディスプレイ接続の設定	315

・初期設定の状態にもどすとき
  ➡ 初期状態 にタッチ。

読み込みメディアの設定

写真を表示するとき、優先的に読み込み対象とするメディアを設定します。

1 読み込みメディアの SD または USB にタッチ。

知 識

・選択できるメディアが 1 種類の場合は、自動的にそのメディアが選択されます。
・両方のメディアが選択可能なときに選択されている方のメディアを取り外した場合、残されたメディアが自動的に選択されます。

参照フォルダの設定

メディアの中から表示対象とするフォルダを指定することができます。

1 参照フォルダの 指定する にタッチ。

● 読み込み対象のメディアに収録されている表示可能なフォルダの一覧が表示されます。

2 表示対象とするフォルダを選択する。

・全てのフォルダを選択するとき
➡ 全選択 にタッチ。

・選択を解除するとき
➡ 選択済みのフォルダにタッチ。

・全ての選択を解除するとき
➡ 全解除 にタッチ。

スライドショーの設定

読み込んだ画像データをスライドショーで表示する／しないを設定することができます。

1 スライドショーの する または しない にタッチ。

再生順序の設定

写真を表示する順番を設定することができます。

1 再生順序の 標準 または ランダム にタッチ。

知識

・表示対象とするフォルダが指定されている（→ 314）ときに ランダム を選択した場合、対象となるフォルダ内の写真をランダムに表示します。

写真切替の設定

表示する写真を切り替えるときの表現やスライドショー表示時の再生時間を設定することができます。

1 写真切替設定の 設定する にタッチ。

● 写真切替設定画面が表示されます。

■再生時間を設定する

スライドショー表示の際に 1 つの写真を表示する時間を設定することができます。

1 再生時間を選択する。

■切替効果を設定する

表示する写真を切り替えるときの表現を 6 種類から選択することができます。

1 切替効果を選択する。

- ランダム を選択すると、5 種類の効果がランダムに使用されます。

後席ディスプレイ接続の設定

オプションの後席ディスプレイの接続状態を選択することで、走行中の表示方法を変更することができます。

1 後席ディスプレイ接続の あり または なし にタッチ。

- あり …… 走行中も後席ディスプレイで写真の表示を継続する。車載機には地図画面が表示される。
- なし …… 走行中は写真の表示が一時停止する。車載機には地図画面、後席ディスプレイには黒画が表示される。

知 識

・設定が実際の接続状態と異なっていると、写真が表示できない場合があります。後席ディスプレイの接続状態に合わせて正しく設定してください。
・後席ディスプレイ接続の設定にかかわらず、停車中は後席ディスプレイで写真が表示されます。

リモコンでの操作

後席ディスプレイについて

販売店装着オプションの後席ディスプレイを接続している場合、車載機の映像を後部座席でも楽しむことができます。
後席ディスプレイは、走行中、停車中に関わらず映像をご覧になることができます。
後席ディスプレイに付属のリモコンで映像の切り替えやオーディオの操作をすることができます。詳しい説明や、後席ディスプレイ本体の取り扱いについては後席ディスプレイに同梱の取扱書をご覧ください。

■後席ディスプレイに表示される画面

車載機に次の画面が表示されている場合、後席ディスプレイにも同じ画面が表示されます。

- デジタルテレビ
- DVD
- VTR
- デジタルフォトフレーム（オーディオモードが映像以外の場合）

その他のオーディオの画面が表示されている場合、黒い画面が表示されます。

⚠ 警 告

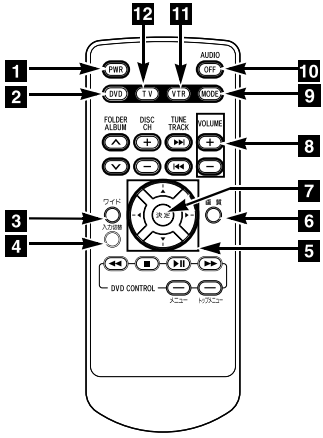
・事故防止のため、リモコンの電池および絶縁シートは幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注 意

・リモコンを落としたり、衝撃をあたえないでください。
・リモコンの上に重いものをのせたり、すわったりしないでください。
・リモコンを分解しないでください。
・リモコンの電池を交換する場合、＋極と－極を必ず正しい向きにして取り付けてください。

★印はオプションです。

オーディオ共通の操作をする

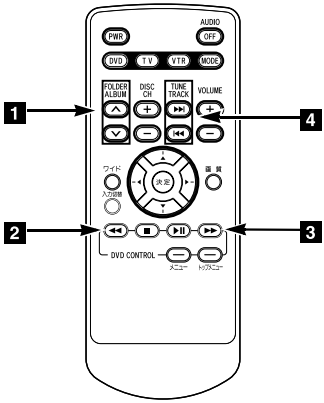


スイッチ	機　能
1 電源スイッチ	押すごとに、後席ディスプレイの電源の ON/OFF が切り替わります。
	1 秒以上押し続けると、車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にしたときの後席ディスプレイ作動を設定することができます。1 秒以上押し続けるごとに、OFF START ※1 と LAST　START ※2 が切り替わります。
2 ディスクモード切り替えスイッチ	押すと、DVD プレーヤーに切り替わります。
3 ワイドモード切り替えスイッチ	押すごとに、後席ディスプレイのワイドモードが、ノーマル→ワイド１→ワイド２→ワイド３の順に切り替わります。※3
	1 秒以上押し続けるごとに、後席ディスプレイの背面にあるインジケータ表示の ON/OFF が切り替わります。※4
4 入力切り替えスイッチ※4	押すごとに、後席ディスプレイの画面モードの入力 1/ 入力 2 が切り替わります。
5 項目選択スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、明るさやコントラストなどの調整項目が切り替わります。

スイッチ	機　能
6 画質調整スイッチ	オーディオが DVD やデジタルテレビ、VTR、デジタルフォトフレームの場合、または後席ディスプレイの画面モードが入力 2 ※4 の場合、押すと、後席ディスプレイの画質調整画面に切り替わります。
	1 秒以上押すごとに、オートディマー機能の ON/OFF が切り替わります。※5
7 項目決定スイッチ	後席ディスプレイの画質調整画面で押すと、調整内容が決定されます。
	後席ディスプレイのワイドモードを切り替えた場合、押すと、選択したモードに決定されます。
8 音量スイッチ	押すごとに、1 ステップずつ音量が変わります。押し続けると音量が連続して変わります。
	後席ディスプレイの画面モードが入力 2 の場合、後席ディスプレイの音量が変わります。このとき、オーディオの音量は変わりません。※4
9 オーディオモード切り替えスイッチ	スイッチを押すごとに、次の順に切り替わります。 ＦＭ →（DVD プレーヤー）→（SD メモリーカード）→デジタルテレビ→（Bluetooth オーディオ）→（AUX）→（iPod/USB）→（VTR）→ AM → FM ※6
	2 秒以上押し続けると、オーディオの電源が OFF になります。
10 オーディオ OFF スイッチ	押すと、オーディオの電源が OFF になります。
11 VTR 切り替えスイッチ	押すと、VTR に切り替わります。※7
12 TV 切り替えスイッチ	押すと、デジタルテレビに切り替わります。

※1 電源 OFF の状態
※2 車両のエンジンスイッチを OFF（LOCK）にする直前の状態
※3 オーディオが DVD、デジタルテレビ、VTR、デジタルフォトフレームの場合のみ
※4 8 型後席ディスプレイのみ
※5 9 型後席ディスプレイのみ
※6 再生、または視聴できない場合は切り替わりません。
※7 VTR1 と VTR2 との切り替えはできません。

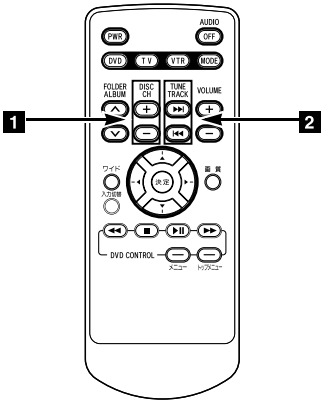
再生中の曲を操作する



スイッチ	機　能
1 ※**フォルダ / アルバム切り替えスイッチ（上側）**	押すと、次のフォルダ / アルバムに切り替わり、フォルダ / アルバム内の先頭の曲から再生されます。
1 ※**フォルダ/アルバム切り替えスイッチ（下側）**	押すと、前のフォルダ / アルバムに切り替わり、フォルダ / アルバム内の先頭の曲から再生されます。
2 **早戻しスイッチ**	押し続けている間、曲が早戻しされます。
3 **早送りスイッチ**	押し続けている間、曲が早送りされます。 一時停止中に押し続けると、スロー再生されます。
4 **選曲スイッチ（上側）**	押すと、次の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早送りされます。
4 **選曲スイッチ（下側）**	押すと、曲の頭出し、連続で押すと、前の曲に切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、曲が早戻しされます。

※MP3/WMA、SD メモリーカード、Bluetooth オーディオ、iPod、USB メモリを再生している場合のみ

ラジオ・デジタルテレビを操作する



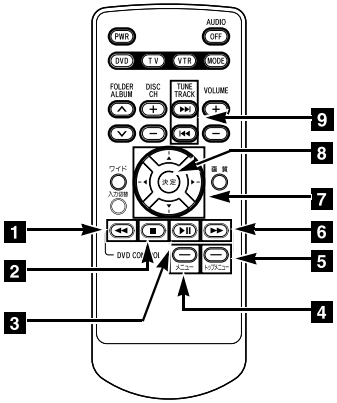
スイッチ	機　能
1 放送局 / チャンネル切り替えスイッチ	押すと、プリセットスイッチに記憶されている放送局やチャンネルを順に呼び出します。
2 周波数切り替えスイッチ※1	押すごとに、1 ステップずつ周波数が切り替わります。 1 秒以上押し続けると、自動選局を開始します。
2 チャンネル切り替えスイッチ※2	押すと、プリセットスイッチに記憶されているチャンネルを順に呼び出します。

※1 ラジオの場合
※2 デジタルテレビをご覧の場合

知 識

- 放送局やチャンネルを切り替える場合、あらかじめプリセットスイッチに記憶します。その場合、本体側で操作します。（→ 260、272）
- ラジオの放送局を自動受信する場合、受信電波の弱い地域では、自動的に選局できないことがあります。

DVD プレーヤーを操作する



スイッチ	機　能
1 早戻しスイッチ	押し続けている間、映像が早戻しされます。
2 停止スイッチ	押すと、映像が停止します。
3 一時停止 / 再生スイッチ	再生中に押すと、映像が一時停止します。 一時停止中に押すと、映像が再生されます。
4 メニュースイッチ	押すと、DVD メニューが表示されます。
5 トップメニュースイッチ	押すと、DVD トップメニューが表示されます。
6 早送りスイッチ	押し続けている間、映像が早送りされます。
7 項目選択スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで項目が選択されます。
8 項目決定スイッチ	押すと、DVD メニューや DVD トップメニューで選択した項目が決定されます。
9 チャプター切り替えスイッチ（上側）	押すと、次のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早送りされます。
9 チャプター切り替えスイッチ（下側）	押すと、チャプターの頭出し、連続で押すと前のチャプターに切り替わります。 1 秒以上押し続けると、押し続けている間、映像が早戻しされます

知 識

- 自動再生されないディスクや、記録されているメニュー項目を操作しないと再生されないディスクがあります。
- ディスク内容に従って再生されるため、操作したとおりに機能しないことがあります。

情報

情報 324

■ 情報画面 324
情報画面の表示 324

■ 交通・ナビ関連情報 325
交通・ナビ関連情報の表示.....325

■ FM 多重放送 326
FM 多重放送について 326
FM 多重画面の表示 326
放送局を切り替えるには.....326
番組を切り替えるには.....327
独立情報番組のページ送りの
しかた.....327
連動情報番組の文字情報を
繰り返し見るには 327
文字情報の
記録・呼び出し・消去.....328

■ カレンダー機能 329
カレンダー画面 329

情報画面

情報画面の表示

※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

1 **G・情報**（画面外）を押す。

- G-BOOK 画面や BT ナビ画面が表示されたとき
  ➡ **情報** にタッチ。

情報画面から次の操作を行うことができます。

表示順序／項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
1	**FM 多重**	FM 多重放送の表示	326
2	**渋滞予測**※1	渋滞予測情報の表示	523
3	**VICS**	VICS 図形情報、文字情報の表示	177
		割込情報の表示※2	177
		VICS 提供放送局の選択	181
4	**エコナビ情報**	エコナビ情報画面の表示	157
5	**電話**	交通・ナビ関連情報の表示	325
		ハンズフリー画面の表示	422
6	**カレンダー**	カレンダーの表示	329
7	**データ管理**	SD メモリーカード容量の確認	242
		バージョン情報の表示	243
8	**ETC**※3	ETC 画面の表示	401
9	**携帯マニュアル**	携帯マニュアルの URL と２次元バーコードの表示	45

※1 G-BOOK オンラインサービスを利用されているときに操作することができます。
※2 ビーコンユニットを装着したときのみ操作することができます。
※3 ナビ連動の ETC システムを取りつけたときのみ表示されます。ETC システムを取りつけていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

交通・ナビ関連情報

交通・ナビ関連情報の表示

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。
また、登録されているメモリ地点（→ 130）や設定されている目的地（→ 100）に電話番号が入力されていれば、その地点の電話番号を表示することができます。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 情報画面

1 電話 にタッチ。

2 交通・ナビ にタッチ。

3 項目にタッチ。

● 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき
➡ 目的地 にタッチすると、名称と電話番号を表示する。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

■ JAF または 道路交通情報センター を選択したとき

1 都道府県名 → 施設名称の順にタッチ。

■ メモリ地点 を選択したとき

1 メモリ地点にタッチ。

・地図を表示するとき
➡ 地図 にタッチ。

・リストの並べ方をかえるとき
➡「設定・編集画面からの修正方法」（→ 131）手順 **2** へ。

■ 目的地 を選択したとき

目的地が複数設定されているとき

1 目的地にタッチ。

知 識

・ にタッチすると、呼び出した電話番号に電話をかけることができます。（→ 426）

FM 多重放送

FM 多重放送について

FM 多重放送は 1 つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

■連動情報番組

FM 音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

■独立情報番組

FM 音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

知 識

・走行中は表示させることができない番組もあります。また、FM 多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

FM 多重画面の表示

FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組を表示します。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 情報画面

1 FM 多重 にタッチ。

2 FM 多重画面が表示される。

知 識

・AM 放送（交通情報放送を含む）を受信しているときは、FM 多重放送を表示することができません。

・FM 多重放送を表示しているときに、FM 多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。
（放送局側にて緊急情報を連続して更新しているときは、次ページに送ることができません。）

・FM 多重放送を表示しているときは、その FM 多重放送局の番組の音声のみ聞くことができます。（文字情報を表示させている FM 多重放送局とは別の FM 放送局の番組の音声を聞くことはできません。）

放送局を切り替えるには

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ FM 多重 → FM 多重画面

1 自動選局 にタッチ。

● FM 多重放送を表示させている放送局の音声を聞いているときは、画面外のスイッチでも、切り替えることができます。

番組を切り替えるには

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ FM多重
→ FM多重画面

1 目次 にタッチ。

・連動情報番組に切り替えるとき
➡ 番組連動 にタッチ。

2 番組の番号にタッチ。

独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは、情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報が発信される独立情報番組では、受信側でページを送ることができます。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ FM多重
→ FM多重画面

1 ▲・▼ または 自動送り にタッチ。

● ▲ または ▼ にタッチすると、文字情報を1ページずつ送ります。

● 自動送り にタッチすると、文字情報が自動で送られます。
すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
・文字情報の自動送りを中止するとき
➡ 停止 にタッチ。
・自動送り中に ▲ または ▼ にタッチしたとき、自動送りは中止されます。

知識

・走行中および緊急情報を受信しているときは、自動送りはできません。

連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは、情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ FM多重
→ FM多重画面

1 ▲ または ▼ にタッチ。

・情報をもう一度見るとき
➡ ▲ にタッチ。
・▲ または ▼ にタッチすると、文字情報の自動切り替えを中止します。
・もとの状態にもどすとき
➡ 最新情報 にタッチ。

文字情報の記録・呼び出し・消去

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ FM 多重 → FM 多重画面

記録するには

1 記録する文字情報を表示させ、メモ記録 にタッチ。

- 記録項目は最大 20 個です。

知 識

・記録する内容によっては、20 個記録できないことがあります。

呼び出すには

1 メモ呼出 にタッチ。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

2 ▲ または ▼ にタッチ。

- 表示させる文字情報を切り替えます。

消去するには

1 メモ呼出 にタッチし、消去する文字情報を表示する。

2 消去 にタッチ。

・すべての文字情報を消去するとき
➡ 全消去 にタッチ。

3 はい にタッチ。

カレンダー機能

カレンダー画面

カレンダーを表示することができます。また、GPS（→ 162）の時刻情報（GPS 時計）を利用して、日時を表示します。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 情報画面

1 カレンダー にタッチ。

2 カレンダー画面が表示される。

- ▲月 または ▼月 にタッチすると、月が切り替わります。
- ▲年 または ▼年 にタッチすると、年が切り替わります。
- 月または年を切り替えたときに 今月 にタッチすると、今月のカレンダーを表示します。

知 識

- GPS からの時刻情報を受信しているときは、「GPS」が表示されます。

MEMO

周辺モニター

バックガイドモニター 333

■ バックガイドモニターとは 333

■ ガイド画面の出し方 334
ガイド画面の出し方 334

■ ガイド方法の選び方 335
並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき 335
縦列駐車時に使用するとき 336

■ 並列駐車のしかた（進路表示モード） 337
画面の見方 337
操作のしかた 339

■ 並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 341
画面の見方 341
操作のしかた 342

■ 縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード） 343
車の動きと画面・音声案内の流れ 343
操作のしかた 345

■ 縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード） 351
画面の見方 351
操作のしかた 352

■ バックガイドモニターの設定 353
バックガイドモニター設定画面の表示 353
縦列ガイドの音量設定 353
はじめのコツの表示設定 353

■ バックガイドモニターについての注意点 354
運転時の注意 354
画面に映る範囲 355
カメラ 356
画面と実際の路面との誤差 356
立体物が近くにあるとき 357
バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは 358
バッテリーの脱着後や車載機の載せ替えをしたときは 359

マルチビューバックガイドモニター 360

■ マルチビューバックガイドモニターとは 360

■ カメラの視点切替方法 361
画面の見方 361
視点の切り替え方 362

■ マルチビューバックガイドモニターについての注意点 363
運転時の注意 363
画面に映る範囲 364
カメラ 366

バックモニター 367

■ バックモニターとは 367

■ 操作のしかた 368

操作のしかた 368
画面の見方 368
ガイド線表示の設定.....369

■ バックモニターについての注意点 370

運転時の注意 370
画面に映る範囲 371
カメラ.....372
画面と実際の路面との誤差 372

ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステム 374

■ ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステムとは 374

■ 操作のしかた 375

画面の出し方 375
画面の切り替え方.....376

■ ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムについての注意点 378

運転時の注意 378
画面に映る範囲 379
カメラ.....380

マルチアングル全周囲モニター 382

■ マルチアングル全周囲モニターとは 382

■ フロントモード 383

画面の出し方 383
画面の見方.....383
視点の切り替え方 383

■ バックモード 384

画面の出し方 384
画面の見方.....384
視点の切り替え方 385

■ 回転表示モード 386

画面の出し方 386

■ マルチアングル全周囲モニターの設定 387

マルチアングル全周囲モニターの設定 387
便利な使い方 389

■ マルチアングル全周囲モニターについての注意点 391

運転時の注意 391
画面に映る範囲 392
カメラ.....396

バックガイドモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線や音声案内で、駐車時の後退操作を補助する装置です。バックガイドモニターは、以下の 2 通りの駐車方法について補助します。

- 車庫入れのような並列駐車。進路表示モードか駐車ガイド線表示モードを使います。
- 路側などに止める縦列駐車。縦列ガイドモードか駐車ガイド線表示モードを使います。

※車種により、バックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠ 警 告

・バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ 354）
・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ 356）

知 識

・本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

ガイド画面の出し方

1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

- 解除するとき ➡ シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

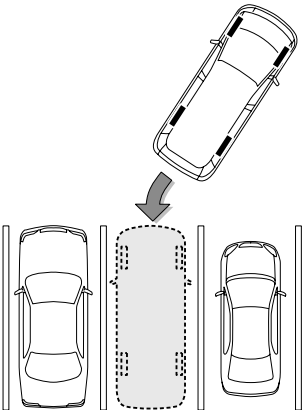
知 識

・シフトレバーを Ⓡ にしていても、画面外の 現在地 ・ AV など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

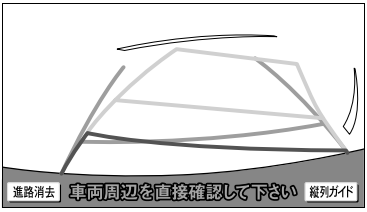
ガイド方法の選び方

並列駐車（車庫入れ）時に使用するとき

車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

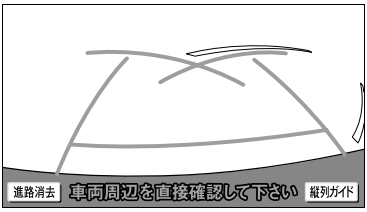


■進路表示モード（→ 337）



ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されるモードです。

■駐車ガイド線表示モード（→ 341）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

・ 車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

モードの切り替え方

1 設定（画面外）を押す。

2 運転支援 にタッチ。

3 BGM 設定 にタッチ。

4 駐車ガイド線表示 にタッチ。

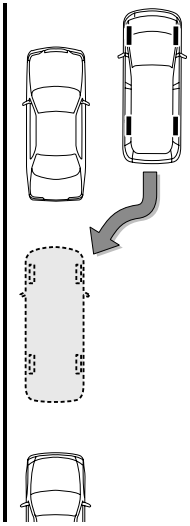
5 する または しない にタッチし、完了 にタッチ。

・ 駐車ガイド線表示モードに切り替えるとき
➡ する にタッチ。

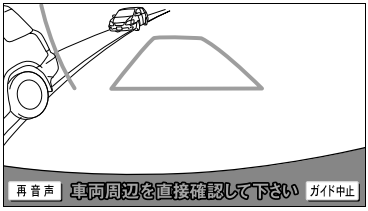
・ 進路表示モードに切り替えるとき
➡ しない にタッチ。

縦列駐車時に使用するとき

縦列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

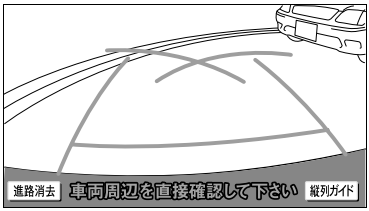


■縦列ガイドモード（→ 343）



画面表示と音声案内により、縦列駐車を補助するモードです。

■駐車ガイド線表示モード（→ 351）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

・縦列ガイドモードを必要とせずに駐車のできる方や、縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

モードの切り替え方

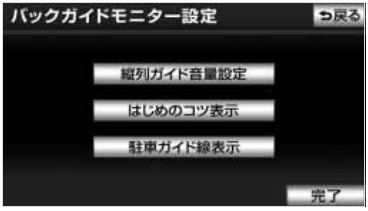
■縦列ガイドモードへの切り替え

1 縦列ガイド にタッチ。

■駐車ガイド線表示モードへの切り替え

設定（画面外）→ 運転支援 → BGM 設定 → バックガイドモニター設定画面

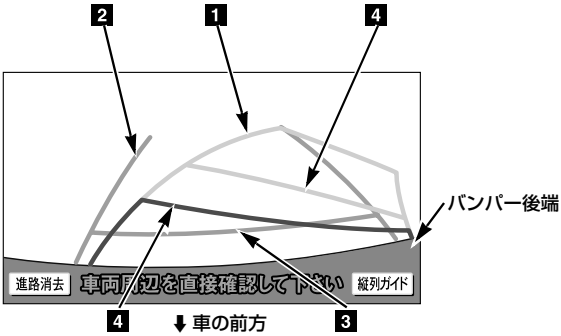
1 駐車ガイド線表示 にタッチ。



2 する にタッチし、完了 にタッチ。

並列駐車のしかた（進路表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 予想進路線（黄色）	車が後退していく進路の目安を示す。 ・ ハンドル操作と連動します。
2 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。 ・ ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
3 距離目安線 （緑色 約 0.5m 先）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ 約 0.5m 先を示します。
4 距離目安線 （赤色 約 0.5m 先） （黄色 約 1m 先）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ ハンドル操作と連動します。予想進路線とともに動きます。 ・ それぞれの中心位置で、約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示します。 ・ ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。 上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：約 0.5m 先、黄色：約 1m 先）より、右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

⚠ 警 告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでもなおらない場合は、販売店で点検を受けてください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知 識

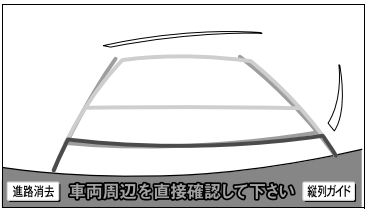
- 進路消去 にタッチすると、予想進路線や車幅延長線を消すことができます。この場合、距離目安線はハンドル操作と連動しません。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

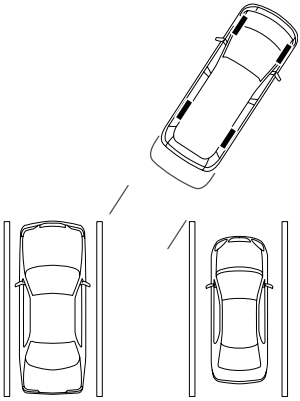
操作のしかた

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

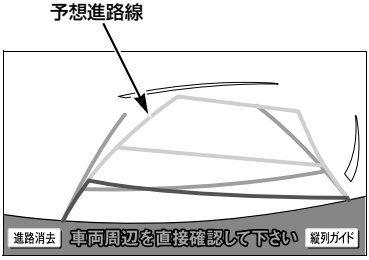
1 進路表示モードにする。（→ 335）

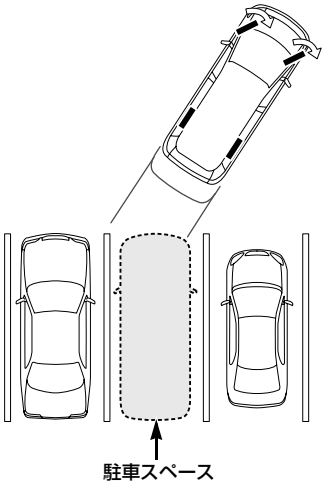
2 シフトレバーを Ⓡ にする。



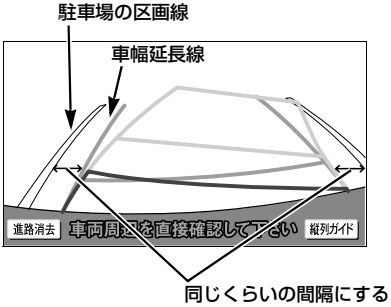


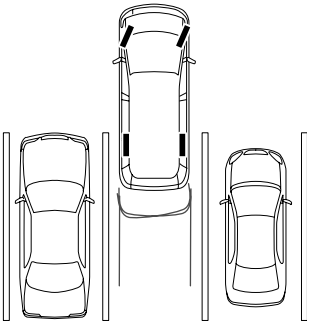
3 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。





4 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が、車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作する。

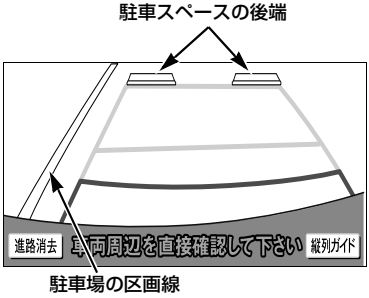




5 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退する。

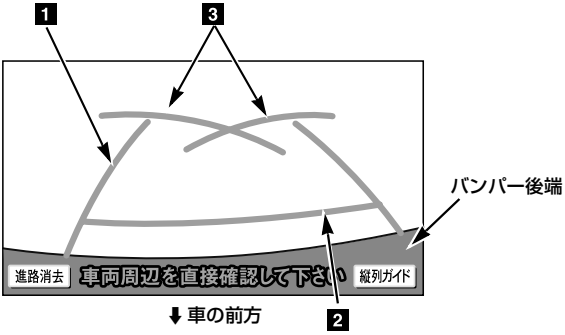
知 識

- 駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
  - 距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。
  - 駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行ではないことがあります。



並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約 0.5m 先（赤色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ 約 0.5m 先を示します。
3 駐車ガイド線（緑色）	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。 ・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警 告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知 識

- 進路消去 にタッチすると、車幅延長線を消すことができます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

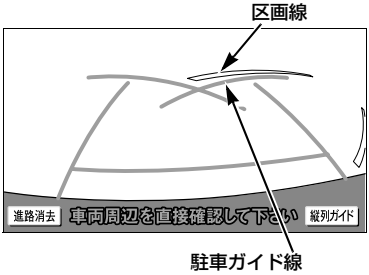
操作のしかた

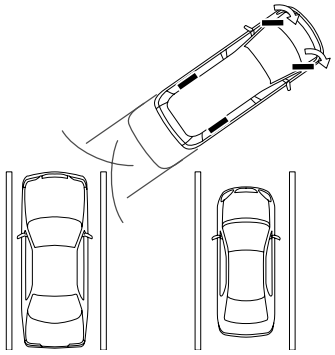
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→ 335）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。





4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

5 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終える。

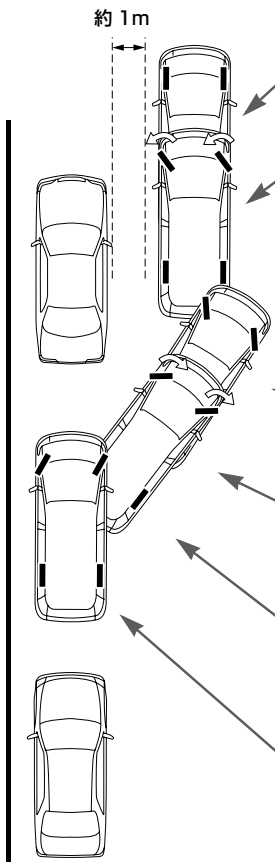
知 識

・画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2m の場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉　〈操作内容〉



道路と平行で、駐車している車との間隔が約1ｍの位置で止まる。

緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。
（画面①）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。
（画面②）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。**（画面③）**

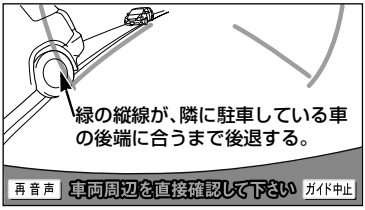
駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。
（画面④）

ハンドルをそのままにして、距離目安線などを参考に目視やミラーで周辺を確認し後退する。**（画面⑤）**

車がほぼまっすぐになったら、縦列ガイドモードが終了する。**（画面⑥）**

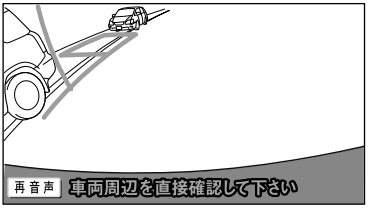
■画面・音声案内の流れ

画面①



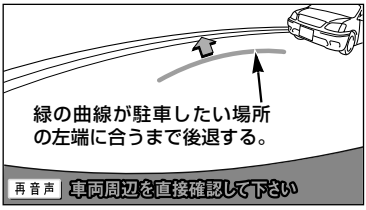
音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

画面②

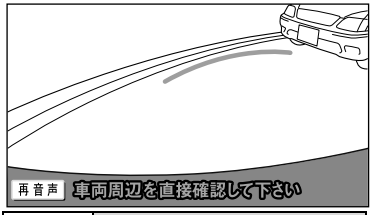


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」
音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

画面③

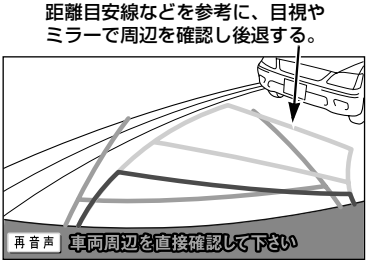


画面④

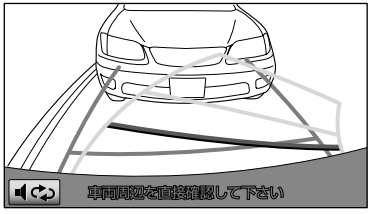


音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

画面⑤



画面⑥



音声案内	「ハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」
音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

⚠ 警 告

- カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路では正しく表示されないため、使わないでください。
- ハンドル操作は、必ず車を止めた状態で行ってください。

知 識

- ガイドを中止したいときは、ガイド中止 にタッチすると、最初（シフトレバーを Ⓡ にしたとき）の画面にもどります。
- 音声案内をもう一度聞きたいときは、再音声 にタッチします。
- 音声案内は運転席側スピーカーより出力されます。

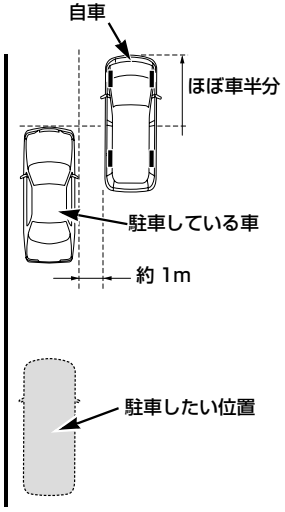
操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。
右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

- マルチビューバックガイドモニターを接続しているとき
  ➡カメラの視点を標準画面に切り替えます。（→ 362）

1 道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約 1m の位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。

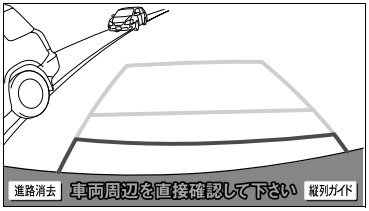
● 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 車の位置を確認し、縦列ガイド にタッチ。

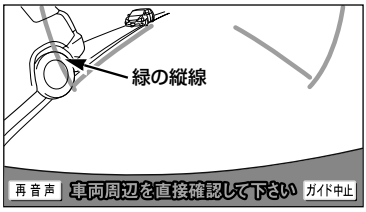
● 画面で、駐車している車のリヤタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。
映っていないときは、車を正しい位置まで前進させ、操作をやりなおします。



4 表示された画面と同じ位置に車が止まっていることを確認し、次へ にタッチ。

・ 前の画面に戻るとき
➡ ガイド中止 にタッチ。
・ この画面を表示させないようにするとき
➡ 次回からこの表示を省略 にタッチ。
・ この画面を再度表示させるとき
➡「バックガイドモニターの設定」（→353）

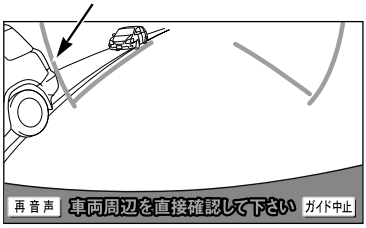
5 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま、緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まる。

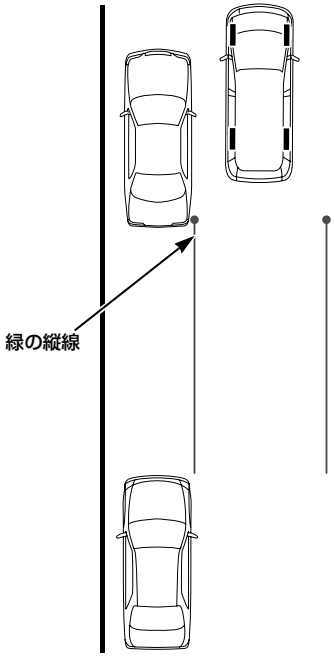


音声案内	「緑の縦線が隣の車のうしろに合うまでバックして止まります。」

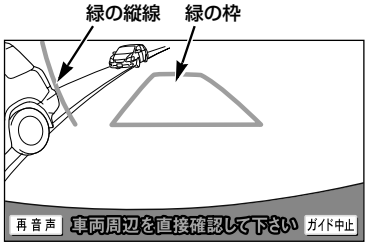
▼

車をここまで後退させる

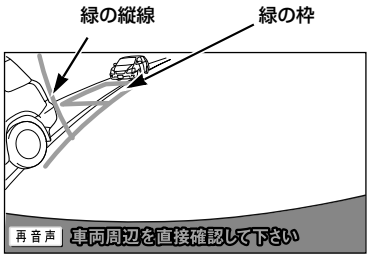




6 音声で案内され、緑の枠が表示される。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせる。

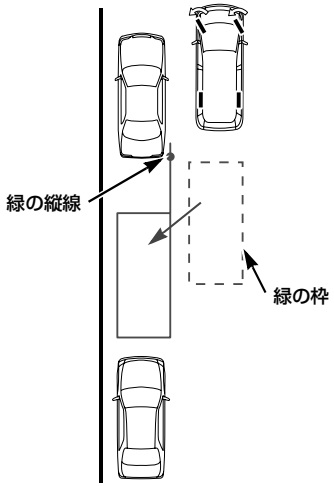


音声案内	「止まったままハンドルをまわして、緑の枠を駐車スペースに合わせます。」



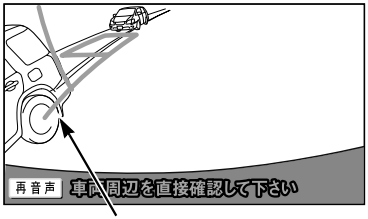
知識

- ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。
  その場合は、最初に車を止めた位置まで車を前進させ、やりなおしてください。
- シフトレバーを R 以外にしても、約 10 秒以内に R にもどせば、この画面にもどります。

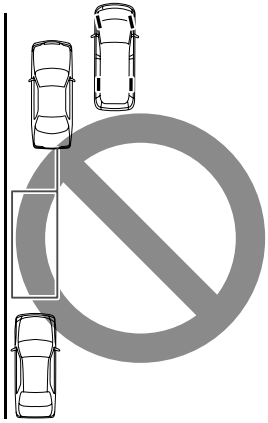


⚠ 注 意

- 緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードを使用することはできません。
- 緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

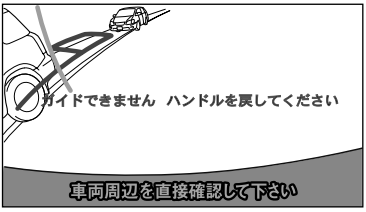


延長線がタイヤにかかっている

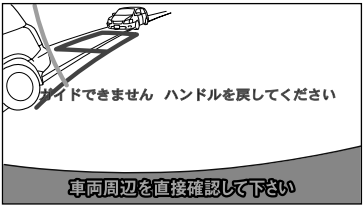


知 識

・ 枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示されたら、ガイドすることができませんので、ハンドルをもどしてください。



・ 枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩から離れすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約 1m）を確認してください。



7 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

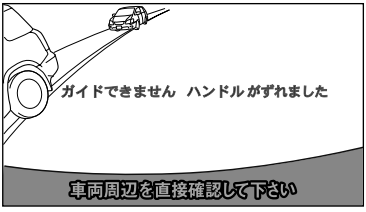
音声案内	「枠を合わせたらハンドルをそのままに車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 注 意

・ 車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。

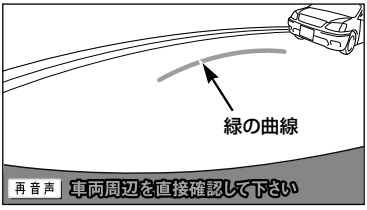
知 識

・ 後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。
その場合は、シフトレバーを Ⓡ 以外にしてから、再度 Ⓡ にして最初からやりなおしてください。



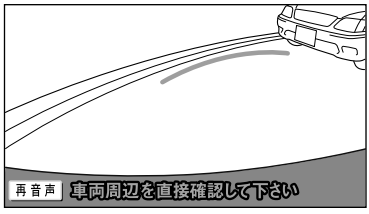
・ ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
・ 後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

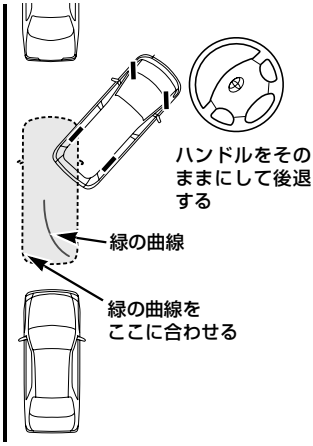
8 音声で案内され緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まる。



音声案内	「緑の線が車を寄せたい位置に合ったら、止まってハンドルを右いっぱいに切り返します。」

▼





知 識

・後退の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

9 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいまでまわす。

● 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。

10 画面が切り替わり音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退する。

音声案内	「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

⚠ 注 意

・車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

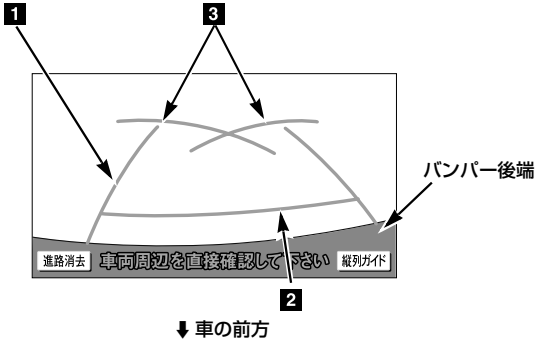
11 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にもどす。
距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認して、ゆっくり後退し止まる。

● 車がほぼまっすぐになったら、音声で案内され、縦列ガイドモードが終了します。

音声案内	「縦列ガイドを終了します。」

縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約 0.5m 先（赤色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ 約 0.5m 先を示します。
3 駐車ガイド線（緑色）	ハンドルをいっぱいまでまわして後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示す。 ・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

⚠ 警 告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

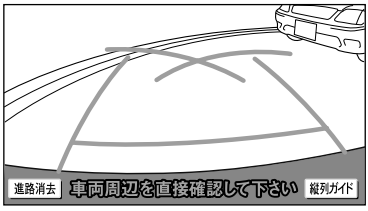
操作のしかた

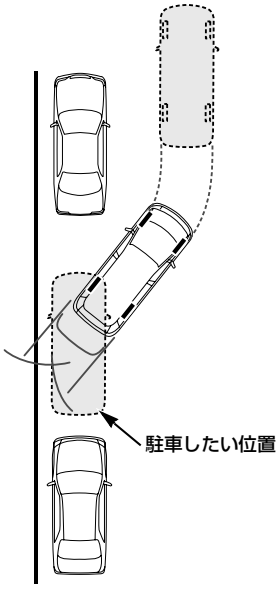
以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 駐車ガイド線表示モードにする。（→ 335）

2 シフトレバーを Ⓡ にする。

3 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まる。



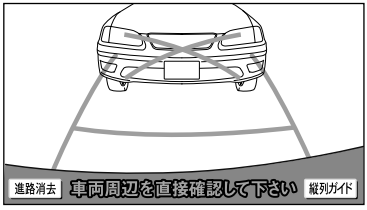


4 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

⚠ 注 意

- 車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

5 車が道路（または路肩）と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にする。
画面を参考に必ず目視やミラーで車の前後を確認し、最適な位置まで後退して、駐車を終える。



バックガイドモニターの設定

バックガイドモニター設定画面の表示

1 設定（画面外）を押す。

2 運転支援 にタッチ。

3 BGM 設定 にタッチ。

4 設定する項目を選択する。

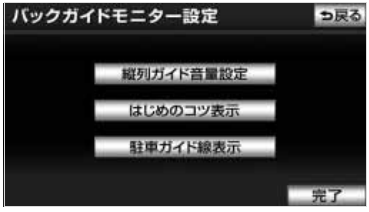
● 次の項目を設定できます。

項　目	ページ
縦列ガイド音量設定	353
はじめのコツ表示	353
駐車ガイド線表示	335、336

縦列ガイドの音量設定

設定（画面外）→ 運転支援 → BGM 設定 → バックガイドモニター設定画面

1 縦列ガイド音量設定 にタッチ。



2 設定したい音量にタッチし、完了 にタッチ。

・音声を OFF にするとき

➡ 消音 にタッチ。

はじめのコツの表示設定

縦列ガイドモード（→ 343）に「はじめのコツ」を表示することができます。

設定（画面外）→ 運転支援 → BGM 設定 → バックガイドモニター設定画面

1 はじめのコツ表示 にタッチ。

2 する または しない にタッチし、完了 にタッチ。

バックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

⚠ 警 告

- バックガイドモニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
  また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

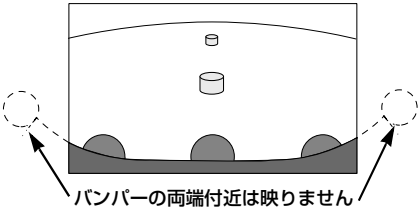
⚠ 注 意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、車載機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）

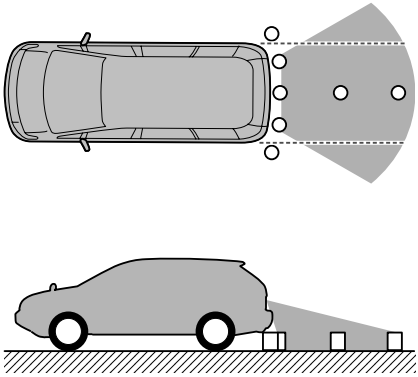
画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲



知 識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ 37）

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠ 注 意

- バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

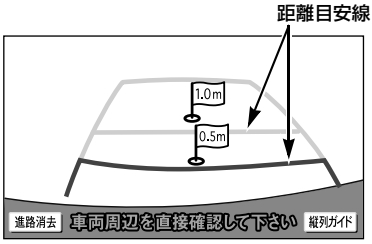
知 識

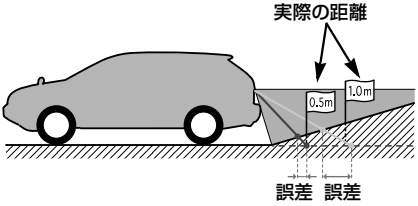
- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

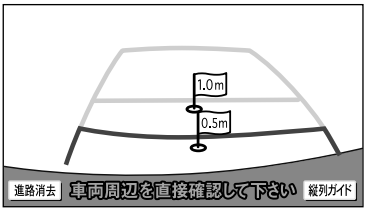
■急な上り坂が後方にあるとき

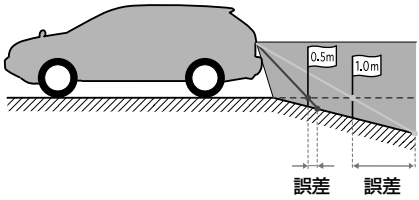




実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

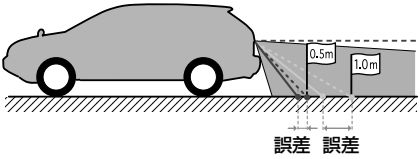
■急な下り坂が後方にあるとき





実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■車が傾いているとき



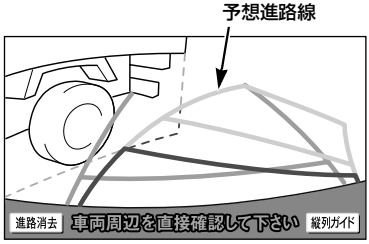
乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

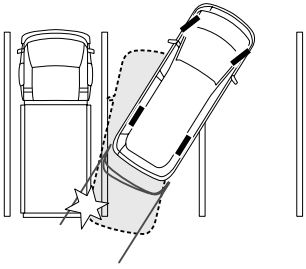
立体物が近くにあるとき

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。
張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

■予想進路線

予想進路線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することはできません。

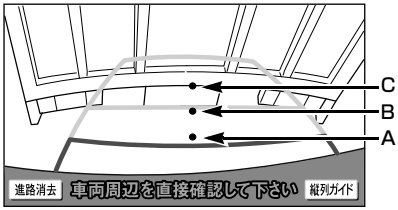




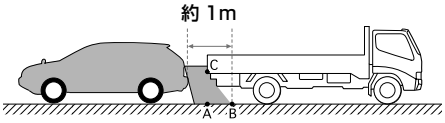
画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。
このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。



A、B、C の位置



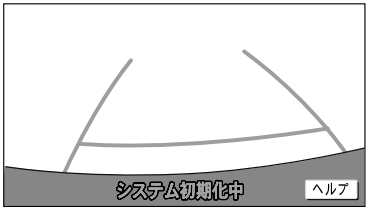
画面では、距離目安線により約 1m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。
画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

バッテリーの脱着後やシステム初期化中画面がでたときは

以下の場合には、必ず初期化作業を行ってください。

- バッテリーを脱着したとき
- シフトレバーを Ⓡ にして、システム初期化中画面が表示されたとき（バッテリー能力の低下など）

システム初期化中画面



■初期化作業

次のいずれかの操作をします。

- 車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいにまわしたあと、右いっぱいにまわします。（左右どちらが先でも可）
- できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約 5 分間以上走行します。

通常の画面にもどれば、設定終了です。

⚠ 注 意

・上記操作を行っても、画面が切り替わらないときは、販売店で点検を受けてください。

知 識

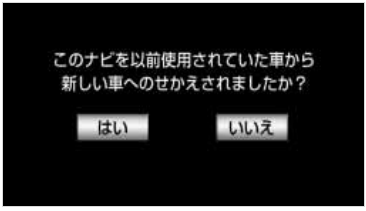
・システム初期化中画面で、ヘルプ にタッチすると、操作方法を表示させることができます。

画面に表示された操作をして、通常の画面にもどれば設定終了です。
システム初期化中画面、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、販売店で点検を受けてください。
了解 にタッチすると、もとの画面にもどります。

バッテリーの脱着後や車載機の載せ替えをしたときは

バッテリーの脱着や車載機を載せ替えた場合、チェンジレバーを Ⓡ にすると確認画面が表示されます。本機を載せ替えた場合、必ず販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。

1 はい または いいえ にタッチ。



・車載機を載せ替えたとき
➡ はい にタッチ。
・車載機を載せ替えていないとき
➡ いいえ にタッチ。
・ はい にタッチしたとき
➡次に表示される画面で OK にタッチ。

マルチビューバックガイドモニターとは

マルチビューバックガイドモニターはバックガイドモニターの機能を使用できる他、カメラの映像を次の 3 つの視点で表示することができます。

- 標準画面…バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えや、ガイド線を消すことができます。
- ワイドビュー…標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- ワイドビュー＋トップビュー…ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

基本的な操作方法や注意点については「バックガイドモニター」（→ 333 ～ 359）をご覧ください。

※車種により、マルチビューバックガイドモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

知 識

・ワイドビューおよびワイドビュー＋トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません。（→ 337）

⚠ 警 告

・マルチビューバックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ 363）
・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ 356）

知 識

・本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

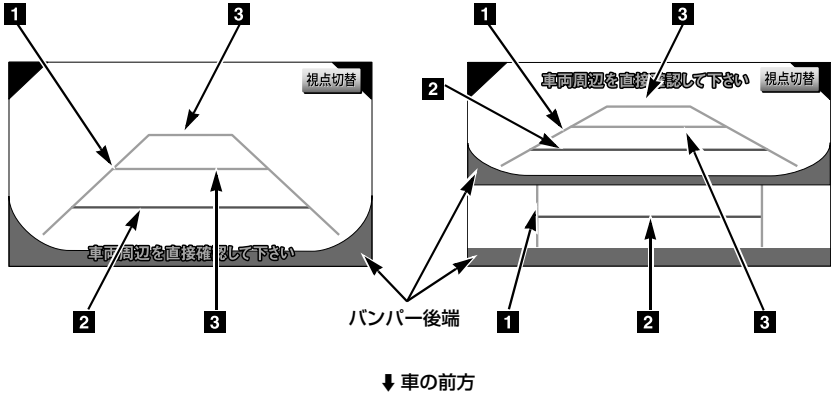
カメラの視点切替方法

画面の見方

＜標準画面＞

バックガイドモニターの「画面の見方」（→ 337、341）をご覧ください。

＜ワイドビュー＞　　＜ワイドビュー＋トップビュー＞



表示	内容
1 車幅延長線（緑色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線 約 0.5m 先（赤色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ 約 0.5m 先を示します。
3 駐車ガイド線 （緑色）	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ 約 1m 先（1 本目）・約 2.7m 先（2 本目）を示します。

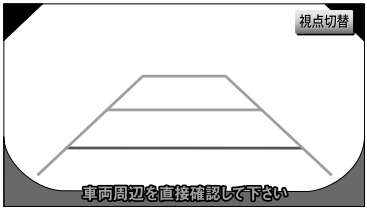
⚠ 警 告

- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

視点の切り替え方

1 シフトレバーを Ⓡ にする。

2 視点切替 にタッチ。



- タッチするごとに、標準画面→ワイドビュー→ワイドビュー＋トップビューと切り替わります。

知 識

・縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

マルチビューバックガイドモニターについての注意点

運転時の注意

⚠ 警 告

- マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。
  また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作をおこなってください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

⚠ 注 意

- 本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に駐車できない場合があります。
- 本機能は、各車種ごとの設定が必要です。したがってお車の買い換えなどのとき、車載機を他の車へ付け替えるときは必ず販売店でマルチビューバックガイドモニター設定値（車両データ）を変更してからご使用ください。（そのままでは本機能をご使用になれない車種があります）

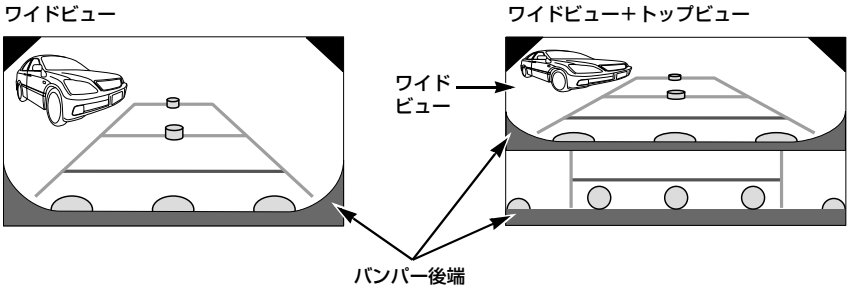
画面に映る範囲

＜標準画面＞

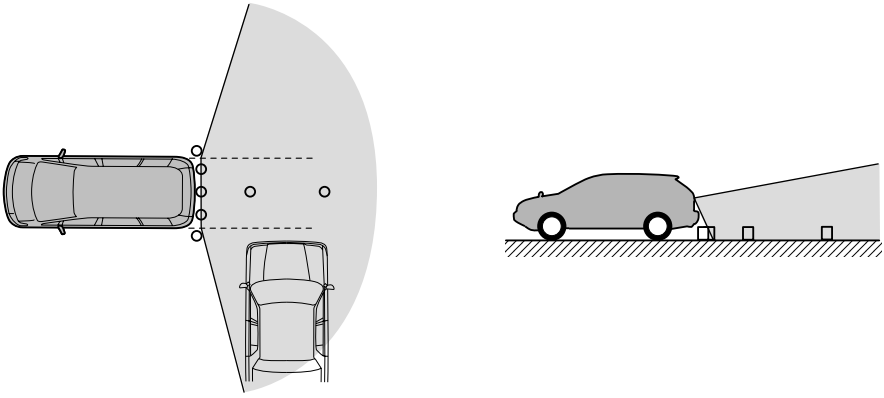
バックガイドモニターの「画面に映る範囲」（→ 355）をご覧ください。

＜ワイドビュー＞

■画面

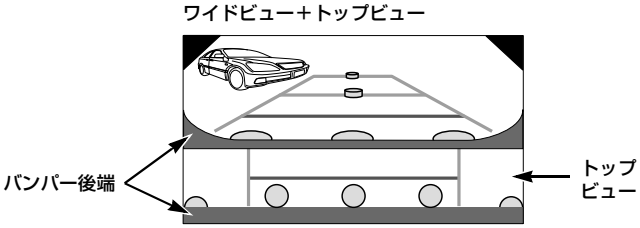


■映る範囲

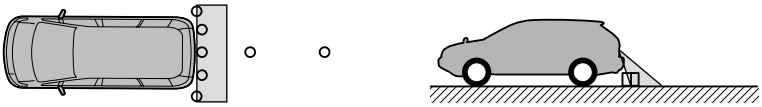


＜トップビュー＞

■画面



■映る範囲



知 識

・ 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
・ バンパー後端の見え方は車種により異なります。
・ マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
・ 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  ・ 暗いところ（夜間など）
  ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  ・ バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
・ マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ 37）

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠ 注 意

- マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知 識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

バックモニターとは

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、ガイド線で駐車時の後退操作を補助する装置です。

※車種により、バックモニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

警 告

- バックモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ 370）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ 372）

知 識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

操作のしかた

操作のしかた

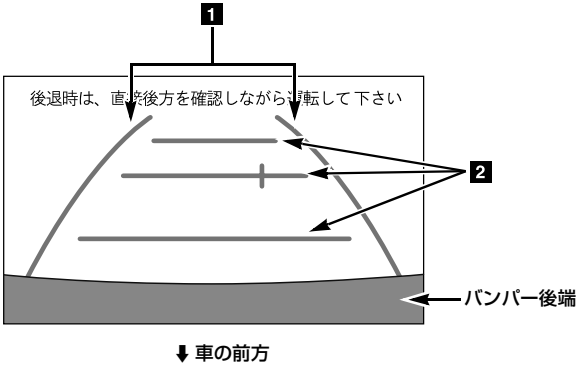
1 エンジンスイッチが ON のとき、シフトレバーを Ⓡ にする。

・ 解除するとき
➡シフトレバーを Ⓡ 以外にする。

知 識

・ シフトレバーを Ⓡ にしていても、画面外の 現在地 ・ AV など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

画面の見方



表示	内容
1 車幅延長線（黄色）	車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。 ・ 実際の車幅より広く表示しています。
2 距離目安線	車の後方（バンパー後端から）の距離を示す。 ・ ハンドル操作と連動しません。 ・ 約 0.5m 先（1 本目）・約 1m 先（2 本目）・約 2m 先（3 本目）を示します。

⚠ 警 告

・ 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
・ 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

知 識

・ ガイド線は表示する／しないを設定できます。（→ 369）

ガイド線表示の設定

後方の映像にガイド線を表示する / しないを設定できます。

バックモニター映像表示中（→ 368）

1 設定（画面外）を 1 秒以上押し続ける。

2 ガイド ON または ガイド OFF にタッチし、完了 にタッチ。

バックモニターについての注意点

運転時の注意

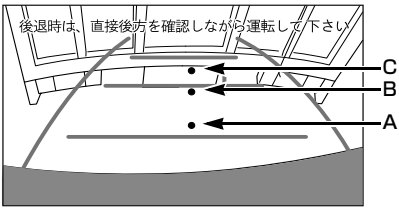
⚠ 警 告

- バックモニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

画面に映る範囲

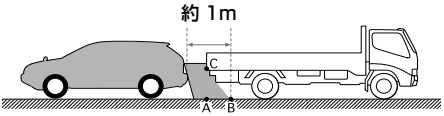
バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

■画面



■映る範囲

＜A、B、C の位置＞



距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。
画面では、距離目安線により約 1m 先（B の位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。
画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

知 識

- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- シフトレバーを Ⓡ にした瞬間は、一端黒画面になりますが、その後次第に安定します。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- 後方の映像は実際の色合いと異なることがあります。
- 車両によりガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。
- バックモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。
  （→ 37）

カメラ

車両の後方に取りつけられています。

⚠ 注 意

- バックモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

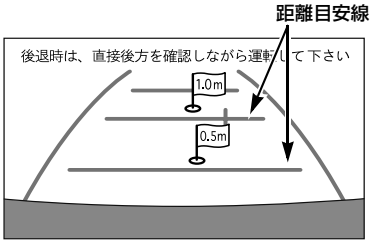
知 識

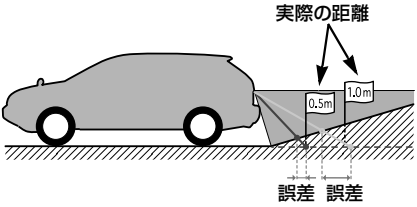
- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

画面と実際の路面との誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

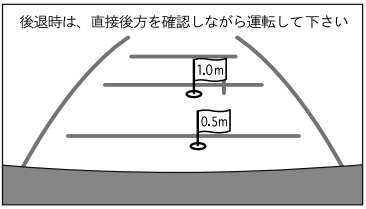
■急な上り坂が後方にあるとき

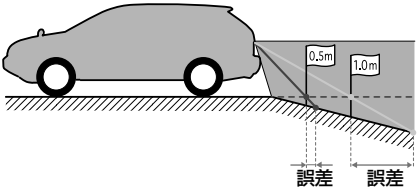




実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき





実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

ブラインドコーナーモニター / サイドモニターシステムとは

車両周辺の映像をモニター画面に映し出すことができます。

- ブラインドコーナーモニター…車両前方直下、または見通しの悪い交差点やＴ字路などで、車両の左右前方を確認することができます。
- 左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。

※車種により、ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムが使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

⚠ 警 告

・必ず車の前方や左右の安全を直接確認しながら運転してください。（→ 378）
・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

知 識

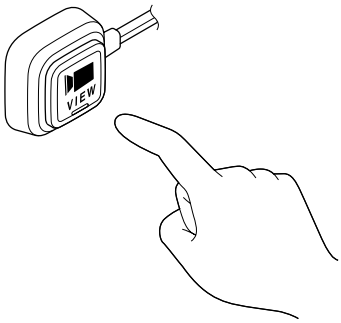
・本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

操作のしかた

画面の出し方

1 エンジンスイッチが ON で車速が約 12km/h 未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押す。



画面の解除

次の場合は、映像が解除されます。

- 走行を開始し、車速が約 12km/h 以上になったとき
- カメラ映像呼び出しボタンを押したとき※1
- シフトレバーを Ⓡ にしたとき※2
- 画面外の 現在地 など各モードのスイッチを押したとき

※1 優先表示に設定されている画面を表示しているとき
➡ 2回押す。

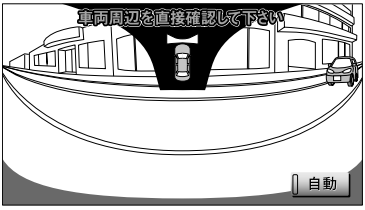
※2 バックガイドモニター、またはバックモニターを接続していないとき
➡サイドモニター画面は解除されません。

自動表示設定

車速やエンジンスイッチの位置によって自動的にカメラ映像の画面に切り替わるように設定することができます。

周辺の映像表示中（→ 375）

1 自動 にタッチ。



- タッチするごとに、自動で表示する条件が切り替わり、条件によって作動表示灯の色が変わります。

作動表示灯	表示条件
黄色	減速して 10km/h 以下になったとき
橙色	エンジンスイッチをONにしたとき
無灯	自動表示しない

知 識

・シフトレバーが Ⓡ のとき、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。

・ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、自動表示設定は同じになります。異なる設定にすることはできません。

優先表示設定

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、優先して表示する画面を選ぶことができます。

1 設定（画面外）を押す。

2 運転支援 にタッチ。

3 カメラ表示優先設定 にタッチ。

4 ブラインドコーナーモニター または サイドモニターシステム にタッチし、完了 にタッチ。

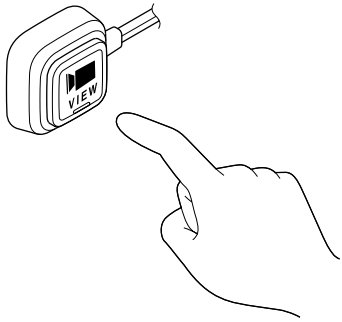
画面の切り替え方

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムの切り替え方

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に接続しているとき、映像を切り替えることができます。

周辺の映像表示中（→ 375）

1 カメラ映像呼び出しボタンを押す。

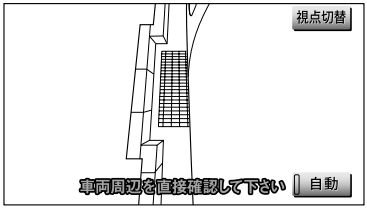


サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え方

サイドモニターシステムは VIEW A と VIEW B の2つの表示範囲に切り替えることができます。

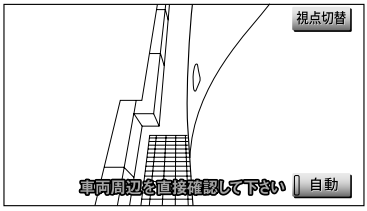
< VIEW A >

車両左前方の映像を、左側中心で表示します。



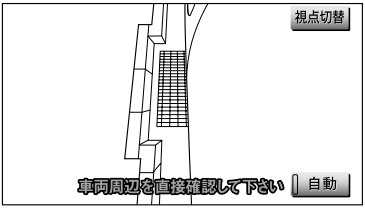
< VIEW B >

車両左前方の映像を、前方中心で表示します。



サイドモニターシステムの映像表示中
(→ 376)

1 視点切替 にタッチ。



- タッチするごとに、VIEW A と VIEW B が切り替わります。

運転時の注意

⚠ 警 告

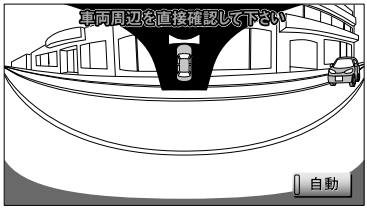
- ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムを過信しないでください。
  運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。
- 画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
  画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - ドアミラーを格納したとき
  - 助手席側ドアが完全に閉まっていないとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

画面に映る範囲

<ブラインドコーナーモニター>

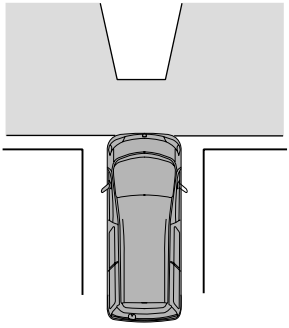
車両の左右前方が映ります。

■画面

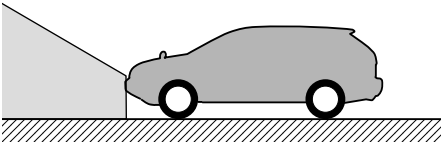


■映る範囲

左右方向



上下方向



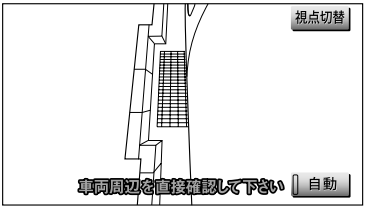
<サイドモニターシステム>

車両の左前方が映ります。

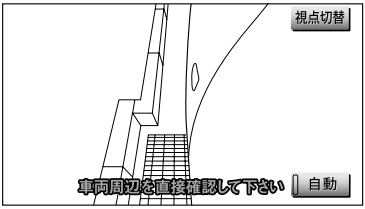
- VIEW A…左側中心に表示します。
- VIEW B…前方中心に表示します。

■画面

VIEW A

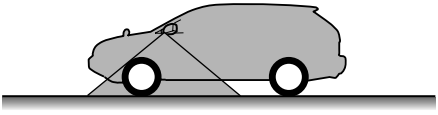


VIEW B

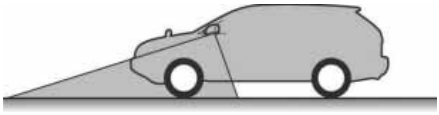


■映る範囲

VIEW A



VIEW B

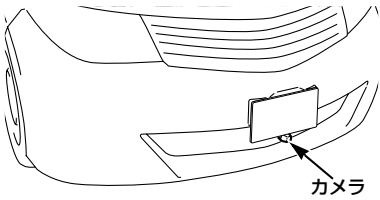


知 識

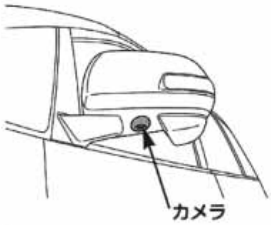
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- 画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。
- ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光りが直接カメラのレンズに当たったとき
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下でカメラ撮影を行うと、照明および照明の照らされている部分がちらついているように見えることがあります。（フリッカー現象）
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 次のようなときは故障ではありません。
  - 雨の日など湿度が高いときは、カメラが曇ることがあります。
  - 夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
  - 夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
  - 画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。
- ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムの画質調整の方法は、ナビゲーション操作画面の調整と同じです。（→ 37）

カメラ

＜ブラインドコーナーモニター＞



＜サイドモニターシステム＞



⚠ 注 意

- ブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、レンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして、急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにお買い上げの販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。
  - カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。

知 識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

マルチアングル全周囲モニターとは

マルチアングル全周囲モニターは車両を中心とした全周囲（前方・左右・後方）の映像を次の 3 つのモードで表示することができます。

- フロントモード…車両前方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- バックモード…車両後方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- 回転表示モード…車両周辺の映像を回転表示することができます。
  車両後方の映像については「バックガイドモニター」（→ 333 ～ 359）をご覧ください。

※車種により、マルチアングル全周囲モニター機能が使用できないことがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。

警 告

- 必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。（→ 391）
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→ 394）

知 識

- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

★印はオプションです。

フロントモード

画面の出し方

1 ドアミラーが開いている状態およびシフトレバーが Ⓡ 以外の状態であることを確認する。

2 フロントモード表示条件設定（→ 388）で設定した切り替え方で操作する。

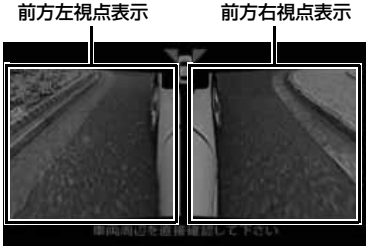
- フロントモード優先表示画面設定（→ 388）で設定した画面に切り替わります。

画面の見方

＜全周囲＋前方表示画面＞

＜前方表示画面＞

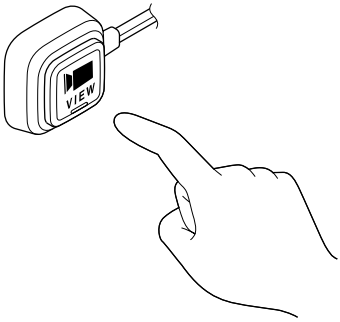
＜前方左右表示画面＞



視点の切り替え方

フロントモード表示中（→ 383）

1 カメラ映像呼び出しボタンを押す。



- 押すごとに、視点を切り替えることができます。
  例えば、フロントモード優先表示画面の設定（→ 388）を「サイド」に設定しているとき、全周囲＋前方表示画面→前方表示画面→ナビゲーション画面→前方左右表示画面の順に切り替わります。
  ・ 車速が 12km/h 以上になったとき
  ➡もとの画面に戻ります。

知 識

・ 車速が 12km/h 以上のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと前方左右表示画面が表示されます。

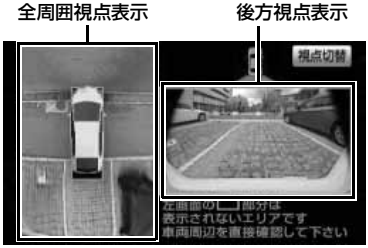
画面の出し方

1 ドアミラーが開いている状態であることを確認し、シフトレバーを Ⓡ にする。

- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。
  - ・後方左右表示画面を表示させるとき
    ➡ドラミラーを格納する。

画面の見方

＜全周囲＋後方表示画面＞



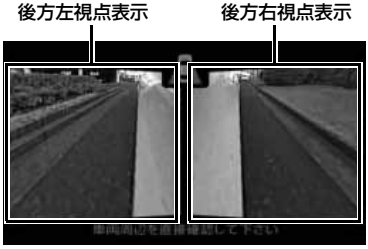
＜後方表示画面（標準）＞（→ 337、341）

＜後方表示画面（ワイド）＞（→ 361）

※後方表示画面（ワイド）などの画面で、カメラの一部が映り込む現象（ケラレ）が生じることがありますが、故障ではありません。

＜前方左右表示画面＞

＜後方左右表示画面＞



視点の切り替え方

バックモード表示中（→ 384）

1 視点切替 にタッチ。

- タッチするごとに、視点を切り替えることができます。
  全周囲＋後方表示画面→後方表示画面（標準）→後方表示画面（ワイド）の順に切り替わります。
  - ・後方表示画面（標準）で縦列ガイドモードにするとき
    ➡「バックガイドモニター」（→ 343）

2 車速が 10km/h 未満でカメラ映像呼び出しボタンを押す。

- ・ドアミラーが開いているとき
  ➡前方左右表示画面が表示されます。
- ・ドアミラーが閉じているとき
  ➡後方左右表示画面が表示されます。
- ・車速が 12km/h 以上になる、または再度カメラ映像呼び出しボタンを押す
  ➡後方表示画面に切り替わります。
- ・シフトレバーを Ⓡ 以外にしたとき
  ➡もとの画面に戻ります。

回転表示モード

初期状態では、エンジンスイッチがACC または ON のとき、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像が回転表示されます。
(→ 387)

画面の出し方

1 車両が停止していることを確認する。

2 ドアミラーが開いている状態およびシフトレバーが Ⓡ 以外の状態であることを確認する。

3 カメラ映像呼び出しボタンを 1 秒以上押す。

- 車速が 1km/h 以上になったとき
  ➡もとの画面に戻ります。
- シフトレバーを Ⓡ にしたとき
  ➡バックモードの画面に切り替わります。

マルチアングル全周囲モニターの設定

マルチアングル全周囲モニター設定画面の表示

1 設定（画面外）を押す。

2 運転支援 にタッチ。

3 全周囲モニター設定 にタッチ。

4 設定する項目を選択する。

● 次の項目を設定できます。

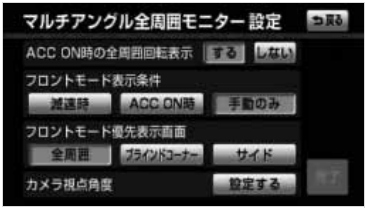
項目	ページ
ACC ON 時の全周囲回転表示	387
フロントモード表示条件	388
フロントモード優先表示画面	388
カメラ視点角度	389

ACC ON 時の全周囲回転表示設定

エンジンスイッチを ACC または ON にすると、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像を回転表示させることができます。

設定（画面外）→ 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 する または しない にタッチし、完了 にタッチ。



知 識

・ フロントモード表示条件（→ 388）を「ACC ON 時」に設定していると、エンジンスイッチを ACC または ON にしたときオープニング画面が表示された後にフロントモードの画面が表示されます。全周囲回転表示を設定することはできません。

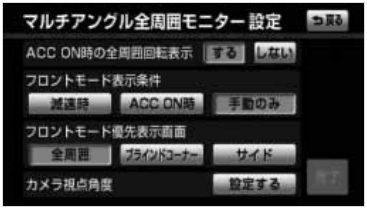
・ 車両のドアミラーが閉じていると、全周囲回転表示画面は表示されません。

フロントモード表示条件設定

フロントモードへの切り替え方を設定できます。

設定（画面外）→ 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 減速時 ・ ACC ON 時 ・ 手動のみ のいずれかにタッチし、完了 にタッチ。



- 減速時 …車速が 10km/h 未満になったとき、フロントモードに切り替わります。
- ACC ON 時 …エンジンスイッチを ACC または ON にしたとき、フロントモードに切り替わります。
- 手動のみ …カメラ映像呼び出しボタンを押したとき、フロントモードに切り替わります。

知 識

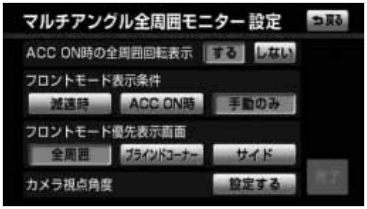
・ ACC ON 時 に設定しているとき、車速が 12km/h 以上になり、もとの画面にもどった後で、再度減速しても自動で切り替わりません。

フロントモード優先表示画面設定

フロントモードに切り替えたときに、はじめに表示される画面を設定できます。

設定（画面外）→ 運転支援 → 全周囲モニター設定 → マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 全周囲 ・ ブラインドコーナー ・ サイド のいずれかにタッチし、完了 にタッチ。



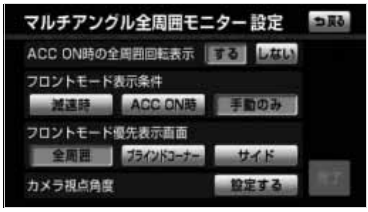
- 全周囲 …全周囲＋前方表示画面が表示されます。
- ブラインドコーナー …前方表示画面が表示されます。
- サイド …前方左右表示画面が表示されます。

カメラ視点角度設定

車両周辺の映像を回転表示させるときのカメラの視点角度を設定することができます。

設定（画面外）→ **運転支援** → **全周囲モニター設定** → マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 **設定する** にタッチ。

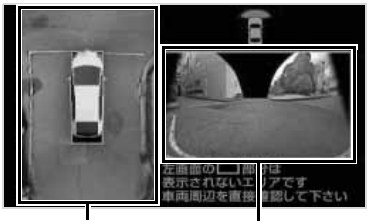


2 ◤ または ◥ にタッチし、**完了** にタッチ。

便利な使い方

駐車時などに車両のシフトレバーの Ⓡ と Ⓓ を連続して切り替えるとき、画面の全周囲視点表示を固定して、前方視点表示と後方視点表示のみをシフトレバーに連動して切り替えることができます。

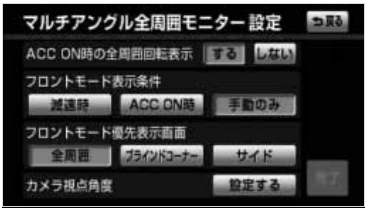
<シフトレバーが Ⓓ>



<シフトレバーが Ⓡ>

設定（画面外）→ **運転支援** → **全周囲モニター設定** → マルチアングル全周囲モニター設定画面

1 フロントモード表示条件の 減速時 、フロントモード優先表示画面の 全周囲 にタッチし、 完了 にタッチ。



2 シフトレバーを Ⓡ にする。

- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

3 全周囲＋後方表示画面に切り替わるまで 視点切替 にタッチ。

マルチアングル全周囲モニターについての注意点

運転時の注意

⚠ 警 告

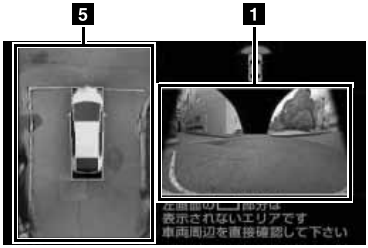
- マルチアングル全周囲モニターを過信しないでください。
  一般の車と同様、必ず周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。運転するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - バックドアが完全に閉まっていないとき
  - 坂道など平坦でない道路
- タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。
- 車両のドアミラーを格納した状態で使用しないでください(車両の後方左右を表示する場合を除く)。適切な範囲を映すことができません。

画面に映る範囲

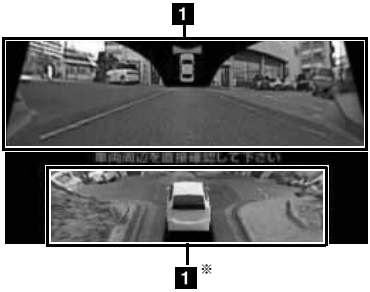
■画面

＜フロントモード＞

全周囲＋前方視点表示

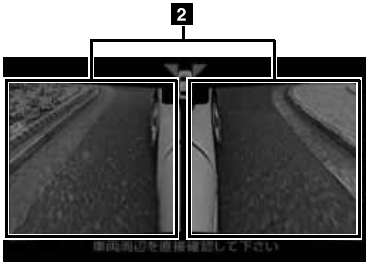


前方表示画面



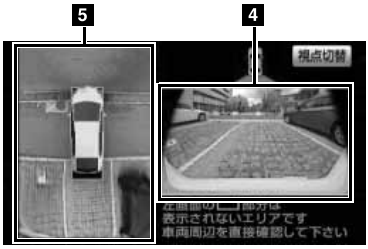
※車両の後方上部から前方を見る視点

前方左右表示画面



＜バックモード＞

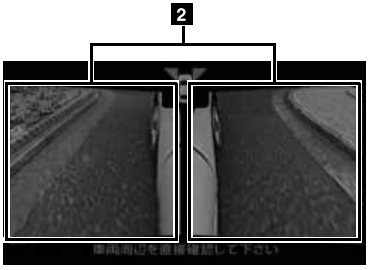
全周囲＋後方表示画面



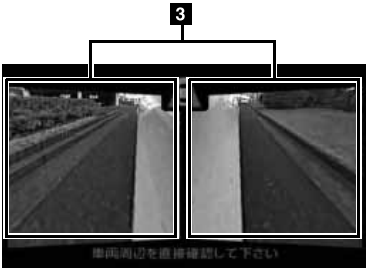
後方表示画面（標準）（→ 355）

後方表示画面（ワイド）（→ 364）

前方左右表示画面



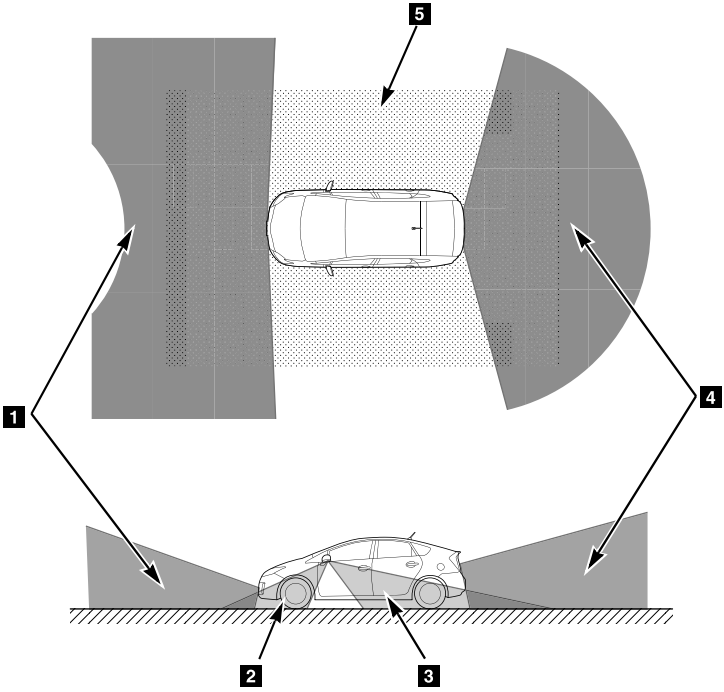
後方左右表示画面



＜回転表示モード＞

回転表示画面※

※4 つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲を表示します。

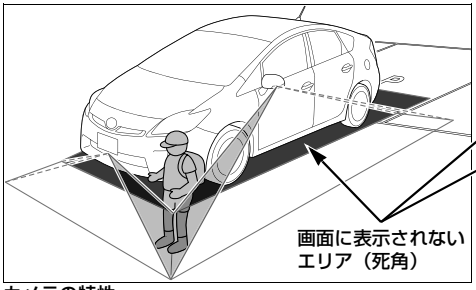


番号	視点表示
1	前方視点表示
2	前方左右視点表示
3	後方左右視点表示
4	後方視点表示
5	全周囲視点表示

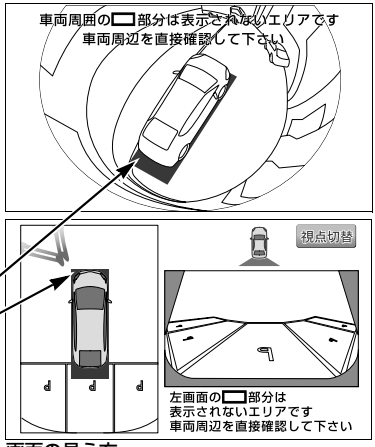
※上記は表示範囲を正確に示しているものではありません。

⚠ 注 意

- 本機能は、車両に取り付けられた４つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲が見えるようにしています。次のマルチアングル全周囲モニターの特性をご理解のうえ使用してください。
  - カメラ取付け位置より上部にある物体は映し出されません。
  - 車両を上から見た映像や後方から見た映像も映像処理により表現しているため、実際の映像と異なる場合があります。（例えば人物などの立体物が寝ているように映る、距離感が実際とは異なるなどの現象が生じます。）
  - 車両の四隅の映像は、人物などの立体物が二重に見えます。
  - 車両の四隅および車両付近に死角があり、画面に表示されないエリアがあります。（下図参照）
  - 画面に表示される車両は、コンピューター処理しているため、実際の車両と異なります。
  - 画面に表示される車両は、実際の形状より大きく表示されるため、車両付近の物体が車両と接触しているように見える場合があります。



カメラの特性

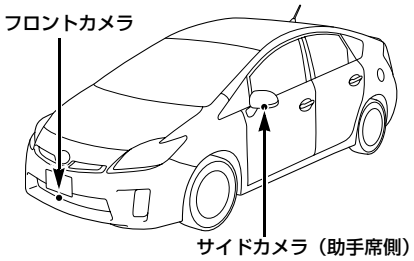


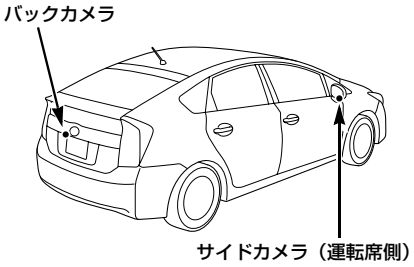
画面の見え方

知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- マルチアングル全周囲モニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間など）
  - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
  - バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき
- 車両後方の映像を表示する場合、バンパー後端の見え方は車種により異なります。
- 広範囲の映像を切り出し、引き伸ばして全周囲画像に処理しているため、画面モードによって部分的に解像度が落ちる場合があります。
- 夜間のサイドカメラ映像は赤外光照明によって周辺を照らすため、昼間の色や明るさとは異なって見えることがあります。例えば赤外光を吸収しやすい物（水たまりなど）は黒く、反射しやすい物（植物の葉など）は白っぽく見えるなどの現象が生じます。
- マルチアングル全周囲モニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→ 37）

カメラ





⚠ 注 意

- マルチアングル全周囲モニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。
  - カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。
  - カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
  - カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
  - カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
  - 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
  - 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
  - カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
  - スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

知識

- カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。
  水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- サイドカメラには夜間照明（赤外光照明）機能があり、夜間の視認性を確保するために赤外光を遮断しない構造になっています。そのため、昼間の太陽光に含まれる赤外光によって、画面の映像が実際の見え方と異なる場合があります。（例えば、映像の色が薄くなったり変色して見えるなどの現象が生じます。）

MEMO

ETC システム

※販売店装着オプションのナビ連動ETCシステムを取りつけたときに使用することができます。

ETC システム 400

■ ETC システムについて 400

ETC システムについて 400
ETC カードの有効期限
案内について 400

■ ETC 画面の使い方 401

ETC 画面の表示.....401
ETC 割込表示.....401
ETC マーク表示.....402
履歴表示.....402
統一エラーコードの表示.....402
ETC 登録情報の表示 402
ETC の通知設定.....403

本書では、オプションのナビ連動 ETC システムが装着された車両の画面での操作のみを説明しています。ETC ユニット・ETC 車載機本体の操作については、「ETC 取扱書」をご覧ください。

ETC システムについて

ETC システムについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
路側無線装置と車両のETCユニットとの間で通信を行い、料金はお客様が登録されたETCカードの引き落とし口座から後日引き落とされます。

⚠ 警 告

・安全のため、運転者は走行中に ETC カードの抜き差し、および ETC ユニットの操作を極力しないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。

⚠ 注 意

・ETC カードには有効期限があります。
あらかじめETCカードの有効期限をご確認ください。

ETC カードの有効期限案内について

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

ETC カードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

⚠ 注 意

・本機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

知 識

・通知設定画面の ETC 音声案内 (→ 403) を「しない」に設定していても、ETC カードの有効期限は案内されます。

★印はオプションです。

ETC 画面の使い方

ETC 画面の表示

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 情報画面

1 ETC にタッチ。

2 ETC 画面が表示される。

ETC カードメッセージ

ETC カードメッセージ

現在のETCシステムの状態が表示されます。

メッセージ	状　態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC システムに何らかの異常が発生しています。
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。
未セットアップ	ETC ユニットがセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC ユニットがセットアップされました。

ETC 割込表示

有料道路にあるETCゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

割込表示

知 識

- 通知設定画面の ETC 割込表示（→ 403）を「しない」に設定しても、ナビ詳細設定の料金案内（→ 114）を「する」に設定してあると、料金所手前での料金案内は実施されてしまいます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。
  また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声は行われない場合があります。

ETC マーク表示

ETC カードを挿入すると、情報画面・G-BOOK 画面・BT ナビ画面に ETC マークが表示されます。

ETC マーク表示

知 識

・ ETC マーク表示は、ETC ゲートを通過できることを表してはいません。また、有効期限切れのカードを挿入しても表示されます。

履歴表示

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ ETC → ETC 画面

1 履歴情報表示 にタッチ。

2 履歴表示を切り替える。

・ 最新 … 最新の履歴にもどる
・ 詳細 … 利用区間を表示する

注 意

・ ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

知 識

・ 表示させることができる履歴は、ETC カードに記録されるため、記録件数は使用する ETC カードにより異なります。（最大 100 件）
・ 道路事業者の設定する料金所情報に追加・変更があった場合、利用区間が正しく表示されないことがあります。

統一エラーコードの表示

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ ETC → ETC 画面

1 エラー発生時、 登録情報表示 にタッチ。

ETC 登録情報の表示

お客様の車のETCユニットに登録された情報が表示されます。

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ ETC → ETC 画面

1 登録情報表示 にタッチ。

● エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

ETC の通知設定

1 設定（画面外）を押す。

2 ETC にタッチ。

3 通知設定 にタッチ。

4 各項目の する または しない にタッチし、完了 にタッチ。

次の設定を変更することができます。

■ETC 割込表示
「ETC 割込表示」（→ 401）
■ETC 音声案内
ETC システムを利用するときに、音声を出力する。
■ACC オン時警告表示
エンジンスイッチを OFF(LOCK)から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告する。
■ACC オン時警告音声案内
エンジンスイッチを OFF(LOCK)から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告する。
■カード抜き忘れ警告
ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチを ACC から OFF（LOCK）にしたとき、お客様の車の ETC ユニットから警告音（ブザー音）の出力、または音声の出力のいずれかで警告する。

MEMO

ハンズフリー

お使いになる前に 407

■ ハンズフリーについて 407
ハンズフリーとは 407
各部の名称 409
音声について 410
各種表示について 410
お車を手放すとき 412
Bluetooth 機器使用上の
注意事項.....412

ハンズフリーの基本操作 414

■ ハンズフリーの準備をする 414
ハンズフリーの準備をする.....414
携帯電話を登録する.....414
携帯電話を接続する.....415
Bluetooth 接続の再接続に
ついて.....417

■ 電話をかける 418
ダイヤル発信する 418
電話を切る 419

■ 電話を受ける 420
電話を受ける 420
自動で電話を受ける.....420

■ 通話中に操作する 421
通話中に 10 キー入力する.....421
通話を終了する 421

ハンズフリーの便利な使い方 422

■ 電話をかける 422
電話をかける 422
電話帳発信する 423
履歴発信する 424
ワンタッチ発信する 425
ナビから発信する 426
携帯電話本体から発信する.....426

■ 電話を受ける 427
着信中画面で操作する.....427

■ 通話中に操作する 428
通話中画面で操作する.....428

■ 簡易画面で操作する 430
簡易画面で操作する 430

ハンズフリーの設定 431

■ 設定・編集画面を表示する 431
設定・編集画面を表示する.....431

■ 音量の設定をする 432
音量の設定をする 432

■ 携帯電話を選択する 433
使用する携帯電話を選択する.....433
電話機詳細情報を表示する.....434

■ 電話帳を編集する 435
電話帳について 435
電話帳を編集する.....435
携帯電話の電話帳データを
転送する 435
電話帳に新規データを追加する 437
電話帳のデータを修正する 438
電話帳のデータを削除する 439
ワンタッチダイヤルを登録する 439
ワンタッチダイヤルを削除する 440

■ Bluetooth の設定をする 441
Bluetooth の設定について 441
携帯電話を登録する.....441
Bluetooth 電話機の登録を
削除する 441
車載機の Bluetooth 設定を
変更する 442

■ ハンズフリーの
詳細設定をする 443
電話詳細設定画面を表示する 443
セキュリティの設定をする 443
自動着信応答 445
ACC ON 時の Bluetooth
接続確認表示 446
着信割り込み表示 446
自動電話機接続 446
電話詳細設定を初期化する 446

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ハンズフリーについて

ハンズフリーとは

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を車載機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店、または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

本システムに接続する携帯電話は、次の仕様に対応した携帯電話である必要があります。ただし、**携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

■対応 Bluetooth 仕様

Bluetooth Specification Ver.1.1 以上（Ver.2.0 ＋ EDR 以上を推奨）

■対応 Profile

- HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0 以上
- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1

Bluetooth®

Bluetooth は Bluetooth SIG,Inc. の登録商標です。
Bluetooth　ワードマークとロゴは Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「アイシン・エィ・ダブリュ株式会社」のマーク使用は許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。
本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

⚠ 警 告

- 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠ 注 意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、車載機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。
例えば、ポケットやカバンに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

⚠ 注 意

・Bluetooth 携帯電話を車載機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

知 識

・Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
・Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 緊急通報中のとき
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が車載機に接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 車載機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
  （切り替え中は車載機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
- その他、携帯電話自体が使えないとき

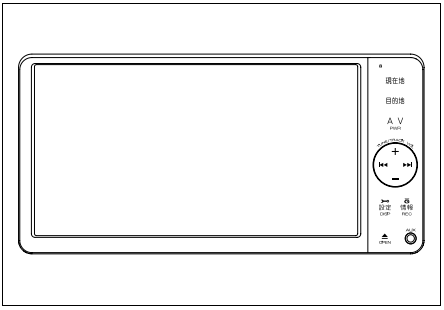
知 識

- 割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- ヘルプネットをご利用の場合は、次のような制限があります。
  - ヘルプネット動作中はハンズフリーを使用できません。
    また、ヘルプネットを携帯電話でご利用の場合、ヘルプネット動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
  - 着信中、応答保留中または通話中画面表示中にヘルプネットが起動すると、ハンズフリーは強制終了されて、ハンズフリー画面が解除されます。

各部の名称

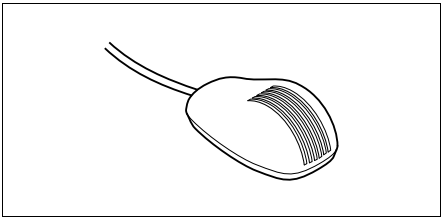
■車載機

画面に表示されるタッチスイッチを操作することで、ハンズフリーのさまざまな機能の操作をする。



■マイク

通話時に使用する。



音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。
- ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

知 識

・通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
・受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声は大きくはっきりとお話しください。
・次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時
  ・高速走行時
  ・窓を開けているとき
  ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  ・エアコンのファンの音が大きいとき
  ・携帯電話をマイクに近づけたとき
・使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
・他の Bluetooth 対応機器（ポータブル機）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

各種表示について

受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

・「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
・機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
・「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が車載機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

受信レベル表示

表示	圏外				
レベル	圏外	弱 ←―――→ 強			

電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- 電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- 本システムには携帯電話の充電機能はありません。

電池残量表示

表示	
残量	無　少 ←→ 多

Bluetooth 接続状態表示

携帯電話のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示

表示	接続状態
BT（青色）	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
BT（黄色）	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。
BT	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話でのハンズフリーは使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。（→ 433） 携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→ 414）

知 識

- Bluetooth 通信用の車両側アンテナがディスプレイ内に内蔵されています。
  次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
    （携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

  Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ 47)

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。
間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth 電話機の登録情報
- ロック No.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

Bluetooth 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は2.4GHz帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

知 識

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

- Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 対応機器（携帯電話）を同時に使用するときは、次のようになります。
  - ・携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ・ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ・ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されます。
  この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店、または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

ハンズフリーの準備をする

ハンズフリーの準備をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。
初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する携帯電話を設定します。

携帯電話を登録する

Bluetooth携帯電話を使用するためには、まず次の手順で車載機に登録をすることが必要です。

- 携帯電話は、車載機に最大 5 台まで登録することができます。
- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話を Bluetooth オーディオとして使用するには、別途登録が必要です。(→ 302)

設定（画面外）→ 電話 →
設定・編集画面

1 Bluetooth 設定 にタッチ。

2 Bluetooth電話設定の 登録 にタッチ。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

3 Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作します。

- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
  - 中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

4 接続が完了したとき
➡ メッセージが表示され、携帯電話の登録が完了する。

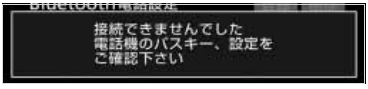
- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。

■G-BOOKオンラインサービスを携帯電話で利用するとき

携帯電話の登録後、ご利用の携帯電話に合わせて、使用する携帯電話の設定をしてください。（→ 532）

■接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



知 識

- 携帯電話によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、Bluetooth 携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→ 442）
- 携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
- 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- HFP に対応していない携帯電話は、車載機に登録ができません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP のみのサービスは利用できません。
- 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetooth オーディオ再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetooth オーディオの音声が途切れることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、車載機側の登録が完了しない場合があります。
  その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。

携帯電話を接続する

Bluetooth携帯電話の車載機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

知 識

- Bluetooth オーディオの再生中に接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth オーディオの操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中にBluetooth オーディオの操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。

携帯電話を自動で接続する

電話詳細設定の自動電話機接続（→ 446）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にするたびに、車載機は選択されている携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

■Bluetooth 接続確認表示

電話詳細設定のACC ON時のBluetooth接続確認表示（→ 446）で「する」を選択しているときは、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。
ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth 接続確認表示

・ Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。（→ 411）

知 識

・ 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。
（ヘルプネット動作後に再接続した場合は表示されません。）
・ 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。
（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

■自動接続できなかった場合

自動接続は約 60 秒行います。自動接続を開始して約 15 秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60 秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ 416）

知 識

・ 携帯電話の接続状況により、携帯電話が車内にある場合でも「携帯電話を忘れていませんか？」というメッセージが表示されることがあります。

携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときにBluetooth 接続するときは、手動でBluetooth 接続操作をします。

ダイヤル画面表示中（→ 422）

1 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。

2 ハンズフリー にタッチ。

作動表示灯

● 接続中は作動表示灯が点灯します。

3 Bluetooth 接続画面が表示される。

・ 中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

4 再びダイヤル画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

● 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。
・ 切断するとき
➡再度 ハンズフリー にタッチ。

知 識

・ 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を一定時間、自動的に行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

知 識

・ 再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→ 416）

■Bluetooth 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	416
改めて携帯電話を選択する	433

電話をかける

ダイヤル発信する

ここでは、基本操作としてダイヤル発信を説明します。
電話番号を入力して電話をかけることができます。

- ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10 キーが灰色になり、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。
- その他の電話のかけ方について
  ➡「電話をかける」（→ 422）

知 識

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- Bluetooth 携帯電話は、車載機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。
  （→ 414）
- 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。
- ハンズフリー の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。

1 停車中、 G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 電話 の順にタッチ。

※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、携帯電話の登録（→ 414）を開始します。

2 電話番号を入力する。

- 最後の 1 桁を消去するとき
  ➡ 修正 にタッチ。
- 最後の 1 桁から続けて消去するとき
  ➡ 修正 にタッチし続ける。

3 にタッチ。

4 発信できたとき
➡ 発信中画面が表示される。

- 発信音が出力された後、呼出音が出力されます。

知 識

- 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  - 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
  - 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  - 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「通話中に10キー入力する」(→421)をご覧ください。
- Bluetooth　オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

5 相手が電話に出たとき

➡ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

- 発信中または通話中画面で にタッチ。
- 携帯電話本体で電話を切る。
- 電話が切れると発信画面にもどります。

電話を受ける

・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ 430）

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知する。

2 にタッチして、電話を受ける。

知 識

・ 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
・ 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
  ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  ・ 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
・ 着信音については、
①車両のスピーカーから聞こえる
②携帯電話から聞こえる
③両方から聞こえる
など、機種によって異なります。また、携帯電話の着信音が出力できないときは、車載機に登録されている着信音が鳴ることがあります。
・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、車載機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
・ Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

自動で電話を受ける

自動着信応答の設定により、自動で電話を受けることができます。（→ 445）

通話中に操作する

通話中に 10 キー入力する

通話中に10キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ 430）

ハンズフリー通話中

1 トーン にタッチ。

2 スイッチにタッチして入力する。

・ にタッチすると、電話が切れます。

知 識

・ 走行中は 10 キーが灰色になり、操作できません。

通話を終了する

・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ 430）

1 次のいずれかの操作をする。

- 通話中画面で にタッチする。
- 携帯電話本体で電話を切る。

電話をかける

電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

ダイヤル画面を表示する

1 停車中、G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 電話 の順にタッチ。

- 走行中に操作すると、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

ダイヤル画面

この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

ダイヤル発信 → 418	電話番号を入力して電話をかける
電話帳発信 → 423	車載機の電話帳から電話をかける
履歴発信 → 424	発信履歴または着信履歴から電話をかける
ワンタッチ発信 → 425	ワンタッチダイヤルから電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

ナビからの発信 → 426	ナビまたはG-BOOKのデータから電話をかける

知 識

- ハンズフリーで使用する携帯電話でデータ通信中に電話をかけようとした場合は、メッセージが表示されます。
  データ通信を終了しても良い場合は、はい にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、いいえ にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。
- ハンズフリー の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。

電話帳発信する

あらかじめ電話番号を車載機の電話帳に登録しておくことにより（→ 435）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

ダイヤル画面表示中（→ 422）

1 電話帳 にタッチ。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。
  はい にタッチすると、電話帳編集画面（→ 437）が表示されます。

2 希望の通話相手にタッチ。

ショートカットスイッチ

- 必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ 423）
- 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。
  その他 ……英数字ショートカット
  50 音 ……50 音ショートカット
- 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。
  （例） ABC に 2 回タッチすると、B で始まるデータのリストが先頭に表示されます。

3 電話番号が複数登録してあるときは、希望の電話番号にタッチ。

4 にタッチ。

■電話帳を切り替えるとき

ダイヤル画面（→ 422）→ 電話帳 → 電話帳画面

1 電話帳選択 にタッチ。

2 使用する電話帳にタッチ。

履歴発信する

発信履歴または着信履歴に登録されている電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

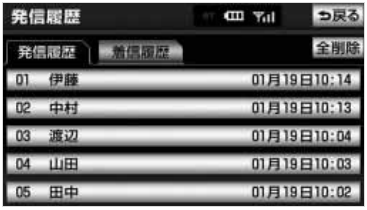
- 過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大 5 件記憶しています。
- それぞれの履歴は 5 件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。

ダイヤル画面表示中 (→ 422)

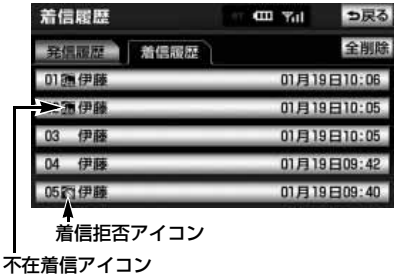
1 履歴 にタッチ。

2 必要に応じて、発信履歴 または 着信履歴 にタッチ。

発信履歴画面



着信履歴画面



知 識

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。

3 希望の通話相手にタッチ。

4 にタッチ。

知 識

- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 車載機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
    名称読みのみ登録されているときは、名称読みが発信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 車載機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
    名称読みのみ登録されているときは、名称読みが着信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号から着信した場合は、すべて着信履歴に登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
  - 相手先電話番号の情報がない場合は、「通知不可」と着信履歴に登録されます。

履歴を削除する

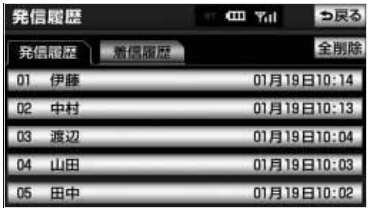
発信履歴および着信履歴のデータは、それぞれ全削除できます。

知 識

・お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ 47)

ダイヤル画面（→ 422）→ 履歴 → 発信履歴 または 着信履歴 → 発信履歴画面または着信履歴画面

1 全削除 にタッチ。



2 はい にタッチ。

ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより（→ 439）、簡単な操作で電話をかけることができます。

・ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

ダイヤル画面表示中（→ 422）

1 ワンタッチダイヤル にタッチ。

2 希望の電話番号にタッチ。

● 選択した電話番号に発信されます。
・ページを切り替えるとき
➡ ワンタッチ 1 ・ ワンタッチ 2 ・ ワンタッチ 3 のいずれかにタッチ。

■走行中に電話をかける場合

走行中にダイヤル画面（→ 422）を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

知 識

・走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

ナビから発信する

ナビ画面で が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 が表示されている画面を表示する。

2 にタッチ。

■ダイヤル画面の 交通・ナビ の使い方

ダイヤル画面で 交通・ナビ にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。（→ 325）

携帯電話本体から発信する

車載機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

■ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth接続中であれば、情報画面（→ 324）で 電話 にタッチすると、ハンズフリー画面を表示することができます。

- 通話転送 以外のスイッチは、操作できません。
  - ・タッチスイッチを使用したいとき
    ➡通話転送の操作をする。（→ 429）

⚠ 警 告

・安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

知 識

・携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  ・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
  ・単独で通話中の携帯電話が車載機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
・携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

電話を受ける

着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ 430）

電話を保留する（応答保留）

1 着信中、 にタッチ。

2 応答保留を解除して通話するとき

➡ にタッチ。

・ 応答保留中に音量を調整するとき

➡ 小 または 大 にタッチ。

・ 応答保留中に電話を切るとき

➡ にタッチ。

知 識

・ 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
・ 携帯電話の機種によっては、車載機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
・ Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。

■通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、応答保留中でも 通話転送 にタッチすると、通話を転送できます。（→ 429）

着信音量を調整する

1 着信中、 小 または 大 にタッチ。

知 識

・ 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

着信拒否する

着信中画面で、着信拒否できます。
・ 携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

1 にタッチし続ける。

● 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

通話中に操作する

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 送話音のミュート
- 通話の転送

通話中画面

・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。

知 識

・ 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
  ・ 単独で通話中の携帯電話が車載機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
  ・ ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
  なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチが ACC、または ON であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。（→ 429）

受話音量を調整する

通話中、小 または 大 にタッチ。

送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。
（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

1 ミュート にタッチ。

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
  ・ ミュートを解除するとき
  ➡再度 ミュート にタッチ。

通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、車載機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

■画面で操作する

1 通話中画面または応答保留中画面で、通話転送 にタッチ。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

■携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

・携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。

携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。
画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。

・電話が切れる、または電話を切ると、簡易画面は解除されます。

■簡易画面

電話詳細設定の着信割り込み表示（→446）で「簡易」を選択しているときに表示されます。

■TEL 音声画面

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えようとした場合に表示されます。

設定・編集画面を表示する

設定・編集画面を表示する

設定・編集画面から、ハンズフリーの各種設定をすることができます。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

1 設定（画面外）を押す。

2 電話 にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目の設定ができます。

設定・編集画面

音量設定	→ 432
ハンズフリー各音の音量調整・設定	
電話機選択	→ 433
使用する携帯電話の選択	
電話帳編集	→ 435
電話帳の転送・登録・編集・削除 ワンタッチダイヤルの登録・削除	
Bluetooth 設定	→ 441
携帯電話の登録・削除、詳細設定	
電話詳細設定	→ 443
セキュリティの設定 ハンズフリー画面の設定 Bluetooth 自動接続の設定	

音量の設定をする

設定（画面外）→ 電話 →
設定・編集画面

1 音量設定 にタッチ。

2 各設定をする。

- 音量設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
音量調整	432
高速時の自動音量切替	432
音量設定の初期化	432

3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

音量の設定をする

1 各音量の 小 または 大 にタッチして調整する。

受話音量	通話相手の音声の音量を調整する。
着信音量	着信音の音量を調整する。

知 識

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音量は、着信中画面でも調整できます。

高速走行時の自動音量切替を設定する

高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。（車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。）

高速時の自動音量切替 にタッチし、ON（自動で上がる）と OFF（上がらない）を切り替える。

- ON にしたときは、作動表示灯が点灯します。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

1 音量設定画面で、初期状態 にタッチ。

携帯電話を選択する

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が車載機で使用する携帯電話として選択されます。
複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択します。

・ 携帯電話の登録について
➡「携帯電話を登録する」（→ 414）
・ 携帯電話は車載機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

設定（画面外）→ **電話** →
設定・編集画面

1 電話機選択 にタッチ。

2 携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

3 使用する携帯電話にタッチ。

Bluetooth マーク

知 識

・ Bluetooth 接続中の携帯電話は、Bluetooth マークが表示されます。

4 完了 にタッチ。

● 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、はい にタッチします。
● 設定・編集画面が表示されたら、携帯電話が使用できます。

知 識

・ Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。

■データ通信中の場合

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。

● 通信を終了するとき
➡ はい にタッチ。
● 通信を継続するとき
➡ いいえ にタッチ。

・ いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **3** からやり直します。

知 識

・ 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、電話機選択はできません。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報では、車載機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称
車載機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス
機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号
携帯電話の電話番号です。

設定（画面外）→ 電話 →
電話機選択 → 電話機選択画面

1 詳細情報を表示したい携帯電話を選択し、詳細情報表示 にタッチ。

2 各項目を確認する。

- この画面で、機器名称の変更（→ 434）を行うことができます。

携帯電話の名称を変更する

車載機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。

・車載機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

設定（画面外）→ 電話 →
電話機選択 → （名称変更したい電話機）→
詳細情報表示 → 電話機詳細情報画面

1 変更 にタッチ。

2 ソフトウェアキーボードで入力する。

電話帳を編集する

電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- **携帯電話に登録してある電話帳を車載機の電話帳に転送する。** →435
- **車載機の電話帳に新規登録する。** →437
- **発信履歴または着信履歴から登録する。** →437

また、登録したデータは、車載機で編集することができます。

・ 電話帳は最大 5 つ使用でき、5つの電話帳すべて合わせて 1000 名分のデータを登録することができます。
・ この電話帳は、1 名につき最大 3 件の電話番号が登録できます。

知 識

・ 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

電話帳を編集する

設定（画面外）→ **電話** →
設定・編集画面

1 **電話帳編集** にタッチ。

2 電話帳の編集をする。

- 電話帳編集画面から、次の項目を編集できます。

機能	ページ
電話帳データの転送	435
電話帳データの新規追加	437
電話帳データの修正	438
電話帳データの削除	439
ワンタッチダイヤルの登録	439
ワンタッチダイヤルの削除	440

3 編集が終わったら、 **完了** にタッチ。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、車載機に転送することができます。

- 転送するときは、エンジンをかけた状態で行ってください。
- **この機能は、OPP に対応していない携帯電話では使用できません。**また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。

設定（画面外）→ **電話** →
電話帳編集 → 電話帳編集画面

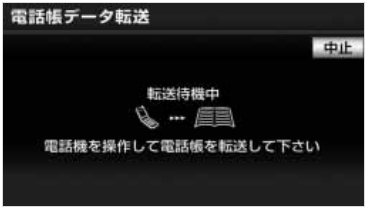
1 **電話帳転送** にタッチ。

2 転送先の電話帳を選択しタッチ。

3 選択した電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選ぶ。

追加 …… 現在のデータに追加する
上書き … 現在のデータに上書きする

4 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。



- 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
  - ・中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

5 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどる。

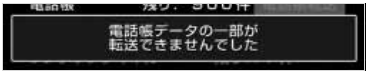
■データ通信中の場合

データ通信中に電話帳転送をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡ はい にタッチ。
- 通信を継続するとき
  ➡ いいえ にタッチ。
  - ・ いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後にやり直します。

転送失敗画面が表示されたとき

転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



知 識

- 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - ・携帯電話の電話帳で１つの名称に４件以上の電話番号が登録されている場合、車載機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - ・電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - ・通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）
  - ・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - ・車載機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
  - ・電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

- 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - 転送には 10 分程度かかる場合があります。
  - 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
- 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
  - 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
  - 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
  - 電話帳データ転送中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
- 次の場合、転送済みの電話帳データは車載機の電話帳に保存されます。
  - 車載機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
  - 何らかの原因で転送が中断されたとき
- 車載機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- 電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

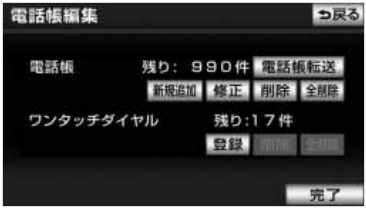
電話帳に新規データを追加する

車載機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。
電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大 3 件）、電話番号アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）、登録先電話帳

設定（画面外）→ **電話** → **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 **新規追加** にタッチ。

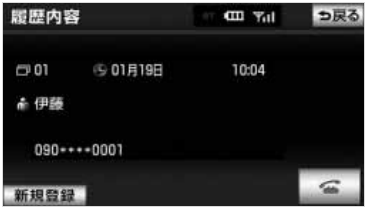


2 各項目を編集する。（→ 438 ～ 438）

3 編集が終わったら、 **完了** にタッチ。

履歴内容画面（→ 424）からも、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

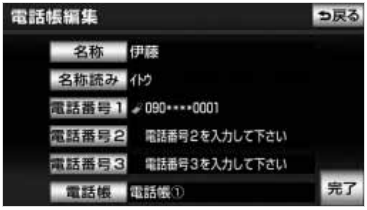
1 **新規登録** にタッチ。



名称、名称読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

1 編集する項目（名称 、名称読み ）にタッチ。



2 ソフトウェアキーボードで入力する。

電話番号を編集する

電話番号は、電話番号 1 ～ 3 にそれぞれ 1 件ずつ登録でき、1 名につき最大 3 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 電話番号 1 、電話番号 2 または電話番号 3 にタッチ。

2 電話番号を入力し、完了 にタッチ。

3 登録したいアイコンにタッチ。

電話帳の選択をする

登録する電話帳を、電話帳①～電話帳⑤の中から選択できます。

1 電話帳 にタッチ。

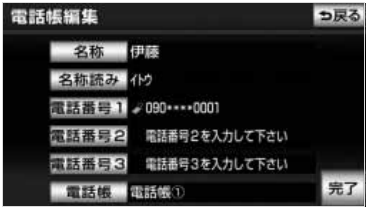
2 登録したい電話帳にタッチ。

電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

設定（画面外）→ 電話 →
電話帳編集 → 電話帳編集画面

1 修正 にタッチ。



2 修正したいデータにタッチ。

- 必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ 423）

3 各項目のスイッチにタッチして編集する。（→ 438 ～ 438）

4 完了 にタッチ。

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

知 識

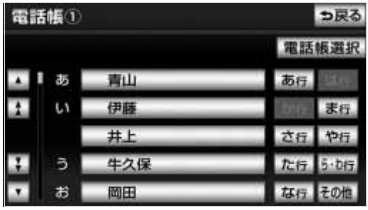
・お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（→ 47）

電話帳のデータを個別に削除する

設定（画面外）→ **電話** → **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 電話帳の **削除** にタッチ。

2 削除したいデータを選択しタッチ。



・必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ 423）

3 **はい** にタッチ。

電話帳のデータをすべて削除する

設定（画面外）→ **電話** → **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 電話帳の **全削除** にタッチ。

2 削除したい電話帳にタッチ。

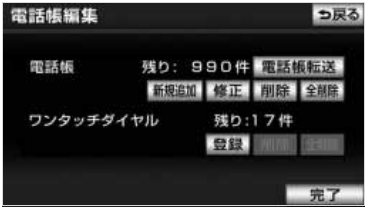
3 **はい** にタッチ。

ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大 17 件までワンタッチダイヤルに登録することができます。
1 ページ目の 6 件目には、自動的に最新の発信履歴（リダイヤル）が登録されます。
ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくと便利です。

設定（画面外）→ **電話** → **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 **登録** にタッチ。



2 登録したいデータにタッチ。

● 必要に応じて、電話帳を切り替えます。（→ 423）

3 登録したい電話番号にタッチ。

4 登録したいスイッチにタッチ。

● ページを切り替えるとき
➡ **ワンタッチ 1** ・ **ワンタッチ 2** ・ **ワンタッチ 3** のいずれかにタッチ。

5 登録済みのスイッチを選択したとき
➡ 置き換えてもよいときは **はい** にタッチ。

ワンタッチダイヤルを削除する

ワンタッチダイヤルの 01 ～ 17 は、個別に選択して削除できます。
全削除すると、17 件すべてが削除できます。

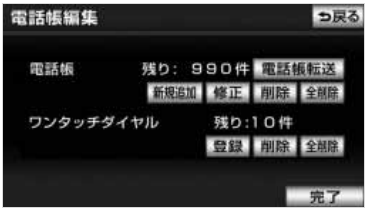
知 識

- ワンタッチダイヤル 01 ～ 17 は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されます。

ワンタッチダイヤルを個別に削除する

設定（画面外）→ 電話 →
電話帳編集 → 電話帳編集画面

1 ワンタッチダイヤルの 削除 にタッチ。



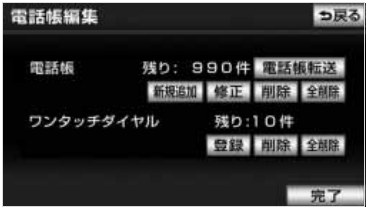
2 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

3 はい にタッチ。

ワンタッチダイヤルをすべて削除する

設定（画面外）→ 電話 →
電話帳編集 → 電話帳編集画面

1 ワンタッチダイヤルの 全削除 にタッチ。



2 はい にタッチ。

Bluetooth の設定をする

Bluetooth の設定について

ここでは、携帯電話と Bluetooth に関する次の設定の説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	441
車載機の Bluetooth 設定の変更	442

携帯電話を登録する

「携帯電話を登録する」（→ 414）をご覧ください。

Bluetooth 電話機の登録を削除する

設定（画面外）→ 電話 →
設定・編集画面

1 Bluetooth 設定 にタッチ。

2 Bluetooth 電話設定の 削除 にタッチ。

3 削除する携帯電話を選択し、完了 にタッチ。

・電話機の詳細情報を確認するとき
➡確認したい電話機にタッチして、詳細情報表示 にタッチ。（→ 434）

4 はい にタッチ。

■データ通信中の場合

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  ➡ はい にタッチ。
- 通信を継続するとき
  ➡ いいえ にタッチ。
  ・ いいえ にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **3** からやり直します。

知 識

・緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、携帯電話の登録を削除することはできません。

車載機の Bluetooth 設定を変更する

Bluetooth 設定は、車載機に関する Bluetooth設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

- Bluetooth 設定画面で、次の情報を確認できます。

機器名称
Bluetooth ネットワーク内での車載機の名称です。任意の名称に変更することができます。
パスキー
携帯電話を車載機に登録する際のパスワードです。4 ～ 8 桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス
車載機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。 機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での車載機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

機器名称またはパスキーを変更したいときは、次の手順で行ってください。

設定（画面外）→ 電話 →
Bluetooth 設定 → Bluetooth 設定画面

1 機器名称またはパスキーの 変更 にタッチ。

2 各項目を変更する。

■機器名称

ソフトウェアキーボードで入力する。

■パスキー

4 ～ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、完了 にタッチ。

・ 修正するとき ➡ 修正 にタッチ。

3 設定が終わったら、完了 にタッチ。

知 識

・ 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称（→ 309）も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

設定（画面外）→ 電話 →
Bluetooth 設定 → Bluetooth 設定画面

1 初期状態 にタッチ。

ハンズフリーの詳細設定をする

電話詳細設定画面を表示する

設定（画面外）→ **電話** →
設定・編集画面

1 電話詳細設定 にタッチ。

2 各設定をする。

- 電話詳細設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
セキュリティ	443
自動着信応答	445
ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示	446
着信割り込み表示	446
自動電話機接続	446
電話詳細設定の初期化	446

3 セキュリティ以外の項目の設定を変更したときは、完了 にタッチ。

セキュリティの設定をする

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくすることができます。ホテルで車を預けるときなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。

・セキュリティを使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

設定（画面外）→ **電話** →
電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 セキュリティの 設定する にタッチ。

2 各設定をする。

- セキュリティ設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
ロック No. の変更	444
電話帳・発着信履歴制限	444
セキュリティ設定の初期化	445

ロック No. を変更する

セキュリティの設定および解除をするには、ロック No. の入力が必要です。ロック No. は 4 桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。
セキュリティを使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

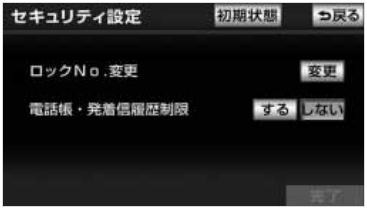
・ ロック No. を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

⚠ 注 意

・ ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロック No. を忘れると、お買い上げの販売店でもセキュリティ設定を解除することができません。
万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、セキュリティ設定の初期化を行ってください。（→ 445）ただし、セキュリティ設定の初期化を行うと、電話帳データも削除されます。

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 設定する →
セキュリティ設定画面

1 ロック No. 変更の 変更 にタッチ。



2 現在のロック No. を入力し、完了 にタッチ。

・ 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。

3 新しいロック No. を入力し、完了 にタッチ。

4 はい にタッチ。

5 完了 にタッチ。

電話帳・発着信履歴制限をする

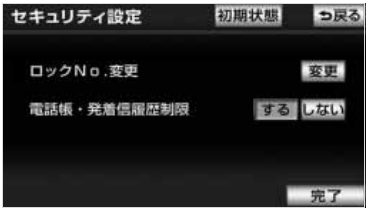
電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくすることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- 電話機詳細情報画面の表示
- ロック No. の変更

- この機能を設定すると、走行中でもワンタッチ発信ができなくなります。

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 設定する →
セキュリティ設定画面

1 電話帳・発着信履歴制限の する にタッチし、完了 にタッチ。



2 設定を変更したとき
➡ ロック No. を入力し、 完了 にタッチ。

■設定を解除する

電話帳・発着信履歴制限の しない にタッチし、設定するときと同じ操作をする。

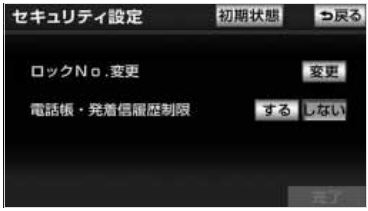
セキュリティ設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

※ 初期状態にもどすと、すべての電話帳データも削除されます。

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 設定する →
セキュリティ設定画面

1 初期状態 にタッチ。



2 はい にタッチ。

3 完了 にタッチ。

自動着信応答

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 自動着信応答の する にタッチ。

2 − または ＋ にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定する。

・ 解除するとき ➡ しない にタッチ。

ACC ON 時の Bluetooth 接続確認表示

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示するかしないかを選択できます。

Bluetooth 接続確認表示

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 ACC ON時のBluetooth接続確認表示の する にタッチ。

・ 解除するとき ➡ しない にタッチ。

着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

簡易表示

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 着信割り込み表示の 全画面 または 簡易 にタッチ。

- 全画面：着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチで操作ができます。
- 簡易　：着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチで操作することができます。

自動電話機接続

エンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にするたびに、選択した携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 自動電話機接続の する にタッチ。

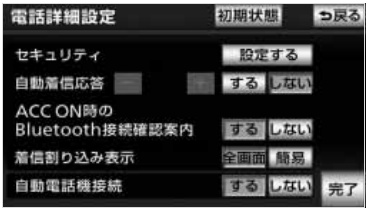
- 通常はこの状態で使用してください。
- 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
  ・ 解除するとき ➡ しない にタッチ。

電話詳細設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

設定（画面外）→ 電話 →
電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 初期状態 にタッチ。



G-BOOK オンラインサービス

はじめに 450

■ ご利用にあたって 450
安全に利用するため
注意いただきたいこと.....450
通信機器について 450

G-BOOK とは 455

■ G-BOOK オンライン
サービスとは 455
G-BOOK オンライン
サービスとは 455
G-BOOK の通信方法.....455
主なサービス 456

G-BOOK を使うための準備 458

■ 利用手続きをする 458
利用手続きをする 458
利用開始操作をする.....460

■ 各種手続きについて 463
継続方法を変更する.....463
有料コンテンツのご利用について ...464
解約手続きについて.....465
解約手続きをする 466
お車を手放す際は 466
非アクセス登録をする.....466

G-BOOK トップ画面 467

■ G-BOOK トップ画面 467
G-BOOK 画面 467

G-BOOK.com で情報をさがす（メインメニュー） 468

■ G-BOOK.com で情報をさがす
（メインメニュー） 468
メインメニュー画面の使い方 468

よく使う情報を登録する（My リクエスト） 470

■ よく使う情報を登録する
（My リクエスト） 470
My リクエストについて.....470
My リクエスト画面で操作する 470
My リクエストを使う 473
My リクエストの編集をする 475

お気に入りのスポットを登録する（G メモリ地点） 476

■ G メモリ地点 476
G メモリ地点について 476
G メモリ地点を登録する 476
G メモリ地点を表示する 476

G-BOOK で目的地を探す 478

■ G で設定 478
G で設定について 478
G で設定画面を表示する 478

■ WEB 検索 481
WEB 検索で目的地を設定する 481

地図画面から使う 482

■ 地図画面から使う 482
地図画面から使う.....482

画面操作の説明 483

■ ブラウザ 483
ブラウザ画面で操作する.....483

■ G 情報マーク 488
G 情報マークを表示する.....488
施設の情報を表示する.....488
G 情報マークを非表示にする.....488

パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する 489

■ パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する 489
パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する.....489

サービスの使い方 491

■ ヘルプネット 491
ヘルプネットについて.....491
各部の名称とはたらき.....493
安全のために.....494
サービス開始操作をする.....497
緊急通報をする.....499
保守点検について.....502
自動保守点検.....502
手動保守点検.....503
利用登録の更新.....506
携帯電話について.....507
緊急通報できない場合について.....508
故障とお考えになる前に.....510

■ オペレーターサービス 511
オペレーターサービスについて.....511
オペレーターサービスを購入する...512
オペレーターサービスを使う.....512
手動で情報を取得する.....513

■ ドライブプラン 514
ドライブプランを利用する.....514

■ G-Security（G セキュリティ） 515
G-Security について.....515
初期設定の確認・変更.....516
アラーム通知.....518
エンジン始動通知.....519
車両の位置追跡.....519
警備員の派遣.....519

■ G ルート探索（プローブ情報付） 520
G ルート探索をする（プローブ情報付）.....520
プローブコミュニケーション交通情報とは.....520
G ルート探索の利用方法.....521
G ルート探索を自動で取得する.....521
目的地設定時に手動で取得する.....522

■ 渋滞予測 523
渋滞予測情報を表示する.....523

■ 周辺情報 527
周辺情報について.....527
周辺情報を設定する.....527
周辺情報を取得する.....527

■ ETC 割引情報 528
ETC 割引情報を表示する 528

■ G- 駐車場 529
G- 駐車場について 529

■ CD タイトル情報取得 531
タイトル情報を取得する.....531

各種登録・設定 532

■ G-BOOK 詳細設定 532
通信設定をする 532
サポートアドレスについて.....534
携帯電話を追加する.....534
通信ロックを使う 535
暗証番号を変更する.....536

■ プライバシー設定 538
設定・編集画面を表示する.....538
プライバシー設定をする.....538

■ 契約内容・契約者情報の確認・変更 539
契約内容・契約者情報の確認・変更.....539

こんなメッセージが表示されたときは 540

■ こんなメッセージが表示されたときは 540
こんなメッセージが表示されたときは 540

本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書で使用している画面は、携帯電話使用時の画面を使用して説明しています。
通信モジュール（DCM）使用時については、特に注記のない限り、携帯電話使用時と同様の操作になります。また、表示内容はサンプル表示となっております。
なお、全体に関わる注意点として、携帯電話使用時の画面に表示される 切断 については、通信モジュール（DCM）使用時は表示されません。

※本書で使用しているコンテンツの画面は、実際の画面と異なることがあります。

ご利用にあたって

安全に利用するため注意いただきたいこと

G-BOOK オンラインサービスをご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

⚠ 警 告

安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。
走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

走行中の操作、表示規制について

走行中に G-BOOK オンラインサービスをご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによってはブラウザのコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

通信機器について

G-BOOKオンラインサービスは、Bluetooth携帯電話※または通信モジュール(DCM)を利用して、データ通信を行います。
接続する通信機器により、データ通信やハンズフリー通話に利用する機器は、次のように選択されます。

サービス	G-BOOK オンラインサービス データ通信、 ヘルプネットとオペレーターサービスの 音声通話	ハンズフリー通話
G-BOOK mX	Bluetooth 携帯電話※	Bluetooth 携帯電話※
G-BOOK mX Pro	通信モジュール（DCM）	Bluetooth 携帯電話※

※ 本機で動作確認済みの Bluetooth 携帯電話については、G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

Bluetooth 携帯電話を使用するときの留意事項

Bluetooth 携帯電話を使用してデータ通信するときは、次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- Bluetooth 携帯電話でデータ通信を行うときは、あらかじめ車載機に携帯電話を登録しておかないと使用できません。Bluetooth 携帯電話を使用するときは、まず最初に、ご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→ 414)
- Bluetooth 携帯電話の機種によっては、受信レベル表示を行うことができないことがあります。
- Bluetooth 携帯電話でデータ通信を利用される場合、携帯電話の割込着信の設定または契約を「割込着信する」で利用していると、携帯電話の機種によっては、データ通信を行っている最中とデータ通信終了後の約 1 分間は、電話を受けることや応答保留などができないにもかかわらず、発信元では呼び出し中の状態が続くことになります。
  割込着信の設定変更または契約変更については、ご利用の携帯電話に添付の取扱説明書などでご確認ください。
- Bluetooth 携帯電話でデータ通信する場合は、操作しない状態が一定時間継続すると、G-BOOK センターとのデータ通信を自動で切断します。自動で切断するまでの時間は、携帯電話の機種によって異なります。
- Bluetooth 携帯電話の機種や状態によっては、エンジン始動後にデータ通信を行うことができる状態になるまでに時間がかかることがあります。
  この場合は、しばらく待ってから再度操作を行ってください。
- Bluetooth 携帯電話の機種によっては、携帯電話が待ち受け状態でないとデータ通信ができないことがあります。
- 通信にはお手持ちの携帯電話の電波を使用します。通信可能なエリアについては、携帯電話各社のサービスエリア図などを参照ください。
- お手持ちの携帯電話に添付の取扱説明書の注意事項もよくお読みください。
- 通信料金はお客様のご負担になります。
- データ取得までの時間は、車載機の状態やデータの内容、電波状態、接続している携帯電話の機種によって異なります。
- G-BOOK オンラインサービスを利用中に携帯電話と車載機の接続を切断すると、機種によってはデータ通信や音声通話を継続したままになることがあります。
  G-BOOK オンラインサービス利用後に携帯電話と車載機の接続を切断したら、携帯電話の状態を必ず確認してください。
- G-BOOK オンラインサービスを利用中に、エンジンをかけなおすなどのエンジンスイッチの操作を行うと、接続している携帯電話の機種によっては、ハンズフリーの着信中画面になることがあります。
  この場合は、電話機を操作するなどして、通話を終了する操作を行ってください。(→ 419)

通信モジュール（DCM）を利用するときの留意事項

通信モジュール（DCM）使用時

- 通信方式は、株式会社NTTドコモのW-CDMA方式の携帯電話と同一です。
  FOMA　サービスエリアでは、最大7.2Mbps データ通信サービスがご利用いただけます。同社サービスエリア図をご参照ください。
  なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- G-BOOK　オンラインサービスはデータ取得に通信を利用するため、次のような通信環境が整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。
  - ・トンネルの中にいるとき
  - ・地下駐車場にいるとき
  - ・山奥などの通信圏外にいるとき
  - ・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。
通信アンテナの位置は、販売店でご確認ください。

- この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、G-BOOK オンラインサービスが使用できなくなります。
  （その場合には事前にご連絡します。）

知 識

・データ通信に関する通信料金はG-BOOK利用料金に含まれています。
・データ取得までの時間は、車載機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

⚠ 警 告

植え込み型心臓ペースメーカーや植え込み型除細動器をお使いの方は、通信アンテナから22cm以内にこれらの医療用電気機器が近づくような姿勢をとらないようにしてください。上記以外の医療用電気機器をお使いの方は、G-BOOK オンラインサービスをお使いになる前に、医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。
データ通信に伴う電波により、医療用電気機器の作動に影響を与えるおそれがあります。

知 識

・本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
・本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

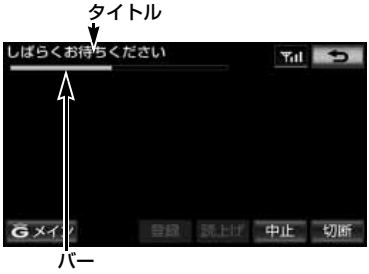
本製品には、電気通信事業法第 56 条第 2 項の規定に基づく端末機器の設計について認定をうけた以下の設備が組込まれております。
・機器名称：FOMA TM02-KY、
　認証番号：AD11-0014001

本製品には、電波法第 38 条の 24 第 1 項の規定に基づく認証を受けた以下の設備が組込まれております。
・機器名称：FOMA TM02-KY、
　認証番号：005XYAA0301
　　005MWAA0236

通信機器共通留意事項

ここでは、各通信機器に共通の留意事項がまとめてあります。

- 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は「**接続中**」、コンテンツ読み込み中は「**しばらくお待ちください**」が表示されます。
  また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。
  （走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、“ピッ”という音でもお知らせします。）



- 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、現在地画面などに通信中マークが表示されます。

知 識

・GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、またはバッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（→ 162）に車を移動し、**現在地**（画面外）を押して地図画面上に GPS マークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。

受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

・ 携帯電話接続時の表示は、携帯電話本体の受信レベル表示と一致しないことがあります。

携帯電話使用時

表示	圏外				
レベル	圏外	弱 ←→			強

・ 使用する携帯電話が Bluetooth 接続されていないときは、「未接続」が表示されます。

通信モジュール（DCM）使用時

表示	圏外 DCM	DCM	DCM	DCM	DCM
レベル	圏外	弱 ←→			強

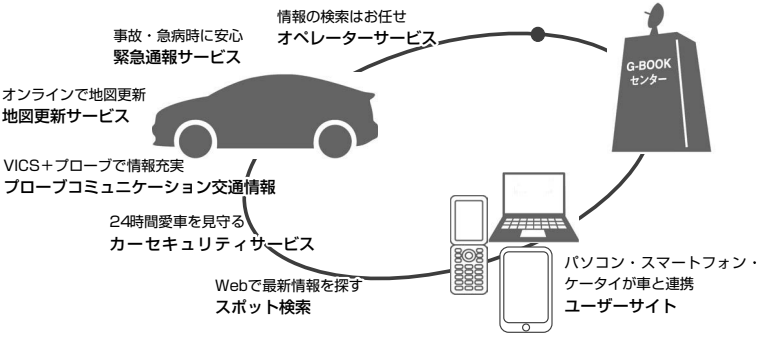
知 識

・ 受信レベル表示が「圏外」と表示されている場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。

G-BOOK オンラインサービスとは

G-BOOK オンラインサービスとは

本機に通信機器を接続することで、「安心・快適・便利」な車向け情報サービスをご利用いただけます。



G-BOOK の通信方法

G-BOOK の通信方法には２種類あります。

Bluetooth 対応携帯電話を使う

G-BOOK mX

G-BOOK に対応した Bluetooth 携帯電話が必要です。

・「動作確認済み携帯電話」を G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）、携帯サイト（http://mo.g-book.com/）でご確認ください。

・ 通信費はお客様負担です。

サービスにより Web 登録が必要です。（詳細→ 458）

通信モジュール（DCM）を使う

G-BOOK mX Pro

車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。

・ ご利用には G-BOOK 利用申し込みが必要です。
通信費は G-BOOK mX Pro 利用料金に含まれます。
利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

主なサービス

△：有料オプション

主なサービス	G-BOOK mX ※1 通信機： Bluetooth 対応携帯電話	G-BOOK mX Pro 通信機： 通信モジュール（DCM）
緊急通報サービス **ヘルプネット**	○ Web 登録 ※2	○
ナビ操作をサポート **オペレーターサービス**	△ Web 登録	○
地図更新サービス **マップオンデマンド**	○	○
パソコンや携帯電話と連携 **ドライブプラン**	○ Web 登録 ※3	○
カーセキュリティサービス **G-Security**	×	○
最適ルートの探索 **G ルート探索（プローブ情報付）**	○	○
ルート上の渋滞を予測 **渋滞予測**	○	○
ルート上や目的地周辺の情報サービス **周辺情報**	○	○
選択ルートの割引率表示 **ETC 割引**	○	○
満空情報付の駐車場情報 **G- 駐車場**	○	○
ドライブに役立つ情報コンテンツ **G-BOOK.com**	一部サービス ○ Web 登録	○
最新の楽曲情報をダウンロード **CD タイトル情報取得**	○	○

※1 通信にかかる費用はお客様のご負担となります。
※2 ヘルプネットサービス開始操作後ご利用いただけます。なお、ご利用には2年ごとに登録情報の更新が必要です。
※3 GAZOO 会員登録でも利用可能です。

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
	通信機： Bluetooth 対応携帯電話	**通信機： 通信モジュール（DCM）**
利用料金	基本料無料 オペレーターサービス有料※2	初年度無料※1 2 年目以降有料※2
必要な手続き	Web 登録 マーク利用の場合 Web 登録 * ドライブプランは GAZOO 会員登録でも利用可能	G-BOOK 利用申込書ご提出 または Web 登録

※1 初年度無料期間中は、G-BOOK 利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用には G-BOOK 利用申し込みが必要です。
初年度無料期間：初度登録日より初回の 12ヶ月点検月の末日までとなります。
初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

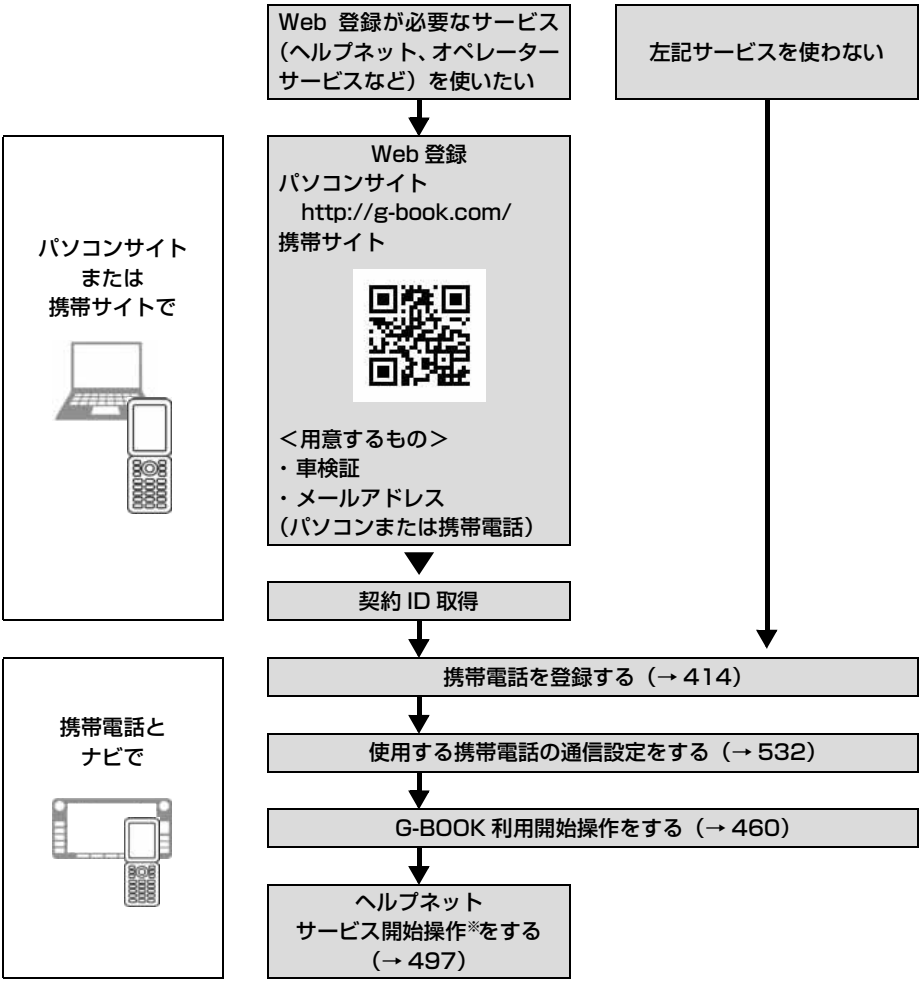
※2 利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

- 掲載の情報は、2011 年 5 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

最新のサービスは G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

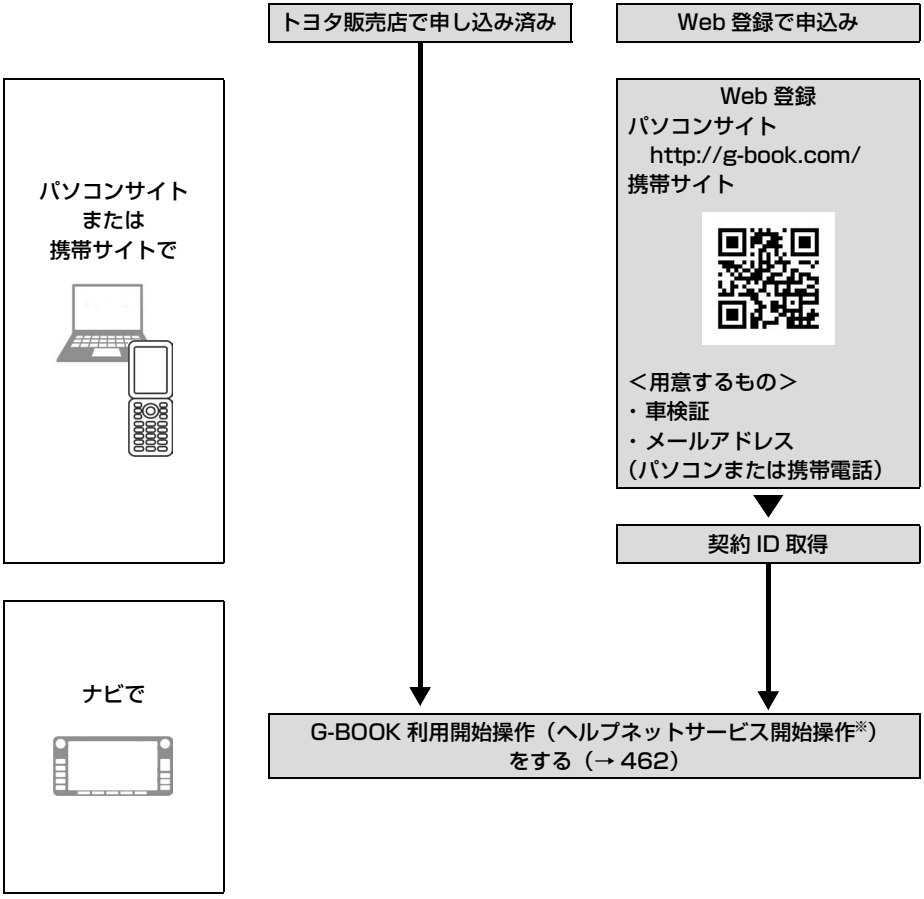
利用手続きをする

G-BOOK mX の場合



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

G-BOOK mX Pro の場合



- 初年度無料期間中は、G-BOOK 利用申し込み前でも一部のサービスはご利用いただけますが、すべてのサービスのご利用には G-BOOK 利用申し込みが必要です。
  初年度無料期間：初度登録日より初回の 12ヶ月点検月の末日までとなります。
  初年度無料期間内に一旦解約した場合、次回契約時には有料となります。
  利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）で　ご確認ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用開始操作をする

利用開始操作は、ご利用のサービスにより操作手順が異なります。
該当のページをご覧の上、手続きを行ってください。

- 利用開始操作は、可能な限り見晴しの良い場所で行ってください。

G-BOOK mX
Web 登録をしない場合 → 460

G-BOOK mX
Web 登録をした場合 → 461

G-BOOK mX Pro の場合 → 462

G-BOOK mX
Web 登録をしない場合

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 G-BOOK.com にタッチ。

3 利用開始する にタッチ。

4 サービス内容、利用規約などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

5 利用開始操作完了画面が表示されたら完了です。

知識

・メインメニュー画面に 6 個のアイコンが表示されていれば、利用開始操作は正常に完了しています。

G-BOOK mX Web 登録をした場合

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 G-BOOK.com にタッチ。

3 利用開始する（Web 登録済の方） にタッチ。

4 契約 ID 照会画面が表示される。IDとパスワードを入力し、決定 にタッチ。

・ID およびパスワードの入力は、それぞれの入力枠にタッチして、ソフトウェアキーボードで入力します。

5 登録内容を確認し、画面の指示にしたがって操作する。

6 G-BOOK　利用手続き完了画面が表示されたら はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→497）を行う。

● ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

7 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されたら完了です。

● サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

知 識

・情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※は正常に完了しています。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

G-BOOK mX Pro の場合

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 G-BOOK.com にタッチ。

3 申し込み方法により、次の画面が表示される。

- 申込書で申し込みの方
  ➡本人確認の画面が表示される。
  画面の指示にしたがって、確認・操作する。
- Web 登録で申し込みの方
  ➡契約 ID 照会画面が表示される場合、ID とパスワードを入力し、決定 にタッチ。

4 サービス内容などを確認し、画面の指示にしたがって操作する。

- G 暗証番号の設定をしていない方
  ➡G 暗証番号の設定が表示される。
  画面の指示にしたがって、確認・操作する。

知 識

・「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

5 G-BOOK 利用手続き完了画面が表示されたら はい にタッチし、ヘルプネットのサービス開始操作※（→497）を行う。

- ヘルプネットセンターの音声案内にしたがって、現在地とマイク音声を確認します。

6 G-BOOK利用手続き完了画面が表示されたら完了です。

- サービス開始操作※が正常に完了しないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

知 識

・情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示されていれば、ヘルプネットのサービス開始操作※は正常に完了しています。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各種手続きについて

継続方法を変更する

G-BOOK mX Pro 利用時

G-BOOK mX Pro は、年単位で契約更新となります。
契約の更新日が近づくと、トヨタメディアサービス（株）より案内を送付します。

次の手順で、車載機から契約の継続／停止の手続きができます。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → ユーザー →ユーザー画面

1 会員情報／利用契約変更・解約 にタッチ。

2 利用契約の確認・変更 にタッチ。

3 利用契約内容の変更 にタッチ。

4 G 暗証番号入力画面が表示される。
G 暗証番号を入力し、決定 にタッチ。

知 識

・「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入やG-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

5 利用契約の変更画面が表示される。

・自動継続に変更したい場合
➡G-BOOK 利用継続処理 にタッチ。

・自動継続を停止したい場合
➡自動継続停止 にタッチ。

知 識

・自動継続に設定すると、次年度の契約を自動で更新できます。
契約の更新をし忘れて、ヘルプネットなどが解除されてしまうのを防ぐことができます。

6 G-BOOK 利用契約の確認画面が表示される。
内容を確認し、決定 にタッチ。

知 識

・利用契約の継続／停止はG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）からも手続きができます。

有料コンテンツのご利用について

G-BOOK mX の場合、有料コンテンツの利用には Web 登録が必要です。

有料コンテンツの購入・解約

G-BOOK 有料コンテンツの購入･解約には、次の手続きが必要になります。また、利用料金はコンテンツ毎に異なります。

■有料コンテンツ購入手続き

有料コンテンツを購入する際は、画面の指示にしたがって、「規約への同意」「購入方法と支払い方法の確認」「G 暗証番号の入力」を実行し、ご利用ください。

■有料コンテンツ解約手続き

G･情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → ユーザー →ユーザー画面

1 コンテンツ購入履歴／解約 にタッチ。

2 コンテンツ契約内容の確認 にタッチ。

3 G 暗証番号を入力し、解約する。

知 識

・「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、G-BOOK オンラインサービスを解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

<車載機で解約する場合>
解約手続きをする（→ 466）

↓

<お車を手放す場合>
個人情報の初期化をする（→ 47）

解約しないで車を手放したときなど

↓

G-BOOK サポートセンターに連絡して解約する
G-BOOK サポートセンター
全国共通・フリーダイヤル
0120― 104― 370
受付時間　9:00 ～ 18:00
（年中無休）

⚠ 注 意

車載機に保存した情報は、車載機で個人情報の初期化を行わないと消去されません。
お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、車載機で解約手続きおよび初期化を必ず行ってください。

知 識

・ G-BOOK 契約 ID は、解約手続き後、GAZOO 会員 ID として利用できます。

解約手続きをする

G-BOOK オンラインサービスを解約するときは、次の手順で実施してください。

1 設定 （画面外）を押す。

2 G-BOOK にタッチ。

3 G-BOOK 詳細設定 にタッチ。

4 契約解除の 解除する にタッチ。

5 画面の指示にしたがって操作する。

知 識

- ユーザー画面からでも解約手続きができます。
- G-BOOK オンラインサービスの利用開始ができないように設定したい場合は、「非アクセス登録」をしてください。（→ 466）

お車を手放す際は

解約手続きをしただけでは、車載機に保存したお客様の情報は消去されません。お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放す際は必ず、解約手続きおよび個人情報の初期化（→ 47）を実施してください。

非アクセス登録をする

G-BOOK オンラインサービスが不要というお客様は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。
オペレーターに「非アクセス登録」を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。
申請書を提出していただくと、利用開始操作をできないように設定します。

※G-BOOK オンラインサービスを利用中のお客様は、申請書を提出する前に解約手続きを行ってください。

- 再びG-BOOKオンラインサービスの利用をご希望の際は、G-BOOK サポートセンターに電話をしてください。「非アクセス登録」の解除を申し出ていただければ、「車載機端末アクセス制限申請書」を送付します。

G-BOOK サポートセンター
全国共通・フリーコール
0800ー 123ー 0016
受付時間　9:00 ～ 18:00
年中無休

G-BOOK トップ画面

G-BOOK 画面

G-BOOK 画面から、G-BOOK オンラインサービスの各アプリケーションを起動することができます。

1 G・情報（画面外）を押す。

・ 情報画面や BT ナビ画面が表示されたとき ➡ G-BOOK にタッチ。

この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ	機　能
1 メインメニュースイッチ	メインメニュー画面 (→ 468) を表示する。
2 My リクエストスイッチ	My リクエスト画面 (→ 470) を表示する。
3 ドライブプランスイッチ	ドライブプランをダウンロードする。(→ 514)
4 HELPNET スイッチ※	ヘルプネットの緊急通報 (→ 499) を行う。 ・ ヘルプネットサービス開始操作後に表示されます。(→ 497)
5 オペレータースイッチ	オペレーターサービスを利用する。(→ 511)
6 情報確認スイッチ	オペレーターサービスで取得した情報を確認する。(→ 513)
7 地図更新スイッチ	地図更新画面 (→ 169) を表示する。

※情報画面や BT ナビ画面でも表示されます。

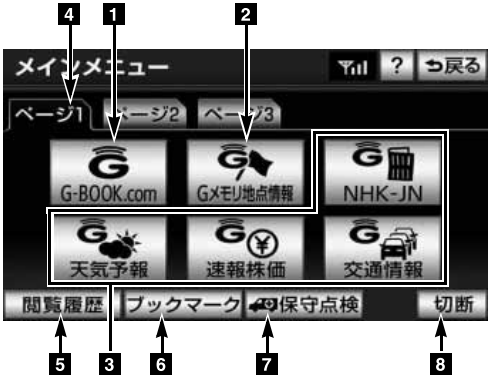
G-BOOK.com で情報をさがす（メインメニュー）

メインメニュー画面の使い方

メインメニューは、G-BOOK オンラインサービスのアプリケーションを起動するメニューです。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。



スイッチ	機　能
1 G-BOOK.com スイッチ	G-BOOK センターに接続し、ブラウザ画面（→ 483）を表示する。 ・ G-BOOK.com コンテンツが閲覧できます。
2 G メモリ地点情報スイッチ	G メモリ地点情報のリスト画面を表示する。（→ 476） 知 識 ・ G メモリ地点は、同じ内容がナビのメモリ地点にも保存されます。修正や消去をしたいときは、ナビのメモリ地点画面で行ってください。（→ 131、136）
3 G-BOOKセンターから配信されるスイッチ	タッチすると該当のコンテンツを起動する。 ・ ご利用のサービス（G-BOOK　mX　Web 登録なし／ G-BOOK mX Web 登録あり／ G-BOOK mX Pro）により、表示されるスイッチは異なります。
4 ページ切り替えタブ	ページを切り替える。

スイッチ	機　能
5 閲覧履歴スイッチ	閲覧履歴画面を表示する。
6 ブックマークスイッチ	ブックマーク画面を表示する。
7 保守点検スイッチ	ヘルプネットの手動保守点検を実施する。（→ 503）
8 切断スイッチ 携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 ・ 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知 識 ・ G-BOOK　オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

よく使う情報を登録する（My リクエスト）

My リクエストについて

My リクエストでは、ニュースや天気予報などを簡単な操作でリクエストして、取得した情報を読み上げることができます。
- G-BOOK mXをWeb登録してご利用の方、およびG-BOOK mX Proをご利用の方は、登録するメニューを変更したり、並べ替えることができます。
- G-BOOK mX を Web 登録なしでご利用の方は、メニューが固定されます。

My リクエスト画面で操作する

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 My リクエスト にタッチ。

スイッチ	機　能
1 音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 ［－］……小さくする ［＋］……大きくする
2 前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 ［⏮］……読み上げ中の項目の先頭からはじめる ［⏭］……次の項目の先頭からはじめる ・ 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ［⏮］にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
3 停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。

スイッチ	機　能
4 ポーズ／再開スイッチ	⏸ ……コンテンツの読み上げを一時停止する （読み上げ中に表示） ▶ ……読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
5 切断スイッチ 携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 ・ 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知 識 ・ G-BOOK　オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。
6 中止スイッチ 通信モジュール（DCM）使用	G-BOOK センターとのデータ通信を中止する。

車載機のスイッチで操作する

スイッチ		機　能
1	PWR スイッチ	コンテンツの読み上げを停止する。
2	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 ・ 大きくするとき ➡ ＋ を押す。 ・ 小さくするとき ➡ － を押す。
3	⏮ ⏭ スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 ・ 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏮ を押す。 ・ 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏭ を押す。 ・ 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏮ を押してから約 1 秒以内に再度押す。

My リクエストを使う

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ My リクエスト → My リクエスト画面

1 リクエストしたいコンテンツにタッチ。

知 識

・走行中はリストを動かすことができません。

2 ナビ画面に切り替わる。

● データ取得後、コンテンツの読み上げ、または地図上へのアイコン表示などが行われます。

知 識

・ネットワーク接続中は、通信中マークが表示されます。

読み上げ中に操作する

読み上げ中に音量調整などの操作をしたいときは、My リクエスト画面を表示させて行います。（→ 470）

知 識

・コンテンツの読み上げ中に別の読み上げコンテンツを受信したときは、読み上げ中のコンテンツを中止し、次の読み上げコンテンツに切り替わります。
・リクエストによっては、画面上にメッセージが表示されることがあります。
状況によって、次のようになります。
  ・運転補助画面（交差点案内などの運転を補助する画面）が表示されているときは、運転補助画面が優先されるため、運転補助画面の終了後にメッセージが表示されます。
  ・ハンズフリーなど優先度の高い機能の割り込みがあると、メッセージは破棄されます。
・コンテンツの読み上げ中にナビの音声案内が出力されたときは、読み上げを一時停止します。
なお、音声案内が終了すると読み上げが再開されます。
・コンテンツの読み上げ中にハンズフリーの着信があったときは、読み上げを終了します。
・リクエストによるコンテンツの読み上げは、ブラウザの自動読上げの設定（→ 486）に関係なく行われます。

情報を見る

リクエストによって、地図上にアイコンが表示されたときは、その施設の情報を見ることができます。

1 アイコンにタッチ。

知 識

・アイコンが表示されるコンテンツにもかかわらず、アイコンが画面に表示されていないときは、地図縮尺の切り替えや地図の移動をすると、アイコンが確認できます。

2 情報 にタッチ。

● ブラウザ画面または施設情報画面に切り替わり、情報が表示されます。

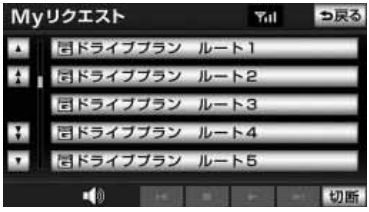
知 識

・リクエストで地図上に表示されたアイコンの表示／非表示を設定することができます。（→ 488）

ドライブプランを利用する

My リクエストからもドライブプランを利用できます。

1 設定したいドライブプランにタッチ。



・情報取得後の操作について
➡ 「ドライブプランを利用する」（→ 479）

My リクエストの編集をする

My リクエストに登録するコンテンツの変更や並べ替えをすることができます。
・ G-BOOK mX を Web 登録してご利用の方、および G-BOOK mX Pro をご利用の方のみ操作できます。

設定（画面外）→ G-BOOK →
設定・編集画面

1 My リクエスト編集 にタッチ。

2 登録替 にタッチ。

3 画面の指示にしたがって、リクエストしたいコンテンツを登録する。

G メモリ地点

G メモリ地点について

G-BOOK.com で検索したスポットを「G メモリ地点」として車載機に登録できます。また、G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイト、スマートフォンで登録した G メモリも「G メモリ地点」にダウンロードできます。

G メモリ地点を登録する

G メモリ地点を登録するときは、次のいずれかの方法で行ってください。

車載機で検索したスポットを登録する

1 車載機で G-BOOK.com コンテンツを表示し、詳細情報が表示されている画面で G メモリ にタッチ。

G メモリを車載機に登録する

「G メモリを一括ダウンロードする」をご覧ください。（→ 480）

G メモリ地点を表示する

G メモリ地点として登録した地点情報は、メインメニューから呼び出すことができます。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ メインメニュー → メインメニュー画面

1 G メモリ地点情報 にタッチ。

2 G メモリ地点名称にタッチ。

3 ブラウザ画面に切り替わる。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

知 識

- G メモリ地点に登録すると、目的地設定の「メモリ地点」にも登録されます。目的地設定のメモリ地点から呼び出せばG-BOOKセンターに接続せずそのまま目的地設定ができます。
- 同一の G メモリ地点は、上書き登録されます。
- G メモリ地点は、同じ内容がナビゲーションのメモリ地点にも保存されます。
  修正や消去をしたいときは、ナビゲーションのメモリ地点画面で行ってください。
  ただし、修正できるのは「自宅・特別メモリに種別変更」と「名称読み」に限定されます。
  詳しくは、「メモリ地点の登録」をご覧ください。（→ 130）

G で設定

G で設定について

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトで作成したドライブプランやＧメモリを、車載機で利用することができます。

知 識

・ G で設定では追加目的地の設定（→ 123）はできません。G で設定を行うと、設定されていた目的地に新しく設定した目的地が上書きされます。「G メモリ地点」に登録済み（→ 476）の G メモリであれば、目的地画面の メモリ地点 から追加目的地の設定ができます。

G で設定画面を表示する

1 目的地 (画面外) を押す。

2 G で設定 にタッチ。

● G で設定画面から、次の機能を利用できます。

項　目	ページ
ドライブプラン（My ルート）	479
G メモリ	479
G-BLOG	480
G メモリ一括ダウンロード	480

ドライブプランを利用する

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトでドライブプランを作成しておくと、車載機にダウンロードするだけで経由地および目的地が設定できます。

目的地（画面外）→ G で設定 →
G で設定画面

1 ドライブプラン(My ルート) にタッチ。

2 設定したいドライブプランにタッチ。

3 はい にタッチ。

4 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G メモリを利用する

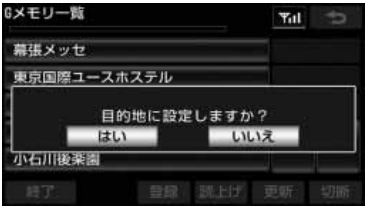
G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトで登録した G メモリを呼び出して、ナビの目的地に設定できます。ナビのデータベースに収録されていない地点が利用できるようになります。

目的地（画面外）→ G で設定 →
G で設定画面

1 G メモリ にタッチ。

2 目的地に設定したい G メモリにタッチ。

3 はい にタッチ。



4 目的地が設定され、ルート探索を開始する。

G-BLOG を利用する

GAZOO.com のユーザーが紹介するスポット情報や口コミ情報を検索し、目的地に設定できます。

目的地（画面外）→ G で設定 →
G で設定画面

1 G-BLOG にタッチ。

2 目的に合わせて検索する。

3 画面の指示にしたがって操作する。

G メモリを一括ダウンロードする

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトで登録したGメモリを一度車載機に一括ダウンロードすると、次からはG-BOOK センターに接続しなくてもナビのメモリ地点（G メモリ地点）として常に利用することができます。

目的地（画面外）→ G で設定 →
G で設定画面

1 G メモリ一括ダウンロード にタッチ。

2 ダウンロード完了の画面が表示される。

- G メモリ地点として利用できます。
  ➡「G メモリ地点」（→ 476）

WEB 検索

WEB 検索で目的地を設定する

車載機からインターネットの検索エンジンを使用して施設を検索し、目的地に設定することができます。

1 目的地 (画面外) を押す。

2 WEB にタッチ。

3 ソフトウェアキーボードを使用してキーワードを入力し、検索 にタッチ。

- ソフトウェアキーボードの使用方法は、「入力画面の各スイッチの使い方」（→ 26）をご覧ください。
- 検索エンジン にタッチすると、「Yahoo! JAPAN」と「Google」を切り替えることができます。
- エリア にタッチすると、検索エリアを変更することができます。

- 検索結果の地図画面が表示され、施設アイコンが表示されます。

4 目的地セット にタッチ。

- 目的地を設定する画面が表示されます。（→ 100）

5 目的地セット にタッチ。

知 識

・ 1/8 万図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

検索エンジンを変更する

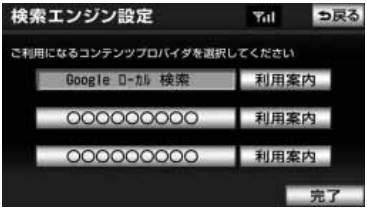
WEB 検索で使用する検索エンジンを変更することができます。

1 目的地 (画面外) を押す。

2 WEB にタッチ。

3 検索エンジン にタッチ。

4 変更したい検索エンジンにタッチ。



- 利用案内 にタッチすると、各検索エンジンの利用規約を確認することができます。
初めてご利用する際は、必ず利用規約をご確認ください。

5 完了 にタッチ。

地図画面から使う

地図画面から使う

地図画面からG-BOOKオンラインサービスの各コンテンツをご利用いただけます。

1 目的地を設定する。（→ 100）

● この画面から、次の操作をすることができます。

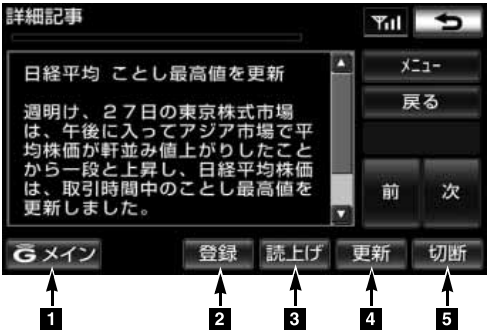
スイッチ	機　能
1 G ルートスイッチ	G ルート探索（→ 520）を利用する
2 割引情報スイッチ	ETC 割引情報（→ 528）を表示する

ブラウザ画面で操作する

ブラウザは、G-BOOK オンラインサービスの各種コンテンツの表示や操作を行います。
ブラウザ画面には、コンテンツ閲覧中に表示される画面と、コンテンツ読み上げ中に表示される画面があります。

閲覧中に操作する

コンテンツの閲覧中は、次の操作ができます。
各スイッチはブラウザ表示前の画面により、スイッチの表示・非表示およびスイッチ名称に違いがあることがあります。



スイッチ	機　能
1 G メイン／終了スイッチ	G メイン ……メインメニュー画面にもどる 終了 ……ブラウザ画面を終了してブラウザ表示前の画面にもどる
2 登録スイッチ	表示中のページをブックマークに登録する。
3 読上げスイッチ	読み上げを開始する。 ・ 読み上げ情報がないときは、スイッチは灰色になっています。 知 識 ・ 読み上げ情報があるコンテンツを表示したときに、自動で読み上げをするかしないかを設定できます。(→ 486)

スイッチ	機　能
4 更新／中止スイッチ	更新 ……コンテンツの再読み込みをして画面を更新する（コンテンツの読み込みが完了または中断しているときに表示） 中止 ……コンテンツの読み込みを中止する（コンテンツの読み込み中に表示） 知 識 ・ コンテンツの読み込み中に 中止 にタッチしたり通信が切断された場合、コンテンツが表示されずに背景のみとなったり、読み込み中のコンテンツが乱れて表示されることがあります。 この場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 ・ 更新 にタッチして、コンテンツを再取得する。 ・ ⮌戻る にタッチしていったん前のページを表示し、コンテンツを取得しなおす。
5 切断スイッチ 携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 ・ 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知 識 ・ G-BOOK　オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

読み上げ中に操作する

読み上げ情報があるコンテンツの読み上げ中は、次の操作ができます。

スイッチ	機　能
1 G メインスイッチ	メインメニュー画面にもどる。
2 音量調整スイッチ	コンテンツを読み上げるときの音量を調整する。 ［－］……小さくする ［＋］……大きくする
3 前項目／次項目スイッチ	読み上げの開始位置を変更する。 ［◀◀］……読み上げ中の項目の先頭からはじめる ［▶▶］……次の項目の先頭からはじめる ・ 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ［◀◀］にタッチしてから約 1 秒以内に再度タッチ。
4 停止スイッチ	コンテンツの読み上げを停止し、閲覧中の画面にもどる。
5 ポーズ／再開スイッチ	［❚❚］……コンテンツの読み上げを一時停止する （読み上げ中に表示） ［▶］……読み上げていた項目の頭から読み上げを再開する （読み上げ一時停止中に表示）
6 切断スイッチ 携帯電話使用時	G-BOOK センターとのデータ通信を切断する。 ・ 切断されているときは、スイッチは灰色になっています。 知 識 ・ G-BOOK　オンラインサービスを携帯電話で使用する場合、データ通信を切断するときは切断スイッチを使用してください。携帯電話本体で切断の操作をしても、データ通信を切断できないことがあります。

ブラウザの自動読上げ

ブラウザで読み上げ情報があるコンテンツを表示したとき、自動で読み上げをすることができます。

設定（画面外）→ G-BOOK → G-BOOK 詳細設定 → G-BOOK 詳細設定画面

1 ブラウザの自動読上げの する にタッチ。

・解除するとき ➡ しない にタッチ。

車載機のスイッチで操作する

スイッチ		機　能
1	PWR スイッチ	コンテンツの読み上げを停止する。
2	音量調整スイッチ	コンテンツの読み上げ音量を調整する。 ・ 大きくするとき ➡ ＋ を押す。 ・ 小さくするとき ➡ － を押す。
3	⏮ ⏭ スイッチ	コンテンツの読み上げの開始位置を変更する。 ・ 読み上げ中の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏮ を押す。 ・ 次の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏭ を押す。 ・ 前の項目の先頭からはじめるとき ➡ ⏮ を押してから約 1 秒以内に再度押す。

G 情報マーク

G 情報マークを表示する

G 情報マークは、G-BOOK.com コンテンツが提供する地点情報です。
情報を取得すると自動で地図に表示されます。

G 情報マーク

施設の情報を表示する

地図上に G 情報マークが表示されているときは、その施設の情報を見ることができます。

1 G 情報マークにタッチ。

2 情報 にタッチ。

3 ブラウザ画面に切り替わる。

- G-BOOK.com コンテンツ上の詳細な情報を表示すると同時に、情報を読み上げます。

G 情報マークを非表示にする

G 情報マークを消したいときは、次の手順で非表示にすることができます。

地図表示中

1 表示変更 にタッチ。

2 周辺施設 にタッチ。

3 G 情報マーク表示 にタッチ。

- 地図画面の G 情報マークが非表示になります。

パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

パソコンや携帯電話・スマートフォンで利用する

G-BOOK はパソコンや携帯電話・スマートフォンからも情報確認や各種設定ができます。

便利にご利用いただける主なコンテンツ

- G-Security の設定確認や変更※
- スポット検索
- ドライブプラン
- マイカーインフォメーション
- E メールデリバー

※G-BOOK mX Pro 契約が必要です。

■パソコンでの操作

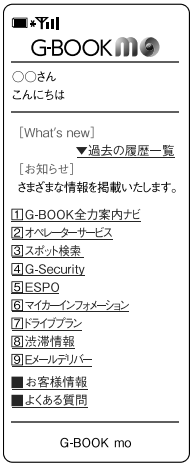
URL → http://g-book.com/

G-BOOK のパソコンサイトに
アクセスする
▼
[ログイン] をクリック
▼
ID とパスワードを入力
▼
ユーザーサイトが表示されます。

■携帯電話

- URL → http://mo.g-book.com/
- QR コード→

G-BOOK mo のトップページに
アクセスする
▼
[ログインする] を選択
▼
ID とパスワードを入力
▼
[ログイン] を選択
▼
ユーザーサイトが表示されます。



知 識

- 「かんたんログイン」を設定しておくと、G 暗証番号 (数字 4 桁) の入力で簡単にログインできます。
- 「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく4桁の番号です。

■スマートフォン

smart G-BOOK アプリ（無料）を「Android マーケット」または「App Store」からダウンロードします。

・URL → http://mo.g-book.com/mpx/spappdl/

・QR コード→

smart G-BOOK アプリを起動

▼

「G-BOOK ID または GAZOO ID をお持ちですか？」で［はい］を選択

▼

ID とパスワードを入力

▼

[ログイン] にタッチ

▼

トップ画面が表示されます

▼

[メニュー] にタッチ

▼

メニューが表示されます。

知識

・「オートログイン」を「オン」にすると、2 回目以降は ID・パスワードの入力が不要となります。

ヘルプネット

ヘルプネットについて

ヘルプネットは、急病などの緊急事態発生時に、ヘルプネットスイッチにタッチするだけでヘルプネットセンターに接続し、車内からの通報を補助するシステムです。
ヘルプネットセンターに電話が接続されるとオペレーターが応答し、ドライバーあるいは他の乗員から状況を確認して、通報位置に適した警察または消防にオペレーターがお客様の状況を通報します。

ヘルプネットは警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

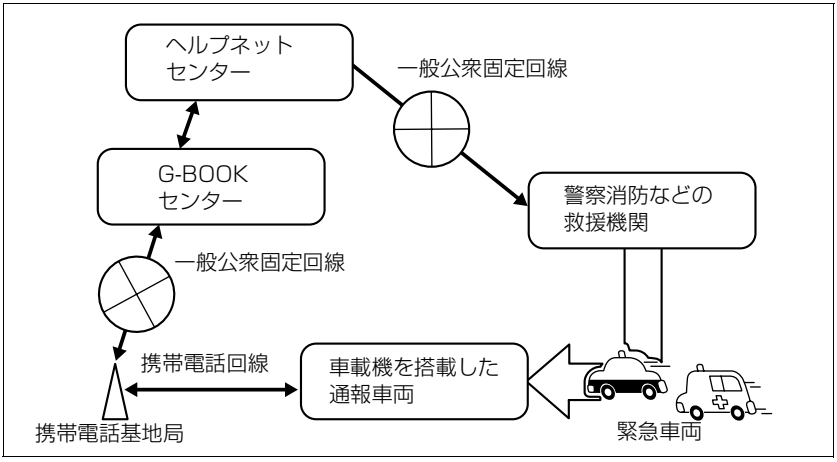
- 本システムは、エンジンスイッチが ACC または ON のときに作動します。

■サービスのご利用について

- ヘルプネットは、車載機で G-BOOK オンラインサービスを利用開始の上、サービス開始操作※が完了すると利用することができます。（→ 497）
- G-BOOK mX の場合、サービス開始操作後は、2 年ごとに車載機または G-BOOK サイトでの登録情報の更新が必要です。
- ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

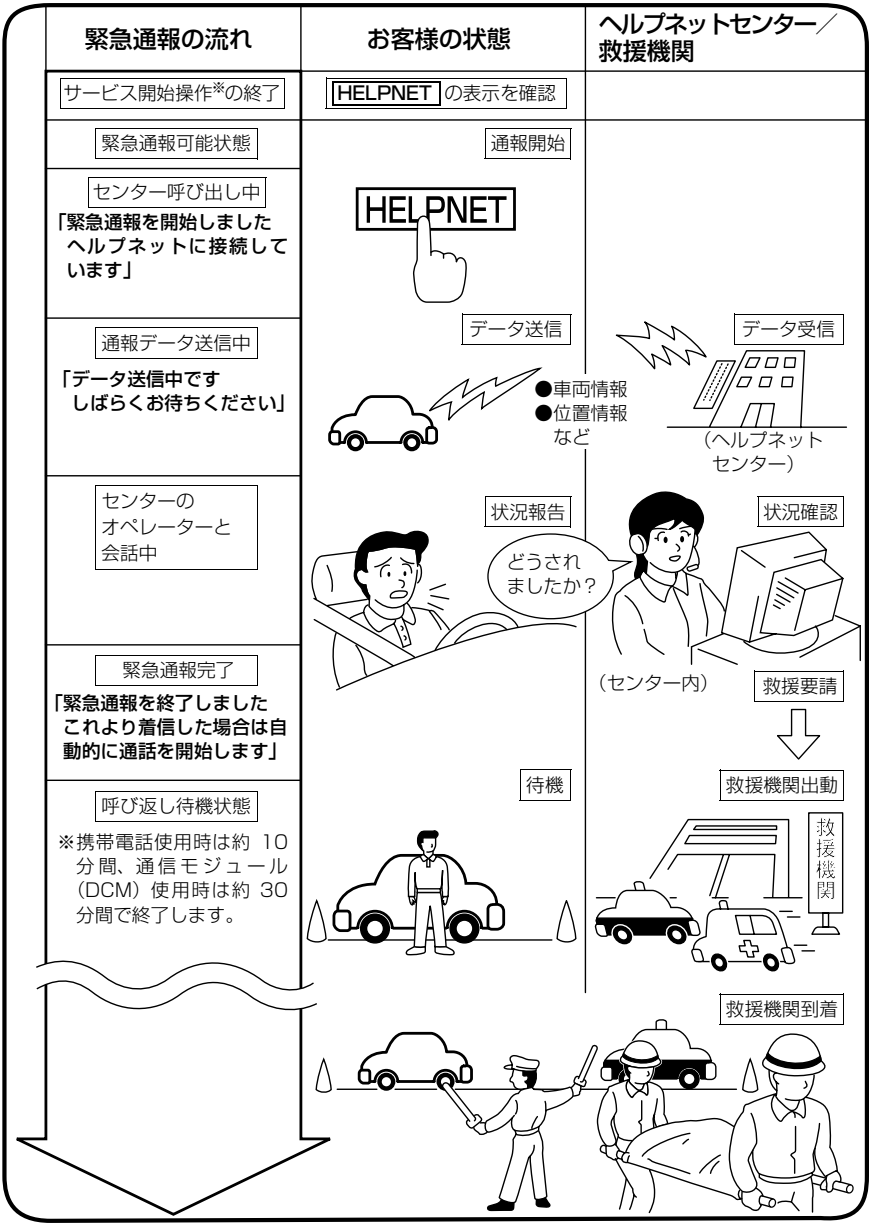
緊急通報のしくみ

車載機の情報・G・BT ナビ画面に表示される HELPNET にタッチすると、ヘルプネットセンターに通報し、専門のオペレーターが応答します。



※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■緊急通報の主な流れ

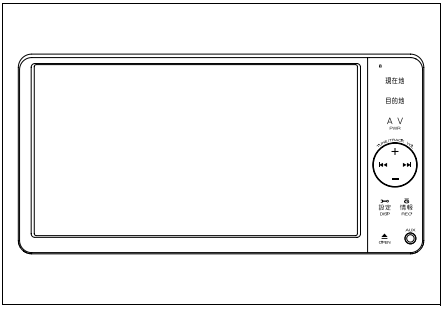


※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

各部の名称とはたらき

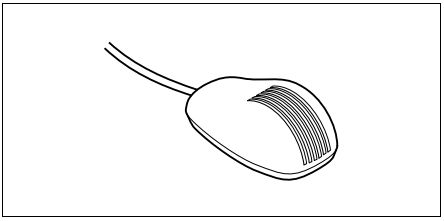
■車載機

緊急通報時や手動保守点検時に使用する。



■マイク

緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用する。



注 意

・車載機本体が故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。
車載機本体に液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
車載機本体が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

⚠ 警 告

- 安全運転を心がけてください。
  本機は、急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。
- 緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。
- 緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。
- サービス開始操作※は契約者本人が行い、情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示されていることを必ず確認してください。
- 本機は衝撃などによって、作動しなくなる場合があります。
  このような場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できない場合があります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
  緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外でご使用の場合
  - 機器（車載機本体、携帯電話回線に接続する機器、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線）に異常または損傷があり、故障している場合
  - G-BOOK オンラインサービスの利用契約がされていない、または利用契約が解除されている場合
  - 登録情報が更新されていない場合
  - サービス開始操作※を実施していないため、車載機が緊急通報可能状態になっていない場合
- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次の場合は緊急通報できません。緊急通報できない場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話と車載機が Bluetooth 接続されていない場合
  - 携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している場合
  - 携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない場合
  - 携帯電話が故障している場合
  - 携帯電話の料金を滞納している場合
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
  通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。
  「携帯電話について」をご覧ください。（→ 507）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警 告

- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
  基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と車載機のBluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。
  走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
  緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。
- 本機はエアバッグと連動していないため、エアバッグが作動しても通報されません。
  このような場合には、HELPNET による緊急通報をしてください。
- G-BOOK オンラインサービスを解約しても、情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示されているときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注 意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがある場合には、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 車載機本体の取り外しを行うと、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなる可能性があります。取り外しが必要な場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 次の温度範囲以外では、緊急通報や携帯電話が正常に動作しない場合があります。そのときは、最寄りの公衆電話を使用してください。
  動作温度範囲：－ 20 ℃～＋ 60 ℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物については、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合および車外に避難するときは、パーキングブレーキを確実に作動させ、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしてください。
  この場合、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にした時点で、緊急通報は終了します。
  なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と車載機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、電話料金を滞納していると、緊急通報できません。電話料金の滞納にはくれぐれもご注意ください。

知 識

- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、ヘルプネットによる緊急通報、自動保守点検、手動保守点検などで行われるすべてのデータ通信の通信料金や通話時の通話料は、お客様のご負担となります。
- いたずらなどが原因で救急車両などの出動が起きた場合、該当費用に関しての請求や関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないようにしてください。

サービス開始操作※をする

ヘルプネットは、サービス開始操作※を完了してはじめて利用できるようになります。
利用開始操作完了後、次の手順でサービス開始操作※および車載機が正常に動作するか確認してください。この確認が行われないと、ヘルプネットサービスの提供ができません。

1 可能な限り見晴らしの良い場所に車を移動する。

- ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

2 「手動保守点検」（→ 503）を行い、次の点を確認する。

- 手動保守点検で、通信が正常に開始することを確認する。
- 通報位置が正しいことをヘルプネットセンターとの通話で確認する。
- 通話ができることを確認する。

⚠ 警 告

・通話が正常に終了したか否かの確認画面で いいえ にタッチする、または 現在地（画面外）などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、車載機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

3 手動保守点検後、情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示される。

- 情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示されない場合は、再度、手動保守点検を実施してください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくても HELPNET が表示される場合があります。この場合、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警 告

・次のように、車載機が正常に動作しない場合、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。
  ・発呼しない。
  ・通報位置とヘルプネットセンターでの位置表示が間違っている。
  ・通話できない。
・サービス開始操作※は途中で中断せず、最後まで完了してください。
途中で中断した場合は、基本的に HELPNET は表示されませんが、HELPNET が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

⚠ 警告

- サービス開始操作※時の手動保守点検が正常に動作しなかった場合は、緊急通報できないことがあり危険です。手動保守点検時に車載機が正常に動作しない場合や、HELPNET は表示されたが通話できない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。
- 手動保守点検後、HELPNET が表示されない場合、緊急通報は動作しません。HELPNET の表示が正常に行われない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、次の点に注意してください。
  - 本システムで動作確認済みの携帯電話を使用してください。動作確認済みでない携帯電話をご使用になられると、緊急通報が動作しないおそれがあり危険です。また、携帯電話本体の破損など故障の原因となる場合があります。
  - ヘルプネットを使用する前に、携帯電話の登録（→ 414）および使用する携帯電話の設定（→ 532）を行ってください。
  - 車載機に携帯電話をBluetooth接続する際は、必ず携帯電話の電池残量を確認してください。携帯電話の電池が空になると携帯電話が動作しないため、緊急通報も動作しません。なお、本車載機には携帯電話の充電機能はありません。
  - 電話機能によっては緊急通報動作の妨げとなり、緊急通報できなくなります。緊急通報の妨げとなる電話機能は利用しないでください。「携帯電話について」をご覧ください。（→ 507）
  - 携帯電話と車載機がBluetooth接続されていることを確認してください。接続されていないと、緊急通報は動作しません。

知識

- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー通話などが利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。
- ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチがACCまたはONのときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話の照明をOFFに設定してください。
  （設定については携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

緊急通報をする

緊急通報は、急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターに通報するときに使用します。

エンジンスイッチが ACC または ON のとき、情報･G･BT ナビ画面で HELPNET にタッチすると緊急通報を開始します。
この操作をすれば、あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがっていただければ、緊急通報は完了します。
ここでは、緊急通報の流れを一通り説明します。
実際に使用するときにあわてないために、流れを覚えておいてください。

・ ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と車載機が Bluetooth 接続されていることを確認してください。

⚠ 警 告

・ 次の場合は緊急通報できません。緊急通報できなかった場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  ・ 携帯電話サービスエリア外では緊急通報動作が開始しても、緊急通報できません。
  ・ 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。

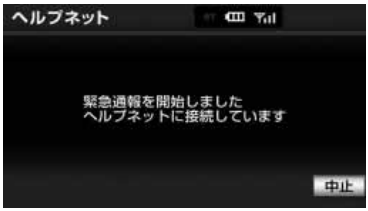
⚠ 警 告

・ 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができない場合には、通報しないまま緊急通報を終了します。
  通報が必要な場合には、最寄りの公衆電話などから通報してください。
・ ヘルプネットセンターへ接続中に、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。緊急通報が中止されます。
  エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしてしまった場合、緊急通報はできていないので、再度エンジンスイッチを ACC または ON にして通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
・ ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と車載機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

G･情報（画面外）→ 情報・G・BT ナビ画面

1 HELPNET にタッチ。

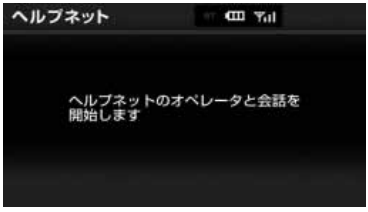
2 ヘルプネットセンターに接続を開始し、緊急通報を開始する。



- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
  - ・緊急通報を中止するとき
    ➡中止 にタッチ。

3 ヘルプネットセンターとデータ通信を行い、車両の位置などを送信する。

4 データ通信完了後、通話モードに切り替わる。



- マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話することができます。

5 オペレーターと通話する。

- ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの症状、警察または消防などへの通報の要・不要を伝えてください。

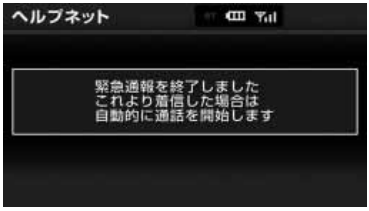
  - ・通話音量を調整するとき
    ➡小 または 大 にタッチ。

知識

- ・緊急通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の応答が取れたときに救援機関に通報します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。
- ・ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、通話中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
  （ヘルプネットを通信モジュール（DCM）で使用する場合は、緊急通報は中止されます。）

6 警察または消防への通報が必要なときはヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

7 通話を終了する。

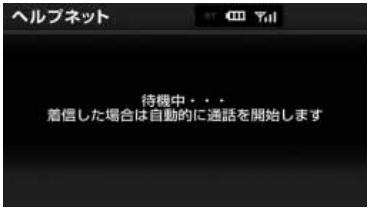


● ヘルプネットセンターが電話回線の切断を行います。

知 識

・ 通話中にステアリングスイッチを操作して電話を切ることができます。

8 通話終了後、しばらくの間（携帯電話使用時は約 10 分間、通信モジュール（DCM）使用時は約 30 分間）は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。



● この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながります。

⚠ 警 告

・ 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。
基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
なお、ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、状況によっては、携帯電話と車載機の Bluetooth 接続を切断して、携帯電話を身に付けてお待ちください。このとき、携帯電話の電源が OFF になってしまった場合は、携帯電話の電源を ON にし、ヘルプネットセンターのオペレーターからの着信をお待ちください。また、通話中の場合は、Bluetooth 接続の切断により、通話も切断されることがあります。
・ 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

知 識

・ ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、呼び返し待機中に携帯電話本体で電話を受けると、その時点でヘルプネット画面は解除されます。
・ 呼び返し待機中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。

9 呼び返し待機状態が終了する。

● ヘルプネット画面が解除されます。

知 識

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。
  音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始時から通話終了までの間は、車載機の音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 緊急通報中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。

保守点検について

保守点検は、自動または手動で車内からヘルプネットセンターに接続し、動作確認や契約状態の確認などを行うときに使用します。

保守点検は、次の 2 種類があります。

自動保守点検 …… → 502
手動保守点検 …… → 503

自動保守点検

自動保守点検は、車載機が定期的に自動で実施する保守点検です。お客様が利用登録されているかの確認を、ヘルプネットセンターがするために実施されます。

⚠ 警 告

ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と車載機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

⚠ 注 意

自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまった場合は、次にエンジンスイッチを OFF（LOCK）から ACC または ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

知 識

- 自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。
  - 点検時期：（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。
  - 点検時間：開始後 1 ～ 2 分で終了します。
- 自動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、自動保守点検が終了してからご利用ください。

手動保守点検

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

G-BOOK mX の場合、使用する携帯電話を追加・変更したときは、必ず手動保守点検を行ってください。

手動保守点検は、次の保守点検を実施します。

- 車載機の保守点検（車載機修理点検や車両修理後の保守点検）
- ヘルプネットセンターに利用登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

・ ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と車載機が Bluetooth 接続されていることを確認してください。

⚠ 警 告

・ 手動保守点検の途中で、エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。エンジンスイッチを OFF（LOCK）にしてしまった場合は、再度手動保守点検をやり直してください。
・ ヘルプネットを携帯電話で使用する場合は、携帯電話と車載機を Bluetooth 接続し、ダイヤルロックを解除した状態にしてください。

- 手動保守点検を実施する前に、現在地画面で GPS の受信（GPS マークが表示されること）を確認する。

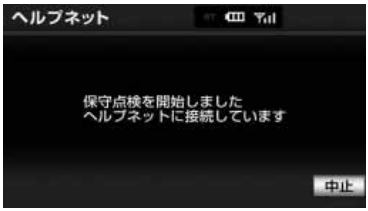
GPS マーク

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 保守点検 に約 10 秒以上タッチし続ける。

3 ヘルプネットセンターに接続を開始する。

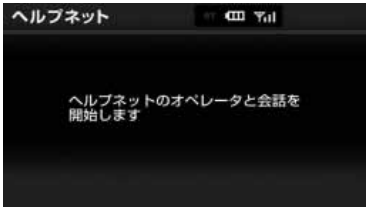


- メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。
  - ・中止するとき ➡ 中止 にタッチ。

4 ヘルプネットセンターに接続すると、次の確認をするため、最初にデータ通信を行う。

- 車両の現在地
- 手動保守点検をしていること
- ヘルプネットセンターに利用登録されているかどうか

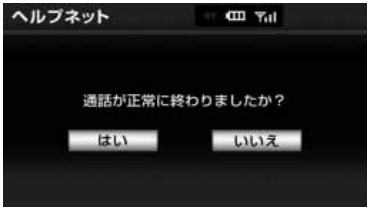
5 データ通信完了後、通話モードに切り替わる。



6 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。

- ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。
  自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。
  “ピー”と鳴ったら、お客様の名前を話してください。
  自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。
  - ・通話音量を調整したいとき
    ➡小 または 大 にタッチ。

7 サービス開始操作※時は、通話が正常に終了したら はい にタッチ。



⚠ 警 告

ここで表示された画面で いいえ にタッチする、または 現在地 (画面外) などを押して他の画面を表示した場合は、サービスが開始されません。再度、サービス開始操作※を行い、車載機が正常に動作することを確認してください。なお、正常に動作しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

8 保守点検を終了する。

9 G・情報（画面外）を押して、情報・G・BT ナビ画面に HELPNET が表示されていることを確認する。

警 告

サービス開始操作※で手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。
途中で中断した場合は、基本的に HELPNET は表示されませんが、HELPNET が表示された場合はトヨタ販売店にご相談ください。

注 意

- 手動保守点検は、正確に位置情報を送れることを確認しています。
  手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、エンジンスイッチを一度 OFF（LOCK）にし、手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されない場合には、トヨタ販売店にご相談ください。

知 識

- 手動保守点検開始時から通話終了までの間は、車載機の音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、その他の G-BOOK オンラインサービスは利用できません。この場合、手動保守点検が終了してからご利用ください。

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

利用登録の更新

G-BOOK mX 利用時

ヘルプネットサービス利用開始日から 2 年毎に利用登録の更新手続きが必要です。
更新期限が近づくと、ナビ画面にて期限と更新方法をお知らせします。
ナビ画面または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）のユーザーサイトにて更新または変更してください。

利用登録の更新操作について

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 ヘルプネット にタッチ。

2 利用登録の更新手続き にタッチ。

3 G 暗証番号を入力する。

知 識

・「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

4 決定 にタッチ。

5 ヘルプネット登録情報画面の内容を確認。

6 更新 にタッチ。

● 登録情報に変更がある場合、 変更 にタッチし、画面にそって情報を変更してください。

7 ヘルプネットの登録情報を更新したと表示される。

知 識

・更新期限の約一ヶ月前に、ナビの画面にお知らせを表示します。
このお知らせ画面から更新することもできます。

携帯電話について

⚠ 警 告

・緊急通報の妨げになる電話機能は利用しないでください。（機能を解除する方法については、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。）
（1）ダイヤルロック
（2）発信を制限もしくは禁止する機能
（3）ドライブモード
（4）着信拒否、着信制限
（5）着信転送
（6）留守番電話
（7）発信者電話番号非通知
（8）着信を制限もしくは禁止する機能
※（1）（2）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターに電話をかけることができないため、緊急通報が動作せず、危険です。
（3）～（8）の機能が解除されていない場合、ヘルプネットセンターからの呼び返しができず、救援困難となる可能性があり危険です。
また、各通信事業者が独自に設定している付加サービス（キャッチホン、三者通話、セレクフォン、マルチナンバーなど）によっては、緊急通報が正常に動作しない場合があり危険です。

・ヘルプネットは　G-BOOK　オンラインサービスの通信設定を利用します。
ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話を追加したときは、必ず使用する携帯電話の通信設定（→ 532）を行ってから、手動保守点検を実施して正常に動作することを確認してください。

知 識

・ヘルプネットを携帯電話で使用する場合、携帯電話の通信機能はヘルプネットに優先的に使用されます。このため、次のような場合は携帯電話は使用できません。
　・携帯電話を使用中の場合でも、緊急通報が開始されると携帯電話の使用を中止します。
　・緊急通報中は、携帯電話は使用できません。
　・自動保守点検、手動保守点検のいずれかが先行して通信機能を使用している場合、携帯電話は使用できません。

緊急通報できない場合について

次のような場合には、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■G-BOOK 利用契約の不成立または消滅

- 未契約の場合
- 利用契約を解除した場合

■ヘルプネット利用登録の不成立

- サービス開始操作※を完了していない場合
- 登録情報が更新されていない場合

■車載機または車両関連機器の異常による通信不能

- 車載機（車載ユニット、通信モジュール（DCM）、マイク、スピーカー、接続電気回路など）の故障
- バッテリーの電圧低下など、車両関連機器の故障・消耗など
- 車両の衝突・横転時の衝撃や車両火災などによる、車載機または車両関連機器の損傷

■緊急通報センターシステムの位置評定エラー

- GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、地図データベースが古くマップマッチングに誤差が大きいときなど、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きい場合

知 識

・ヘルプネットは、車載機本体の GPS から位置情報を取得しています。「GPS について」（→162）をご覧ください。

■ヘルプネットセンター／ G-BOOK センターシステムの異常による通信不能

- センターシステムの故障など
- センターの火災などによる、センターシステムの損傷

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能

- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置する場合
- 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信が不能の場合
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑した場合など、通話利用もしくは通話時間の制限が行われ、結果としてヘルプネットによる通信ができない場合
- 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができない場合
- 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止された場合

■緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止

- センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要がある場合
- 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中した場合

■その他

- ヘルプネットを携帯電話で使用するとき、次のような理由で携帯電話が使用できない場合
  ･携帯電話と車載機が Bluetooth 接続されていない
  ･携帯電話の電源が入っていない、または携帯電話のバッテリー残量が不足している
  ･携帯電話が本システムで動作確認済みの機種でない
  ･携帯電話が故障している
  ･携帯電話の料金を滞納しているなど
- 緊急通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができない場合（緊急通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、次の表にしたがって確認してください。
それでも作動しない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 警 告

緊急事態発生時に緊急通報できない場合は、最寄りの公衆電話などから通報してください。

症状	考えられること	処置
保守点検 が表示されない	利用開始操作が完了していない。	利用開始操作を実施してください。（→ 460）
HELPNET が表示されない	サービス開始操作※が完了していない。	サービス開始操作※を実施してください。（→ 497）
緊急通報できない	携帯電話使用時 動作確認済みの携帯電話を使用していますか。	トヨタ販売店にご確認ください。
	携帯電話使用時 使用する携帯電話の設定をしましたか。	使用する携帯電話の設定をしてください。（→ 532）
	携帯電話使用時 携帯電話で、緊急通報の妨げになる電話機能を利用していませんか。	携帯電話およびネットワークサービスの発信や着信を制限もしくは禁止する機能を解除してください。
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ 503）
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。（→ 503）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

オペレーターサービス

※G-BOOK mX Pro をご利用の場合は、購入手続きなしで利用することができます。
G-BOOK mX をご利用の場合は、有料オプションになります。

オペレーターサービスについて

オペレーターサービスは、電話で依頼するだけで、オペレーターがお客様に代わって、ナビゲーションの目的地設定やレストラン／駐車場の検索などを行うサービスです。

オペレーターサービスメニュー

■ドライブサポート

- ナビの目的地設定
- 駐車場の案内
- 電話番号の案内
- 夜間・休日診療機関の案内

■セキュリティサービス（G-BOOK mX Pro 契約が必要）

- オートアラームの作動連絡
- 盗難車両の位置追跡
- 警備員の派遣手配

■トラブルサポート

- ロードアシスト 24 への取次ぎ

	G-BOOK mX	G-BOOK mX Pro
申込	Web 登録が必要（有料）	不要
ハンズフリー	必要	不要
通話料	お客様負担	無料※

※携帯電話・固定電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

・利用料金や詳しいサービス内容については、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

知識

・G-BOOK mX Pro をご利用の場合は、オペレーターへの発信のみ可能です。オペレーターからの着信には対応していません。
・車載機の時刻データが更新されていないと、オペレーターサービスを利用できません。
この場合は、GPS 信号が受信できる場所に車を移動し、**現在地**（画面外）を押して地図画面上にGPSマークが表示されることを確認した後、再度試してみてください。
・ヘルプネットの緊急通報中または保守点検中は、オペレーターサービスを利用できません。
・オペレーターサービス中は、ヘルプネット以外のデータ通信を必要とするサービスは使用できません。これらのサービスを使用するときは、オペレーターサービスを終了してからご使用ください。
・マルチナンバーなど、ひとつの携帯電話に複数の番号が付与されるサービスをご利用の場合、オペレーターサービスが正常に動作しないことがあります。
・G-BOOK　オンラインサービスを通信モジュール（DCM）で使用する場合、電話機選択で携帯電話が選択されていても、オペレーターサービス中は一時的に Bluetooth 接続が切断されます。

オペレーターサービスを購入する

G-BOOK mX 利用時

利用するには、まずコンテンツの購入手続きをします。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 オペレーター にタッチ。

2 画面の指示にしたがって、購入手続きをする。

オペレーターサービスを使う

車内よりハンズフリーを利用する場合の使用例を紹介します。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 オペレーター にタッチ。

2 オペレーターに接続する。

・中止するとき
➡ 切断 （携帯電話使用時）または
中止 （通信モジュール（DCM）使用時）にタッチ。

3 オペレーターと通話する。

- 「ナビの目的地設定」、「レストランや駐車場などの周辺情報の検索」や「ニュースの配信」など、利用したい内容をオペレーターにお伝えください。

4 オペレーターとの通話が終了する。

- 自動的に回線が切断されます。

5 画面の指示にしたがって操作する。

- 「目的地設定」、「周辺情報の検索」や「ニュースの配信」などを利用した場合、G-BOOK センターから情報を取得すると、メッセージが表示されます。

携帯電話・固定電話から利用する

いつもご利用の携帯電話、自宅やオフィスの電話からも利用できます。

知 識

- ご利用の際は、お申し込み時にサポートアドレスとして登録した番号から、発信者番号通知でかけていただくと、スムーズにご利用いただけます。
- ご本人であることをオペレーターが確認させていただく場合があります。
- 通話料はお客様のご負担になります。
  本機から通信モジュール（DCM）を接続してご利用の場合は通話料は必要ありませんが、携帯電話、自宅やオフィスの電話からご利用の場合、通話料はお客様のご負担になります。

1 オペレーターに電話をかける。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 − 57 − 6818
（365 日 24 時間対応）

2 利用したい内容を伝える。

3 車載機を使用して、手動で受信する。

- 携帯電話や固定電話から利用すると、次回エンジンスイッチを ACC または ON にしたときに、情報の受信をお知らせするメッセージが車載機に表示されます。画面の指示にしたがって、操作してください。
  表示されない場合は、手動で情報を取得してください。(→ 513)

手動で情報を取得する

自動で情報が取得されない場合は、次の手順で取得してください。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 情報確認 にタッチ。

2 メッセージが表示されたら、はい にタッチ。

- メッセージが表示されないとき
  ➡受信一覧 にタッチ。

● 過去に依頼した情報が表示されます。

ドライブプランを利用する

G-BOOK のパソコンサイトや携帯サイトでドライブプランを作成しておくと、簡単な操作で経由地および目的地が設定できます。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→
G-BOOK 画面

1 ドライブプラン にタッチ。

2 設定したいドライブプランにタッチ。

3 ドライブプランをダウンロード後、経由地・目的地が設定され、ルート探索を開始する。

知 識

- 目的地が設定されているときにドライブプランで目的地を設定すると、設定されていた目的地の数に関係なく、新しく設定した目的地にすべて上書きされます。
  なお、設定されていた目的地を再度設定したい場合は、目的地履歴から設定することができます。
- ドライブプランは次の手順でも利用できます。
  - My リクエスト（→ 470）
  - G で設定（→ 478）

G-Security（G セキュリティ）

G-BOOK mX Pro 利用時

G-Security について

G-Security は、ドアのこじ開けなどオートアラームの作動を検知した場合、異常をメールや電話でお知らせします。また、車両盗難時はお客様の要請により、車両の位置を追跡し、警備員を現場に派遣します。

G-Security のご利用に際して

G-Security を利用するには、次の機器の装着が必要です。

- 車載機
- 通信モジュール（DCM）
- G-BOOK 対応オートアラーム：
  アラーム通知サービス利用時に必要です。

上記の必要機器を車両に装着された上で、G-BOOK mX Pro に申し込みいただくと、次のようなサービスをご利用いただけます。

■アラーム通知（→ 518）

G-BOOK 対応オートアラーム装着車

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■エンジン始動通知（→ 519）

エンジンの始動を検知し、メールでお知らせします。

■車両の位置追跡（→ 519）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■警備員の派遣（→ 519）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。
詳しくは、G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

知 識

- G-Securityでは車両の位置情報を使用します。車載機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。
  また、E メールによる通知については遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。
- G-BOOK 利用契約を解除した場合、E メールによる通知は送信されません。連絡先に変更があった場合、変更手続を行ってください。（→ 534）

初期設定の確認・変更

アラーム通知※、エンジン始動通知の設定の確認・変更について説明します。

■通知設定の一覧

＊ 初期設定

サービス名	通知方法	設定	
アラーム通知※	電話	設定中＊	解除中
	Eメール	設定中＊	解除中
エンジン始動通知	Eメール	設定中	解除中＊

設定中……通知します。
解除中……通知されません。

- Eメールアドレスの登録がない場合は、Eメールでの通知はされません。

※G-BOOK 対応オートアラーム装着車のみ

解除中→設定中へ切り替える

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 セキュリティ にタッチ。

3 設定したい項目にタッチ。

- 設定の説明画面が表示されるとき
  ➡内容を確認し、確認 にタッチ。
- スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

設定中→解除中へ切り替える

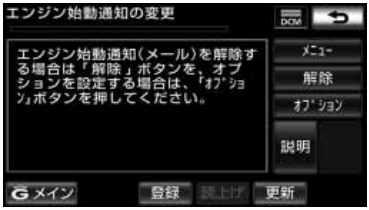
G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ G-BOOK 画面

1 メインメニュー にタッチ。

2 セキュリティ にタッチ。

3 解除したい項目にタッチ。

4 エンジン始動通知を解除するとき
➡ 解除 にタッチ。



・アラーム通知を解除するとき
➡手順 **5** へ

5 G 暗証番号またはパスワードを入力する。

- G 暗証番号を登録しているとき
  ➡G 暗証番号表示窓スイッチにタッチ。
- G 暗証番号を登録していないとき
  ➡パスワード表示窓スイッチにタッチ。

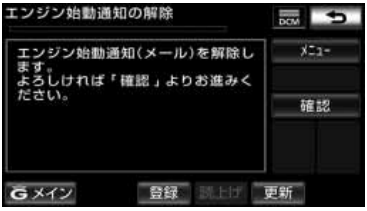
- ソフトウェアキーボードで入力します。

知 識

・「G 暗証番号」は、有料コンテンツの購入や G-Securityの設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく４桁の番号です。

6 解除 にタッチ。

7 確認 にタッチ。



- 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。

アラーム通知

G-BOOK 対応オートアラーム装着車

ドアのこじ開けなどのオートアラーム作動を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるＥメールアドレスや電話番号に通知します。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（→ 516）

- 車外に出た後、ドア・トランクまたはバックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックした後、30 秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置追跡／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 － 57 － 6818
（365 日 24 時間対応）

知 識

- バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境の整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了されるまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- G-BOOK 利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動通知

エンジン始動を検知し、ご指定の E メールアドレスに通知します。
お車から離れるとき、携帯電話などから設定しておけば第三者によるエンジン始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→ 516）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置追跡／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置追跡／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 － 57 － 6818
（365 日 24 時間対応）

知 識

・ オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けた後、エンジンスイッチが OFF（LOCK）になったことを検知し、通知させることができます。
・ オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けた後、10 分間隔で通知させることができます。（初回の通知から 24 時間経過後、自動解除されます。）

車両の位置追跡

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 － 57 － 6818
（365 日 24 時間対応）

警備員の派遣

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はオペレーターサービスにご連絡ください。

オペレーターサービス専用電話番号
0561 － 57 － 6818
（365 日 24 時間対応）

知 識

・ 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店または G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。
・ 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。

G ルート探索（プローブ情報付）

G ルート探索をする（プローブ情報付）

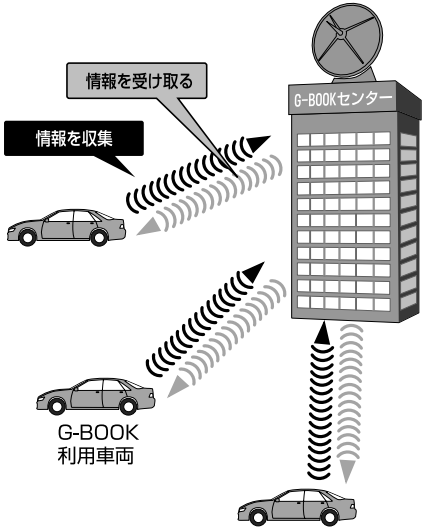
G-BOOK センターから、プローブコミュニケーション交通情報に基づく「現在地周辺の交通情報」および「高速道路・一般道路の渋滞予測情報」を、広域の渋滞予測情報として提供します。この情報をもとに、目的地までの最適なルートを探索し、ご案内します。

知 識

- オペレーターに依頼したナビの目的地設定も、G ルート探索による案内ができます。
- 渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
- 旅行時間データが提供されていない路線については、G ルート探索を実行してもルートが変わりません。
- G ルート探索をしても、ルートが変わらないことがあります。

プローブコミュニケーション交通情報とは

プローブコミュニケーション交通情報とは、G-BOOK 利用車両の走行情報を G-BOOK センターで集約し、G-BOOK 利用車両に配信するリアルタイムな交通情報です。G-BOOK 利用車両が増えるにつれて、従来の交通情報に比べ、幅広いエリアのリアルタイムな交通情報を提供できるようになります。



G ルート探索の利用方法

G ルート探索の取得方法には、自動取得と手動取得の２種類の設定があります。
ご利用のサービスにより、初期設定が異なります。
- 初期設定
  - G-BOOK mX Pro：自動取得
  - G-BOOK mX：手動取得

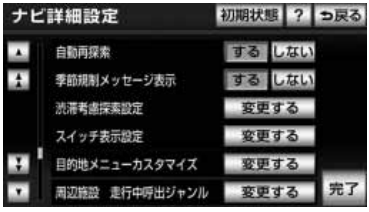
取得設定（自動／手動）を切り替える

G ルート探索の取得方法（自動／手動）を切り替えることができます。

設定はナビ詳細設定画面から行います。（→ 149）

設定（画面外）→ **ナビ詳細設定** → **ルート系設定** →ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチ。



2 プローブ交通情報自動取得の **する** にタッチ。

・手動取得（自動取得を解除）にするとき
➡ **しない** にタッチ。

3 **完了** にタッチ。

知 識

・G-BOOK　mX で自動取得する場合、G-BOOK センターに接続するときの確認メッセージを表示する／しないを、通信設定画面の通信接続時の確認（→ 533）で設定することができます。

G ルート探索を自動で取得する

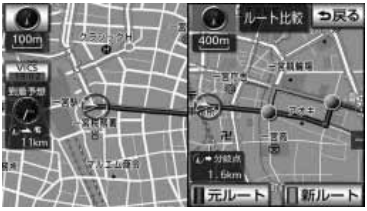
G ルート探索の取得を自動に設定すると、次のタイミングで自動的に G ルート探索情報を取得できます。
- ルート案内開始時と、案内開始以降約 20 分ごと
- JCT 手前や高速道路にはいる手前

全ルート図表示画面（→ 103）

1 ルート案内が始まると自動的に G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。

2 Gルート探索でルートが変更になった場合、画面と音声でお知らせします。

3 新旧ルートを表示します。



目的地設定時に手動で取得する

目的地設定後に表示される全ルート図表示画面で、G ルート探索を取得できます。

1 ルート探索終了後に表示される全ルート図表示画面で Gルート にタッチ。

- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。
  - ・通常のルート探索をしたルートにもどすとき
    - ➡ 元ルート にタッチ。
- G ルート探索で取得した情報が車載機に保存されていれば、元ルート にタッチしたあとに Gルート にタッチしても、G-BOOK センターに接続されません。

知 識

・G ルート探索後に IC 指定や探索条件変更などを行うと、広域の渋滞予測情報は破棄されます。

ルート案内中に手動で取得する

ルート案内中に、手動で G ルート探索を取得することができます。

現在地画面表示中

1 再探索 にタッチ。

2 Gルート探索 にタッチ。

- G-BOOK センターに接続し、G ルート探索を行います。
  - ・G ルート探索情報の取得を中止するとき
    - ➡ 再探索 → 取得中止 の順にタッチ。
- 新たなルートが探索されたとき、渋滞を考慮したルートが表示されます。

渋滞予測

渋滞予測情報を表示する

G-BOOK センターから渋滞予測情報を取得し、その情報を表示するサービスです。
高速路線マップで表示された道路の現在地周辺とルート上に、渋滞の増減を示すアイコン（渋滞増減予測のアイコン）を表示します。また、ルートが設定されているときは、ルート上の渋滞予測情報を読み上げることもできます。
今後の旅行の計画を立てるときに利用すると便利です。

渋滞予測情報画面

渋滞予測情報は現在地周辺を基準として提供され、「渋滞」および「混雑」について、旅行時間データが提供されている路線のみ表示します。

表示	名称	内容
（赤色）	渋滞	渋滞の区間を示しています。
（橙色）	混雑	混雑の区間を示しています。
（黒色）	通行止め区間	通行止めの区間を示しています。
（灰色）	不明区間	交通情報が配信されていない区間を示しています。

※渋滞予測は、突発で起こる事象（事故など）および規制などは予測しておりません。
なお、「通行止め」は現在の状況が継続するとして扱っております。
交通情報提供区間の距離が短い場合は、矢じりを表示しません。

■渋滞予測情報を提供する路線について

・都市間高速道路
・都市高速道路
・主な有料道路
・一部の一般道路
松永道路、名阪道路、姫路西バイパス、姫路バイパス、保土ヶ谷バイパス、加古川バイパス、米子バイパスなど

※情報提供路線は随時更新されます。

渋滞予測情報を表示する

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 情報画面

1 渋滞予測 にタッチ。

2 G-BOOK センターに接続し、渋滞予測情報を取得する。

- 情報の表示および読み上げを行います。
  - ・中止するとき
    - ➡ 切断（携帯電話使用時）または 中止（通信モジュール（DCM）使用時）にタッチ。

知 識

- ・渋滞予測情報の読み上げは、ブラウザの自動読上げ設定（→ 486）に関係なく、常に読み上げられます。
- ・以前に取得した渋滞予測情報が車載機に保存されているときは、G-BOOK センターに接続しないことがあります。
- ・極端に遠い距離の渋滞予測情報（到着予想時刻を含む）は、表示されないことがあります。

渋滞予測時間を変更する

渋滞予測情報は、現在の渋滞状況以外に、一定の時間単位で時間を進めて、今後の渋滞予測を表示させることができます。

1 次のいずれかにタッチ。

- ＋ …… 渋滞予測時間を進める
- － …… 渋滞予測時間をもどす
- 現在 … 現在の渋滞状況を表示する

知 識

- ・G-BOOK センターから提供される渋滞予測情報は、現在については現在の交通状況が提供され、未来については予測した情報が提供されます。
- ・その時間の渋滞予測情報を取得していない場合のみ、G-BOOK センターに接続して渋滞予測情報を取得します。

渋滞増減予測を表示する

渋滞予測画面の地図上に、渋滞増減予測のアイコンを表示させることができます。
また、ルート上の読み上げ情報があるアイコンの場合は、渋滞情報を音声で読み上げることができます。

渋滞増減予測アイコンの ON（表示する）／ OFF（表示しない）を選択できます。

G･情報（画面外）→（ **情報** ）→ **渋滞予測** → 渋滞予測画面

1 **設定** にタッチ。

2 **渋滞増減予測表示** にタッチ。

- アイコン表示が ON のときは、作動表示灯が点灯します。
  - ・アイコンを表示しないとき
    - ➡再度 **渋滞増減予測表示** にタッチ。

3 読み上げ情報があるアイコンの場合は、地図上に表示されたアイコンにタッチ。

- 渋滞情報を読み上げます。

アイコン	内 容
＋	表示している時間後に、渋滞が増加傾向であることを表します。
－	表示している時間後に、渋滞が減少傾向であることを表します。
■	表示している時間後に、渋滞が変化しないことを表します。

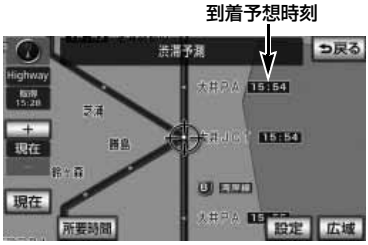
知 識

- ・渋滞増減予測のアイコンは、地図の縮尺によっては、表示されないものもあります。
- ・渋滞増減予測のアイコンは、ルートが設定されている場合は、ルート沿いの情報を提供します。また、ルートが設定されていない場合は、現在地周辺の情報を提供します。

渋滞予測地図の縮尺を切り替える

渋滞予測画面の地図は、通常の地図と同様に地図の縮尺を切り替えることができます。

1 広域 または 詳細 にタッチ。



- ルートが設定されているときは、もっとも詳細な縮尺に切り替えると、地図上に IC 毎の到着予想時刻が表示されます。

知 識

・もっとも詳細な縮尺で表示される到着予想時刻は、3 時間先以降は到着予想時刻設定（→ 113）で設定した車速から計算されます。
そのため、渋滞予測情報から計算される到着予想時刻にくらべると、誤差が広がることがあります。

区間所要時間予測を表示する

高速道路を通るルートが設定されているとき、休憩した場合の所要時間予測を行います。
ルート上の渋滞変化を予測し、高精度の到着予測時間をサービスします。

区間所要時間予測表示

G・情報（画面外）→（ 情報 ）→ 渋滞予測 → 渋滞予測画面

1 所要時間 にタッチ。

- G-BOOK センターに接続し、区間所要時間予測情報を取得すると、ブラウザ画面で区間所要時間予測が表示されると同時に読み上げが行われます。

2 区間所要時間予測表示を解除するときは、終了 または ⮌ にタッチ。

知 識

・出口 IC までの距離が遠い場合は、出口 IC まで表示されないことがあります。
・渋滞予測画面で表示される到着予想時刻と区間所要時間予測表示で表示される内容は、それぞれ独自で処理するため異なる表示をすることがあります。

周辺情報

周辺情報について

目的地やルート周辺の気象情報など、ドライブに役立つ情報を音声読み上げや地図上のアイコンで案内します。

表示する情報について

次の情報を表示することができます。
・目的地到着予想時刻頃の天気
（情報が更新された場合、変更情報を表示）
・ルート周辺および目的地付近のゲリラ雷雨、強風・豪雨情報
※目的地までの直線距離が50km以下の場合、表示・案内はありません。

提供する情報は、随時追加します。
最新の情報は G-BOOK のパソコンサイト（http://g-book.com/）などでお知らせします。

周辺情報を設定する

ご利用の際は、あらかじめ取得したい情報を設定してください。

G・情報（画面外）→（G-BOOK）→ メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 周辺情報 にタッチ。

2 メニュー にタッチ。

3 取得したい情報を選択する。

周辺情報を取得する

1 目的地画面から目的地を設定する。（→ 100）

2 案内開始 にタッチ。

- G-BOOK センターに接続し、情報を取得します。
- 取得した情報は、音声で案内、または地図上にアイコンで表示します。

知 識

・情報は案内開始時、一定距離走行毎、目的地に接近時にG-BOOKセンターにアクセスし、更新します。

ETC 割引情報

ETC 割引情報を表示する

車載機に表示されている通常料金をもとに、各種割引情報（平日・休日・特別）の一覧を表示することができます。

全ルート図表示中 （→ 103）

1 割引情報 にタッチ。

2 平日の割引情報が表示される。

※画面は表示例です。実際の画面とは異なります。

・ 休日割引情報を表示したいとき
　➡ 休日 にタッチ。

・ 特定区間割引などの情報を表示したいとき
　➡ 特別 にタッチ。

● 特定区間割引などの情報は、平日や休日の割引情報に含まれません。

スイッチ	機能
平日	平日割引を一覧表示
休日	休日割引を一覧表示
特別	特定区間割引などを一覧表示

● 各画面で 詳細 にタッチすると、適用条件などの詳細を表示します。

知 識

・ ルートが複数の路線にまたがっている場合、割引率が同じ路線はまとめて表示されます。

・ 割引情報の更新は割引適用日まで、または各道路管理者による割引情報開示日から９営業日までに行います。割引適用日までに情報を更新できない場合がありますので、最新情報は各道路管理者のホームページ等をご確認ください。

G- 駐車場

G- 駐車場について

現在地や目的地付近の駐車場情報を提供します。満空情報を表示できるほか、車両のサイズや形状、こだわり条件を登録しておくと、ご希望の駐車場情報を検索することができます。

駐車場情報を表示する

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 駐車場 にタッチ。

2 希望の検索条件にタッチ。

- こだわり検索ではあらかじめ、条件の設定が必要です。
  次の条件を３つまで設定できます。
  - 満車空車の情報あり
  - 空車優先
  - 24 時間営業
  - 立体駐車場除く
  - 機械式除く
  - 障害者用スペースあり
  - 領収書発行可能

3 駐車場の情報を G 情報マークで表示します。

マーク	内 容
	満車（赤）
	混雑（橙）
	空車（青）
	満空情報なし（灰）
	車両制限の可能性あり
	休止中

- G 情報マークの表示／非表示を設定できます。（→ 488）

知 識

・ G- 駐車場のこだわり検索では、設定した優先順位に合わない駐車場を薄い色のマークで表示します。

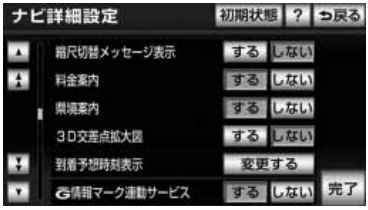
近接案内

オペレーターに目的地周辺の駐車場情報の送信を依頼した場合に、目的地に近付くと最新の満空情報に自動で更新されます。

設定はナビ詳細設定画面から行います。（→ 148）

設定（画面外）→ ナビ詳細設定 → 案内表示設定 →ナビ詳細設定画面

1 G情報マーク連動サービスの する にタッチ。



・解除するとき ➡ しない にタッチ。

2 完了 にタッチ。

CD タイトル情報取得

タイトル情報を取得する

音楽 CD から音楽用 SD メモリーカードへ録音した楽曲のタイトル情報（アルバム名やアーティスト名など）を、地図 SD カードに収録されているデータベースから取得することができます。ただし、新しい曲などはデータベースにタイトル情報がないものもあります。G-BOOK オンラインサービスを利用すると、最新の CD タイトル情報を G-BOOK センター経由で Gracenote メディアデータベースから取得することができます。

・ データベースの検索について
➡「タイトル情報を再取得する」（→ 253）

アルバム修正画面 (→ 253)

1 Gで検索 にタッチ。

2 表示された画面の指示にしたがって、希望のタイトルを選択・登録する。

知 識

・ 該当する CD タイトル情報が見つからなかった場合は、メッセージが表示されたあとにアルバム修正画面にもどります。
・ ハンズフリー着信など、優先順位の高い機能の割り込みがあったときは、CD タイトル情報の取得を中止します。

通信設定をする

携帯電話使用時

携帯電話でデータ通信を行う場合、通信に関する各種設定をすることができます。

設定（画面外）→ G-BOOK →
設定・編集画面

1 通信設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

項　目	ページ
使用する携帯電話の通信設定をする	532
通信接続時の確認	533

3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

⚠ 注 意

・ 完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
　・ エンジンスイッチを OFF（LOCK）にする。
　・ エンジンをかけなおす。

知 識

・ 通信設定画面の項目は携帯電話毎に設定が保持されます。

使用する携帯電話の通信設定をする

次のような場合は、必ず使用する携帯電話の設定を確認してください。
- 携帯電話を初めて接続するとき
- 携帯電話の機種を変更したとき
- バッテリーの接続が断たれたとき
- ハンズフリーで使用する携帯電話を変更したとき

・ 通信事業者の設定が間違っていると、G-BOOK オンラインサービスを利用できません。

設定（画面外）→ G-BOOK →
通信設定 →通信設定画面

1 使用する携帯電話の通信事業者を選択する。

au ※1	auのパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
docomo ※2	docomo のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
SoftBank ※3	SoftBank のパケット通信対応携帯電話をご利用の場合
通信に利用しない	携帯電話をハンズフリー通話のみに使用する場合

※1 auはKDDI株式会社の商標または登録商標です。
※2 docomoは株式会社NTTドコモの商標です。
※3 SoftBank はソフトバンクモバイル株式会社の商標です。

通信接続時の確認

携帯電話で G-BOOK センターへ接続するときに、確認のメッセージを表示することができます。

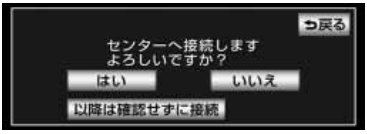
設定（画面外）→ G-BOOK →
通信設定 →通信設定画面

1 通信接続時の確認の する にタッチ。

・解除するとき ➡ しない にタッチ。

知 識

・接続確認画面で 以降は確認せずに接続 にタッチすると、次回接続時以降は、接続確認画面が表示されません。
このとき、通信接続時の確認は「しない」に設定されます。
再度表示したいときは、通信接続時の確認を「する」に設定してください。



・通信接続時の確認を「しない」に設定すると、画面に「自動で通信する場合があります」と表示されます。
これは、自動で通信するサービスを利用したとき、お客様が気付かないところで通信料金が発生する場合があることをご確認いただくためのものです。

サポートアドレスについて

サポートアドレスは、G-Security やロードアシスト 24 などのサービス利用にあたって、お客様に連絡が必要になった場合の連絡先です。
G-BOOK 利用申込書または Web 登録で入力いただいた連絡先が、サポートアドレスとして登録されています。
連絡先に変更があった場合は下記操作で変更してください。

サポートアドレスを確認・変更する

サポートアドレスの確認・変更は、G-BOOK.com 画面で行います。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→ メインメニュー → G-BOOK.com → G-BOOK.com 画面

1 サポートアドレスの登録・変更 にタッチ。

※表示されているメニューは一例です。
この画面に表示されていないときは ユーザー にタッチし、ユーザーページにて操作してください。

2 表示される電話番号を確認した後、メール にタッチ。

・電話番号を変更するとき
➡変更する電話番号にタッチし、入力する。

3 E メールアドレスを確認する。

・E メールアドレスを変更するとき
➡変更する E メールアドレスにタッチし、入力する。

携帯電話を追加する

G-BOOK mX 利用時

利用手続き後、データ通信に利用する携帯電話の追加や変更をする場合は、次の手続きを行ってください。

携帯電話を追加する場合
↓
携帯電話を登録する（→ 414）
↓
使用する携帯電話の通信設定をする（au ／ docomo ／ SoftBank）（→ 532）
↓
ヘルプネットの「手動保守点検」を実施する（→ 503）

通信ロックを使う

通信ロックを使用すると、各機能の動作を下表のように制限することができます。他人に車を貸す場合など、G-BOOK オンラインサービスを触らせたくないときや、プライベートな情報を見せたくないときに使用してください。

○：利用できます
×：利用できません

機　能		動　作
ヘルプネット		○
メインメニュー	G-BOOK.com	×
	閲覧履歴	×
	ブックマーク	×
My リクエスト		×
オペレーターサービス		×
CD タイトル情報取得		×
G-BOOK と ナビの連携機能	渋滞予測	×
	G ルート探索	×（プローブコミュニケーション交通情報を含む）
	G メモリ地点	○（保存済みデータのみ）
	ドライブプラン	×
	G で設定	×
	施設情報表示	×
	G 情報マーク連動サービス	○（情報の読み上げのみ）

知 識

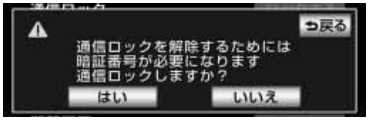
・ 通信ロックを使用するような場合は、ハンズフリーの発信制限も合わせてご利用ください。（→ 444）

ロックする

設定（画面外）→ G-BOOK →
プライバシー設定 →プライバシー設定画面

1 通信ロックの ロックする にタッチ。

2 はい にタッチ。



解除する

知 識

・通信ロックを解除するときは、暗証番号が必要になります。

設定（画面外）→ G-BOOK →
プライバシー設定 →プライバシー設定画面

1 通信ロックの 解除する にタッチ。

2 暗証番号を入力し、 完了 にタッチ。

・間違えたとき
➡ 修正 にタッチ。

暗証番号を変更する

暗証番号は、通信ロック（→ 535）したときに、ロックを解除するために入力が必要になります。通信ロックを使用するときは、まず暗証番号および暗証番号を忘れたときの質問とその回答を設定してください。

⚠ 注 意

・ 完了 にタッチして設定が終わるまでは、次のような操作をしないでください。
  ・エンジンスイッチを OFF（LOCK）にする。
  ・エンジンをかけなおす。

設定（画面外）→ G-BOOK →
プライバシー設定 →プライバシー設定画面

1 暗証番号の 変更する にタッチ。

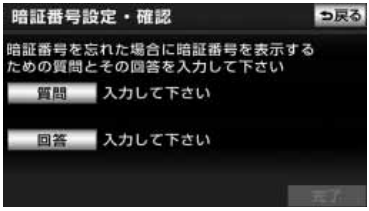
2 現在の暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

- はじめて設定するとき
  ➡「0000」を入力する。
- 変更するとき
  ➡設定してある暗証番号を入力する。
  - 間違えたとき ➡ 修正 にタッチ。
  - 暗証番号を忘れたとき
    ➡「暗証番号を忘れた場合」(→ 537)

3 新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

4 新しい暗証番号の確認のため、再度新しく設定したい暗証番号を入力し、完了 にタッチ。

5 質問 、回答 にタッチして、それぞれ入力する。



- ソフトウェアキーボードで入力する。

6 完了 にタッチ。

知 識

- 暗証番号は 4 桁の数字です。初期設定は「0000」になっています。
  暗証番号は、他人にわかりにくい番号にしておいてください。
- 質問とその回答は、暗証番号を忘れた場合に暗証番号を表示するために設定します。(→ 537)
  質問とその回答は、お客様以外にわかりにくい内容にしておいてください。
- 暗証番号を変更するときも、同様の操作で行うことができます。

暗証番号を忘れた場合

設定(画面外) → G-BOOK → プライバシー設定 →プライバシー設定画面

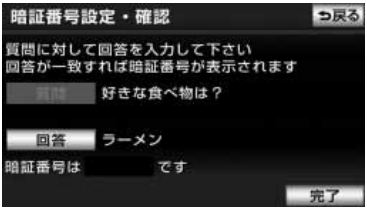
1 暗証番号の 忘れた場合 にタッチ。

2 回答 にタッチ。

3 回答を入力する。

- ソフトウェアキーボードで入力します。

4 完了 にタッチ。



- 暗証番号が表示されます。

プライバシー設定

設定・編集画面を表示する

G-BOOK オンラインサービスを利用するときの各種設定は、設定・編集画面から行います。

1 設定（画面外）を押す。

2 G-BOOK にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目を設定することができます。

項　目	ページ
通信設定※	532
My リクエスト編集	475
プライバシー設定	538

※携帯電話接続時のみ設定することができます。

プライバシー設定をする

プライバシーに関する各種設定をすることができます。

設定（画面外）→ G-BOOK →
設定・編集画面

1 プライバシー設定 にタッチ。

2 各項目を設定する。

項　目	ページ
通信ロックを使う	535
暗証番号を変更する	536

3 設定が終わったら、 完了 にタッチ。

契約内容・契約者情報の確認・変更

契約内容・契約者情報の確認・変更

登録内容や契約者情報の確認・変更、G 暗証番号の変更などを行えます。

G・情報（画面外）→（ G-BOOK ）→メインメニュー → G-BOOK.com → ユーザー → ユーザー画面

● この画面から、次の操作をすることができます。

スイッチ	機　能
1 会員情報／利用契約変更・解約スイッチ	登録しているユーザーの情報や利用契約内容を確認・変更できます。
2 サポートアドレスの登録・変更スイッチ	サポートアドレス（電話番号やメールアドレス）の登録を追加・変更できます。
3 コンテンツ購入履歴／解約スイッチ	契約している有料コンテンツの確認や解約ができます。
4 ドライブプランのデータコピースイッチ	他の G-BOOK や GAZOO ID で登録しているドライブプランや G メモリをコピーできます。
5 お車を手放す際にスイッチ	利用契約を解約することができます。
6 お車の情報スイッチ	車両登録番号の変更ができます。

こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

メッセージ	原　因	処　置
G-BOOK の利用手続きを行ってください （所要時間：約5～10分）	G-BOOK mX Pro に申し込んだが、車載機で利用開始操作が実施されていない。	利用開始操作の方法を選択してください。 ・ すぐに操作をする。 ➡ 開始する にタッチ。 ・ あとで操作をする。 ➡ あとで にタッチ。
ヘルプネットのサービス開始操作を行ってください（所要時間：約2分）	ヘルプネットのサービス開始操作※が実施されていない。	サービス開始操作※の方法を選択してください。 ・ すぐに操作をする。 ➡ 開始する にタッチ。 ・ あとで操作をする。 ➡ あとで にタッチ。
G-BOOKの利用手続きが必要です 情報・G・BT ナビのメインメニューのG-BOOK.comから手続きできます	G-BOOK オンラインサービスの利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。（→ 458）
電話機選択が必要です 設定・編集の電話から設定できます	使用する電話機が選択されていない。	使用する電話機を選択してください。（→ 433）
携帯電話の通信設定が必要です 設定・編集の G-BOOK から設定できます	使用する携帯電話の設定がされていない。	使用する携帯電話の設定を行ってください。（→ 532）
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の電話から設定できます	Bluetooth の設定がされていない。	Bluetooth の設定を行ってください。（→ 441）

※ヘルプネットサービス開始操作は必ず契約者本人が行うようにしてください。

メッセージ	原　因	処　置
緊急通報中です G-BOOKサービスをご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 ・誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用下さい	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。
センター接続中は変更できません 回線を切断して再度操作して下さい	通信中のため。	通信が終了してから再度操作する、または 切断 にタッチして通信を終了してください。
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集の G-BOOK のプライバシー設定で削除して下さい	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。
携帯電話が接続されていません 保守点検はできません	携帯電話が接続されていないため。	携帯電話を接続してください。（「携帯電話を接続する」（→ 415））
これ以上 G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要な G メモリ地点情報を削除して下さい	G メモリ地点の最大保存数を超過したため。	不要なGメモリ地点を削除してください。（→ 136）
通信ロック中です ロックを解除してからお使い下さい	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で暗証番号の 忘れた場合 にタッチして確認してください。

メッセージ	原　因	処　置
回線が混み合っている等により表示できません しばらく待ってから操作して下さい	・サービスエリア圏外にいる。 ・認証に失敗した。 ・通信環境が悪い。 ・通信機器の接続状態に異常がある。	①携帯電話について、次の点を確認してください。 ・携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・携帯電話単体で正常動作するか。 ・携帯電話の異常でないか。（携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ②携帯電話と Bluetooth 接続ができているか確認してください。 ③他の携帯電話に変えて、試してみてください。
時刻データが古いため使用できません GPS を受信して下さい	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
電話機をご確認下さい	・携帯電話が Bluetooth 接続されていない。 ・携帯電話に異常がある。（携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障） ・携帯電話が動作確認済みの機種でない。	次の点を確認してください。 ・携帯電話と Bluetooth 接続されているか。 ・携帯電話が動作確認済みの機種であるか。 ・携帯電話の充電は十分であるか。
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混み合っている等により情報を取得できませんでした	・サービスエリア圏外にいる。 ・認証に失敗した。 ・通信環境が悪い。 ・通信機器の接続状態に異常がある。 ・通信設定に誤りがある。	①しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。 ②使用する携帯電話の設定を確認してください。 （→ 532）

ご参考に

参考情報 544

■ アフターサービスについて 544
保証について 544

■ バッテリーの交換について 545
バッテリー交換をする前に 545
バッテリーを交換した後に 546

■ お手入れについて 547
車載機のお手入れ 547
アンテナのお手入れ.....547

■ VICS 情報有料放送サービス契約約款 548

■ 仕様について 550
車載機の仕様について.....550

さくいん 554

■ 50 音さくいん 554

■ アルファベットさくいん 564

アフターサービスについて

保証について

1）保証の内容
トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けしたトヨタ純正商品に材料、又は製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。
（以下、この無償修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。また、取外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2）保証の期間、受け方
① 保証の期間
保証修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し 3 か年間とします。
ただし、その期間内でも走行距離が 60,000km までとします。
② 保証修理の受け方
保証修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちいただき、保証修理をお申しつけください。

3）保証しない事項
① 保証期間内でも、下記に起因する不具合は保証修理いたしません。
・トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外での取付け、修理およびトヨタが認めていない改造など
・取扱書に示す取扱い方法と異なる使用および不適切な保管などおよび地震、台風、水害などの天災並びに事故、火災
② 次に示すものの費用は負担いたしません。
・消耗部品および油脂類など（ヒューズ、各種電球など）
商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

4）保証の適用
日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

5）その他
保証期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

この SD ナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低 6 年間保有しております。

知 識

・アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

バッテリーの交換について

バッテリー交換をする前に

お車から車載機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、車載機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
地上デジタル TV 放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信 / 着信履歴	記憶された発信 / 着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
Yahoo! 連携	セキュリティの設定
バックガイドモニター※	バックガイドモニターの設定

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択したとき。（→ 359）

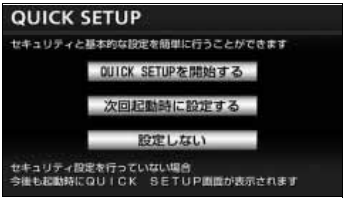
知 識

・ 一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。

バッテリーを交換した後に

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチを ACC または ON にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

次のように画面がかわります。



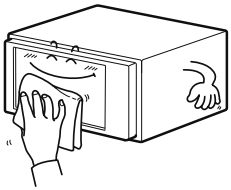
知識

・ セキュリティを設定している場合（→ 43）や地図 SD カードが差し込まれていない場合（→ 17）は、表示される画面は異なります。

お手入れについて

車載機のお手入れ

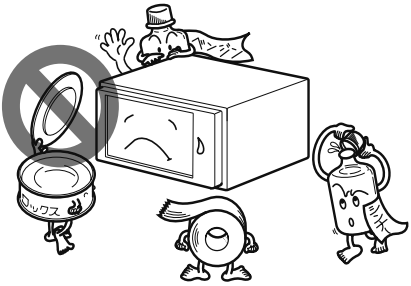
- 汚れをおとす場合、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
  汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげます。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください

化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れ

- フィルムアンテナおよびケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下することがあります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条

1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サー ビス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表 視聴料金]

視聴料金　300 円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2013 年 11 月 1 日変更時のものを掲載しています。

仕様について

車載機の仕様について

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が車載機と一致しないことがありますのでご了承ください。

■GPS アンテナ

供給電源電圧	4.0 ～ 5.0（V）
消費電流	10 ～ 30（mA）
作動温度	-30 ～ 80（℃）
保存温度	-40 ～ 100（℃）

■テレビ･ディスプレイ

受信チャンネル	UHF13 ～ 62 チャンネル
液晶パネル	7 型ワイド低反射パネル
画面寸法	157.2（W）× 82.65（H）mm
画素数	1,152,000 個（800（H）× 480（V）× 3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリックス方式
動作温度範囲	-20 ℃～ +65 ℃
保存温度範囲	-40 ℃～ +85 ℃

■ラジオ･チューナー部

受信周波数	AM…522 ～ 1,629kHz
	FM…76 ～ 90MHz
実用感度	AM…34dBμV (S/N20dB)
	FM…13dBμV (S/N30dB)
周波数特性	30 ～ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	26dB (1kHz)

■CD 部

全高調波歪み率	0.1%（1kHz、0dB）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	90dB（1kHz）

■SD メモリーカード部

全高調波歪み率	0.1%（1kHz、0dB）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）

■DVD 部

全高調波歪み率	0.1%（1kHz、0dB）
周波数特性	20 ～ 20,000Hz
S ／ N 比	70dB（1kHz）

■共通部

定格出力	15W × 4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
最大出力	40W × 4（試験電圧 14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（11-16V） アース専用
消費電流	0.5W × 4 出力時…約 3.5A 最大…約 14A
外形寸法	横幅 205.5mm・高さ 104mm・奥行 177.1mm
質量（重量）	約 2.8kg

■バックガイドモニター（オプション）

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素数
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 1.41mm
	F 値	1：2.4
	画角（水平、垂直）	135°、105°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.71lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1：1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		100mA（最大）
使用温度範囲		- 30 ℃ ～ + 70 ℃
保存温度範囲		- 40 ℃ ～ + 85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 23mm × 20mm × 24mm
質量（重量）		約 25g（ケーブル除く）

■マルチビューバックガイドモニター（オプション）

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 0.82mm
	F 値	1：2.4
	画角（水平、垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.7lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1：1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		150mA（最大）
使用温度範囲		- 30 ℃ ～ + 70 ℃
保存温度範囲		- 40 ℃ ～ + 85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 23mm × 20mm × 24mm
質量（重量）		約 25g（ケーブル除く）

■マルチアングル全周囲モニター（オプション）

【フロントカメラ】

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f=0.8mm
	F 値	1:2.6
	画角（水平 / 垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		100mA（最大）
使用温度範囲		-30 ℃～ +70 ℃
保存温度範囲		-40 ℃～ +85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 27mm × 22mm × 24mm
質量		約 30ｇ（ケーブル除く）

【サイドカメラ】

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f=0.8mm
	F 値	1:2.6
	画角（水平 / 垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 7.0V
消費電流	LED OFF 時	100mA（最大）
	LED ON 時	200mA（最大）
使用温度範囲		-30 ℃～ +70 ℃
保存温度範囲		-40 ℃～ +85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 37mm × 37mm × 24mm
質量		約 36 g（ケーブル含む）

【バックカメラ】

撮像素子		1/4 インチ　カラー CMOS
有効画素数		約 31 万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f=0.8mm
	F 値	1:2.6
	画角（水平 / 垂直）	190°、155°
TV 方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		0.9lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1:1600 以上
電源電圧		DC5.7V ～ 8.4V
消費電流		100mA（最大）
使用温度範囲		-30 ℃～ +70 ℃
保存温度範囲		-40 ℃～ +85 ℃
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約 27mm × 22mm × 24mm
質量		約 30 g（ケーブル除く）

50 音さくいん

あ

アクセントカラーの変更 46
アフターサービス 544
アラーム通知 518
暗証番号の変更 536
暗証番号を忘れた場合 537
安全・快適走行設定 151
案内道路情報（ルート情報）.....105
案内表示設定 148

い

ETC 画面の使い方 401
　ETC 画面の表示 401
　ETC の設定（通知設定) 403
　ETC マーク表示 402
　エラーコードの表示 402
　登録情報の表示 402
　履歴表示 402
　割込表示 401
ETC システム 399
一時停止案内 73
IC の指定・解除 125

う

迂回メモリ地点の修正 138
迂回メモリ地点の消去 138
迂回メモリ地点の登録 137

え

エコ機能 157
　エコ情報の表示 160
　エコドライブインフォメーション
　　の設定 161
　エネルギーモニターの表示 161
　燃費の計算 157
　ルート案内時の燃費設定 159
FM 多重放送 326
SD メモリーカード
　SD メモリーカードについて 23
　SD メモリーカードの概要 235
　SD メモリーカードの出し入れ 16
　データベースについて 236
SD メモリーカードの再生
　アルバムの中から曲を探す 247
　アルバムの中からランダムに聞く 247
　アルバムを選ぶ 244
　アルバムを探す 247
　同じアルバムを繰り返し聞く 247
　曲を選ぶ 246
　繰り返し聞く 246
　再生する 244
　全アルバムの中からランダムに聞く 247
　早送り、早戻し 246
SD メモリーカードの編集
　アルバム情報の編集 251
　　アーティスト名・
　　アーティスト読み修正 252
　　アルバムタイトル・
　　アルバム読み修正 252
　　タイトル情報の再取得 253
　　トラックタイトル・
　　トラック読み修正 252
　　アルバムの削除 254
　　曲（トラック）の削除 255
　　マイベストの削除 251
　　マイベストの作成 249
　　マイベストの編集 249
　　曲の削除 251
　　曲の追加 250
　　曲の並べ替え 250
　　名称の修正 249
SD メモリーカードの録音
　録音する 240
　　曲を選んで録音する 240
　　自動で録音する 240
　　手動で選ぶ 240
　録音設定 241
　録音を中止する 241
MP3 211
　MP3 について 214
　同じフォルダを繰り返し聞く 212
　繰り返し聞く 212
　再生する 211
　全フォルダの中からランダムに聞く 213
　ディスクの出し入れ 16
　早送り、早戻し 212
　ファイルを選ぶ 212
　フォルダの中からファイルを探す 213
　フォルダの中からランダムに聞く 213
　フォルダを選ぶ 211
　フォルダを探す 213
エリアスイッチ
　ラジオ 208
エンジン始動通知 519

お

応答保留.....427
お車を手放すとき.....412、466
お手入れ.....547
　アンテナのお手入れ.....547
　車載機のお手入れ.....547
オーディオ＆ビジュアル.....199
　AUX.....279
　SD メモリーカード.....235
　DVD プレーヤー.....209
　　MP3/WMA.....211
　　音楽 CD.....209
　　DVD.....218
　デジタルテレビ.....256
　Bluetooth オーディオ.....295
　USB.....283
　　iPod.....285
　　USB メモリ.....290
　ラジオ.....206
オーディオ操作画面.....203
オーディオ操作スイッチ.....9
オーディオ電源.....203
オペレーターサービス.....511
オペレーターサービス専用電話番号.....513
オペレーターサービスの購入.....512
音質調整.....205
音声案内.....108
音声案内について.....58
音声設定.....149
音声の設定.....85
音声多重放送
　デジタルテレビ.....270
音量設定
　ナビゲーション.....85
　バックガイドモニター.....353
　ハンズフリー.....432
音量調整
　オーディオ.....203
音量調整スイッチ.....9
音量バランスの調整.....205
オンルートスクロール.....117
オンルートスクロールの設定.....117

か

ガイド画面
　バックガイドモニター.....334
ガイド方法
　バックガイドモニター.....335
解約手続き.....465
各種手続き.....463
画質の調整.....38
学校存在案内.....76
カメラ
　バックガイドモニター.....356
　バックモニター.....372
　サイドモニター.....380
　ブラインドコーナーモニター.....380
　マルチアングル全周囲モニター.....396
　マルチビューバックガイドモニター.....366
画面の調整・設定.....37
画面モードについて.....39
画面モードの切り替え
　DVD.....224
　VTR.....282
画面を消す.....39
カレンダー機能.....329
簡易画面.....430

き

機器アドレス
　オーディオ.....307、309
　ハンズフリー.....434、442
機器名称
　オーディオ.....307、309
　ハンズフリー.....434、442
季節規制区間の迂回ルート探索.....127
季節規制区間の表示.....77
距離の補正.....143
緊急情報.....182、326
緊急通報.....499

く

区間所要時間予測表示.....526
Gracenote メディアデータベース.....236

け

継続方法の変更.....463
携帯電話の接続.....415
　自動接続.....415
　手動接続.....416
携帯電話の選択.....433
携帯電話の登録.....414
携帯電話本体から発信.....426
携帯連携.....185
　情報を携帯電話へ送信する.....185
　情報を車載機へ送信する.....186

Yahoo! JAPAN と連携した機能を
使用する.....187
警備員の派遣.....519
県境案内..... 79
現在地スイッチ..... 9
現在地の修正.....142
現在地の表示..... 59

こ

交差点案内.....110
交差点拡大図表示.....110
ターンリスト図表示.....112
レーンリスト図表示.....110
交差点拡大図表示
拡大図表示の解除.....112
交差点拡大図 110
3D 交差点拡大図表示.....111
立体的な拡大図表示.....112
連続車線変更案内.....111
後席ディスプレイ 316
高速道路・都市高速道路表示..... 80
高速分岐案内 83
高速路線マップ..... 81
都市高速マップ..... 83
ハイウェイモード..... 80
高速分岐案内画面の表示・解除..... 83
高速路線マップ表示・解除.....81、82
縮尺の切り替え..... 82
交通情報放送.....208
交通・ナビ関連情報の表示.....325
故障とお考えになる前に
G-BOOK 510
デジタルテレビ.....278
ナビゲーション.....166
個人情報の初期化 47
5 ルートの詳細情報 106
5 ルート表示.....106
こんなメッセージが表示されたときは
G-BOOK 540
デジタルテレビ.....277
ナビゲーション.....163

さ

サイドモニター 374
作動条件..... 8
サポートアドレス 534
残距離表示..... 57
残距離表示の切り替え 119
サンプリング周波数 .....214、234、293

し

G 情報マーク表示.....488
G 情報マーク連動サービス 529
G・情報スイッチ.....9
G-Security（G セキュリティ）.....515
アラーム通知 518
エンジン始動通知.....519
警備員の派遣 515
車両の位置追跡 519
初期設定の確認・変更.....516
CD.....209
曲を選ぶ.....210
曲を探す 210
繰り返し聞く 210
再生する 209
使用できるディスク.....19
ディスクの出し入れ.....16
早送り、早戻し 210
ランダムに聞く 210
CD タイトル情報取得.....531
G で設定.....478
G-BLOG 480
G メモリ.....479
G メモリ一括ダウンロード.....480
ドライブプラン 479
GPS について 162
GPS ボイスナビゲーション 51
地図について 169
地図の操作 59
地点の登録 130
VICS・交通情報 173
目的地案内 99
G-BOOK mX ／ G-BOOK mX Pro.....455
G-BOOK オンラインサービス.....447
オペレーターサービス.....511
各種手続き 463
CD タイトル情報取得 531
G-Security.....515
ヘルプネット 491
My リクエスト 470
マップオンデマンド（地図差分更新）
.....195
メインメニュー 468
G-BOOK 画面.....467
G-BOOK サポートセンター .....465、466
G-BOOK.com.....483
G-BOOK の設定・編集 538
G-BLOG.....480
G メモリ 479

G メモリー括ダウンロード.....480
G メモリ地点.....476
G ルート探索.....520
市街図表示・解除.....69
事故多発地点案内.....76
自車マーク.....56
システム初期化中画面
　バックガイドモニター.....358
シーズンレジャーランドマークの表示.....78
施設情報表示.....488
施設で地図を呼び出す.....91
施設内容の表示.....97
施設の表示・消去.....70、71
自宅の登録・解除.....131、132
自宅を目的地に設定.....102
視聴制限.....233
視点の調整（リアル市街図）.....67
自動音量切替
　ナビゲーション.....85
　ハンズフリー.....432
自動再探索.....120
自動着信応答.....445
自動通知（メンテナンス案内）の設定.....154
自動電話機接続.....446
自動表示切替設定.....148
自動表示モード（サイドモニター）.....375
自動保守点検.....502
車庫入れ
　バックガイドモニター.....335
車載機.....9
車載機の設定.....46
　アクセントカラーの変更.....46
　個人情報の初期化.....47
　操作画面継続表示の設定.....46
　BEEP 音通知の設定.....46
車載機の Bluetooth 設定変更
　オーディオ.....309
　ハンズフリー.....442
車速設定（平均車速の設定）.....113
車両情報の設定.....115
車両の位置追跡.....519
ジャンルで地図を呼び出す.....94
周辺施設走行中呼出ジャンルの変更.....72
住所で地図を呼び出す.....91
渋滞・規制音声案内.....176
渋滞考慮探索.....179
渋滞考慮探索設定
　プローブ交通情報自動取得.....521
　渋滞考慮探索.....179
　新旧ルート比較表示.....180
渋滞増減予測表示.....525
渋滞予測.....523
渋滞予測時間の変更.....524
渋滞予測情報.....523
縦列駐車
　バックガイドモニター.....336
手動保守点検.....503
受信レベル表示
　G-BOOK.....454
　ハンズフリー.....410
受話音量.....432
仕様.....550
使用する携帯電話の設定.....532
情報確認.....513
情報画面.....324
新旧ルート比較表示.....180

す

スイッチの表示.....60
スイッチ表示設定.....60
スケール表示.....171
ステアリングスイッチ.....11
3D 交差点拡大図表示.....111
3D 表示・解除.....66
　角度の調整.....66
　地図の回転.....67
　ルート方向アップ表示.....67

せ

精度について.....167
設定・編集（ETC）
　通知設定.....403
設定・編集（運転支援）
　安全・快適走行設定.....151
設定・編集（オーディオ）
　オーディオプレーヤー切り替え.....306
　サウンドライブラリ編集.....248
　CD 録音設定.....241
　Bluetooth オーディオ設定.....302
設定・編集（G-BOOK）
　通信設定.....532
　プライバシー設定.....538
　My リクエスト編集.....475
設定・編集（電話）
　音量設定.....432
　電話機選択.....433
　電話詳細設定.....443
　電話帳編集.....435
　Bluetooth 設定.....441

設定・編集（ナビ）
案内中止／案内再開.....107
音量設定.....85
地図更新.....195
ナビ詳細設定.....146
メモリ地点登録編集.....130、137
ルート変更.....122
設定・編集（メンテナンス）
項目設定.....152
販売店設定.....155
メンテナンス詳細設定.....154
設定スイッチ.....9
設備マーク表示.....80
説明音声（操作説明音声）.....85
全ルート図表示.....103

そ

走行軌跡の表示・消去.....77
操作画面継続表示の設定.....46
操作説明音声（説明音声）.....85
その他（ナビ詳細設定）.....150
ソフトウェアキーボード.....26
各スイッチの使い方.....26
ソフトウェアキーボードの設定.....32
単語の編集.....32
定型文の修正.....33
入力履歴の削除.....33
予測変換候補の表示設定.....34

た

タイトル情報の再取得.....253
タイムスタンプ.....174
ダイヤル画面.....422
ダイヤル発信.....418
WMA.....211
同じフォルダを繰り返し聞く.....212
繰り返し聞く.....212
再生する.....211
全フォルダの中からランダムに聞く.....213
WMA について.....214
ディスクの出し入れ.....16
早送り、早戻し.....212
ファイルを選ぶ.....212
フォルダの中からファイルを探す.....213
フォルダの中からランダムに聞く.....213
フォルダを選ぶ.....211
フォルダを探す.....213
単語の編集.....32
探索条件の変更.....122
ターンリスト図表示・解除.....112、113

ち

地域番号（リージョンコード）.....234
近くの施設の検索.....71
ルートを考慮したリストの表示.....72
地上デジタルテレビ.....256
地図記号・表示.....171
地図更新画面.....169
地図差分更新.....195
地図縮尺の切り替え.....62
地図データについて.....169
地図データの情報を見る.....169
地図データベースについて.....170
地図について.....169
地図の移動（ワンタッチスクロール）.....61
地図の縮尺スケール表示.....171
地図の操作.....59
地図の表示.....59
地図の表示色の切り替え.....68
地図の呼び出し方法.....86
携帯電話.....95
施設.....91
ジャンル.....94
住所.....91
電話番号.....91
マップコード.....95
名称.....88
郵便番号.....94
履歴.....96
Yahoo! JAPAN と連携.....92
地図表示画面の設定.....70
地図表示設定.....146
地図向きの切り替え.....63
地点の登録.....130
着信音量.....432
着信拒否する.....427
着信中の操作.....427
着信割り込み表示.....446
駐車
バックガイドモニター.....333
バックモニター.....367
マルチアングル全周囲モニター.....382
マルチビューバックガイドモニター.....360

つ

通過道路指定の解除 127
通過道路の指定 126
通過道路の修正 126
通信接続時の確認 533
通信設定 532
通信中マーク 453
通信モジュール（DCM） 452
通信ロック 535
通話中の操作 428
通話転送 429

て

DVD ビデオ・DVD-VR 218
　アングルの切り替え 223
　一時停止する 220
　音声の切り替え 222
　音声モードの切り替え 224
　画面モードの切り替え 224
　再生する 219
　再生モードの切り替え 224
　再生中の操作について 231
　字幕の切り替え 223
　使用できるディスク 19
　初期設定 225
　　オートスタートの設定 227
　　音声言語の設定 225
　　言語コードの入力 229
　　視聴制限レベルの設定 227
　　字幕言語の設定 225
　　設定の初期化 230
　　ソフトメニュー言語の設定 226
　　マルチアングルマーク表示の設定 226
　スロー再生する 221
　静止画の切り替え 221
　DVD ビデオについて 231
　停止する 220
　ディスクの指定位置に戻る 224
　ディスクの出し入れ 16
　早送り、早戻し 220
　見たい場所を選ぶ 221
　メニュー画面の操作 222
提携駐車場の検索 98
定型文の修正 33
ディスプレイ開警告ブザー 19
出入口 IC の指定・解除 125
デモンストレーション（デモ） 107
テレビ（デジタルテレビ） 256
　アンテナインジケータについて 257
　EPG(電子番組表) を見る 266
　映像を切り替える 269
　音声を切り替える 270
　音声多重放送の音声モードを
　　切り替える 270
　緊急警報放送（EWS) について 272
　字幕の切り替え 271
　初回起動時の設定 260
　初期設定 272
　　居住地域の設定 274
　　受信したメールを見る 275
　　miniB-CAS カードの情報を見る 275
　　miniB-CAS カードの動作確認 275
　　ホームプリセットの設定 272
　地上デジタルテレビを見る 261
　チャンネルを選ぶ 262
　データ放送 267
　　データ放送を見る 267
　　データ放送操作画面の表示 268
　　色ボタン、カーソルの操作 268
　　10 キー（テンキー）の操作 269
　　前の画面に戻る 269
　受信方法の設定 264
　番組を選ぶ 263
　プリセットモード 263
　放送局（系列局／中継局）サーチ
　　の設定 265
　miniB-CAS カード 257
　　取り扱いについて 257
　　破棄について 258
　　miniB-CAS カードの出し入れ 258
　文字スーパーの切り替え 271
デジタルフォトフレーム 311
　写真を選ぶ 313
　写真を見る 312
　デジタルフォトフレームの設定 313
電池残量表示
　オーディオ 296
　ハンズフリー 411
電話機詳細情報表示 434
電話（ハンズフリー） 405
　ダイヤル画面 418
　電話を受ける 420
　電話をかける ..... 418、422
　電話を切る 419
　電話を保留する 427
電話機選択 433
電話詳細設定 443

電話帳 435
電話帳・発着信履歴制限 444
電話帳データの削除 439
電話帳データの修正 438
電話帳データの新規追加 437
電話帳データの転送 435
電話帳の選択 423
電話帳の編集 435
電話帳発信 423
電話帳編集 435
電話番号で地図を呼び出す 91
電話を受ける 420
電話をかける .....418、422
携帯電話本体から発信 426
ダイヤル発信 418
電話帳発信 423
ナビ発信 426
履歴発信 424
ワンタッチ発信 425
電話を切る .....419、421

と

統一エラーコードの表示（ETC）.....402
到着予想時刻表示
G-BOOK 526
ナビゲーション .....57、113
到着予想時刻表示の切り替え 119
道路形状案内 74
トーン 421
特別メモリ地点の登録・解除 ..... 131、132
都市高速マップ表示・解除 .....83、84
ドライブプラン ..... 514、479、474
ドルビーデジタル 234

な

ナビゲーション画面の調整 37
ナビゲーション画面の見方 56
ナビ詳細設定 146
案内表示設定 148
音声設定 149
自動表示切替設定 148
その他 150
地図表示設定 146
ルート系設定 149
ナビ設定の記憶・消去 ..... 144、145
ナビ発信 426

に

2 画面表示（地図）.....63
右画面の設定 64
2 画面表示（地図 / エコ）.....65
入力履歴の削除 33

の

ノースアップ表示 63

は

ハイウェイモード表示・解除 .....80、81
パスキー
オーディオ 309
ハンズフリー 442
バックガイドモニター 333
縦列駐車 336
並列駐車 335
バッテリーの交換 545
ハートフル音声 85
ハンズフリー 405
ハンズフリーの準備 414
ハンズフリーの設定 431
販売店の修正 156
販売店の消去 156
販売店の設定 155

ひ

BEEP 音通知の設定 46
ビジュアルシティマップ表示 73
VICS・交通情報 173
渋滞・規制音声案内 176
渋滞考慮探索 179
新旧ルート比較表示 180
VICS 記号 184
VICS・交通情報の表示設定 175
VICS 図形情報・文字情報 177
放送局の選択 181
割込情報の表示・設定 ..... 177、178
昼画表示 38
ヒント機能 25
ピンポイント検索 97

ふ

フェリー航路の案内 116
プライバシー設定 538
ブラインドコーナーモニター 374
ブラウザ 483
　自動読上げ 486
Bluetooth オーディオ 295
Bluetooth オーディオの再生
　アルバムを選ぶ 299
　一時停止する 299
　曲を選ぶ 299
　再生する 298
　早送り、早戻し 299
Bluetooth オーディオの設定
　車載機の Bluetooth 設定を
　　初期化する 310
　車載機の Bluetooth 設定を変更する
　　..... 309
　ポータブルオーディオの詳細情報を
　　表示する 307
　ポータブルオーディオの接続 303
　ポータブルオーディオの選択 306
　ポータブルオーディオの登録 302
　ポータブルオーディオの登録を
　　削除する 310
Bluetooth 携帯電話 408
Bluetooth 接続確認表示
　オーディオ 304
　ハンズフリー 446
Bluetooth 接続状態表示
　オーディオ 296
　ハンズフリー 411
Bluetooth 設定 441
プローブ交通情報自動取得 521
プローブコミュニケーション交通情報 520
フロントワイド表示 63

へ

平均車速の設定（車速設定） 113
並列駐車
　バックガイドモニター 335
ヘディングアップ表示 63
ヘルプネット 491
　緊急通報 499
　故障とお考えになる前に 510
　サービス開始操作 497
　自動保守点検 502
　手動保守点検 503
　利用登録の更新 506

ほ

方位マーク 56
補正が必要なとき 142
ポータブルオーディオ詳細情報表示 307
ポータブルオーディオの接続 303
　自動接続 303
　手動接続 304
ポータブルオーディオの選択 306
ポータブルオーディオの登録 302
ポータブルオーディオの登録を削除する
　..... 310

ま

マイク ..... 409、493
My リクエスト 470
My リクエスト画面 470
My リクエスト編集 475
マップオンデマンド
　（地図差分更新） 195
　差分更新 195
　専用アプリケーションソフトで更新 196
　全更新 195
　地図更新画面 169
マップコード 95
マップコードで地図を呼び出す 95
マップマッチング 55
マルチアングル 233
マルチアングル全周囲モニター 382
　回転表示モード 386
　バックモード 384
　フロントモード 383
　マルチアングル全周囲モニター
　　の設定 387
マルチビューバックガイドモニター 360
　カメラの視点切替方法 362
マルチランゲージ 234

み

右画面の設定（2 画面表示時） 63

め

名称で地図を呼び出す 88
メインメニュー 468
メモリ地点の移行 139

登録した場所のデータを
車載機に移す 141
登録した場所のデータを
SD メモリーカードに移す.....139
パスワードの設定.....140
メモリ地点の修正 131
位置修正 135
自宅・特別メモリ地点に登録 131
自宅・特別メモリ地点の解除 132
電話番号入力 135
マークの変更 132
名称入力 133
名称表示 134
名称読み入力 135
メモリ地点の消去 136
メモリ地点の登録 130
メンテナンス機能 152
自動通知（メンテナンス案内）の設定
.....154
メンテナンス案内.....153
メンテナンス時期の設定 152
メンテナンス詳細設定.....154
メンテナンス設定の更新 .....154、155
メンテナンス設定の消去 .....153、155

も

モードの切り替え（オーディオ）.....204
目的地案内..... 99
目的地案内の開始・中止.....107
目的地スイッチ 9
目的地の消去.....124
目的地の設定.....100
目的地の追加.....123
目的地の並び替え 123
目的地方向マーク 57
目的地履歴の消去 128
文字入力
ソフトウェアキーボード 26
メモリ地点の名称入力.....133
名称で地図を呼び出す 88

ゆ

ユーザー画面.....539
郵便番号で地図を呼び出す..... 94
有料コンテンツ 464

よ

予測変換候補の表示設定 34
呼び出した地図の操作 97
夜画表示 38

ら

ラジオ 206
エリアスイッチについて 208
交通情報放送を聞く.....208
自動で放送局を記憶する 207
放送局を選ぶ 206
放送局を記憶する.....207
ラジオを聞く 206
ラジオアンテナの設定 116

り

リアル市街図表示.....66
リージョンコード（地域番号) 234
リスト画面の切り替え方 35
立体ランドマークの表示 73
リニア PCM.....234
リダイヤル.....439
立体的な拡大図表示 112
リモコンでの操作.....316
利用開始操作.....460
料金案内 114
量子化ビット.....234
利用手続き
G-BOOK.....458
利用登録の更新.....506
履歴で地図を呼び出す 96
履歴の削除
ソフトウェアキーボード.....33
ハンズフリー 425
履歴発信 424

る

ルート系設定.....149
ルート情報（案内道路情報） 105
ルート探索.....102
ルートの再探索.....120
自動再探索 120
ルート変更.....122
季節規制区間の迂回ルート探索 127
探索条件の変更 122
通過道路指定の解除.....127
通過道路の指定 126

通過道路の修正.....126
出入口 IC の指定・解除.....125
目的地の消去 124
目的地の追加 123
目的地の並び替え.....123
ルート変更画面の表示 122
ルートを考慮したリストの表示.....72

れ

レーンリスト図表示・解除.....110
連続車線変更案内.....111

ろ

ロック No.
携帯電話.....188
ハンズフリー 444
録音する.....240

わ

割込情報（ビーコン即時案内）の表示.....177
ワンタッチスクロール（地図の移動）.....61
ワンタッチダイヤル.....425
ワンタッチダイヤルの削除 440
ワンタッチダイヤルの登録 439
ワンタッチ発信.....425

アルファベットさくいん

A

AUX.....279

B

BEEP 音通知の設定..... 46
Bluetooth オーディオ 295
Bluetooth 携帯電話 408

C

CD.....209

D

DVD ビデオ 218
DVD-VR.....218
DVD プレーヤー.....209

E

EWS（緊急警報放送）.....272
ETC システム 399
EPG（電子番組表）.....266

F

FM 多重放送.....326

G

Gracenote メディアデータベース.....236
G 情報マーク連動サービス 529
G・情報スイッチ..... 9
GPS について.....162
GPS ボイスナビゲーション 51
G-BOOK オンラインサービス.....447
G-BOOK mX/mX Pro 455
G-BOOK.com 468
G-BLOG 480
G メモリ 479
G メモリ一括ダウンロード 480
G メモリ地点.....476
G ルート探索（プローブ情報付）.....520

I

iPod 285
IC の指定・解除..... 125

M

miniB-CAS カード 257
miniB-CAS カード情報.....275
MP3 211
My リクエスト.....470

Q

QUICK SETUP 41

S

SD メモリーカード.....23、235

U

USB.....283
USB メモリ 290

V

VICS・交通情報..... 173
VTR 281

W

WMA 211

Y

Yahoo! JAPAN と連携..... 187

SDナビゲーション　取付け記録簿

取付け販売店名および取付け店名	
取付け日	
取付け時走行キロ	
備考 （修理メモ・保証継承情報等）	

保証期間を判定する記録簿です。必ず記載し大切に保管してください。

トヨタ自動車株式会社
富士通テン株式会社

1312(N)